# NEON GENESIS EVANGELION

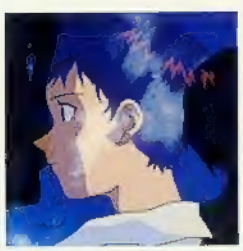
新世紀エヴァンゲリオン

NEWTYPE 100 COLLECTION

# NEON GENESIS EVANGELION

新世紀エヴァンゲリオン

# NEON GENESIS EVANGELION



## CONTENTS


Illustrations—4
Jacket Gallery—76
Episode Guide—77
Neon Genesis Move!!—85
The Official Art—89
Voices—170
NT's Articles—176
Staff & Cast—178

# FIGHTING SPIRITS!!

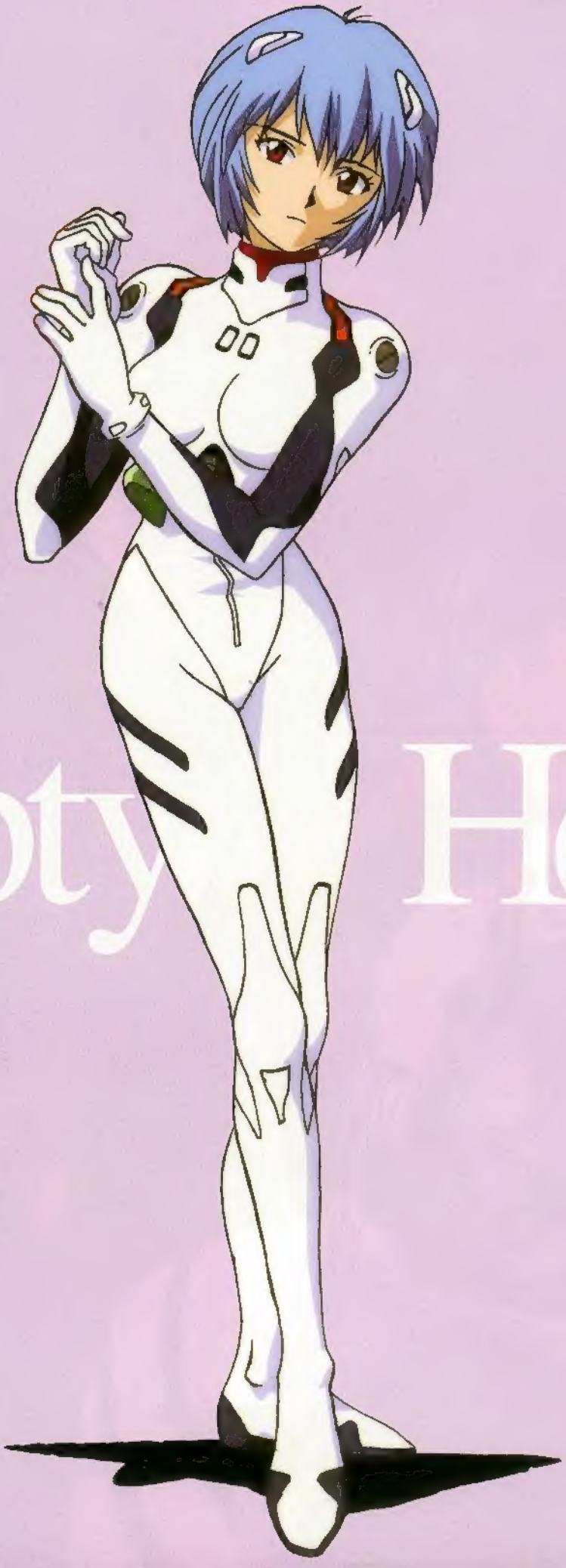
NEON GENESIS EVANGELION

02
01

# A BEAST IN DARKNESS

NEON GENESIS EVANGELION

01

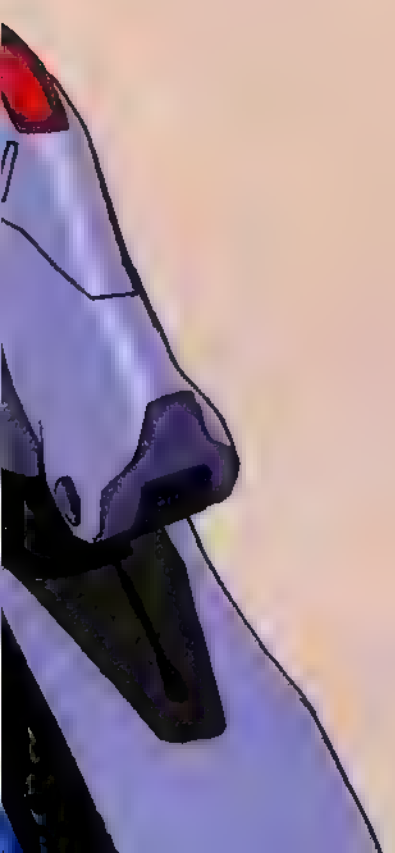


# Empty Heart

E V A
fighting children

01

# OPEN AN ATTACK!!



01

02
02

EVA
02

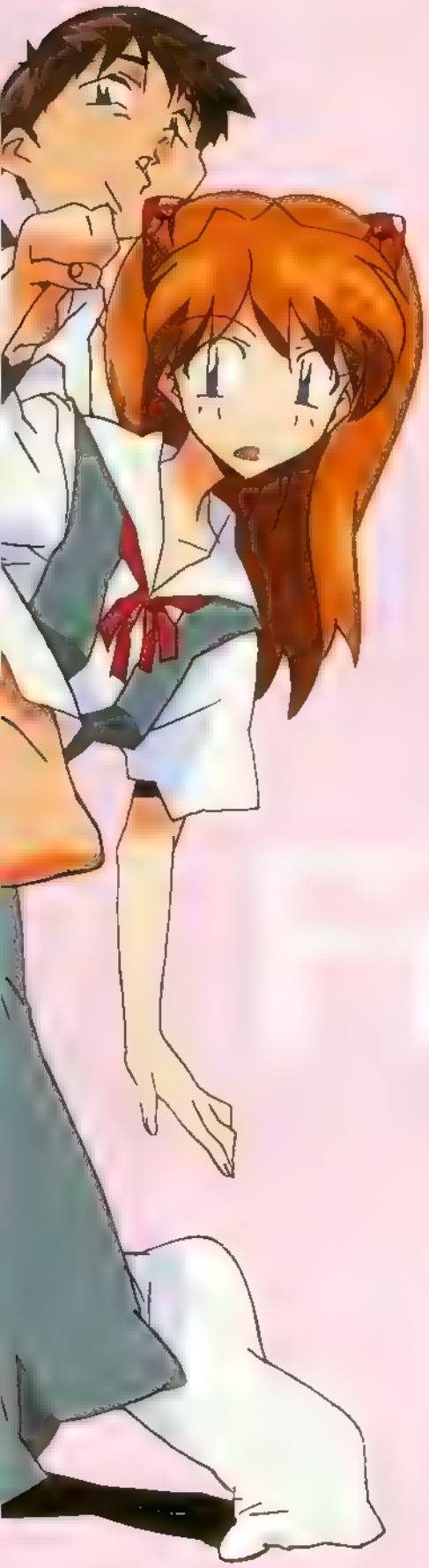
# E V A

*in school uniform*

# Too shy, shy boy!

# EVA

*in school uniform*

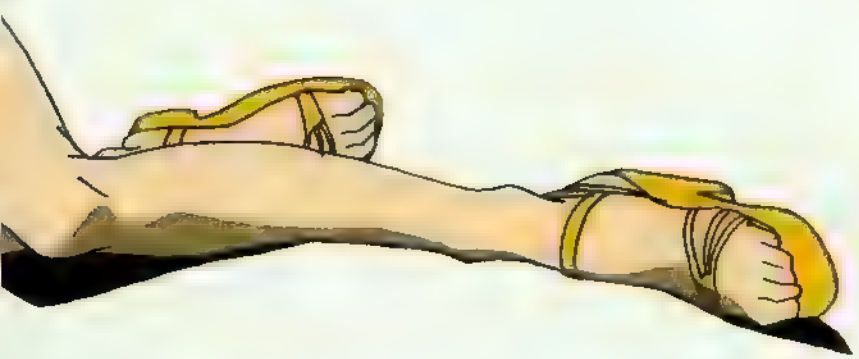


Yoshi Roise

E V A
in school uniform

# Tears & Reasons

# Same red eyes
# We are alike...



E V A

stylish collection

# EVA

stylish collection

EVA
stylish collection

EVA

stylish collection

E V A
stylish collection

# Rest of Soldiers

E V A

# Get Ready!!

MY VALENTINE

01

Father & Son

# Mother's Touch

01

CAUTION
CAUTION
00

# EVA

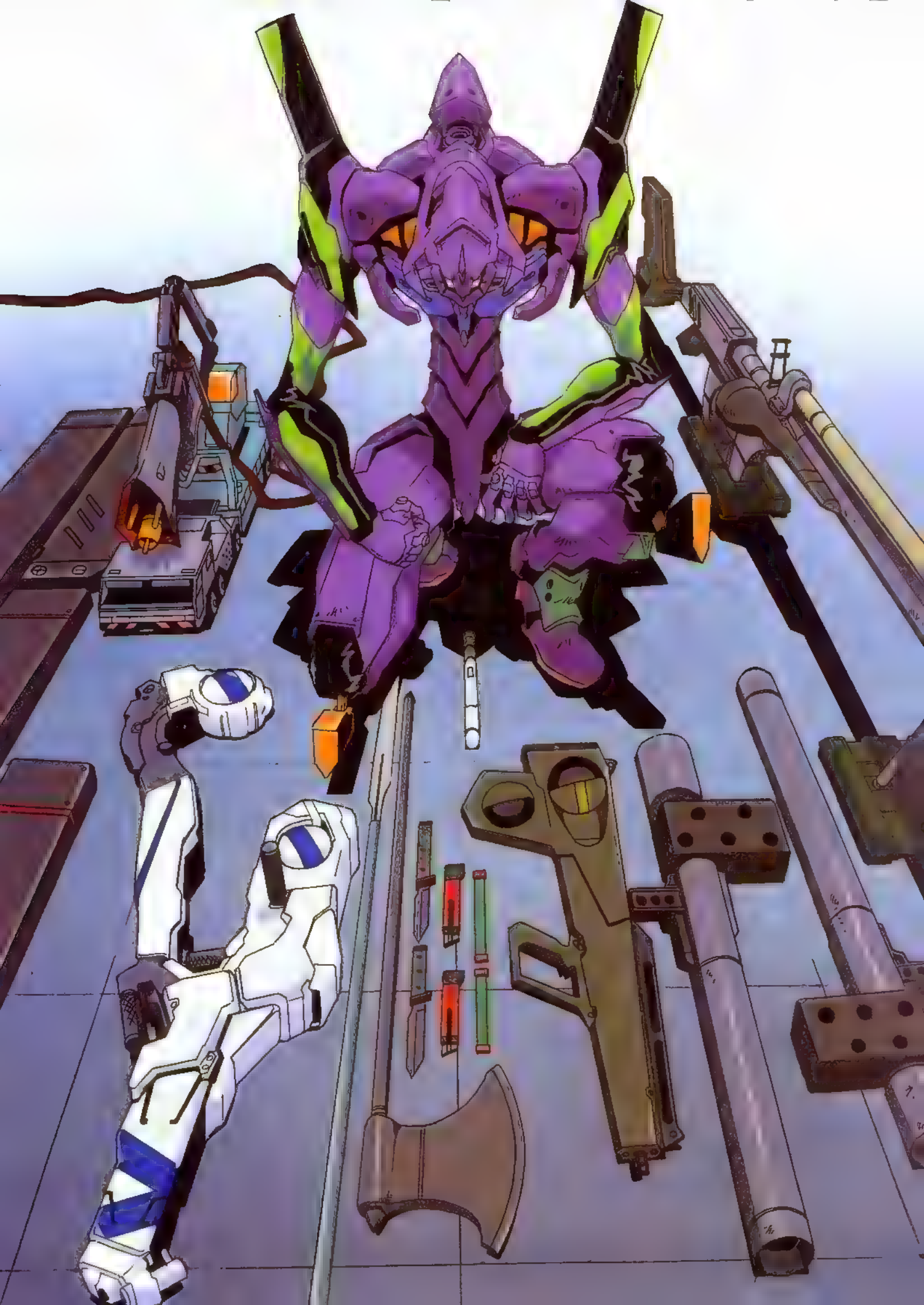
*fighting Evangelion*

# E V A

*fighting Evangelion*

EVA

# Get your sights!!



EVA
fighting Evangelion

E V A
EVA-01 TEST

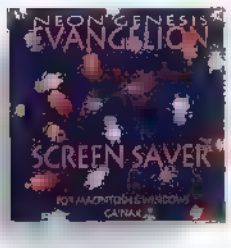
AWAKES!

E V A
THE BEAST

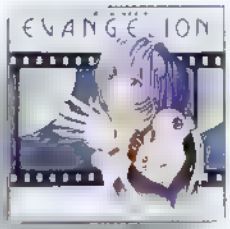
E V A
shing Evangelion

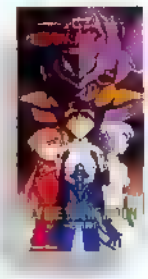
# JACKET GALLERY

CD-ROM

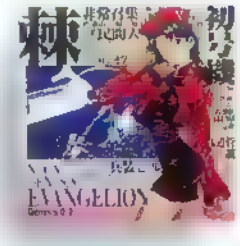



CD



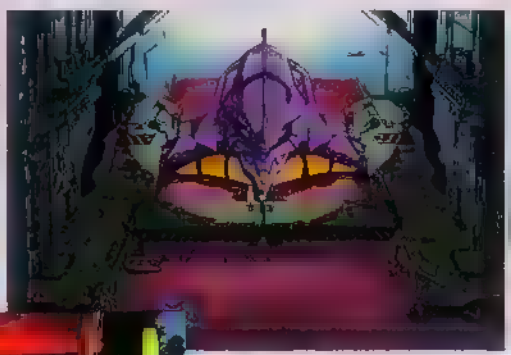


LD



# Episode Guide of EVANGELION

膨大な情報量と緻密な人物描写でストーリーを展開して行く「エヴァ」。
ここでは、いくつかの場面カットとともにあらすじを紹介する。
各話予告と見比べてみると、また違った見方ができるかもしれない。



◆ケイジでエヴァと対面するシンジ。赤木リツコが説明する「人の造り出した究極の汎用決戦兵器、人造人間エヴァンゲリオン。その初号機。建造は極秘裏に行なわれた。我我人類の最後の切り札よ」

◆人影もなく、電話回線も不通となった街角で、葛城ミサトの迎えを待つシンジ。ミサトは、特別非常事態宣言が発令された市内で、車を飛ばしていた

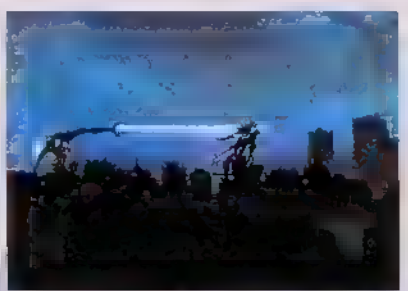
◆突然の衝撃音とともに、山あいから出現した使徒。通常の攻撃ではビクともしないため、国連軍は切り札・N2地雷を使うが、それも効果はない。国連軍から指揮権を移されたケンスケは、「初号機を起動させる」と副司令・冬月コウゾウに告げた
◆射出口より初出撃する初号機。シンジとのシンクロ率の高さはミサトらを驚かせた

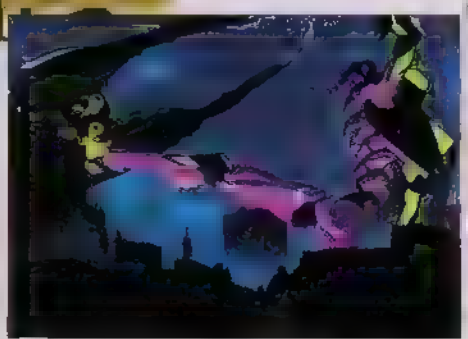
## 第壱話
## 使徒、襲来
*ANGEL ATTACK*

ひとりの少年がとある街を訪れていた。彼の名は碇シンジ。彼は何も聞かされず、父に第3新東京市へ呼び出されて来たのだ。そのころ、日本には15年ぶりに通称"使徒"と呼ばれる謎の巨大物体が出現していた。自衛隊は総力を結集して攻撃を加えるが、ほとんどダメージを与えることができない。そのため、対使徒の作戦指揮権は国連軍から特務機関ネルフの司令官・碇ゲンドウへと移行することとなる。碇ゲンドウ、それがシンジを呼び出した父だった……。父の待つジオフロント(地下都市)、ネルフ本部へと足を踏み入れたシンジは、そこで巨人と対面する。それは汎用型人型兵器エヴァンゲリオン!　迫り来る使徒(サキエル)に対して、ゲンドウはシンジにエヴァに乗ることを命令する。シンジは、自分がここに呼ばれた理由が、ロボットを動かす"道具"としてだったことを知り、一度は乗り込むことを拒否。だが、傷を負っていながら出撃しようとする同じ歳の少女・綾波レイの姿に意を決し、ついにエヴァンゲリオンに乗り込んだ。そして、初号機はゲンドウらが見守る中、出撃する。

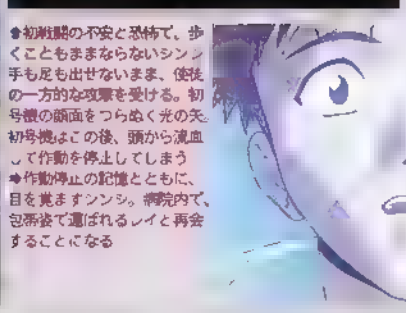
**西暦2015年。人類の明日を守るため、汎用人型決戦兵器エヴァンゲリオンが出撃する。**

◆ヒール好きなミサトと、荒れ放題の部屋に、シンジは絶句する。食事に手をつけないシンジをしかるミサト。だが、シンジが他人といっしょにとる食事に慣れていないことにも、気づいていた





◆沈黙したはずの初号機は、突然再起動する。ネルフのスタッフたちが驚く中、サキエルに攻撃を仕掛ける初号機。サキエルの展開するATフィールドも、まったく歯が立たない。そして、ついにサキエルは自爆する

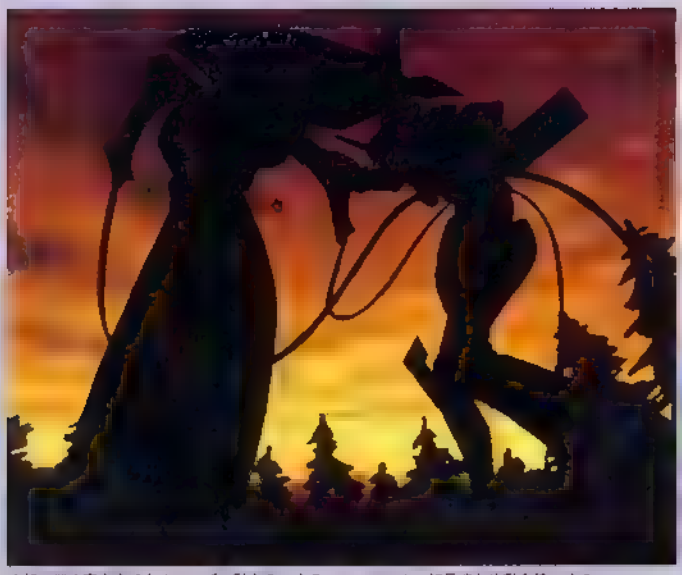


◆初戦闘の不安と恐怖で、歩くこともままならないシンジ。手も足も出せないまま、使徒の一方的な攻撃を受ける。初号機の顔面をつらぬく光の矢。初号機はこの後、頭から流血して作動を停止してしまう
◆作動停止の記憶とともに、目を覚ますシンジ。病院内で、包帯姿で運ばれるレイと再会することになる

## 第弐話
## 見知らぬ、天井
*THE BEAST*

突然、戦いの場へと投げ出されるシンジ。そんな状態でまともに闘えるはずもなく、エヴァは一方的に使徒・サキエルの攻撃を受け、機能停止する……。次に目覚めたとき、彼が見たものは、見知らぬ病院の天井だった。そして、シンジの記憶は混乱し、一部が欠落していた。ともあれ、シンジは新生活を開始することになるが、そこに父親がいるにもかかわらず、2人は別々の場所で暮らすという。そんなシンジの孤独さを見かね、ネルフの葛城ミサト一尉は共同生活を提案。シンジは、彼女のマンションに住むことになる。共同生活初日、風呂に入って、やっとひとりきりになり落ちついたシンジの脳裏に、失われていた記憶が蘇ってくる。それは窮地に追い込まれ暴走したエヴァが、ケダモノのように暴れ狂い、サキエルを圧倒する姿だった……。

**エヴァは使徒に勝つ。だがそれはすべての始まりにすぎなかった。父親から逃げるシンジ。ミサトの懐慢は、自分が彼を救おうと決意させる。**



↑授業中のパソコンのやりとりでハイロードであることを認めたシンジは、級友たちの質問せめにあう

↑初号機の落ちた場所の付近にトウジたちがいた

↑初号機の突き立てたナイフで、動きのとまるシャムシェル　初号機も作動を停止する

## 第参話
# 鳴らない、電話
*A transfer*

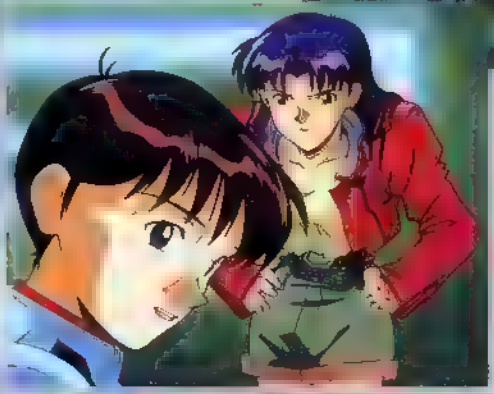
エヴァのパイロットとして自分の感情を押し殺してシミュレーションで訓練を積むシンジ。それと同時に、第3新東京市の中学に通い始めたが、2週間たった今でも電話をかけてくるような友人はいなかった。心配するミサトにリツコは、相手に自分のぬくもりを伝えたくても、互いに傷つくことを恐れてしまう「ヤマアラシのジレンマ」とシンジの状態が同じだという。そのころ、シンジのクラス内でのポジションは一転して人気者へとかわっていた。彼がロボットのパイロットだということがクラス内に知れ渡ったからだ。だが、先日のエヴァとサキエルとの戦闘で妹が負傷した鈴原トウジは、その怒りを鉄拳というカタチでシンジにぶつける。そして、早くも第四の使徒・シャムシェルが出現！　出撃したシンジは、光のムチに苦戦を強いられ、追いつめられる。その追い込まれた先には、シェルターを抜け出したトウジとその友人・相田ケンスケの姿があった。ミサトは2人をエヴァ内部に回収させ撤退させようとするが、シンジは「逃げちゃダメだ」のことばを繰り返しながら突進。捨て身の攻撃を仕掛ける。

**新たな生活を、状況に流されるまま送るシンジに、友人が生まれるはずもなかった。だが、ＥＶＡのパイロットである事実は、彼を人気者にする。**

↑シンジの　D登録は抹消されてしまう

↑迎えに来たミサトを見つめるシンジ　思わず口に出た「ただいま」に、ミサトが応えた「おかえりなさい」

↑ハックひとつで家出をしたシンジ。行くあてもないまま、たたしっとうつむき、電車の座席に腰かけている



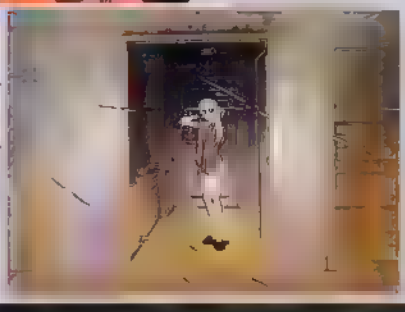
↑シャムシェルとの戦闘後、命令違反を問いただすミサトに、シンジはまた冷めた表情で謝るだけだった　そのことを思い出しながら、ミサトは、シンジは戻らないかもしれないと考えていた

## 第四話
# 雨、逃げ出した後
*Hedgehog's Dilemma*

2度目の使徒との戦闘で、初めて自分の意志で勝利を収めたシンジだったが、それには何の感動もなければ喜びもなかった。ただ義務のみで闘うシンジは、その闘いに意義を見出せずに、自分の殻に閉じこもって過ごしていた。そして、シンジは遂にミサトのもとから家出してしまう。彼のことを心配する〈友人〉がすでにできているということも知らずに……。行くあてもなく さ迷うシンジ。オートリバースで音楽を聴きながら、環状電車を終電まで乗り続け、オールナイト上映の映画館で朝を待つ。次の日には、山の上から第3新東京市を見下ろす。2日間の放浪の間、通りかかる誰もシンジと接触することはなかった。しかし、その日暮れ、シンジは偶然ケンスケと出くわす。夜、同級生として会話をかわす2人。しかし、そこへネルフの諜報部員が現われ、情け容赦なくシンジを連行していった。連れ戻されたシンジに、エヴァに乗る意志が無いことを確認したミサトは、ネルフを去るように促す。シンジが第3新東京市を離れる日、駅ではケンスケとトウジが待っていた。そして、ミサトも車を駅に走らせていた。

**自分を克服できず、ミサトからも逃げ出すシンジ。だが組織は少年をあっさりと連れ戻す。そこにやさしいことばはなかった。**

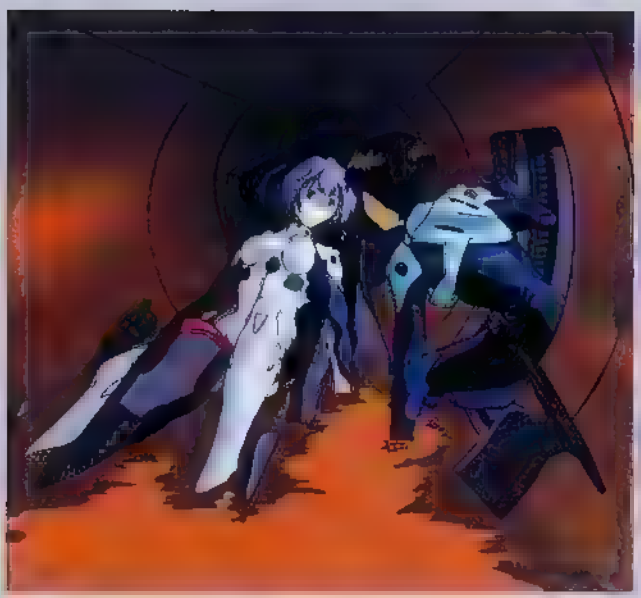
↑レイを助けたときに割れたゲンドウのめがねを、彼女は大切に持っていた
↑ノックに届けものを頼まれレイの部屋へやってきたシンジは、机に置いてあっためがねをかけてみる　振り向くと、そこに裸のレイがいた！
↑ラミエルの攻撃を受け、絶叫するシンジ　エントリープラグ内に警告音が鳴り響く

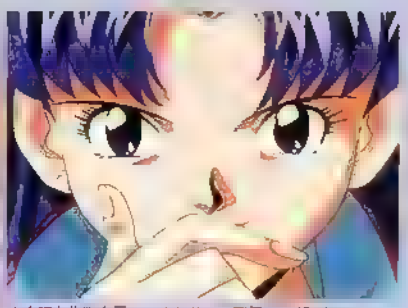


回収された使徒を分析している仮設分析所を訪れていたシンジは、そこでゲンドウの姿を見かける。そのとき、シンジは父の手のひらに自分の知らない火傷の跡があるのを見つけた。それは3週間前の零号機の起動実験の際、暴走した零号機のエントリープラグに閉じこめられたレイを救うために、負った火傷なのだとリツコから聞く。父の意外な行動にとまどうシンジ。そして、お互いに柔和な表情で会話を交わしているレイとゲンドウの姿を見かけ、シンジは自分よりゲンドウの心に近い場所にいるレイの存在が気になるようになる。そして、傷が癒えたレイは再び起動実験を行ない、一応の成功をみる。ところがそこに、第五の使徒・ラミエルが襲来！　シンジは出撃したが、ラミエルから放たれた光線が初号機の胸部に命中する。

## 第伍話
# レイ、心のむこうに
*Rei I*

**他人との接点を最小限にとどめ生きていく綾波レイ。彼女が心を開くのは碇司令だけだった。自分より父に近い少女に、シンジは嫉う。**





▲大胆な作戦を思いつくミサト。勝算は8.7%。た
◆溶けていく零号機の中で、レイは生きていた！　シンジは起動実験中のゲンドウの場合と同じように、熱でゆがんだエントリープラグのドアをこじ開け　レイを救い出す

## 第六話

# 決戦、第3新東京市

*Rei II*

運良くシンジの命に別状はなかった。しかし、ラミエルはネルフ本部への侵攻をはかり、巨大シールドを大地に突き立てる。一方、ラミエルには一定距離内の外敵を自動的に排除する性質があり、強力なATフィールドを展開することができるという、攻守ともに完璧な能力が備わっていることが判明した。それに対し、ミサトはポジトロンライフルを改造した陽電子砲での超長距離攻撃を立案。「ヤシマ作戦」と命名され、実行への準備が進められる。シンジは使徒との戦闘に備えるが、「あなたは死なないわ。私が守るもの」と言い切るレイ。日本中の電力のすべてを結集しての超長距離射撃が実行に移されるが、ラミエルも同時に攻撃を仕掛け、第一射は失敗。続いて第二射を放つラミエル！　直撃をくらったかと思えたが、盾を持ったレイの零号機が身を挺して食い止める。チャージを急ぐ初号機だが、その間にも零号機は溶解していく。

▲日本中の明かりが消えた暗闇の中で　ポジトロンライフルの撃鉄を起こす初号機　ラミエルに照準をしぼっていくか　第一射の直前、敵の内部に高エネルギー反応が起こる

**シンジは助かった。だが、その傷は彼に甘えたことばを吐かす。突き放すレイ。一方、ミサトは使徒に対し、一点突破を試みる。**

▲JAから転がり落ちそうになりながらも、笑顔でVサインを送るミサト　シンジはホッとする

▲JAの起動テストが行なわれたのは、旧東京地域
◆制御不能になったJAを追いかける初号機。炉心融解の危機は数分後に迫っていた

## 第七話

# 人の造りしもの

*A HUMAN WORK*

新しい生活に慣れてきて、心にじゃっかんの余裕の出てきたシンジには、ミサトのだらしなさが鼻につき始める。しかし、皮肉を言うシンジにミサトは逆に良い傾向を見出していた。ともあれ、やっと14歳らしい生活をいとなみ始めたシンジ。そんなとき、人類は使徒に対抗するエヴァ以外の人型兵器を造りあげていた。日本重化学工業共同体の開発したジェットアローンがそれだ。完成披露記念パーティーが開かれ、ネルフ代表として出席するミサトとリツコ。ただし、リツコには何か別の目的があるらしい。共同体は絶対的な自信をもってJAの試運転を始めるが、たちまち制御を失い、暴走させてしまう。ミサトはリツコが止めるのも聞かず、初号機を出動させ、エヴァの手のひらから単身JA内部に侵入。間一髪で奇跡的に炉心融解の危機を防ぐ。しかし、プログラム解除のパスワードが何ものかによって書き換えられていたことなどから、ミサトはその奇跡が何者かの手で用意されていたものだと気づく。ともあれ、ミサトを少しだけ見直すシンジ。が、翌朝のミサトはいつものだらしない彼女だった。

**迫り来る使徒に対し、民間の開発した人型兵器が制御不能に陥る。果たしてミサトは炉心融解を止められるのか？**

▲空母の艦長とやり合っているミサトの前に、脳天気なあいさつで現われる加持
◆日型装備のまま出撃した弐号機は、水中に落ちないよう船から船へ跳びまわる
◆さっそうと登場するアスカ。きなりトウジがひんたをかますわ、シンジを小にするわで、勝ち気な面を発揮するたか、加持には弱いらしい

## 第八話

# アスカ、来日

*ASUKA STRIKES!*

ミサトに連れられ、太平洋を進む艦隊上にやってきたシンジとケンスケ、トウジ。そこで待っていたのは傍若無人の元気少女、惣流・アスカ・ラングレーだった。そして、彼女はこの艦隊で輸送されているエヴァンゲリオン弐号機のパイロットなのだ。そしてもうひとり、ミサトとかつて恋仲だった加持も、アスカの随行としてやってきていた。加持の出現に動揺するミサト。しかし、随行は表向きの理由で、加持はゲンドウからの別の極秘指示であるモノを運んでいたのだ。それを狙って第六の使徒・カギエルが襲来。天才を自負するアスカはシンジに自分の実力を知らしめるチャンスとばかり、シンジを同乗させたエヴァ弐号機で、初めての使徒戦、それも水中戦に挑み、勝利する。ひと足先にネルフ本部に到着した加持は、ゲンドウに依頼されていたモノを渡す。それは「アダム」と呼称される胎児のような生き物だった。

**ドイツのビルヘルムスハーフェンを出港し、一路日本へと向かうEVA弐号機と、そのパイロット。突然の使徒襲来は、起動した弐号機に初の水中戦闘を強いる。**

◆ある夜、寝ぼけたアスカを自の前に ミノノまトキトキノ

◆トウシとケンスケが撮影したアスカの写真 2人はこれらを学校の男子たちに売りつけ、金もうけをする

◆やっつけた！と思いきや、2体に分離する使徒。この後、エヴァ2機とも、フサマな姿をさらすはめこ

◆2機のダブルキックか、みごと使徒の光球に炸裂!!

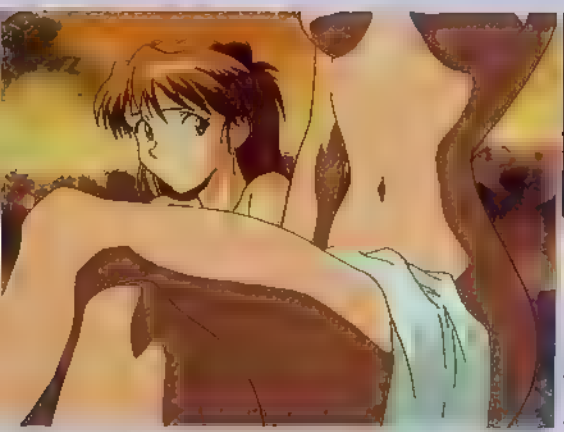
## 第九話

# 瞬間、心、重ねて

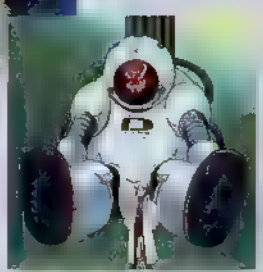
*Both of You, Dance Like You Want to Win!*

シンジたちと同じ中学に通いはじめたアスカは、一躍男子たちの人気者になっていた。そして、加持もネルフに残ることとなった。そんなとき、第七の使徒・イスラフェルが出現。弐号機の一撃で倒されたかに思えたイスラフェルは2体に分離し、エヴァ2機とも「犬神家の一族」のようにブザマにやられてしまう。再戦に向け、完璧なユニゾンを目指して同居させられるシンジとアスカ。なかなかうまくいかないアスカに対し、レイはなぜか一発でシンジと同調する。雪辱に燃え、必死の特訓を積んだアスカは完璧なユニゾンを達成。再戦に挑んだ2人は作戦を成功させ、使徒は爆発する。

**心がてんでばらばらのアスカとシンジは使徒にこてんぱんにのされてしまう。ミサトは2人の完璧なユニゾンを目指し、一計を講じた。**



◆浅間山地震観測所から異常の報告された、火口内の映像を見つめるマヤ、リツコ、冬月、青葉



◆作戦を任されたことで得意になるアスカを待っていたのは、とんでもなくカ、つ悪い弐号機の姿だった

◆使徒を倒した後、立ち寄った温泉で、ミサトの胸の傷跡に気づくアスカ「知ってるんでしょ、私のこともみんな」ポツリとつぶやく

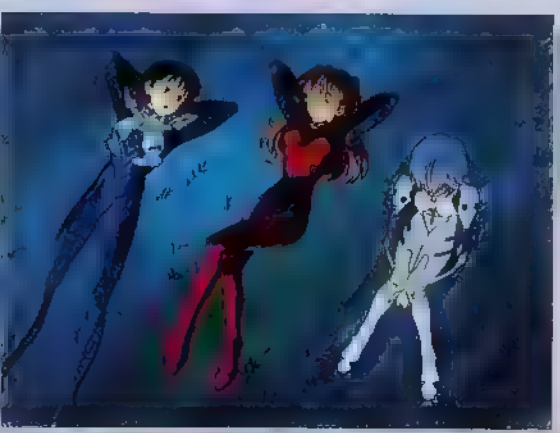
## 第拾話

# マグマダイバー

*MAGMADIVER*

浅間山火口の中で、まだサナギ状態の使徒が発見された。それに対し、ネルフは初の先制攻撃 ―使徒の捕獲作戦を行なうことにする。作戦遂行にはアスカが任命された。火口内の猛烈な熱さに苦しみながらも、サナギのキャッチに成功したアスカだが、回収途中にサナギが羽化。第八の使徒・サンダルフォンが誕生してしまう。プログナイフでは歯がたたない強固な敵に、アスカは熱膨張の原理を利用。何とかせん滅に成功する。しかし、ケーブルが切れて沈んでいく弐号機。そのピンチを救ったのは、通常仕様のままマグマに飛び込んできた初号機、シンジだった。

**羽化直前の使徒が眠る浅間山火口。ネルフは初の捕獲を試みる。量産仕様のEVA弐号機が灼熱の地獄へ挑む。**



◆リーターシップをとりたいアスカは、先導するレイに突っかかる

◆弐号機かディフェンスをし、零号機か落ちたライフルを拾って度し、初号機が撃つことになる

◆戦闘を終え、虚空を見上げる3人

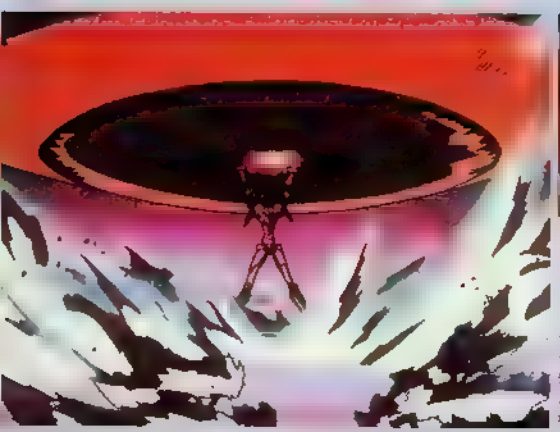
## 第拾壱話

# 静止した闇の中で

*The Day Tokyo-3 Stood Still*

ネルフ本部が理論上あり得ない停電に見舞われた。ネルフの回線を探ろうとした人間が故意にやったことらしい。折りも折り、第九の使徒・マトリエルが襲来！ ネルフ本部はゲンドウの提案により、人力によるエヴァ出撃準備を進める。一方、第3新東京市から徒歩で本部を目指していたシンジたちも、通りかかった日向の拡声器による警報で、使徒の襲来を知る。やっとの思いで本部に到着した3人は、さっそく出撃。だが、マトリエルは本部への直接侵入をはかって、エヴァの出撃カタパルトから強力な溶解液をしたたらせて来た。そこで、アスカがコンビネーション作戦を立案。迎撃に成功する。

**ネルフをこころよく思わない人々が、第3新東京市すべての電源を止める。近代設備が何も動かないネルフに使徒が迫る。**



◆セカントインパクト時、14歳のミサトの命を救ったのは、家族から逃げてばかりいた父親だった

◆エヴァの配置はミサトの"女のカン"で決定。ミサトのクシ運のなさを知るシンジたちは不安げ

◆使徒を受けとめる初号機 大気が歪み、衝撃波が起こる このときの衝撃により、初号機よも破してしまう

## 第拾弐話

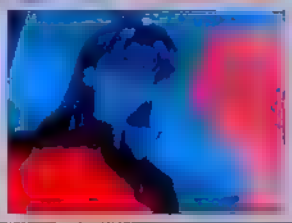
# 奇跡の価値は

*She said,"Don't make others suffer for your personal hatred."*

かつてない巨大な使徒・サハクィエルが衛星軌道上に出現した。使徒が本体ごとネルフ本部へ落下してくると予測され、ゲンドウ不在の中、ミサトはエヴァ3機でそれを受けとめるという作戦を命令する。成功の確率はほとんどない。シンジはスタンバイしながら、ミサトのネルフに入った理由「父の呪縛から逃げるために」ということばを思い出す。そして、使徒は降臨してきた。3体のエヴァはATフィールド全開でそれを受けとめ、奇跡を起こすことに成功。闘いを終え、父・ゲンドウにその活躍をほめられたシンジは、その夜、自分がエヴァに乗る理由を見つけたような気がした……。

**使徒せん滅に己の業をぶつけるミサト。そして語られる過去。だが、成層圏より飛来する最大の使徒は、人々に希望を捨てさせた。**

←シミュレーションプラグテストのため、何度もボディークリーニングを受け、全裸になった3人



←模擬体を嬉しく見つめるミサト。リツコは模擬体からプラグを緊急射出させる

←間一髪のところで危機を回避したリツコ。マギ内部に母が貼りつけていた大量のメモ書きがプログラミングに役立った

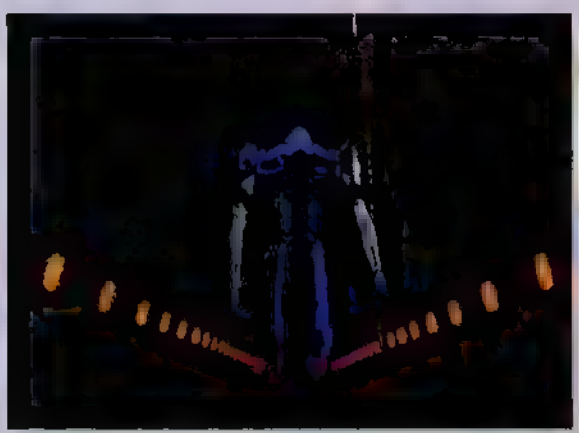
## 第拾参話

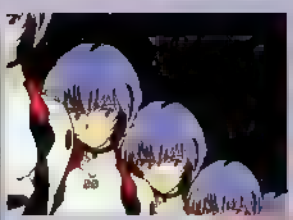
# 使徒、侵入

*LILLIPUTIAN HITCHER*

シミュレーションプラグのテスト中に、事件は発生した。ネルフ本部内へ初めて侵入する使徒！　それは細菌サイズの使徒・イロウルだった。次々に汚染されていくシグマユニット。使徒は猛スピードで進化を続け、遂にマギへの侵入を開始した。マギのコンピュータ3基のうち2基まで乗っ取られたリツコは、進化を促進させ、その終着点である〝自滅〟へ導く作戦を提案。作戦は間一髪で成功する。いつもは自分のことを語らないリツコだが、この日ばかりはミサトに母のことを話す。マギの3基にはリツコの母の、科学者、母親、女としての人格が分けて移植されていたのだった。

**シミュレーションプラグの実験中に起こった事件。次々と侵されてゆく地下施設。ついに自爆決議を迫られるネルフ。**





←初号機のエントリープラグの中で、レイは「自分とは何なのか？」と自問自答する

←暴走した零号機を目の前にしながら、レイは驚くこともなく冷静にその光景を見つめている

←ケントウの言う「アダム計画」のため、零号機を動かすレイ。それはあくまで秘密裏のうちに行なわれていた

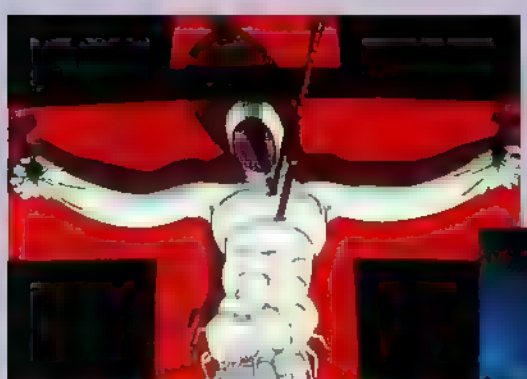
## 第拾四話

# ゼーレ、魂の座

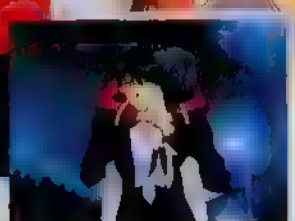
*WEAVING A STORY*

イロウルのネルフ侵入を疑う委員会は特別召集会議を開き、ゲンドウを問いただす。しかし、ゲンドウはそれを否定した。そのころ、ネルフ本部ではエヴァ同士の機体相互互換試験が行なわれていた。レイと初号機のシンクロには問題はなかったが、続くシンジと零号機の試験では、エヴァが暴走。それは零号機からシンジへの精神汚染が原因だった。レイたちのいる制御室のガラスを殴り続ける零号機。その様子を見ていたミサトは、零号機がレイを殺そうとしたのではと疑念を抱く。一方、リツコは零号機が殺りたかったのは自分だと確信する。気絶から目覚めたシンジはあの天井を見つめていた。

**ネルフ、そして人類補完計画を裏で操る秘密結社ゼーレ。碇司令の行動は、その死海文書の実現に違いないのか。**



←廃屋で中年の婦人から、マルトゥック機関の調査報告を受ける加持。組織の実体は依然つかめていない



←ターミナルドグマの十字架にはりつけにされていたアダム

→結婚式後に寄ったバーで泥酔したミサトを、おぶる加持

←シンジの母・碇ユイの墓。シンジがケントウと2人でこの場所を訪れたのは、実に3年ぶりのことだった

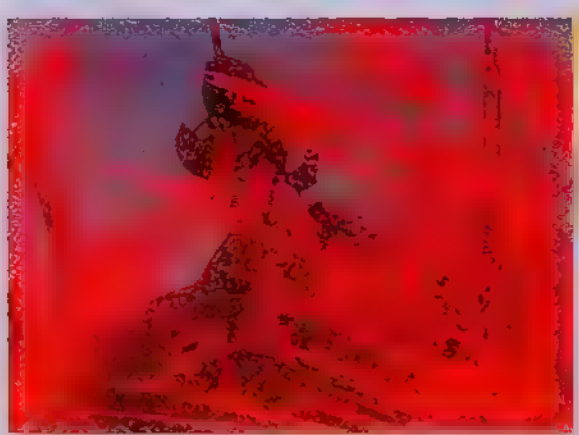
## 第拾伍話

# 嘘と沈黙

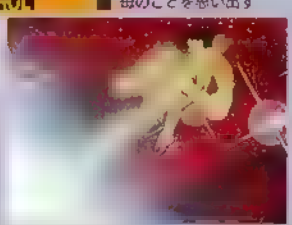
*Those women longed for the touch of others' lips, and thus invited their kisses.*

京都で連絡員と接触する加持。その目的はネルフの内偵だった。次の日、シンジはゲンドウと母の墓参りに、アスカは義理デートに、ミサト、リツコ、加持は友人の結婚式に、と別行動をとる。ミサトは泥酔し、自分の弱さをさらけだした。そんなミサトに唇を重ねて黙らせる加持。一方、アスカも、戻らないミサトたちに、自分の恋の終わりを感じとったのか、いたずらにシンジとキスをしていた。翌日、ミサトは加持の内偵活動の現場を押さえる。ミサトは、加持が内務省調査部所属のスパイであることを知っていたのだ。そして、加持がさぐろうとしていたもの、アダムを目撃し、衝撃を受ける。

**友人が次々と結婚していく中、ひとり焦りを感じるミサト。果たして、加持との再会は彼女に与えられたラストチャンスなのか。**



←シンクロテストで好記録を出したシンジをたたえるミサト。シンジに負けたアスカは悔しがる



←生命維持モードの制限時間が限界に達する直前、幻に包まれたシンジは、母のことを思い出す

←ブチ破られた使徒が血しぶきをあげる中、地球する初号機。その姿はレンジでさえも、驚愕せしめた

## 第拾六話

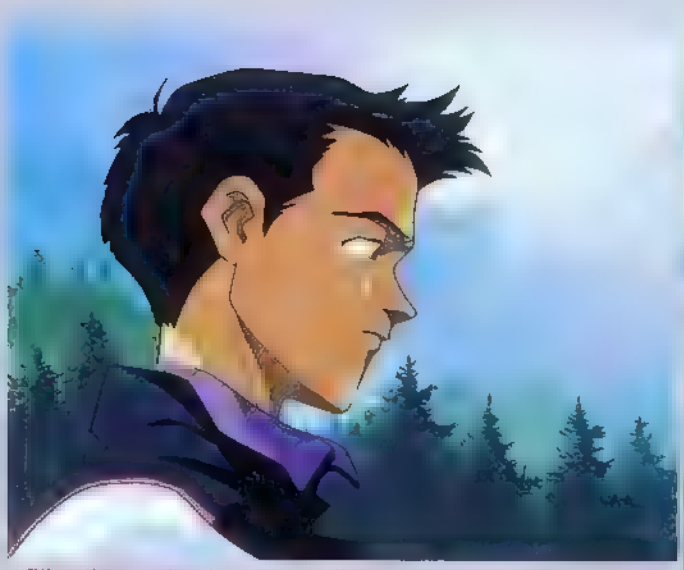
# 死に至る病、そして

*Splitting of the Breast*

シンジがシンクロテストで最高値を出した。そんなとき、第3新東京市上空に使徒・レリエルが出現。調子に乗って独断先行したシンジは、影と思われていた使徒本体に取り込まれ、その中でもうひとりの自分と向き合う。そのころ、外ではミサトたちがシンジの救出法を模索していた。パイロットの生死より初号機の機体回収を優先させると唱えるリツコに、ミサトはネルフへの不信感を強める。だが、生命維持モードが限界を迎えた時、シンジを母の幻影が包み、初号機は上空に浮かぶ使徒の球体部分を破って脱出した。その豪傑な姿に呆然となるアスカたち。ともあれ、シンジは九死に一生を得た。

**増長したシンジは、ディラックの海にとり込まれてしまう。残されたわずかな時間が、彼に絶望を教える。**

## 第拾七話
# 四人目の適格者
*FOURTH CHILDREN*



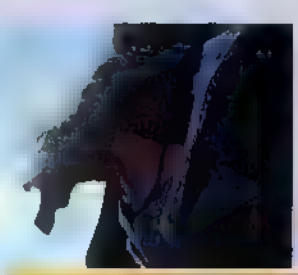
♠シンジたちが帰ったあと、レイは生まれて初めて口にした感謝のことばを、胸の中でくり返す
♦加持の育てたスイカ畑を見て驚くシンジ

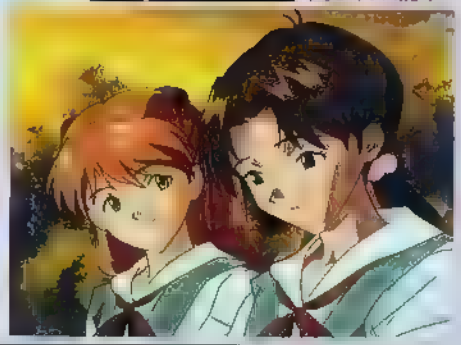
♠昼休みに校長室へと呼ばれたトウジは、そこで自分がフォースチルドレンに選ばれたことを知る

トウジの妹はまだ入院生活を送っている。足しげく面会に出向くトウジは、病院でも妹思いの兄だと評判だった。一方、ネルフには驚くべき連絡が入る。北米大陸のネルフ第二支部が、エヴァ4号機とともに消滅したというのだ。そして、米国で開発中のもう一体のエヴァ、すなわち3号機をネルフ本部で引き取ることが決定。ダミープラグによる起動はまだ不完全なため、さっそくテストパイロットとして4番目の適格者がピックアップされる。そのパイロットを知り、困惑するミサト。一方、週番のトウジはシンジをつき合わせて、レイの部屋へプリントを届けに行く。散らかった部屋を片づけるシンジを見て、以前に比べてシンジに余裕が出てきたと感想を述べるトウジ。そこへ帰宅したレイは生まれて初めて「ありがとう」という感謝のことばを漏らす。あまりにもタイミングよくフォースチルドレンが見つかったことに、何か裏があるとにらむミサト。詰め寄られた加持は、マルドゥック機関は存在せず、陰で操っているのはネルフそのものであることを告げる。そのころ、トウジは校長室に呼ばれていた。

**アメリカで建造中だったEVA4号機が、ネルフ第二支部ごと消失する。この事件が、新たなEVAパイロットを選出させる。**

## 第拾八話
# 命の選択を
*AMBIVALENCE*





➡3号機のブラクでは使徒の粘菌がまとわりつき、射出もできない
⬇初号機のモータープラグから運び出されるトウジの姿が映る

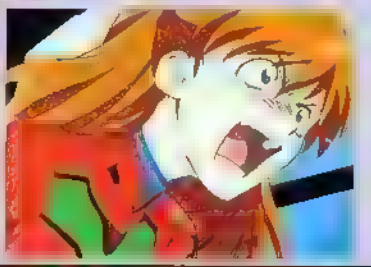
⬅巨人機で輸送されてきたEVA3号機。輸送途中に通過した積乱雲の中で、すでに使徒に寄生されていた

⬇トウジに対するひそかな思いを告白するヒカリ。相談を受けたアスカは、自信のなさそうなヒカリを励ます

トウジの様子がおかしい。いつもとどこか違うのだ。心配するシンジたち。また、シンジはエヴァ3号機のパイロットが誰なのかも気になっていた。一方、アスカはトウジがパイロットだと知っているため、不愉快極まりない。そんなアスカに、ヒカリは自分のトウジへの想いを告白する。そして、3号機の起動実験が始まった。だが、3号機は第13使徒・バルディエルに乗っ取られてしまう。大爆発を起こす松代実験場。使徒に操られてコントロールを失った3号機を迎撃するため、3機のエヴァが出動する。しかし、零号機、弐号機は黒いエヴァンゲリオンに敗退。残るシンジは、3号機に搭乗しているパイロットを気遣って攻撃できない。追い込まれた初号機に、ゲンドウは強制的にダミープラグの切り替えをほどこす。ダミープラグの攻撃は圧倒的なものだった。自分の乗ったエヴァに無残に破壊されていく3号機を見て、呆然となるシンジ。初号機を停止させようと必死になるが、それはまったくの無力だった。そして、やっと初号機が停止し、3号機のパイロットがトウジだと知ったシンジは絶叫する。

**アメリカから、起動実験のためEVA3号機が松代に届く。人々は明日の惨劇も知らず、最後の日常を謳歌していた。**

## 第拾九話
# 男の戦い
*INTROJECTION*



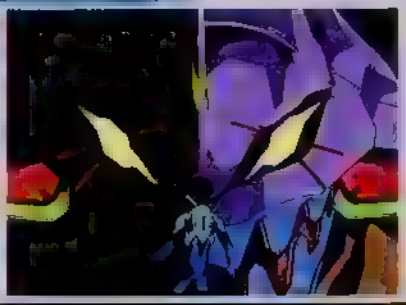
♠使徒を取り込んで一体全体が肥大してゆく初号機。表面を覆っていた装甲からつぎつぎとはじけ飛んでゆく

♠ケンスケのもとから立ち去ろうとするシンジ。その背中に「また逃げるのか」という声がかかる
♦頭部を切断された弐号機で使徒に突進するアスカ

⬅ネルフ本部にまで侵入した使徒に対して、必死でとびついてゆくシンジ。左腕を失ったなかにも、取っ組み合いは続く

ついに感情むき出しで怒りを表すシンジ。エヴァ内部で抵抗を試みるが、あっさり強制排除されてしまう。みずからエヴァから降りることを決意し、第3新東京市を後にしようとするシンジ。そこにミサトはシンジの積極的な意思を感じとっていた。そんなとき、かつてない圧倒的な強さを誇る使徒・ゼルエルが襲来する。出撃したアスカの弐号機はたちまち惨敗。レイは零号機でN²爆弾による特攻までも試みるが、ダメージさえ与えることができない。シンジは加持とその様子を目撃していた。加持から、このままではサードインパクトが起きると聞いたシンジは、初号機のもとへ走る。そしてついにみずからの意志でエヴァに搭乗。発令所のミサトの眼前にまで迫った使徒を地上に引きずり出すことに成功するが、そこで活動限界がきてしまう。ゼルエルは初号機の胸部を執拗に攻撃。そこからは使徒と同じ赤い光球が出現した。絶叫し続けるシンジにエヴァはなぜか再起動する！　シンクロ率は400%を超え、圧倒的な力で使徒をねじ伏せるエヴァ！　そして、信じられないことにエヴァは直接、使徒を喰い始める。

**シンジはついに、みずからの意志でEVAを降りる。しかし、彼に関係なく侵攻する最強の使徒が、次の惨劇を生むのだった。**



●回収された初号機には包帯状のものが巻きつけられ、その上からゼーレによる封印が貼りつけられている
●プラグ内をたたようシンジは、初めてEVAと出会ったときのことを思いだす
●失敗かと思われたサルベージ計画。そのとき、号泣するミサトの前に、裸のままのシンジが排出されてくる

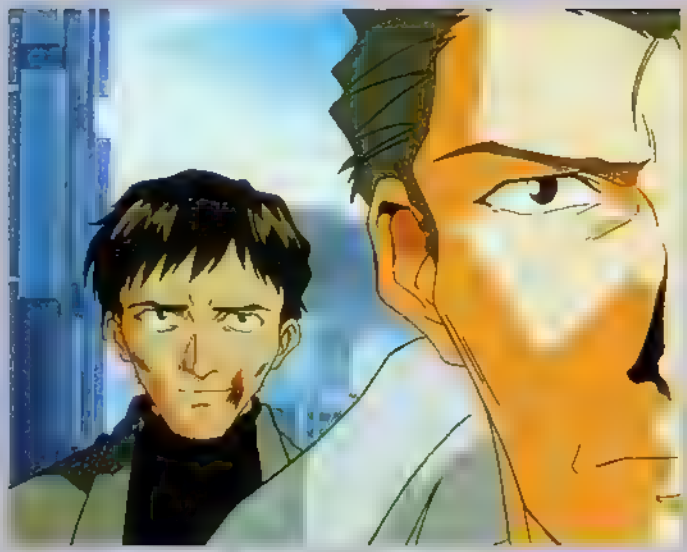
## 第弐拾話

# 心のかたち人のかたち

*WEAVING A STORY 2: oral stage*

ゼルエルとの闘いを終えたエントリープラグ内には、シンジの姿はなかった。シンクロ率400%の正体、それはシンジとエヴァの融合であった。再び自分の自我と向かい合っているシンジ。リツコたちはシンジのサルベージを計画するが、その計画はすでに10年前に一度実行され、失敗しているという。だがついに計画は実行に移され、今回も失敗に終わる。からっぽのプラグスーツを抱きしめ号泣するミサト。そのころ、シンジは自分が生まれる前の両親の会話を聞いていた。そして、羊水の海のような中を泳いでいたシンジの前方には光が輝いて見え…。ついに号泣しているミサトのもとへシンジは帰ってきた！　その夜、ミサトは場末のホテルで加持と会っていた。加持はベッドの上で、ミサトに何かのカプセルを渡す。

**EVAの覚醒により、人類は救われる。だが、シンジは取りこまれ、物理的融合してしまう。失敗する後のサルベージ。号泣するミサトが見たものは?**



●傷害事件を起こしたケントウは、自分の身元引き受け人として、一面識もない冬月の名をあげる

●ユイの死後、ゲントウが連れてきた子供。それがレイたった。ユイそっくりの顔を見て驚くナオコ
●加持は自分の死を予感し、暗殺者を待っていた

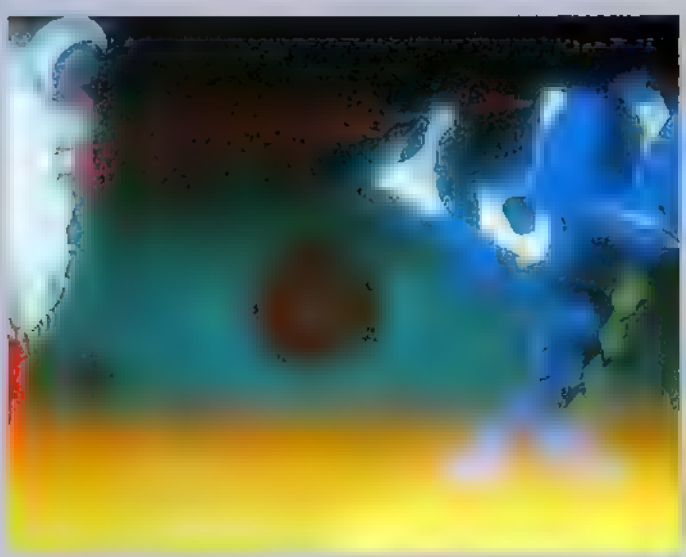
## 第弐拾壱話

# ネルフ、誕生

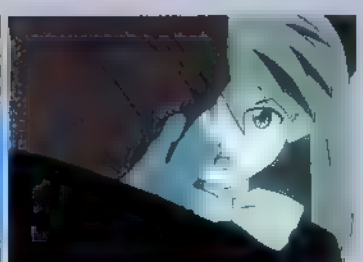
*He was aware that he was still a child.*

ミサトのもとにネルフ諜報部員が訪れ、彼女を拘束する。冬月が何者かに拉致され、その首謀者が加持だと推測されるというのだ。加持を使って冬月を拉致させたのはゼーレだった。尋問をされながら、冬月は過去に思いをはせていた。1999年、大学で教鞭をとっていた冬月と学生だった碇ユイ、そして、六分儀ゲンドウ、後の碇ゲンドウとの出会い。2000年のセカンドインパクト。その後、独自にセカンドインパクトの真実を追っていた冬月は、人工進化研究所の所長となったゲンドウに再会する。そこにはユイと、リツコの母・赤木ナオコ博士の姿もあった。研究所の地下の巨大空間でアダムと呼ばれる巨人を見せられ驚愕する冬月に、ゲンドウは「オレたちといっしょに人類の新しい歴史をつくってみないか」と誘いかける。さらに、ユイの謎の死、赤木博士の自殺を経て、ネルフは誕生した……。やがて、加持が冬月を救出するが、それは彼の命取りとなってしまう。拘束を解かれたミサトは帰宅し、加持からの留守番電話で彼の死を察する。号泣するミサトに対し、シンジはその場から逃げることしかできなかった。

**ゼーレにより拉致される冬月。その脳裏を横切る過去の記憶。1999年の京都からすべてが始まった。ネルフは果たして人類の味方りうるのか。**



●セントラルトグマの最下層。アダムの体から、ロンギヌスの槍を引き抜く零号機



●母親の葬式でもアスカは泣かなかった
●使徒の放つ光に式号機が包まれたとき、アスカの心の中になにかが侵入してきた

## 第弐拾弐話

# せめて、人間らしく

*Don't Be.*

使徒に完全な敗北を喫したことやシンジへの劣等感から、シンクロ率が低下する一方のアスカ。幼いころ、実の母の自殺に遭遇して以来、ひとりで強く生きると決めていた彼女にとって、敗北は許されないのだ。そんなとき、衛星軌道上に十五番目の使徒が出現する。ミサトはレイのフォローに回るよう、アスカに命じるが、それはアスカのプライドが許さなかった。独断で先行するアスカに、使徒・アラエルは精神攻撃を仕掛ける。それは今の彼女にとって、もっとも大きいダメージを受ける攻撃だった。精神波長を探られ、幼少時の触れられたくない記憶をのぞかれ、泣き叫ぶアスカ。零号機の大出力ポジトロンライフルも、ATフィールドに弾かれ効果がない。そこでゲンドウは残された最後の手段、ロンギヌスの槍の使用をレイに命令。零号機の投げた槍は宇宙空間まで達し、ATフィールドごとアラエルをつらぬく。使徒は消滅した。だが、心を犯されたうえに、もっとも助けてもらいたくない相手に助けられたことで、アスカのプライドは完全に崩壊してしまった……。

**シンジに負けたことで、精神の落とし穴に落ちこむアスカ。さらに使徒の放つ精神攻撃が、彼女の心にとどめをさす。シンジはアスカに、なぐさめのことばをもたなかった。**

◆自分のシンジに対する欲求か　使徒の攻撃となって初号機を襲う　レイは瞬時にそれを悟った

◆レイの無事を知って、病院にかけつけたシンジ。たか　レイまるで別人のようだった

◆セントラルドグマの最深部にある実験場　その水槽の中には、レイと同じ顔をした多数の物体が浮かんでいた

## 第弐拾参話

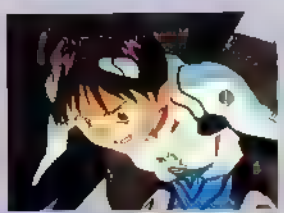
# 涙

*Rei III*

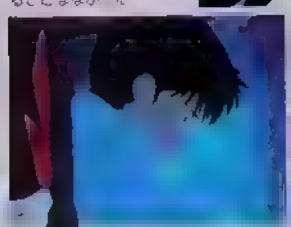
第十六番目の使徒・アルミサエルが襲来。零号機で出撃したレイは、接触してきた使徒によってその体を侵食されてしまう。だが、アスカはどうしても弐号機を動かすことができない。凍結が緊急解除された初号機で救出にむかうシンジ。そのときレイは、使徒が自分の願望によって制御されていることに気づく。シンジをかばうため、自爆の道を選ぶレイ。そして第3新東京市を包みこむほどの大爆発が起こり、使徒とともに零号機は消滅した。しかし、レイはふたたびシンジの前に姿を現わす。ゲンドウに裏切られたリツコは、不審に思うミサトとシンジに、衝撃の事実を語るのだった。

**使徒にとりつかれ、犯されていく零号機。その侵食からシンジを守るため、レイはみずからの死を希望する。第3新東京市とともに光と熱となり、彼女は消えた。**

◆カヲルに裏切られたと思ったシンジは、くやしさに高ぶる感情のままにカヲルを追いかけてゆく



◆カヲルは死を望んでいたというミサトのなぐさめにも、シンジの苦悩は軽くなることはなかった



◆追いかけてきた初号機とシンジを見て　カヲルは微笑んだ

◆カヲルは人類補完委員会が直接送りこんできた子供たった

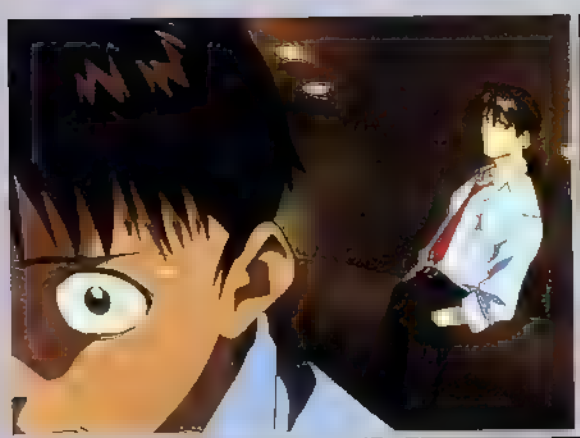
## 第弐拾四話

# 最後のシ者

*The Beginning and the End, or "Knockin' on Heaven's Door"*

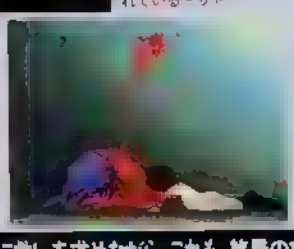
廃墟と化した第3新東京市。そこでシンジはひとりの少年と出会う。彼の名は、渚カヲル。アスカに替わるパイロットとしてやってきたフィフスチルドレンだった。カヲルに好意を感じるシンジ。だが、その正体は人型の使徒だった。アダムに向かってセントラルドグマを降下してゆくカヲル。裏切られた思いを抱えたまま、シンジは初号機でそのあとを追う。激しい闘いの末に、初号機の手がカヲルを捕らえた。そのとき、使徒であるはずのカヲルは、シンジに意外なことばを投げかける。「さあ、僕を消してくれ」と……。長い沈黙のあと、シンジは目をふせたままレバーを握りしめる。

**町が消え、友人が去り、傷心のシンジに少年が微笑む。彼のさわやかな風のような笑顔にとけこむシンジ。だが、彼らには苛酷な運命がしくまれていた。**



◆苦悩するシンジは、空想の中でレイに語りかける　しかし、レイは何も応えてはくれなかった

◆壁に血の跡を残して倒れているミサト



◆シンジが今見ているのは、誰も救われない世界　その現実を見たくないシンジは、心の奥から逃げようとする

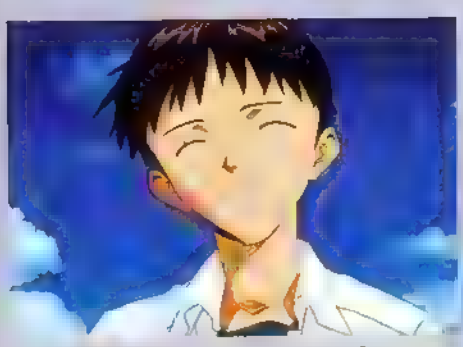
## 第弐拾伍話

# 終わる世界

*Do you love me?*

自分の手でカヲルを殺してしまったという罪の意識にさいなまれるシンジ。使徒だったから殺したのか？　カヲル自身が死を望んだからなのか？　自分はなんのためにＥＶＡに乗るのか？　みんな他人のために闘っているのか？　さまざまな疑問がシンジの心にわきあがる。プライドを失ったアスカは、心を閉ざしてしまった。ミサトは幼いころの心の傷に目をふせたまま生きている。彼女たちはなにを望んでいるのか。そしてレイもまた、自分の中の自分との討論を続けていた。そんな彼女をゲンドウが迎えにくる。「今日、この日のためにお前はいたのだ」と……。そして、人類の補完が始まる。

**最後の使徒は消えた。だが、シンジは苦悩する。そして、ミサト、アスカも心を吐露する。人々に救いを求めながら、これも、終局のひとつの形であることを認めながら。**



そして、全ての子供達に
おめでとう

◆祝福され微笑むシンジ　それこそが補完されたシンジの姿だった

◆シンジの世界が広がったとき、その周囲にはたくさんの友人や知人の姿があった

◆トーストをくわえたまま走るレイ　ある世界では、彼女もまったくふつうの少女だった

◆キャグマンガのようなタッチで描かれるアスカの顔　これもまたひとつの世界

## 第弐拾六話

# 世界の中心で
# アイを叫んだけもの

*Take care of yourself.*

人類が失ってしまったモノ。それを取り戻すこと、すなわち補完。ときに西暦2016年、人類補完計画は遂行された。そして、シンジの心の補完について語られる。シンジの心の中にいる、現実とはまったく別のシンジたち。ＥＶＡなど存在しない、平和な日常が営まれている世界。それもまた、シンジの可能性のひとつだった。それに気づいたシンジは、自分の拒否した現実も悪くないかもしれないと思う。そのとき、シンジをとりまく世界が広がった……。

**終局。それは始まりのあとに、必ず訪れる。私たちの願いは、破滅へと連なるのか。私たちの希望は、死そのものなのか。**

# 【NEON GENESIS MOVE!!】

企画書

NEON GENESIS EVANGELION

極秘

TVアニメーションシリーズ

新世紀エヴァンゲリオン（仮題）

企画書 TOP SECRET

GAINAX

1

時に、西暦2015年

生物として、もはや進化の行き詰まった人類を救世すべく
発動した「人類補完計画」
その計画を阻止すべく襲来する、正体不明の巨大戦闘兵器群
『使徒』

『天使』の名を冠する彼らは、果たして
『神々の使い』なのであろうか？

『使徒』に抵抗できうる巨大な力を手に入れるべく、人類は
汎用人型決戦兵器『エヴァンゲリオン』を開発
１４年後の今、すでに３体を実用化していた

だが、『エヴァ』の操縦を人々は
『１４歳の少年少女達』に委ねざるを　得なかったのである

人類の存亡を背負う少年たちの戦いが　今　始まる

| | |
|---|---|
| 仮　題 | 新世紀　エヴァンゲリオン<br>NEON GENESIS EVANGELION |
| 種　別 | ＳＦアクション巨大ロボットアニメ　ション |
| 形　式 | 毎回３０分<br>全２６話　２クール１予定 |
| 視聴対象 | 小学生　中学生を中心に家族一般 |

| | |
|---|---|
| 企画・原作 | ガイナックス |
| キャラクター・デザイン | 貞本義行 |
| メカニック・デザイン及び<br>コンセプト　デザイン | 山下いくと |
| 脚本・監督 | 庵野秀明 |

2

## 企画意図

### 巨大ロボットアニメの魅力とは？

「巨大ロボットアニメ」は、子供たちの潜在欲望の現れであります。
つまり「巨大ロボットアニメ」とは
子供達の持つ色々な
抑圧やコンプレックスの投影　抵抗の手段　代償行為なのです。
大人達は　人が生きることのつらさ　を知っています。
と　同時に、「人が生きることのおもしろさ」をも知っています。
生きるために　闘え（嘘）だとわかっていても
正義と愛　という〈夢〉や〈希望　が必要なのだ　と知っています
私たちはアニメーションという表現手段の特色　つまり
全てが人の描いた「嘘」であるという世界観を生かしたこと　により
子供達に虚構と現実との区別もなく　ピュアに伝える　ことができるのです。
それが　巨大ロボットアニメーション」の持つ最大の魅力です。

本企画は、この原点にさかのぼって
本来の「巨大ロボットアニメ」の魅力を
新たに掘り起こす点にテーマを絞りこんでいます。

3

## 時は、近未来 西暦2015年
## 舞台は、要塞化された
## 計画都市 第３新東京市

第２次遷都計画に従い建設中の関西圏　第３新東京市。
美しい緑の山林に囲まれた　旧市街と高層都市の並ぶ計画都市である。

だが、この街は来るべき人類の敵、使徒の襲来に備え
要塞都市化されていたのだ。
街の至る所には、監視網システムの充実　対使徒用防衛設備や
重火器等の配備は云うに及ばず　巨大人型兵器用の特殊設備までも、
配備されてる。

その地下深く、秘密裏に造られたジオフロント（大深度地下都市）
人工進化研究所
人類の未来を担う人達が集められ、この地にて極秘に進められていた。
この特殊な街を舞台に、物語は語られていく。

6

## ストーリー・ドラマ的な見せ場

### 謎解きのおもしろさ

[illegible]

### ゲーム感覚的なおもしろさ

[illegible]

### ビジュアル的な見せ場

[illegible]

本企画では　今までのアニメに無い
「カッコいいリアリティのある戦闘画面」を目指します。

5

## 全体を通してのテーマ

### 主人公はどこにでもいる、ごく当たり前の少年

[illegible]

今　自分は何をなすべきか？　という　ことを　です。

### 主人公は「子供以上、大人未満」

[illegible]

「自分の感性で生きること」とは何かを感じ取ってほしい、と思っているのです

4

## 『エヴァンゲリオン』の特徴

神経自在な金属質の人工筋肉により　人間と同様に動くことが可能。
動作の反応速度そも　搭乗者が自由に選ぶことができる。

本体である　骨格と人工筋肉で覆われた「装甲」に、
汎用性のある各種「装甲服」や「特殊装備」を着せることにより
多目的な使用が可能。
つまり　ヘルメットをかぶりグローブを装着する　巨大ロボットである。

通常は有線による電力供給によって稼働しているが、
非常時には内部電源に切り換えられる。
同時に　有線装置の問題から約１分しか動かないという弱点を持つ。

後に初号機は、改良され「無電子警報」を装着するが、そのシステムも
不安定なため多額の費用を要す。

残念ながら　自力での飛行は不可能。

なお劇中では、数体の『エヴァンゲリオン』同型が、
存在。
（第１話終了の時点では既不の通り）

零号試作機　先の戦闘により中破。修理は断念。
初号試験機　第１話にて初起動に成功　その後弐号に実戦。
弐号実験機　佐世保より国連軍所属の亜号にて移動中。最終調整済み。

３号実験機　米国某所にて建造中。
４号試験機　欠番。爆発事故により消失　建造中止。
５号実験機　秘匿某所にて建造中。
６号量産機　以下　2016年より順次予定。



## 迎撃するは、人の生み出した究極の大型兵器『EVANGELION』

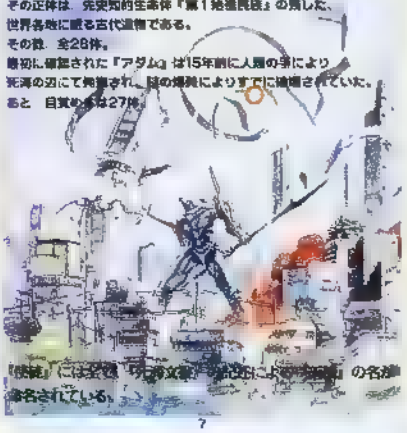
正式名称
汎用人型決戦兵器『エヴァンゲリオン・試作型』

本編の主役級メカニック群。
それは、全長約40メートルの万能巨大人型兵器。
予測される『使徒』の襲来に備え　特務機関『ネルフ』を中心に
[redacted]た。
実用化までに、天文学的な経費と14年の歳月を費やしている。
現在　人の造り出すことの出来うる　最強の通常兵器。

■

## 敵は、『使徒』（アポストロ）と呼称される、正体不明の巨大戦闘兵器群

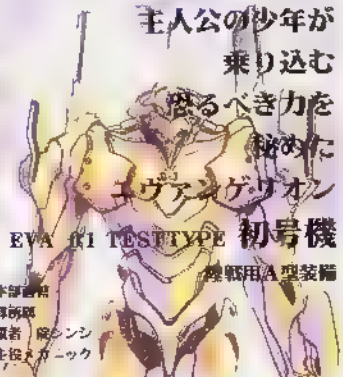
様々な形態を有し　様々な科学的特異能力を持ち、
人類に迫る謎の物体『使徒』。
その正体は、先史知的生命体『第１始祖民族』の残した、
世界各地に眠る古代遺物である。
その数　全28体。
最初に確認された『アダム』は15年前に人類の手により
死海の辺にて発掘され、謎の爆発によりすでに破壊されていた。
あと　自覚めるは27体。



『使徒』には全て「ヘブライ文字」が記されており「○○」の名が
命名されている。



## これが主人公の少年が乗り込むべき力を秘めた エヴァンゲリオン EVA 初号機 TESTTYPE 初号機 接戦用A型装備



ネルフ本部直轄
第１部隊所属
専属操縦者　碇シンジ
本編の主役メカニック

第１話にて初起動に成功。
その後は、敵相を負いながら多勢に来る使徒を神罰、弐号機
や弐号機と共に、次々と撃退してゆく。

ただ、第１３話にて大破し
改造され現　使徒から回収した
「無電子装甲」を搭載する。

この機体には　建造者の秘密と
真の目的が隠されている。



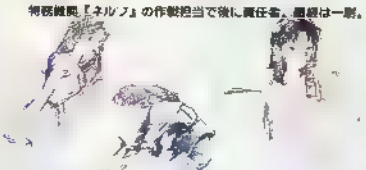
## 操縦者は「マルドゥックの報告書」により選ばれた、３人の少年少女

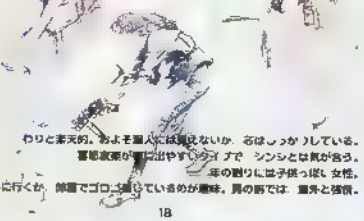
『エヴァンゲリオン　　ヴァと接触者との精神接触を、
主として行われ
そのため
操縦者候補

ルドゥック機関」にて実施される新精神汎動の
上記づき　　　

## 葛城ミサト１尉
## ２９歳　女

シンジの直接の上司、というよりは保護者的なお姉さん
特務機関『ネルフ』の作戦担当で強い責任者、階級は一尉。



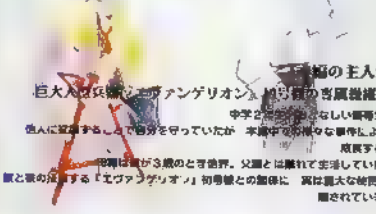


やりと楽天的。あよそ軍人には見えないか、おはしっかりしている。
喜怒哀楽が顔に出やすいタイプで　シンジとは気が合う。
年の割りには子供っぽい女性。
飲みに行くか、部屋でゴロゴロしているのが趣味。男の影では　意外と強情。

18

## 主な登場人物紹介

## 碇シンジ　１４歳　男



この物語の主人公
巨大人型兵器『エヴァンゲリオン』初号機の専属操縦者
中学２年生。おとなしい優等生。
他人に接近することで自分を守っていたが　本編中での様々な事件により
成長する。
母親は　彼が３歳のときに事故死。父親とは離れて生活していた。
彼と彼の成長する『エヴァンゲリオン』初号機との関係に　実は重大な秘密が
隠されている。

17

## ネルフ本部　組織図

最高司令官兼　碇ゲンドウ（研究所所長兼務）
副官　冬月コウゾウ　監察官　氏名不明

ネルフ本部　内部部局

技術部　管理局（一課：人事　二課：総務
三課（庶務）四課（会計）
技術作戦部　作戦局　課（以下不明）
科学調査分析部　調査局　一課～三課まで確認済
技術開発部（実験を含む）　技術局（一課：エヴァ装備担当
二課：航空工学担当
三課（電磁兵器化学担当）
四課（情報処理担当）
諜報部　諜報局　一課（広報
二課　不明）四課　不明）
保安諜報部（保安企画課、保安係、調査係、計画不明）
特務部（大半は第２研究所に出向）
特殊監督部（研究所施設警備責任）
製作部　外部に対する警察権も有する）

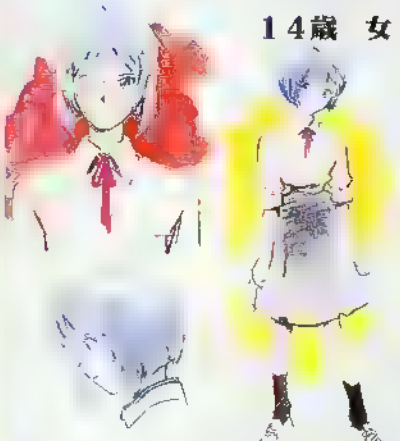
直轄機関　第１研究所（所在地不明）　付属機関　富士試験場
第２研究所（所在地イ明）　（静岡県第３新東京市
伊代伏特区
芦野湖松代市）

エヴァンゲリオン直轄部隊（支援部隊を含む）

第１次整備計画では　研究所整備が最優先とされているため
現在実戦配置されている　唯一の主力エヴァ部隊を保有している。
だが　保有する基体が予備を含め３体　操縦者２定数ギリギリのため
しかいないため　本来、中核となるべきエヴァ部隊は　残念ながらまだ
第１小隊のみの運用となっている

16

## 綾波レイ
## １４歳　女



巨大人型兵器『エヴァンゲリオン』弐号機の専属操縦者
初期段階におけるゲガのため　当初は地上勤務。
アスカと同様に特殊教育　訓練されている。
陰険で無口。感情の乏しいエリート。
人を「好き」になることによ）　初めて感情や愛情というものを覚える。
彼女の出生にも、重大な秘密が隠されている。（真相は不明）

21

## 惣流・アスカ・ラングレー
## １４歳　女

巨大人型兵器『エヴァンゲリオン』弐号機の専属操縦者
開発当初から専属操縦者として特殊教育・訓練されている。
立場上かな）の実力ぴを誇いられている　最新な女の子。
ゲームが趣味。負けず嫌いで　勇ましい。暗一　加持にはあこがれている。
日本とドイツ系アメリカ人とのクォーター。
両親の母親が離婚に狂中。（父親とは死別）
転校後は　シンジのクラスメイトでもある。

20

## 赤木リツコ博士
## ３０歳　女

巨大人型兵器『エヴァンゲリオン』開発チームの責任者
理知的でクールな女性。
ミサトとは学生時代からの付き合いでゲンカ友達。年相応にしっかりした女性。
酒豪とバンクロックが趣味。煙を持っている。男の前では　強気と寒温、
複数役を理解しているただ一人の女性。

## ドラマ及びストーリー展開
## （全２６話）

第１話（再会する人々）

のんびりと袖後の山間部を行く２両編成の電車。
車内には主人公の少年、碇シンジの姿があった。
彼は父親に呼ばれ　第３新東京市に向かっていた。
が　突然急停車する車両。
山、木宣する警報音
全市、発令される非常事態。
山間から姿を現す　２体の巨人。
降車したシンジの目前で繰り広げられる巨人同士の格闘戦。
彼を迎う　葛木ミサトの登場。
戦闘よ　謎多な巨人『エヴァンゲリオン零号機』が
かろうじて敵を撃退、　収容される。
新し成降しい　先兵的な巨人『使徒　ラミエル』
いず"かへ回収される中破！た零号機。

ミサトの案内で街の地下深く造られた人工進化研究所へ行くシンジ。
リツコやレイとの出会い。
数年ぶりの、父親との再会。

エヴァンゲリオン初号機と対面するシンジ。
彼は、その操縦者として選ばれたことを知る。

再度上陸する謎の敵、使徒『ラミエル』。
初号機の出撃準備が進む中、
何もわからないままま父親や大人たち、狭い機械室に座るシンジ。
結果、満足　歩くことも出来ないまま　通常、出る初号機。

港湾の要塞都市　第３新東京市で対峙する２体の巨人。
その直後に人々は　自らが造り出した『エヴァ』の持つ力に　恐怖した。

24

藤原トウジ　１４歳　男

シンジのクラスメイトで親友。
眼鏡かストレートに出る熱血タイプ。
意外とスポーツは苦手　年上の女性にも弱い。父親は研究所員。姉が一人いる。

相田ケンスケ　１４歳　男

シンジのクラスメイトで親友。
軍事兵器マニアでビデオオタク。
自分の趣味のためには　いかなる犠牲もいとわないタイプ。
いささか神経質。年上の女性にかなり弱い。

洞木ヒカリ　１４歳　女

シンジのクラスメイト。
クラス委員長。努力家で地味なタイプだがいかる
赤はだが　声のおはコダマ　姉のおはノゾミ。

加持リョウジ　３１歳　男

研究所員　だが他の所員のように眼鏡も白衣ではなく
ミサトの昔の恋民、表現のには子供っぽくて
シンジの成長に多大な影響を与える。

コノラ　トロ　レンツォ　６０歳　男

国際連合環境新生所属「人類補完委員会」議長。
ネルフ監察役兼務最高責任者（本官）も兼任。
人類補完計画の本国や研究所のゼルフ設立な
この人物の努力によるところが大きい。
当初は使所長の真の協力者であったが　最近独うと目ばかりに

冬月コウゾウ　４５歳　男

ネルフ本部副指令官。
総所長の良き理解者であり協力者、無口で真意が読めない。
ミサトの様々な作戦が成功したのも彼の協力によるところが大きい。

温泉ペンギン　２歳　性

ミサトのペット
遺伝子操作により人工的に造られた動物、幼児並の知能を持つ
普段は自所の大型冷蔵庫の中に住む　肉が好き。

23

## 碇ゲンドウ教授
## ４８歳　男

シンジの実の父親。現代「人工進化研究所」所長
『人類補完計画』の張本者であり　最高責任者でもある。
常々に研究そのものに取りつかれ　目的のためには全ての手段が正当化され
デジタルな人物になって行く。
この計画の背り先には　全ての人々に真の平等をもたらす意図がある、
と信じている。
行動や言動に色々と謎の多い人物。

22

**第16話「瞳の心の中で」**

敵 襲撃され、初めて使徒と会話を交わすシンジ。
使徒の目的等 徐々に解明する

**第17話「アスカ 初デート」**

初めて避難地 行 アスカ 休日の普通なと全編 ホ ラブコメ話

**第18話「命の 選択を」**

使徒の襲略により、覚醒の兆したエヴァ3号機と戦うシンジ。彼の取る選択。

**第19話「男の 戦い」**

ジをかばい重傷を負ってしまうアスカ。
彼女"好し 男 を自覚するシンジ。エヴァ初の空中戦闘 加持の死

**第20話「ネルフ 誕生」**

第弐カ隔 エヴァ5分後
弓作戦の同型機
もを脱し、死海発見事件。ネルフとエヴァの成立所。
ンのく民の話

**第21話「せめて 人間らしく」**

南京で行う第二 戦艦を得た 作本中佐 敵の精神攻撃を受けるシンジ。
の母親の話。

**第22話「鏡と転校生」**

初号機する特急大人間達の使徒 急造された弐号機
研究所内の侵入を許してしまうネルフ。人型使徒の破壊に悩むシンジ。
明らか さ れる研究所の隠された秘密。



**第9話「瞬間、心 重ねて」**

初の本格戦闘作戦。シンジとアスカの交互 2体のエヴ よる使徒殲滅

**第10話「静止した 闇の中で」**

機能停止! ことま 研究所
落ちた 現状況開の始き
使徒襲撃へのネ ム サスペ ス

**第11話「マグマ・ダイバー」**

使徒に対し、初の攻勢を見せるネルフ。
使徒捕獲のための特殊装備で沿岸内に潜るエヴァ
初熱のマグマ内での戦闘。

**第12話「18秒の奇跡」**

第3新東京市へ接近する使徒の攻撃により、
機体破損の危機。3機目の弐号の投入

**第13話「悪夢の後に来るものは」**

精神汚染をシンジを持ち受けてのエヴァ 大破するエヴァ初号機
機体内に閉じ込められるシンジ

**第14話「死に至る病 そして」**

大破した初号機からの救出劇。極限状況での人間ドラマ
真の恐怖を知り 絶望を味わうシンジ。

**第15話「シンジ、ふたたび」**

放心状態からふたたび、自分の意志でエヴァに乗るシンジ。
大改造される初号機。



**第2話「覚知らぬ 天井」**

敵との戦闘中 制御不能となるエヴァ それが予定以上の力を発揮する。
ら の初のシンク 精神が破壊を破綻 その後のエヴァと使徒襲来に対する
人々の反 って 見知らぬ土地での知らない人達との新しい生活
迫る破局の恐怖 ミサトと の交流

**第3話「初めてのTEL」**

シンジの転校。そ で出来る、初めての親友
第3新東京市での大規模な迎撃作戦

**第4話「14歳、始まりの日」**

シンジの誕生日。息子への祝いの言葉を持たぬ、父親。
シンジを思うミサトの決意
特務機関「ネルフ」の人々のドラ 描写

**第5話「レイ、心のむこうに」**

レイとシンクの交流 巨大な力を見せる使徒の襲来。
エヴァの敗北 危機迫る 研究所。

**第6話「決戦、第3新東京市」**

人類対使徒の総力決戦。エヴァの進撃。ネルフの人達を少 理解できるシンジ

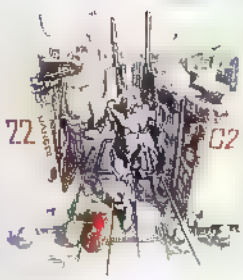
**第7話「人の 造りしもの」**

民間企業により実用化されたエヴァ以外の人型兵器
その実験機場。ネルフの苦外急

**第8話「アスカ、来襲」**

アスカとエヴァ弐号機、そして加持の登場。戦略対応大ロボット。
空母甲板上での格闘戦

地上発進口へと
高速輸送中の エヴァ
作戦に合わせた普通の日常から
発進するために 輸送用の地下
トンネルが造られている。
両側の大型パイロンを使用して
ア レールを高速移動。
トンネルは2層式で 下は高速
となっている



戦場となる第3新東京市
とれに指動されている専用ライ
フルを手に、先導車の後を追う
初号機。既に見えるのが 発進
用の大型射出機。通路はエヴァ
の肩幅を変えるため ブロック
状のア ハーになっている
"のように配置化された街の要
所要所には 各種兵器や予備エ
ネルギ パック 充填用の大型
ソケット等が 非常時に備え配
備されている。



# イメージボードによる ビジュアル的な見せ場

**使徒 ラミエル**
全長300メ トルの巨体を宙に浮かせて 第3新東京市上空に侵入してくる。
最大の武器は 射程距離20キロを誇る 全方位強磁ライフル。
その威力は 一発でエヴァの装甲を貫通する。ちなみに これはネガフィルム。

出撃準備中の
エヴァ初号機
格納庫はムのコンクリストシノダ の奥から挿入口へ続く。
格納庫でのエヴァは固定を押さえるために、
両側の大型パイロンを
板状のガントリーが
斜めから抱え込む形で
拘束されている。



**第23話「人類補完計画」**

明かされるエヴァと『人類補完計画』の秘密。
リツコと父親の哀の目的も知る

**第24話「今、契約の時」**

現れるレイ
明かされる彼女の秘密
つい 目覚め 月より飛来する使徒の13使徒
来大陸 発見してしまうエヴ 6号機
その性質的な力の前 無力を自覚する人類。
ゼーレ 迫る 契約の時が迫る。
絶望の中での人間ドラマ。

**第25話「アルカ 絶望の」**

ホーとなっている
古代遺跡『アルカ』
調査する研究所。
12使徒を止めるため
「人類補完計画」を破壊し
その破壊を阻止する国連上層部
反対するネ派
レイの め研究所に 侵入するシンジ
異なった目的のため、衝突する
人間どうしのドラ

**最終話「たった ひとつの 冴えたやり方」**

最初である
破壊された研究所を舞台に
全ての謎 メインマ 決着が
ラストは大団円。



以上が、本企画の概要です。

このように私たちは、
**システムの中の人間、組織と人間の有り様**
を描きます。

現在 急速に変化しつつある 他 トの ム ・ ン
家族や組織 学 、その中の人間関係 その崩壊 ム ト ま
現代若 ト 生の姿を通 、家族 友人 ん と ながり
ユ ケ ョ ョ 何をのか くをこ 人です
「使徒とは、もはやいサ ヤ のおこ か 社会的現実体験を知りません
イカッコ 本アメ ンを題で マンガやゲームでは味わうことの
出来ない 人の通り」や「感動」等 フィルムならではの「おもしろさ」
全知ってもらいたい、と考えています。

また、私たちは、
**斬新なイメージで、巨大ロボット同士の戦闘**
に挑戦します。

その姿は ダスペクタルロ や高周波ナイ 使徒を破壊できる強力の武器
アンキ の他 等の 多彩な新兵器。
工場や住宅地等の 、日本の自然や特殊な街並を舞台にしたナイ 等の
新しい興奮。
アメ コンが持つ動きの 気持ち良さ。
これまでにないビジュアルイメ シを持つ戦闘 の数々

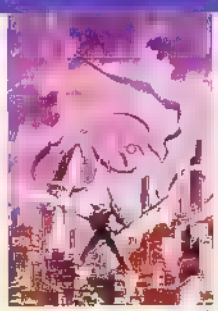
私たちは、
**90年代後半にふさわしい**
**新たな時代のロボットアニメーション**
を目指しているのです。

企画・原作 株式会社ガイナックス 極秘

装甲板と装甲を
強制排除する
エヴァ初号機
バ ンされた ンの
瞬間から「覚体」と呼
ばれる本体が現れる。
人工脳内等全ての機
能は電力により稼動。
エヴァは単なる兵器
運搬として描かれる
わけではない。
20年後のリアルな
近未来都市を背景に
繰り広げられる 少
年たちと大人たちの
ドラマの 重要な鍵
となっている。

初号機別タイプ Bバージョン 同左 Cバージョン





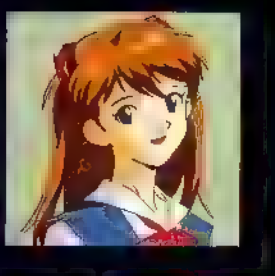
第3新東京市上空を舞う
使徒・サハクィエル
とこまでも伸び光学兵器をも無効にする
神経回路の張り、高硬の体が
最大の武器。
それにより 反射されたレーザーが
逆にエヴァを襲う、どんなる
中央に光る球状の物体が 制御本体と
思われる。

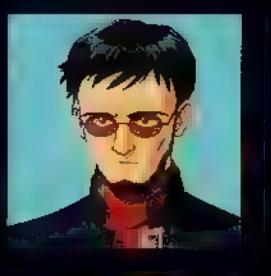
右手にあるのが 高周波ナイフ。
半透明の特殊触刃か 大花をあけ 敵
を タ ナイフの様に必要する
左手に装着されている 連射用の全周
波レーザ 誘導機が目標を照準、連射
した周囲から 紅色のレ ザ が発射
され 敵を撃破する。

新たなイメージ ナイトシーンでの戦闘

両肩はミサイルランチャー等の大型パイロンの他に、サバイバル ツールのような
武装ポットも装備している。

# The Official Art of EVANGELION





# THE FOURTEEN YEARS OLD

【3rd Children】
シンジ

【1st Children】
レイ

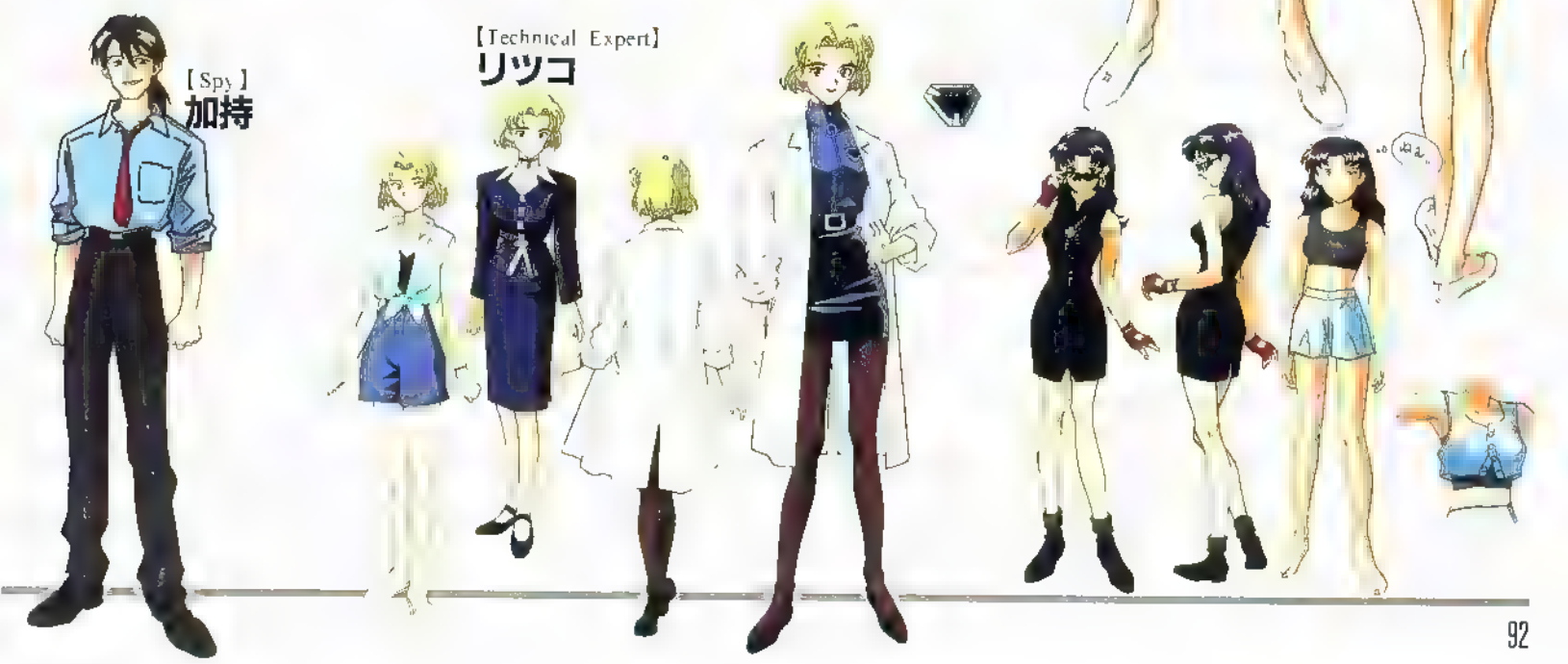
【4th Children】
トウジ
【5th Children】
カヲル
【Lovely Penguin】
ペンペン
PEN2
【Chair woman】
ヒカリ
【Military Fan】
ケンスケ
【2nd Children】
アスカ

# THE ADULTS IN NERV

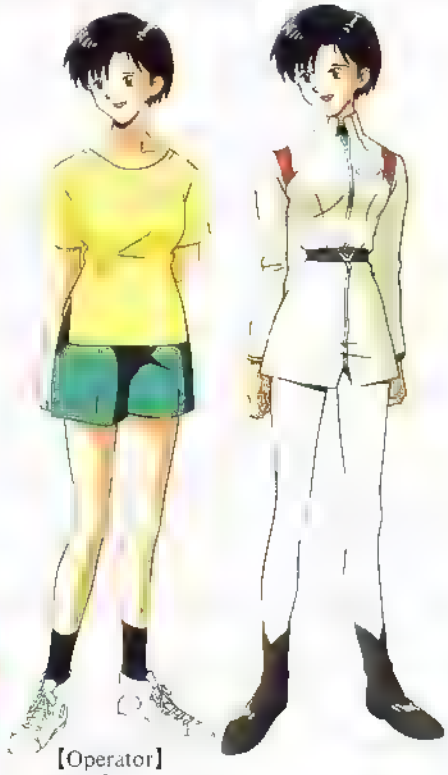
【Tactic an】
ミサト

【Technical Expert】
リツコ

【Spy】
加持



オペレーターズ



【Operator】
マヤ

【Commander】
ゲンドウ

ネルフ作業員

先生

【Sub-Commander】
冬月

【Operator】
日向

時田

国連軍司令官

【The Head of Seele】
キール

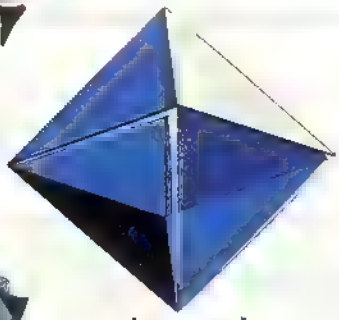
空母艦長・副艦長

【Operator】
青葉

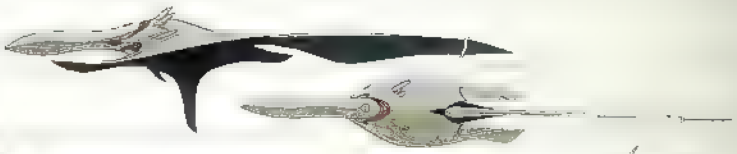
# EVANGELION VS ANGELS

【4th Angel】
シャムシェル

【3rd Angel】
サキエル

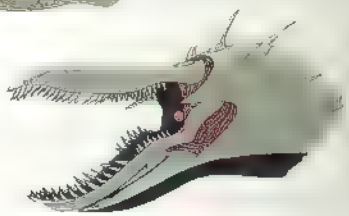


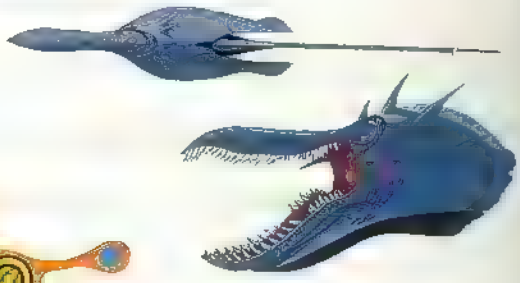
【5th Angel】
ラミエル



【7th Angel】
イスラフェル

【6th Angel】
ガギエル

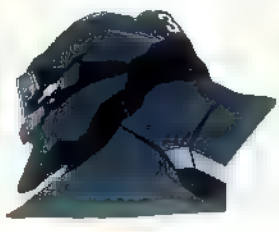




【14th Angel】
ゼルエル

【10th Angel】
サハクィエル

【13th Angel】
バルディエル（３号機）



【9th Angel】
マトリエル

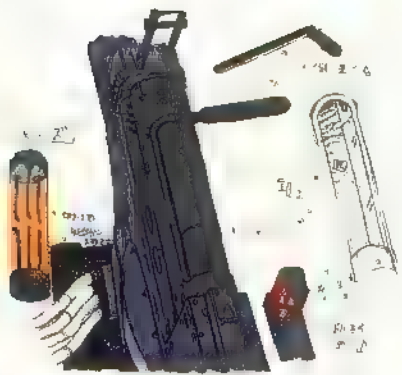
# MECHANIC & WORLD VIEW

ソニック・グレイブ

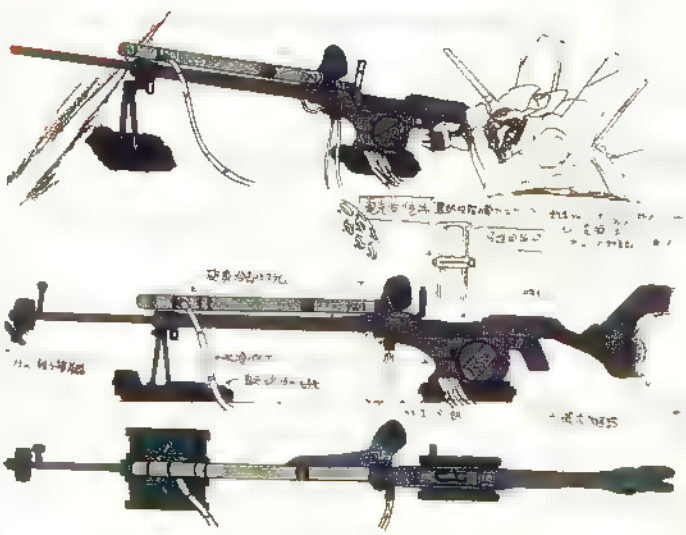
プログレッシブ・ナイフ



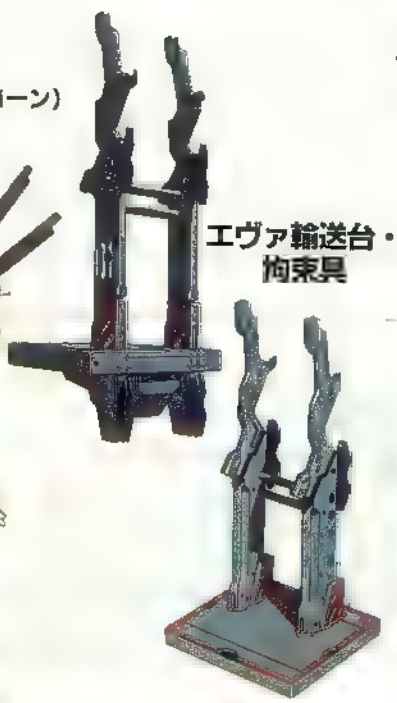
パレットガン



ポジトロンライフル



J.A.
(ジェット・アローン)

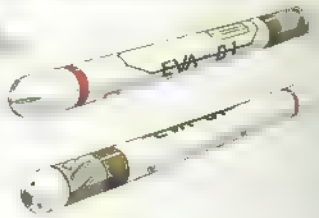


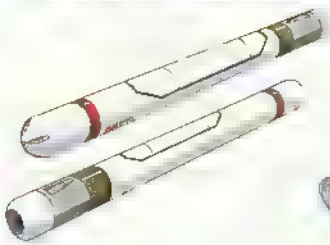
エヴァ輸送台・
拘束具

エヴァのコンセントとコード

エヴァ用乾電池

エントリープラグ



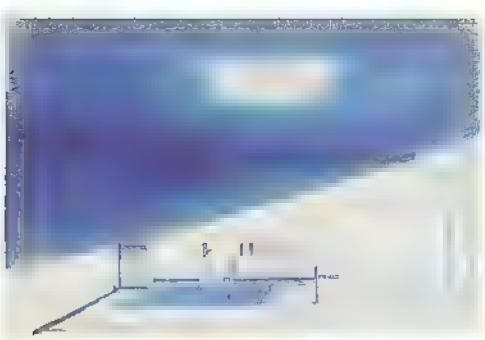
防護服

国連軍機

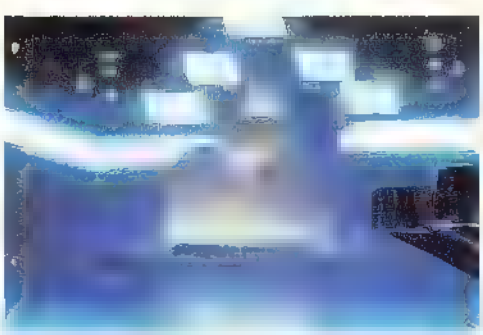
アルピーヌ・ルノーA310(改)

エヴァ輸送機

選挙カー

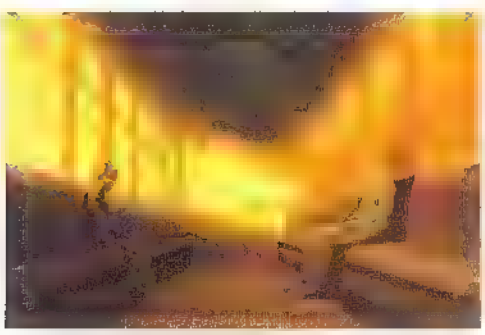


♦シンジが目覚める病室（2話ほか）

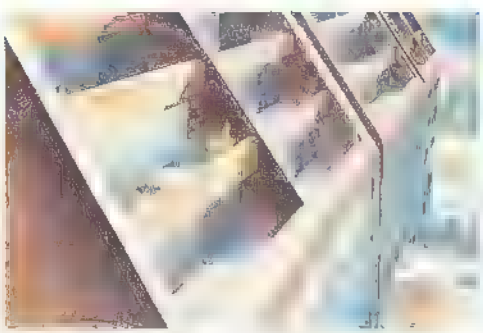


♦ネルフ本部・中央作戦司令室

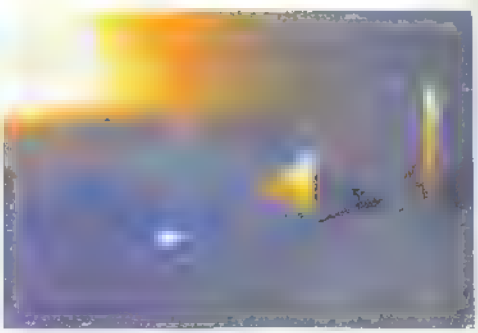
♦カートレイン駅・ネルフ本部入口



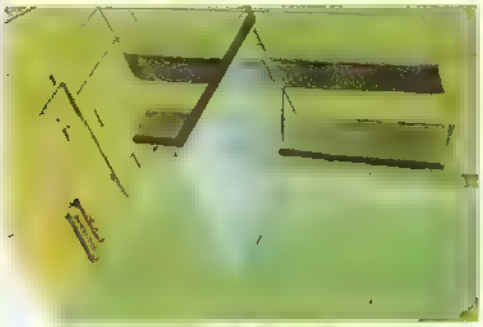
♦シンジが自分と対話する電車内（16話ほか）



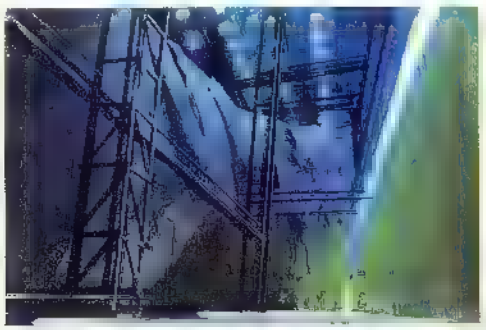
♦ミサトの住むマンション・昼間（3話ほか）



♦ジオフロント・ネルフ本部外観

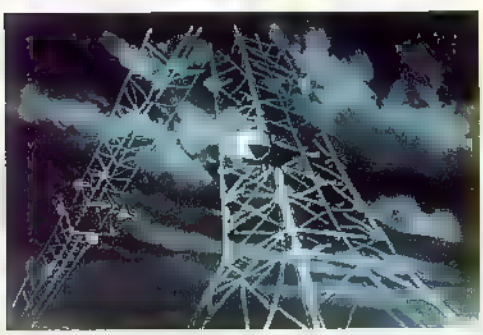


◆ラミエル攻撃へ向かう移動車輌内部（6話）



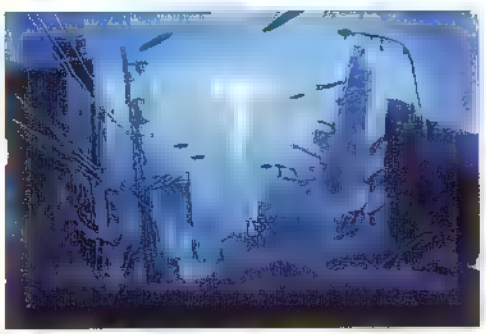
◆シャムシェルを調査するための仮設建造物内部（5話）

◆サキエルの攻撃で爆発するジオフロント内天井ヒル（1話）

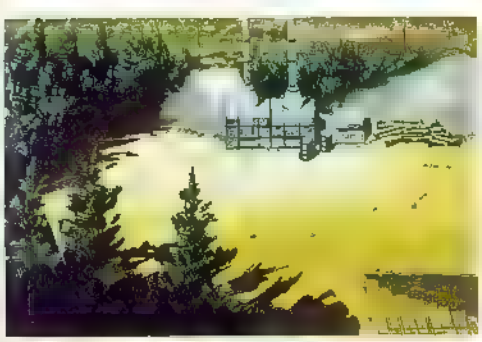


◆セカンドインパクト時の南極。衝撃で折れ曲がった鉄塔（12話）

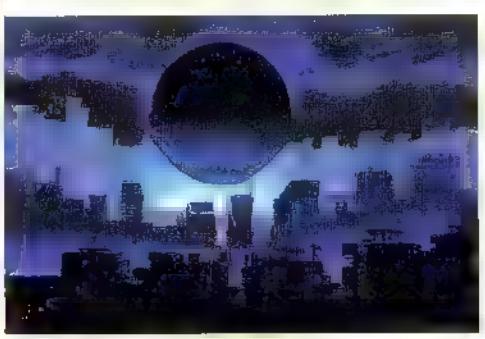
◆シンジ、アスカ、ミサトが使徒せん滅後、立ち寄った温泉宿（10話）



◆弐号機がカギ爪によって引き込まれる海中（8話）



◆トウジがコダマを焼いていた第壱中学校校舎裏の焼却炉付近（17話）

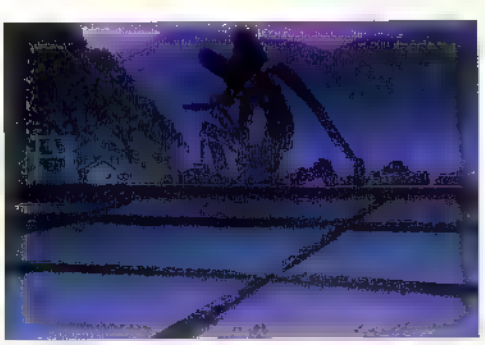


◆夜、第3新東京市上空に浮かぶレリエル（16話）

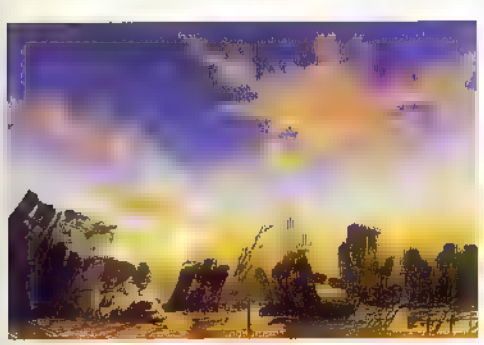
◆ミサト、リツコ、加持が結婚式の帰りに寄ったバーの窓（15話）

◆夜、ヒカリの家の外観（22話）

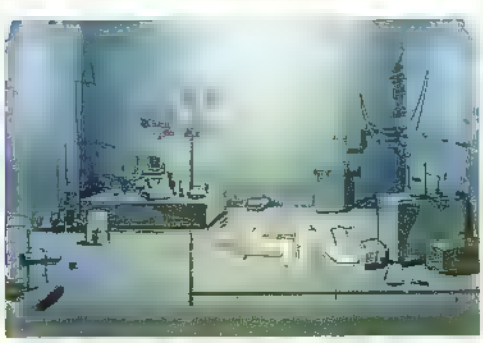
◆修理中のネルフ本部前。ミサトと日向が話してた場所（22話）



◆夜の松代。機能停止した初号機と生存者救出用車輌たち（18話）



◆湖につかった兵装ビル群、夕景　24話



◆セントラルドグマ内、レイの生まれ育った部屋（23話）

◆零号機の自爆跡、上空から見た図。立ちつくす初号機（23話）

HUMAN

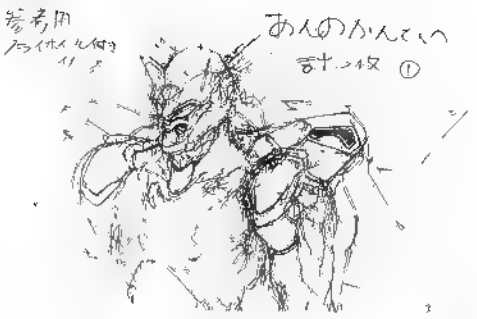
The Official Art of EVANGELION

# ARTIFICIAL MAN

# 初号機

## EVA-01 TEST TYPE

正一郎という名称で開発されたエヴァシリーズの零号機に続いて建造されたファストタイプで、サードチルドレン・碇シンジが搭乗する。ゲイドウが他の2体と区別して扱っていることから、初号機が特別な存在である、とは断定できない。ここでは、物語の核ともいえる初号機のデザインが完成するまでを追ってみた。



➡山下デザインの第1段階。丸みを帯びた頭部、複雑な胸部装甲など、また現在のエヴァとはかけ離れたイメージ。たかつり上がった眼などの凶暴な雰囲気は、初期のころからずっと継承されて。る

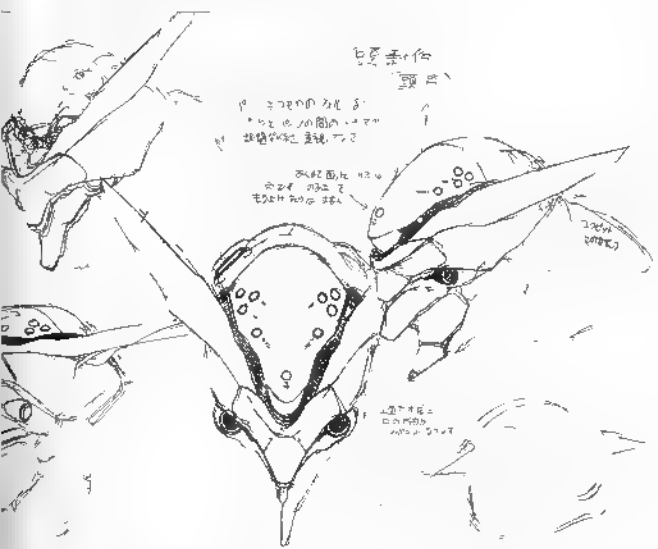
⬆下は、ツノを顔の前面に配置した案。坊主頭の頭部と相まって、かなり特異なスタイルとなっている。全体的にもマンチョな雰囲気が漂う



⬆上は、1本のツノか片方だけにあるいわゆる"片耳ハーション。の頭部アップ。中には両耳ハーションも見られる

➡ツノを顔の左側面に配置した案。ボディーはまたツゴツして。るか、頭部は少しシャープになってきた脚部の膝部分、足部分などは、かなり完成形に近い感じ。なお、山下氏は、この左側面のツノが気に入っていたらしく、後半までデザインの中に含まれていた

⬇下は、ツノを左右対称の位置に配したもの。全体的にシャープな面持ち、平らな頭頂部、特に鋭く尖った顎などが、完成図に近づいてきている

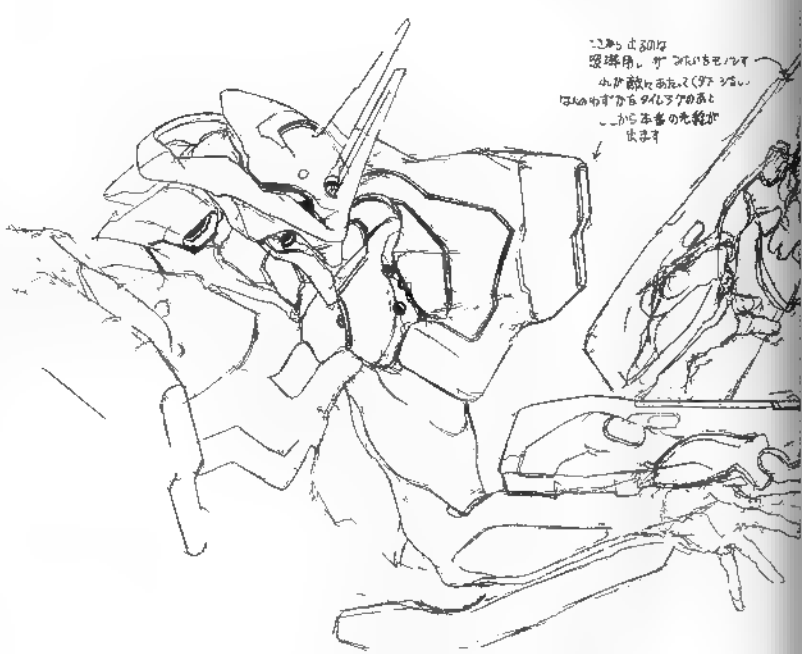


➡右は〝片耳ハ　シヨン〟の最終型。エヴァの特徴である肩部の板状の装甲が採用されている。また、膝部の突起部など、頭部以外はほとんどエヴァといってもいいほど成熟してきた

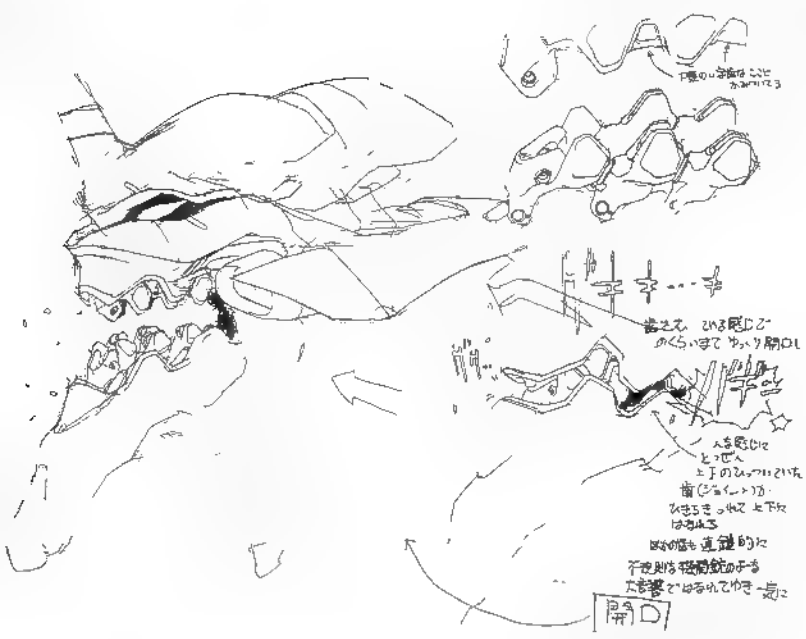
⬇下は、ツノが中央に移され、頭全体が平たくなった決定一歩手前のデザイン。だが、ツノが縦に2本に分かれており、口もくちばしのようにツルンとしている

⬆上は、ついにツノが1つになった決定寸前のデザイン。これまで円形だったロの両端につくられた穴が楕円形に変わった。口の形もかなり牙のようになってきたが、エヴァの特徴的な〝受ナロ〟にはなっていない

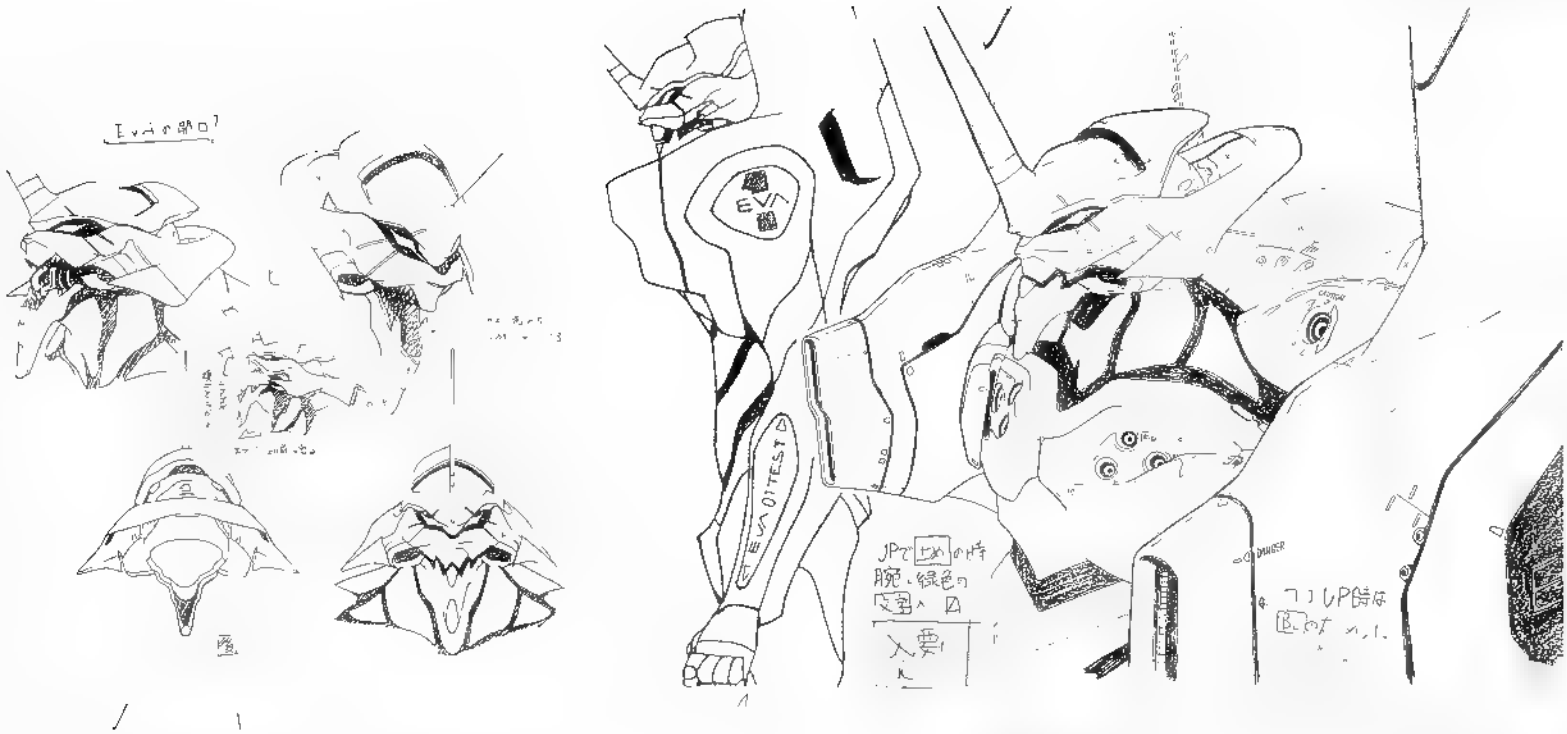
片眼の潰れた初号機
参考



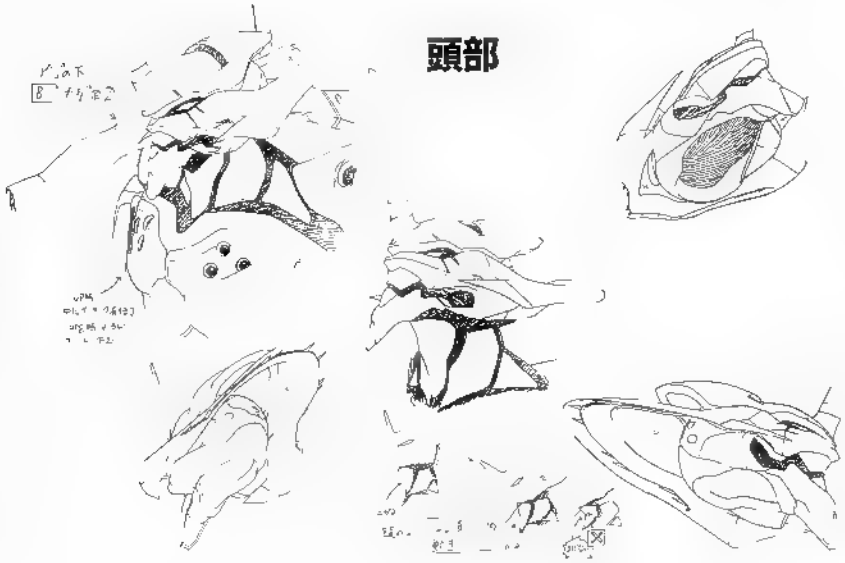
⬇口の開き方の初期設定。オープニングや2話で見られるように、本編では違う開き方になった



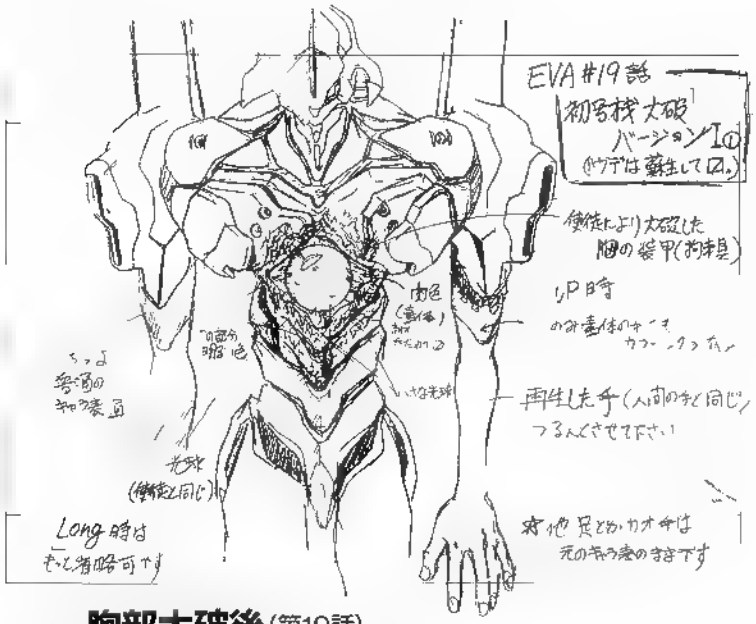
⬆九型のバレットライフルを構える〝2本ツノタイプ〟。腕の形状、肩の板状装甲、胸から腹にかけてのデザインなど、ほぼ決定稿といえる。首の後方にタクトのようなものが見られる



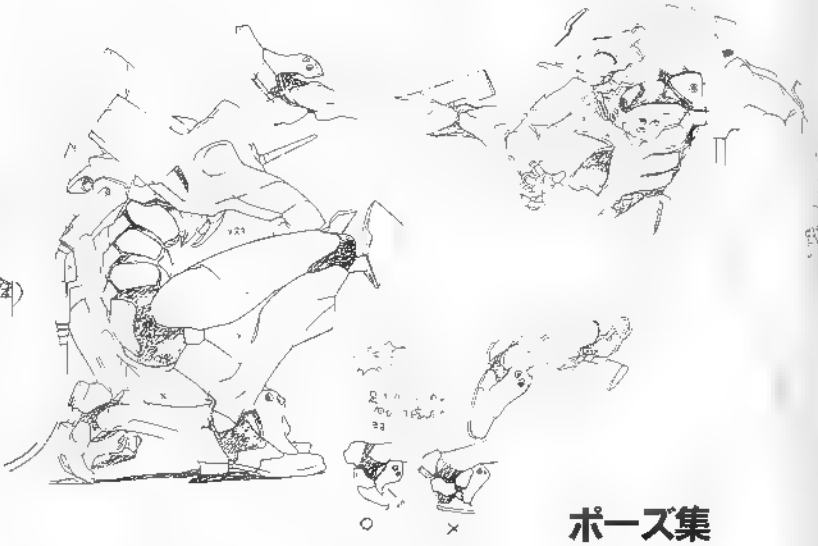
## 頭部



## 全身



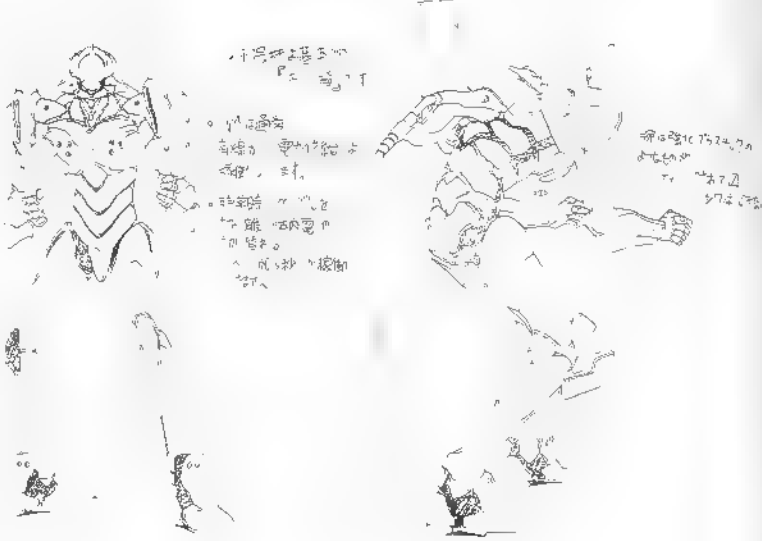

**胸部大破後**(第19話)



(第3話)**焼けただれた手**

**ポーズ集**

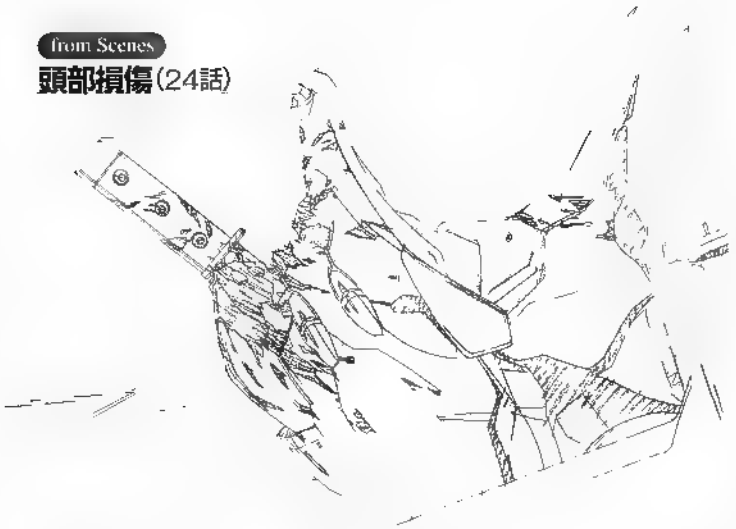
**手足**

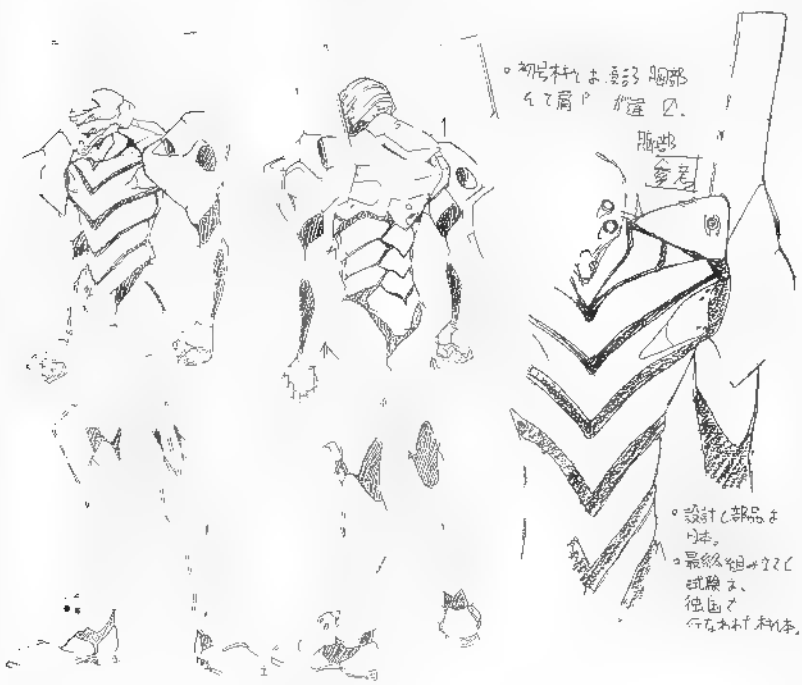


# 弐号機
## EVA02 PRODUCTION MODEL

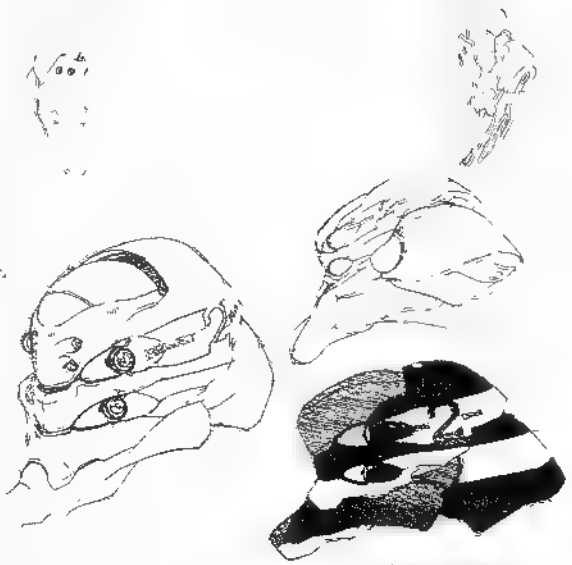
3番目に製造された機体で、ネルフ制式タイプ。改十と部品製造は1本で、組立と起動実験はトウキョウで行なわれた。弐組の機体と、弐号機のシンクロテストが特徴。ノルに匂敵されたプログレッシブナイフのほかに、スマッシュホークやノーックグレイブなどが武器

from Scenes
**頭部損傷**(24話)





from Scenes
**初号機と戦う弐号機**
(24話)

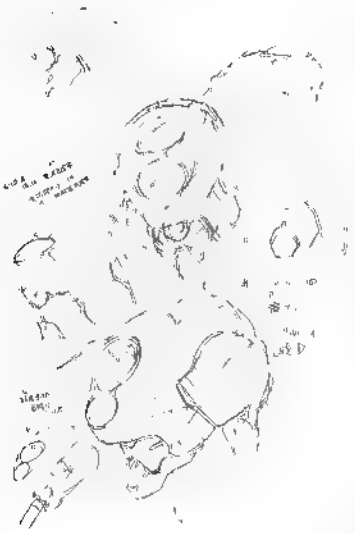


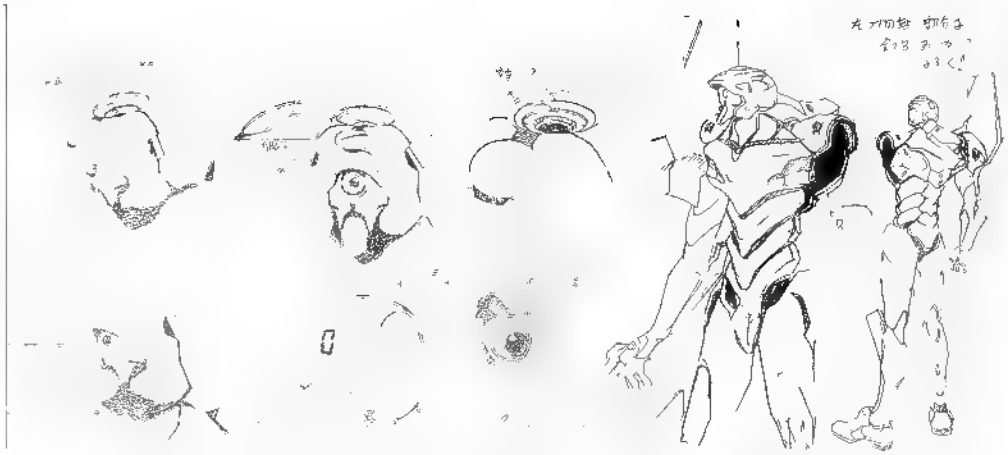
➡右の頭部3カットは、決定稿寸前の設定資料。ほとんど変わりはないが、ナンバリングの位置、〝おでこ〟部分の形状、側面の切り返し部分、そして、顎にある突起物の有無などが異なる

# 零号機

## EVA00 PROTO TYPE

最初に建造されたエヴァであるため、プロトタイプと呼ばれる。初号機との違いは肩部と頭部だけで、基本的に性能は大差ない。はずレンジ色の機体だったが、ラミエルとの戦闘で大破したため、りを他のエヴァ機と同様いものに換え、白に塗り替えられた。

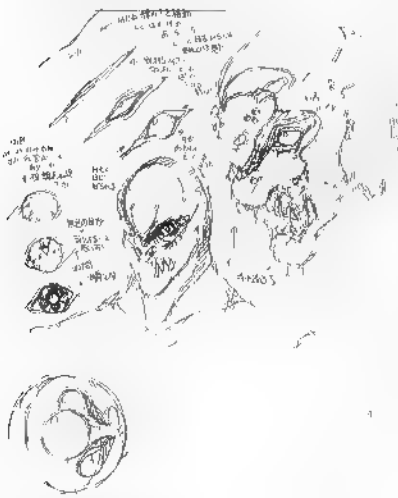




⬆左腕損傷(19話)

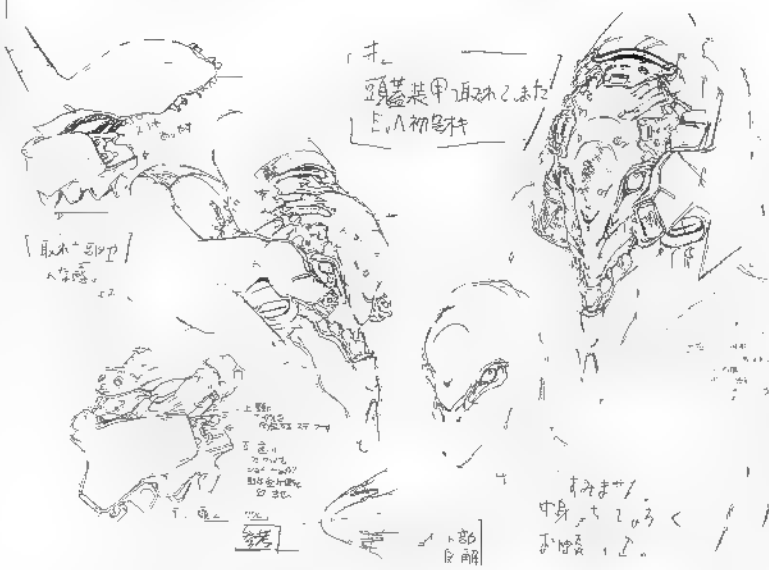
⬆上は、決定稿寸前の零号機頭部のラフ。頭頂部の電磁波アンテナといい、ひとつ目はの主光学カメラといい、まったくと言っていいほど決定稿と変わりなく、カメラ上部の張り出し方が異なる程度。また、左下の小さなカットでは、顎の部分で異なる形状が模索されている

⬇下は、素体のラフスケッチ。かなり凶暴なイメージだ。そして、2話で描かれた印象的な眼球の出現の仕方は、ここでのイメージがそのまま採用されている



⬆零号機・改

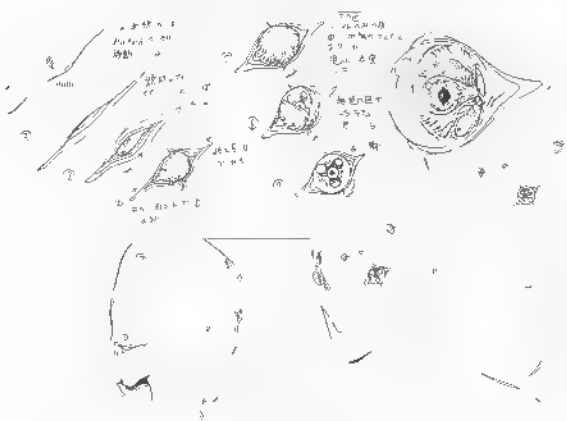
⬆ファーストタイプ



素体

from Scenes

包帯を巻かれた素体(20話)

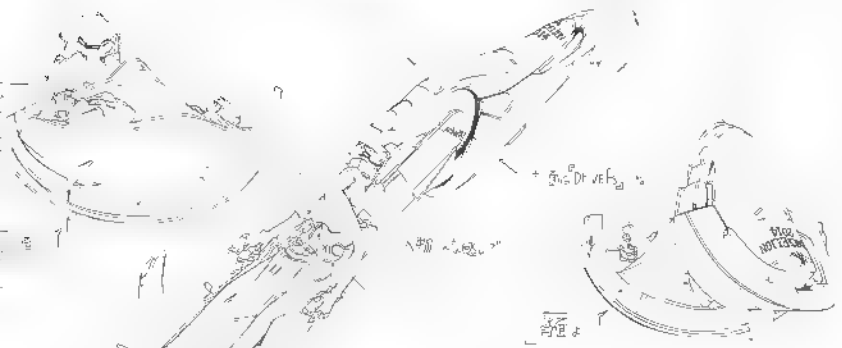


⬆ラフスケッチ

# エントリープラグ
ENTRY PLUG

エヴァとパイロットとの唯一の接点であり、心の器ともいえるエントリープラグ。パイロットは、羊水たるLCLに満たされてエヴァとのシンクロを図る。ここでは、プラグ内のインテリアのデザインの変遷を追い、細部にわたるメカデザインの意図を探る

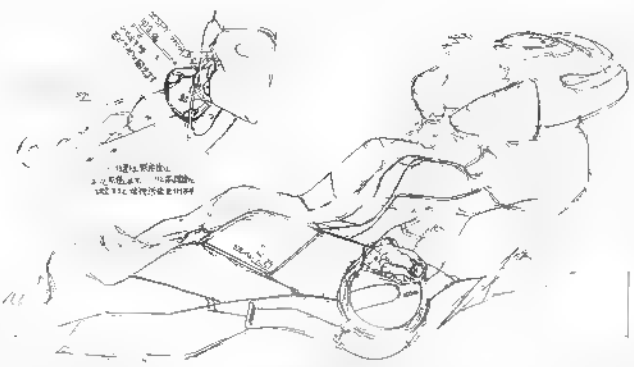
⬅➡左側面からのカット。右のラフでは、インテリアの後方が短い。しかし、この時点ですでに巨大なディスクアダプターは使われている



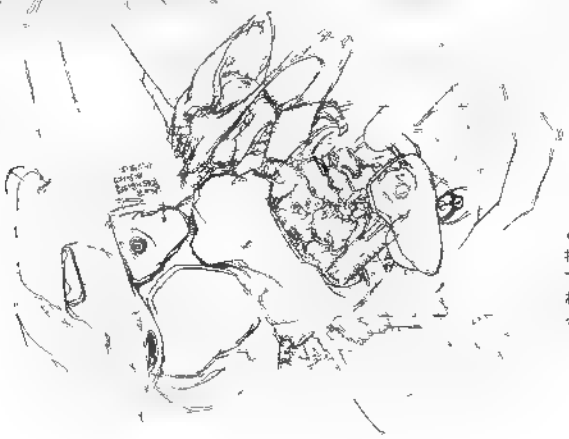
## インテリア

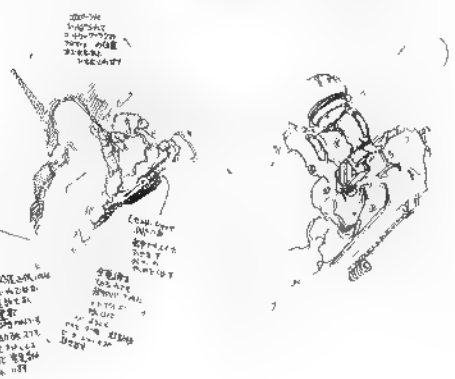
⬆初期ラフイメージ・正面

⬇⬆右前方から。上は、ほぼ決定稿に近い状態のラフ。やはり後方部の形状が煮詰まっていないのがわかる

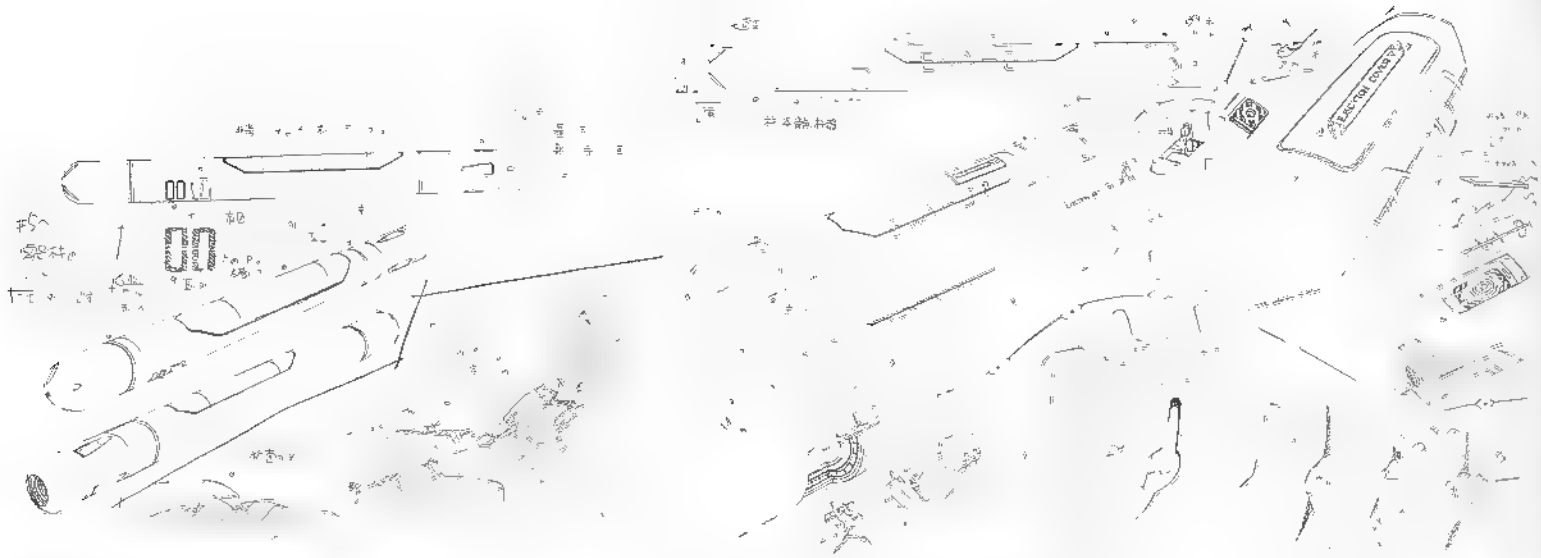


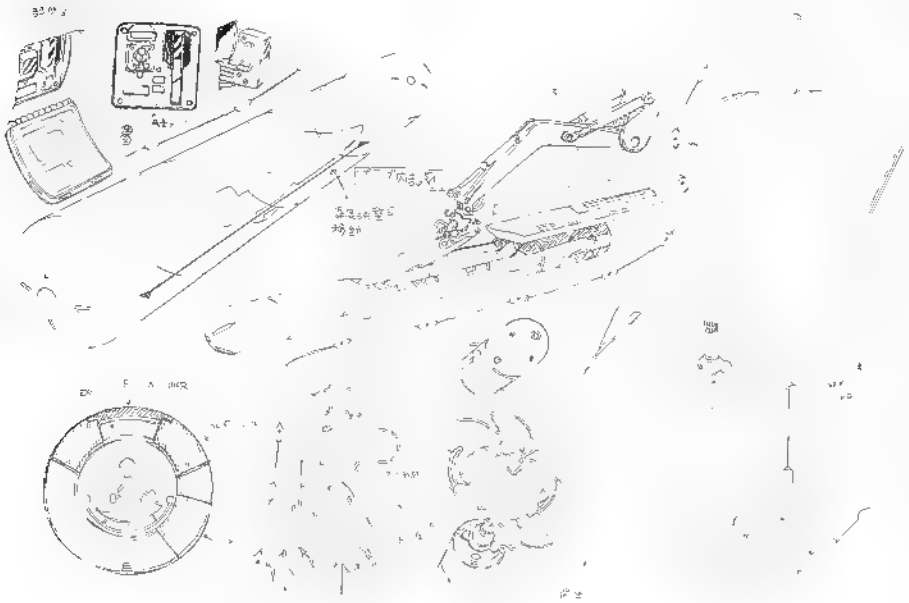
⬇⬆左後方から。上のラフから、搭乗者が少し寝そべるような角度は、ごく初期から構想されていたようだ





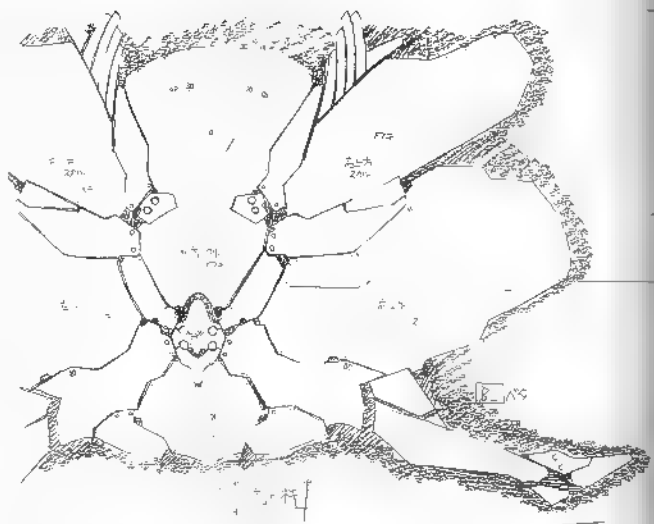
⬅➡エントリープラグ挿入部。プラグを挿入する角度にも、細部にわたって吟味されていることが見て取れる





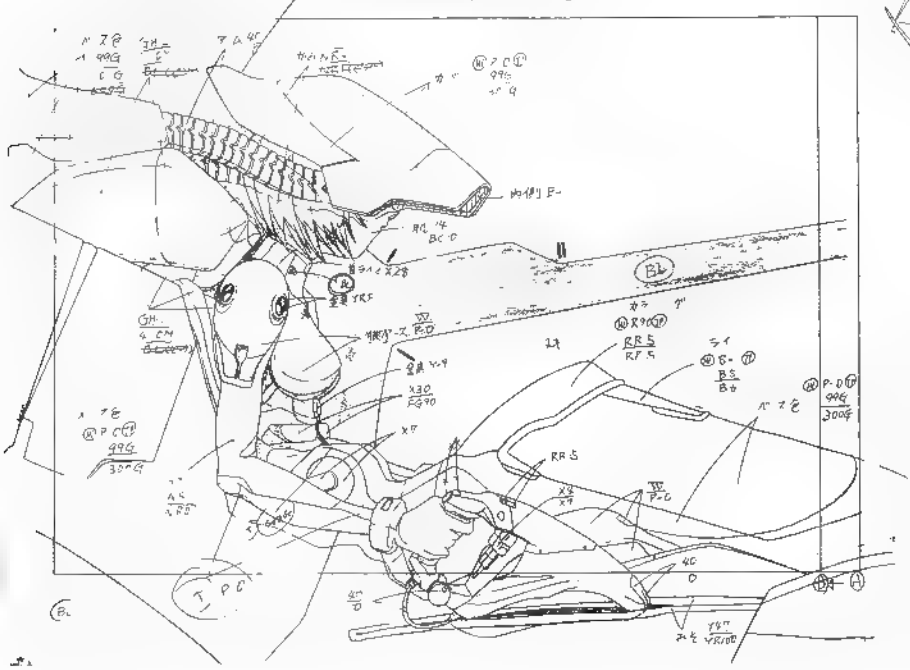
## 外観・機能

### スクリーン



from Scenes

### プラグ内のレイ（22話）

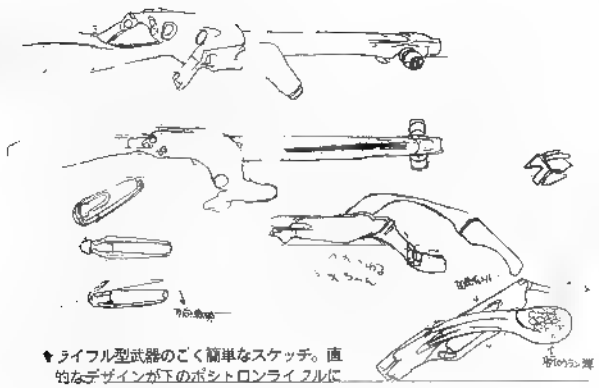


### 通信用ウィンドウ

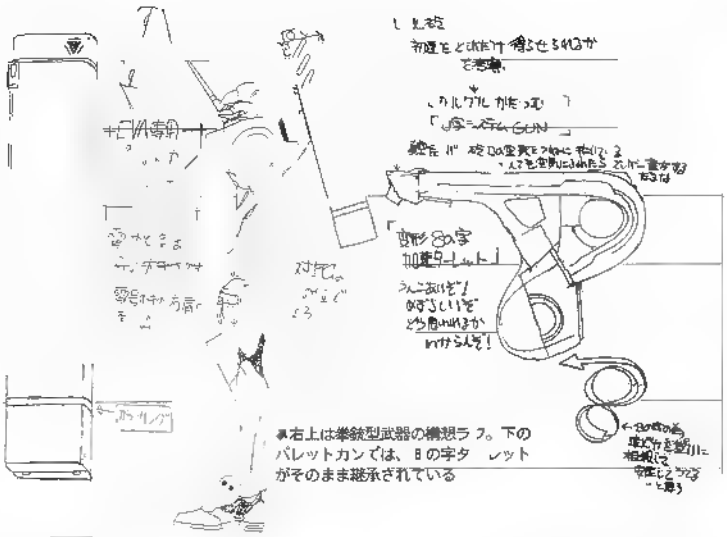
# 武器

WEAPON

物語には、ナイフやカッターナイフ状のプログレッシブナイフなどあまりに〝人間的〟なものや、ポジトロンライフルなどの近未来的なものなど、さまざまな武器類が登場する。これらのデザインの移り変わりを通し、その魅力に迫る。

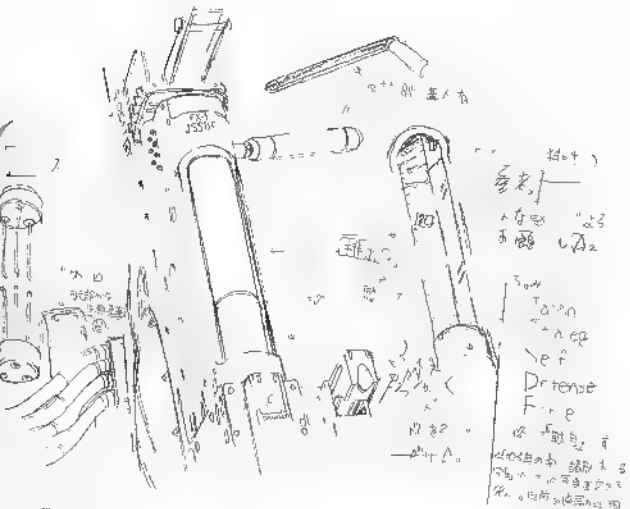


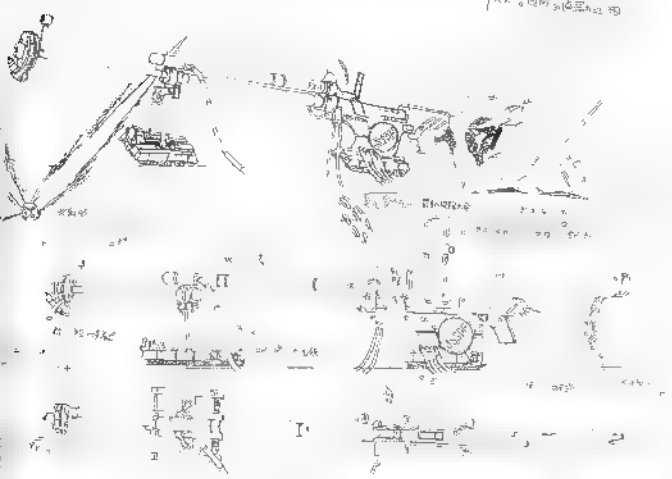
↑ライフル型武器のごく簡単なスケッチ。直的なデザインが下のポジトロンライフルにものかある。電力を使う強力な武器は、形作られていた



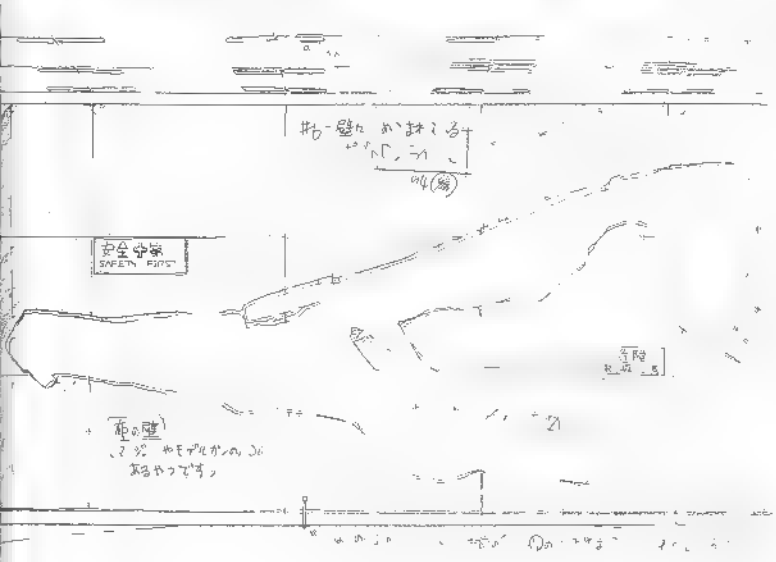
↑右上は拳銃型武器の構想ラフ。下のパレットガンでは、Bの字タレットがそのまま継承されている

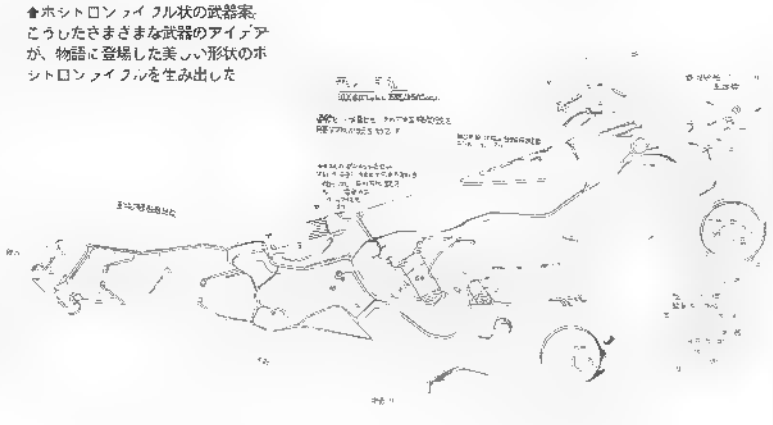
## パレットライフル





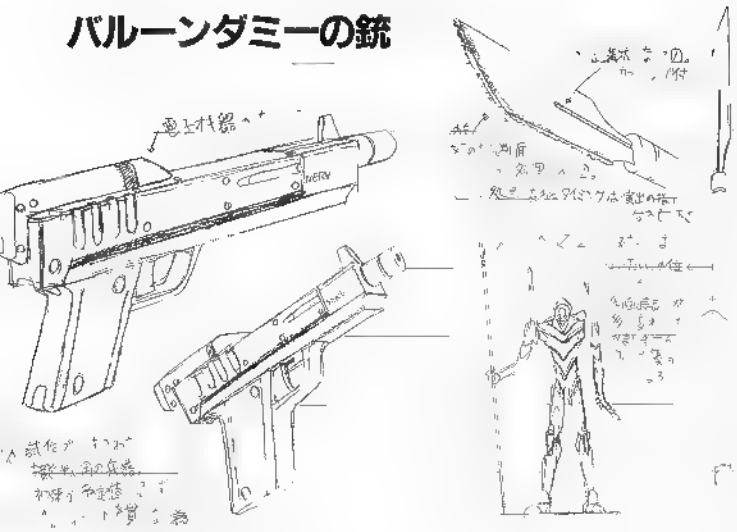
↑ポジトロンライフル状の武器案。こうしたさまざまな武器のアイデアが、物語に登場した美しい形状のポジトロンライフルを生み出した



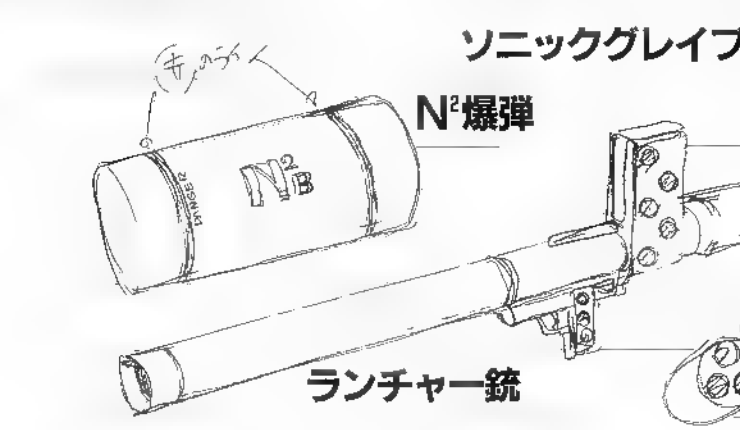


## ポジトロンライフル

## バルーンダミーの銃



## ソニックグレイブ

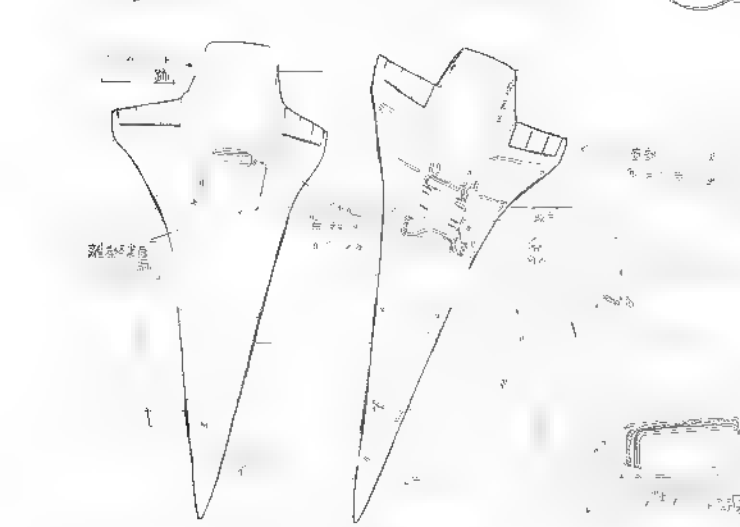


## N²爆弾

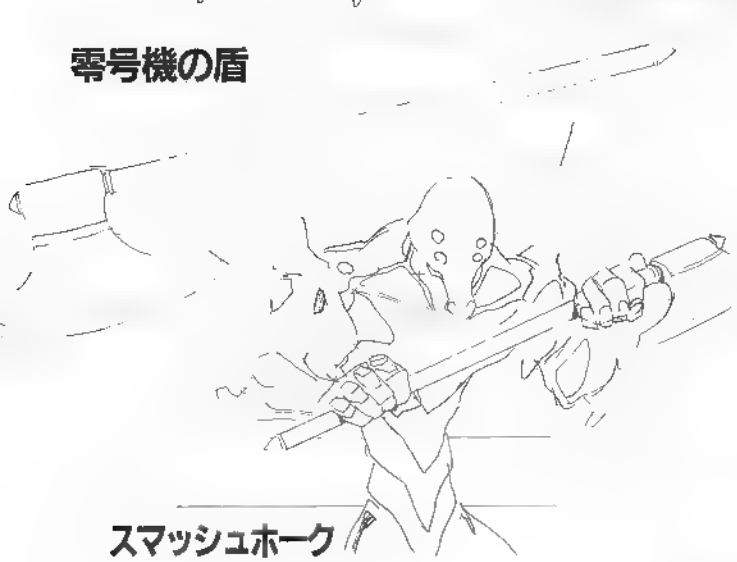


## ランチャー銃





## 零号機の盾



## スマッシュホーク

初号機装備⬇




## プログレッシブナイフ



⬇取り出し口



⬅弐号機装備

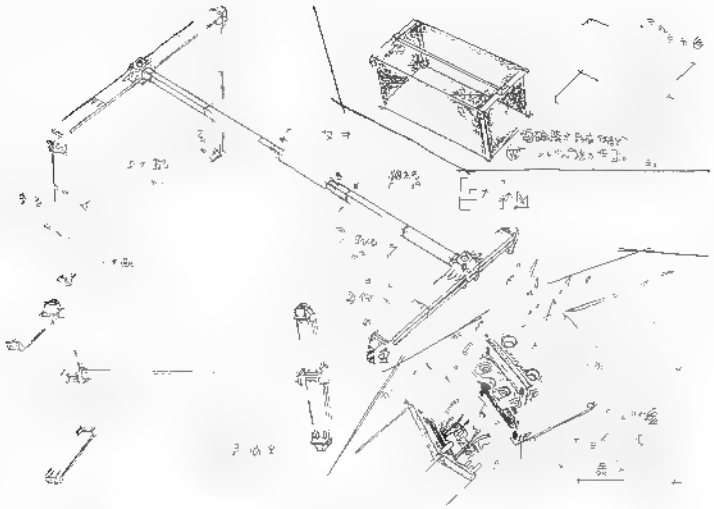


⬆カバー付き

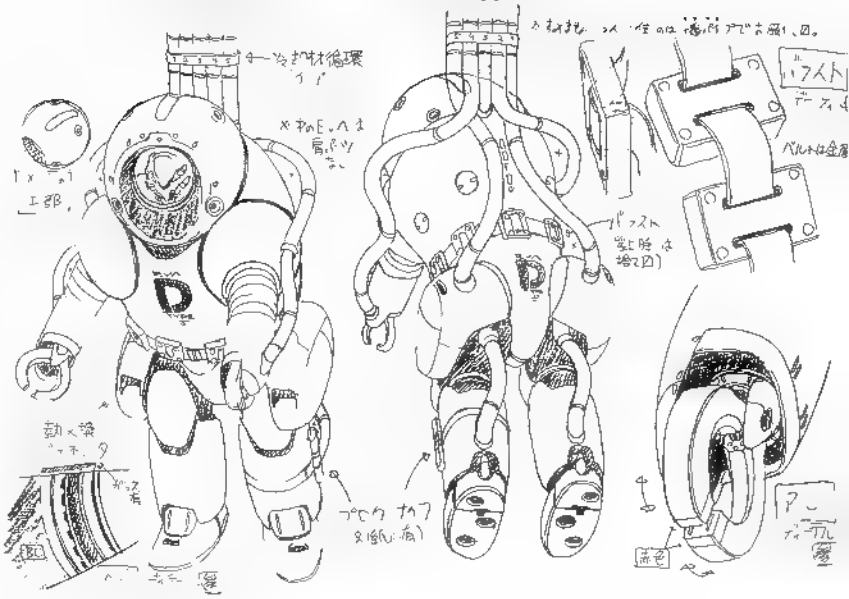
from Scenes

## ポジトロンライフルを構える弐号機(22話)

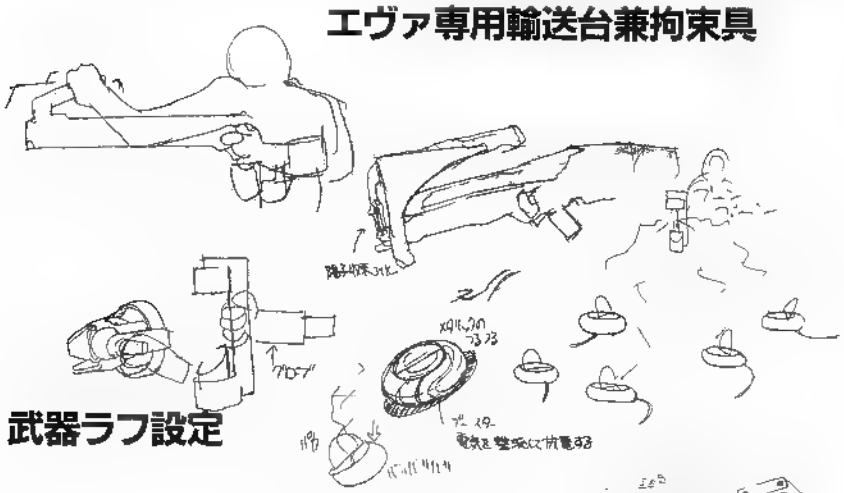
## 使徒キャッチャー

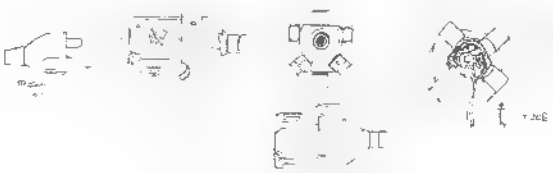


## 局地戦用エヴァD型装備



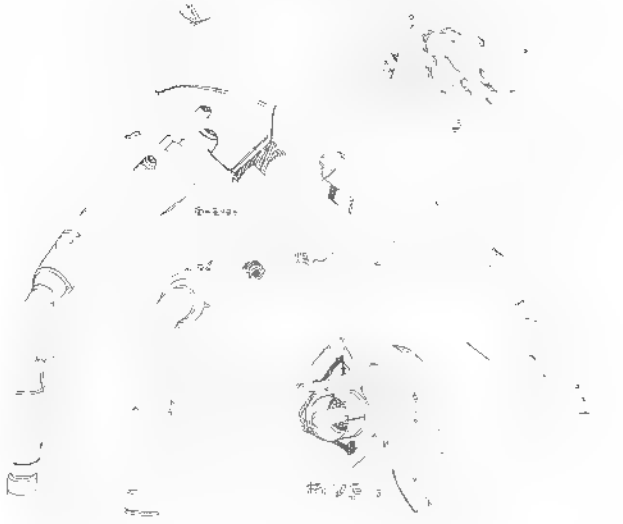
## エヴァ専用輸送台兼拘束具





## 武器ラフ設定

## エヴァ電力供給コンセント



## エヴァ専用乾電池

The Official Art of EVANGELION

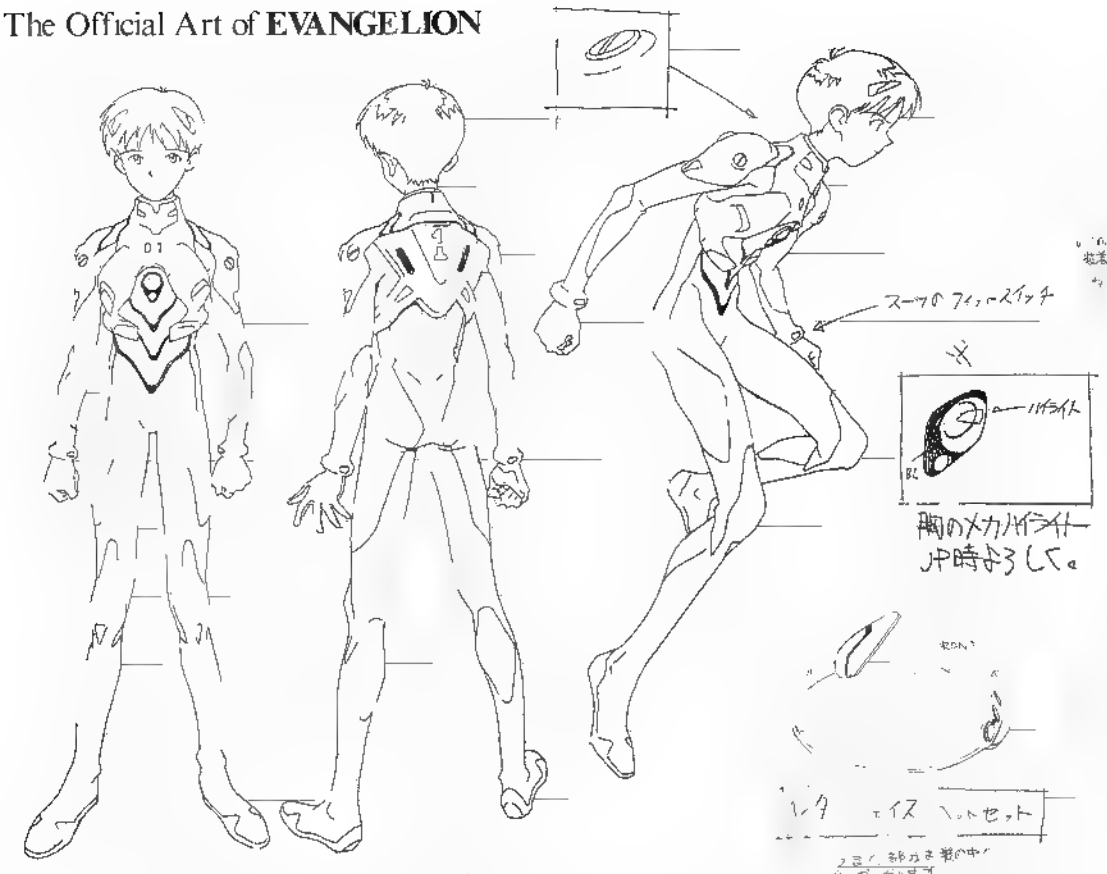
# COMPLEMENTED PEOPLE

# 碇シンジ

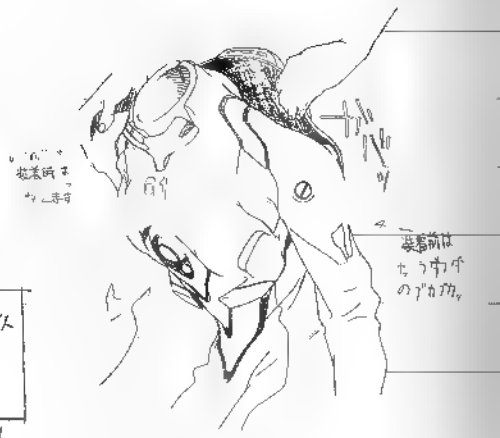
## SHINJI IKARI

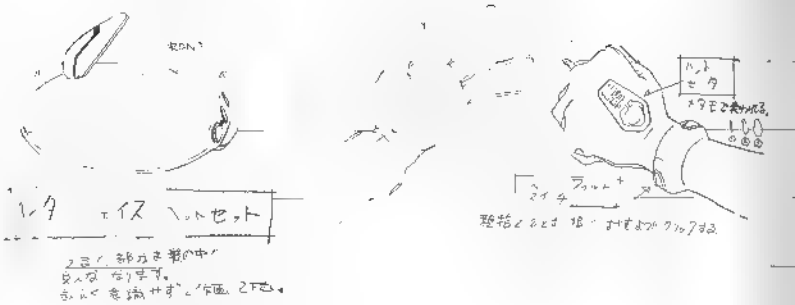
エヴァ初号機パイロット、であり　物語の主人公　母・ユイとは幼少の頃に死別し、父・ゲンドウとも10年間離れて暮らしていたが　突然第3新東京市に呼ばれ　第3適格者（サードチルドレン）としてネルフの　員となる14歳　人との接触を嫌う内向的な性格だが、ミサトやクラスメートらと接していくうち、少しずつ心を開いていく。

表情集



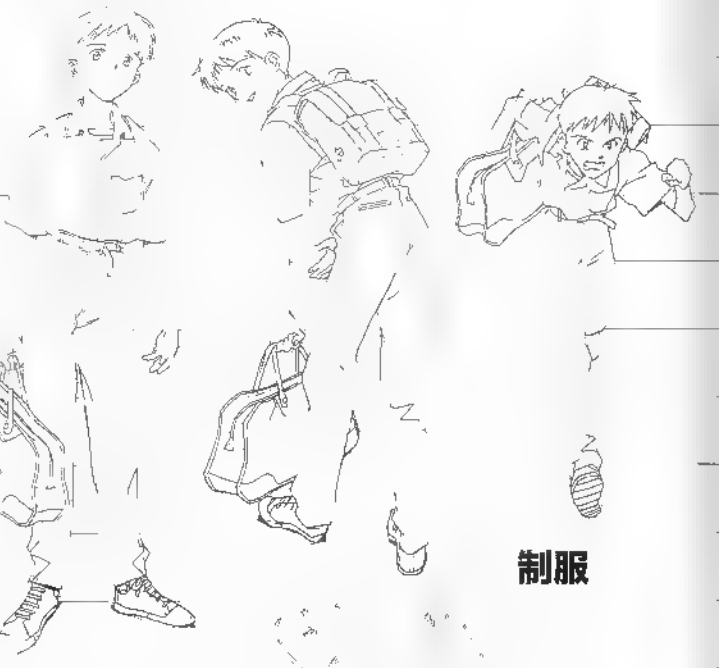

## プラグスーツ





## 体操着

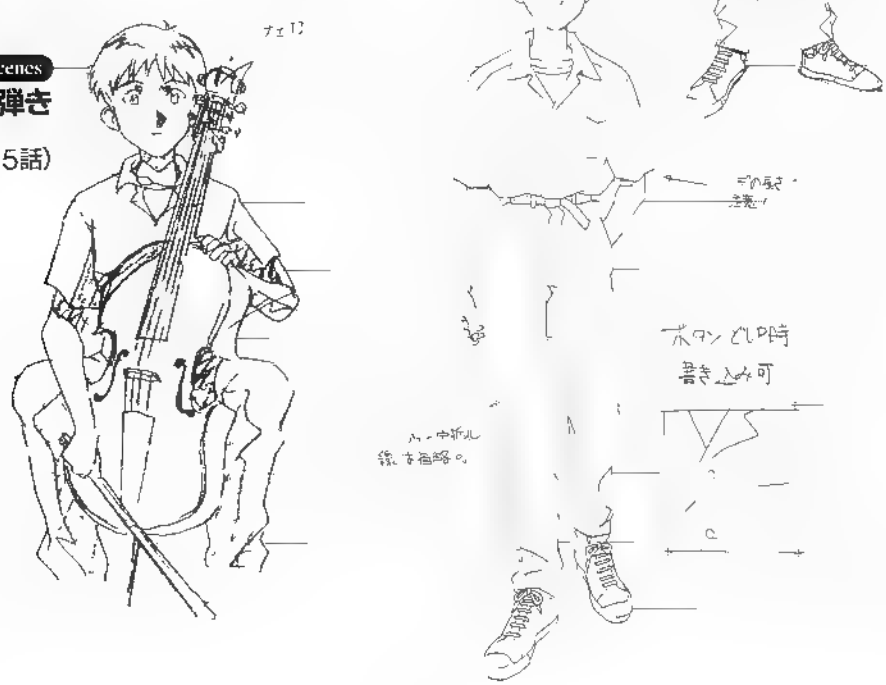
## 制服



from Scenes

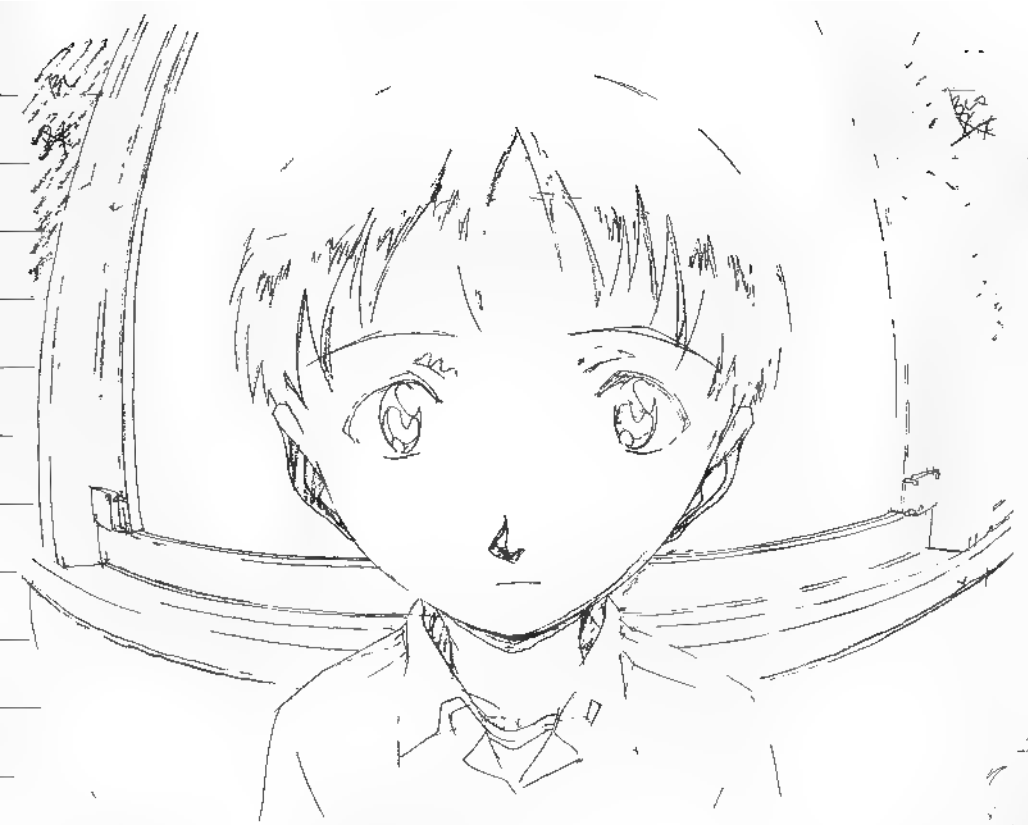
## チェロ弾き

(15話)



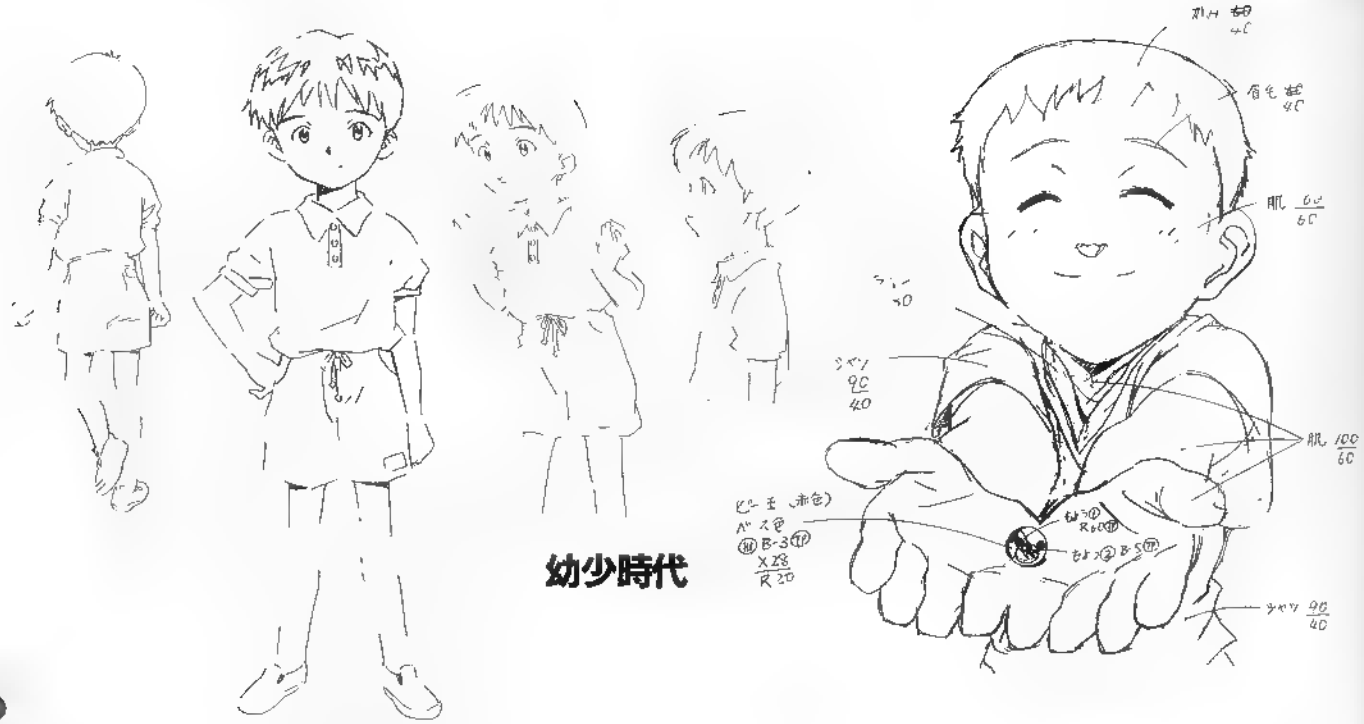
From Scenes

## 使徒内部でのシンジ(16話)



## ペアルック(9話)

## 私服



## 幼少時代

from Scenes

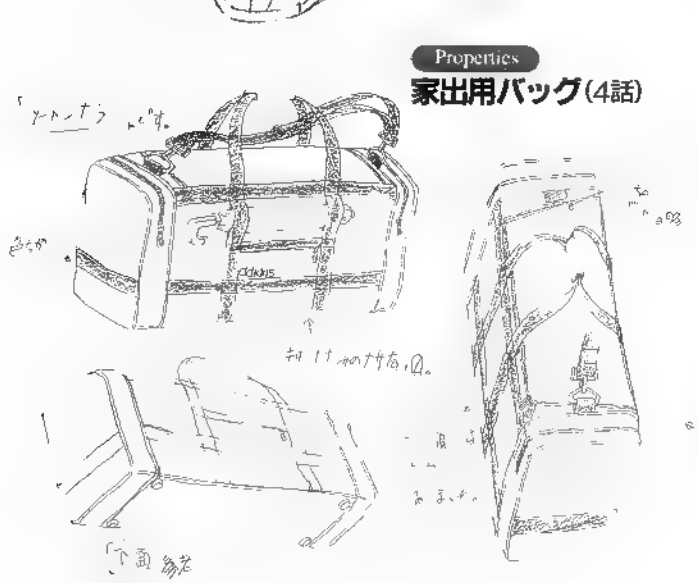
## 苦悩するシンジ(25話)

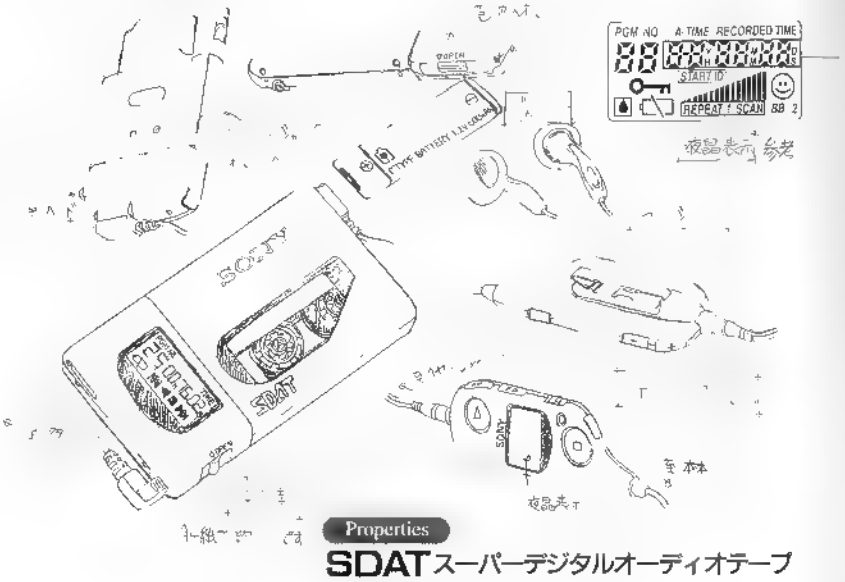
from Scenes

## 強制排出されるシンジ(19話)

Properties

## 家出用バッグ(4話)





Properties

## SDATスーパーデジタルオーディオテープ

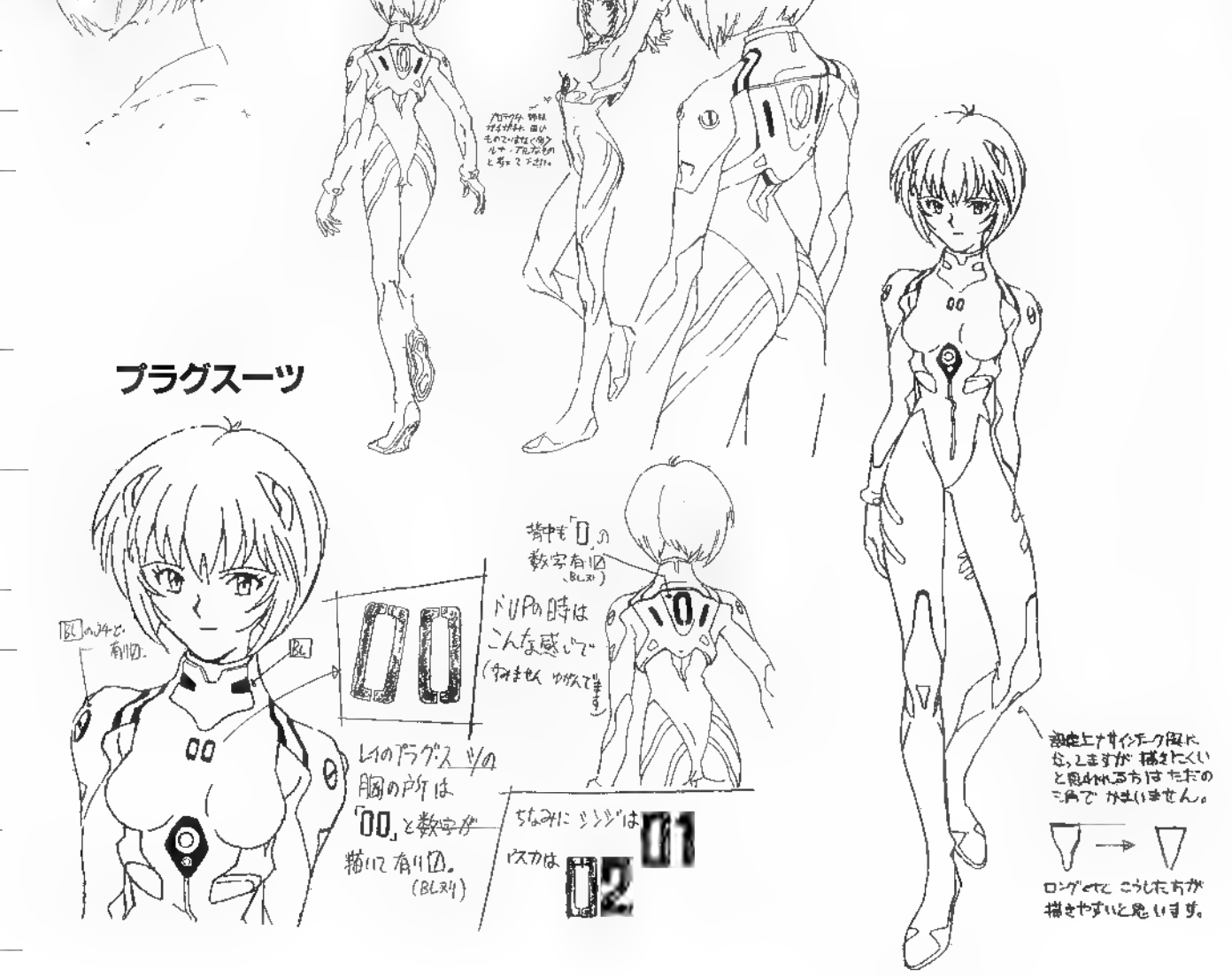
# 綾波レイ

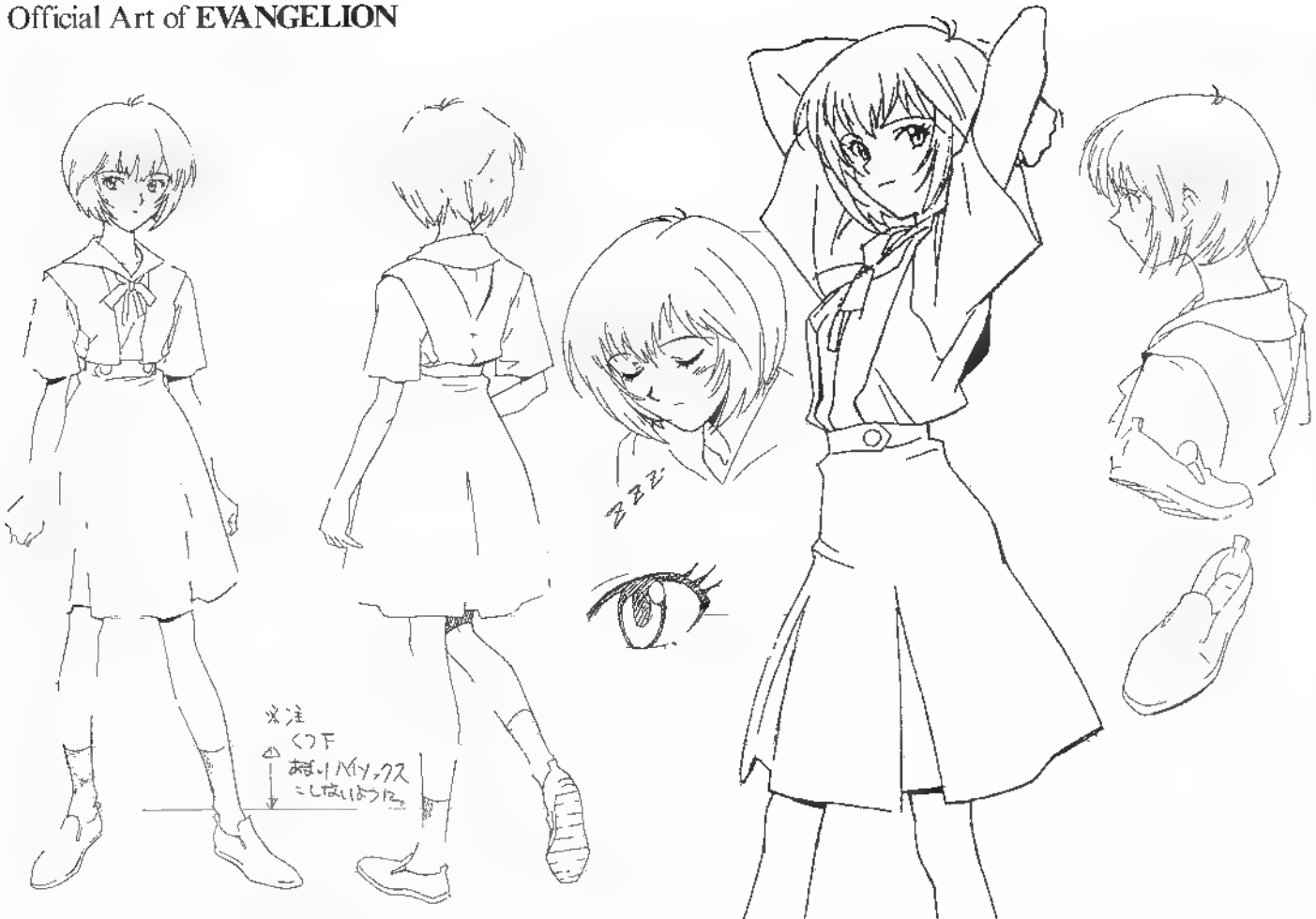
**REI AYANAMI**

第一適格者（ファーストチルドレン）としてエヴァ零号機に搭乗する14歳で、過去の経歴が抹消されている謎の存在。無口で感情表現に乏しいが、ゲンドウに対してはある種の感情を抱いていて、彼女を助けたときに落ちた後の眼鏡を大事にしている。シンジと同じように他人と接することで次第に人間的な表情を見せるようになる。

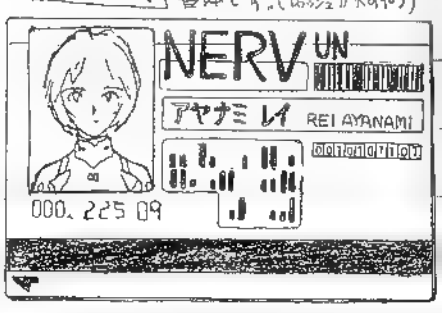
## 表情集

## プラグスーツ





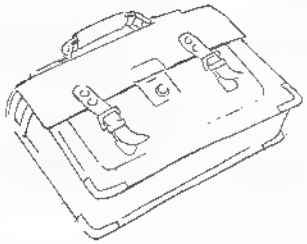

制服




Properties
セキュリティカード
(5話)

Properties
カバン

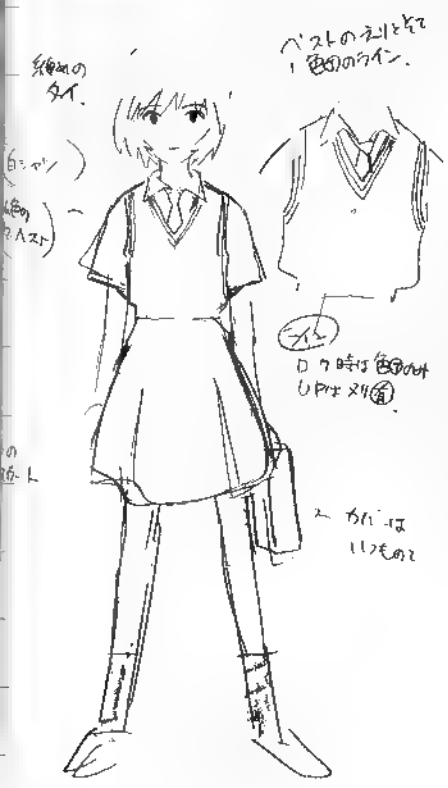
Properties
上履き



4

from Scenes

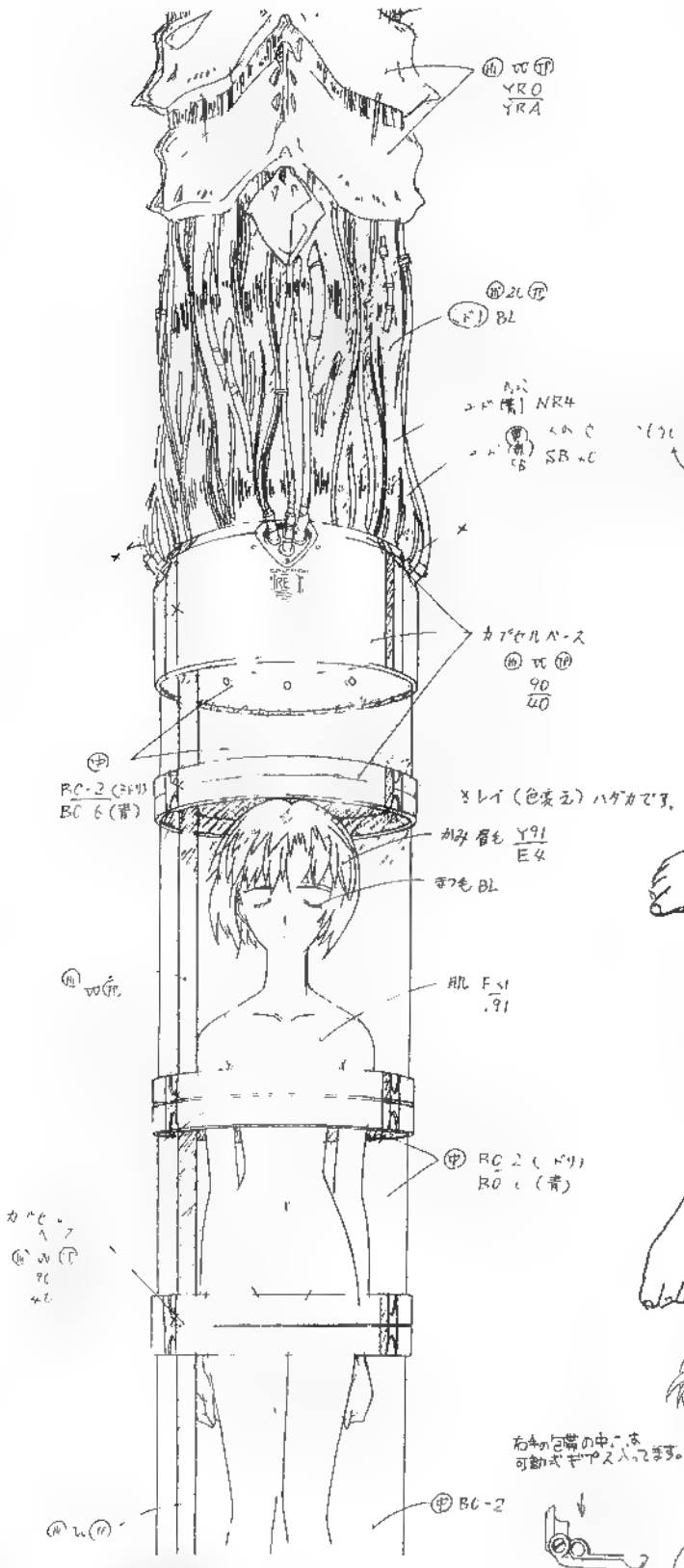
## 転校生バージョン(26話)

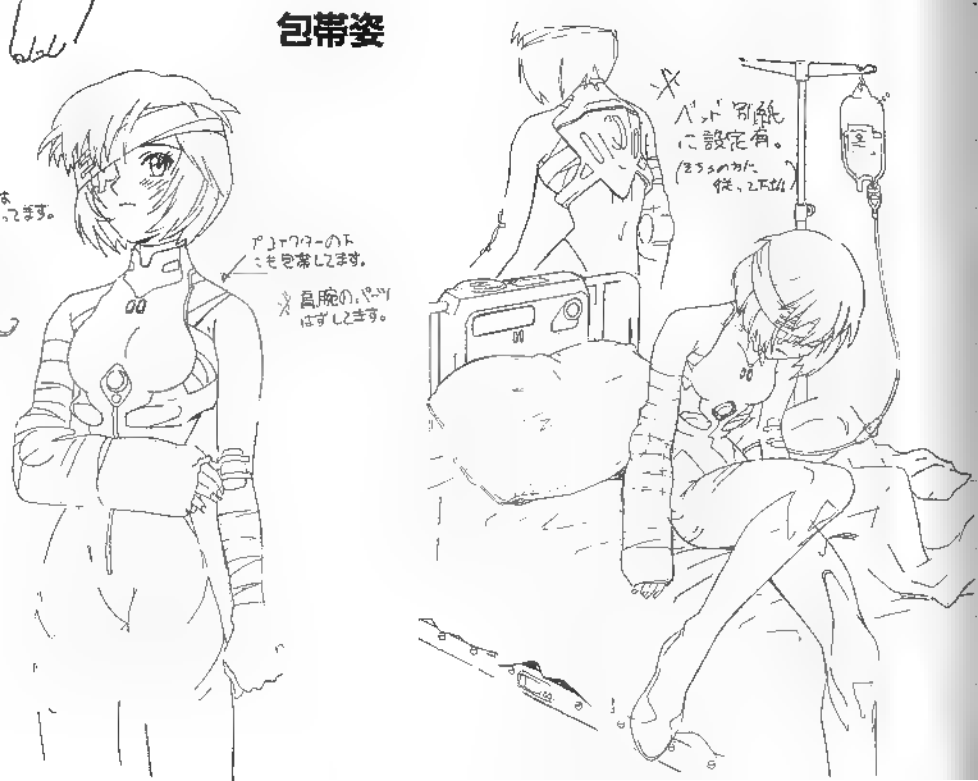



## 下着姿

←19話より

## 4歳のとき





包帯姿

from Scenes

**カプセル内のレイ**(15話)

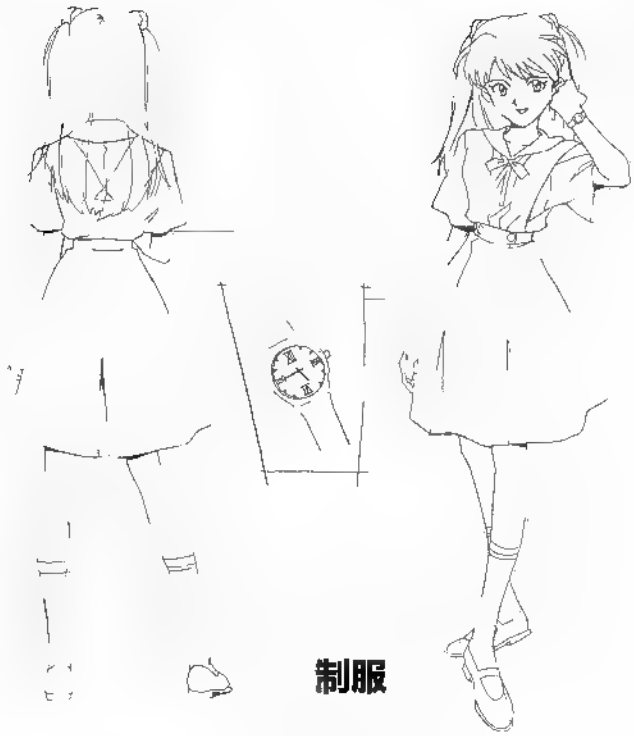
# 惣流・アスカ・ラングレー

SORYU ASUKA LANGLEY

ドイツで訓練を受けたセカンドチルドレンで、エヴァ弐号機のパイロット。日本人とドイツ人のクォーター。勝ち気な性格で、自律的なシンジを見ると、イライラし、「あんたバカぁ」を連発する。14歳にして人類を救うという経歴をもつ大事な少女だが、そういうプライドゆえに、プライドが大きく傷つくと、自己崩壊を起こしてしまう。

From Scenes

体育授業中(15話)



制服

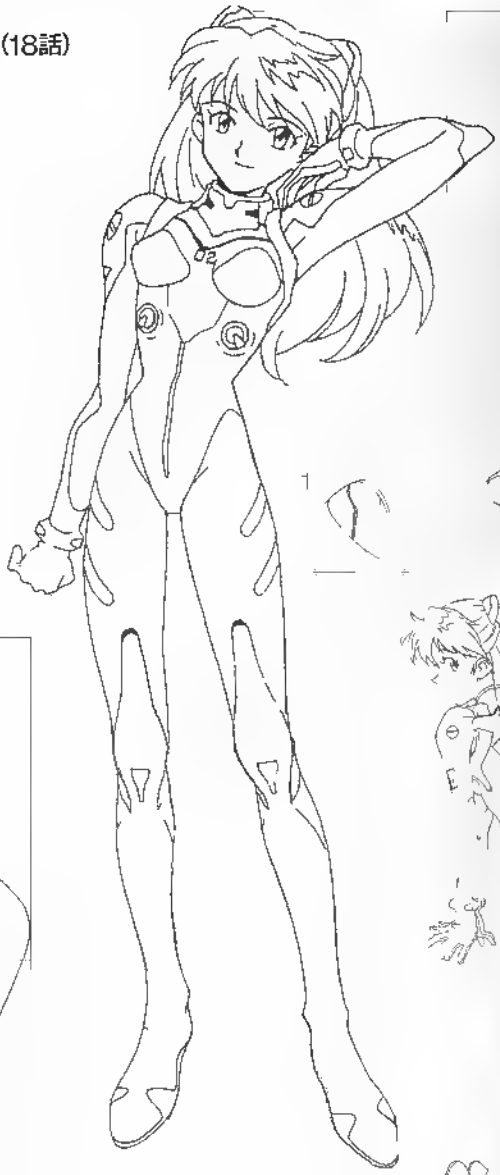
Properties

カバン

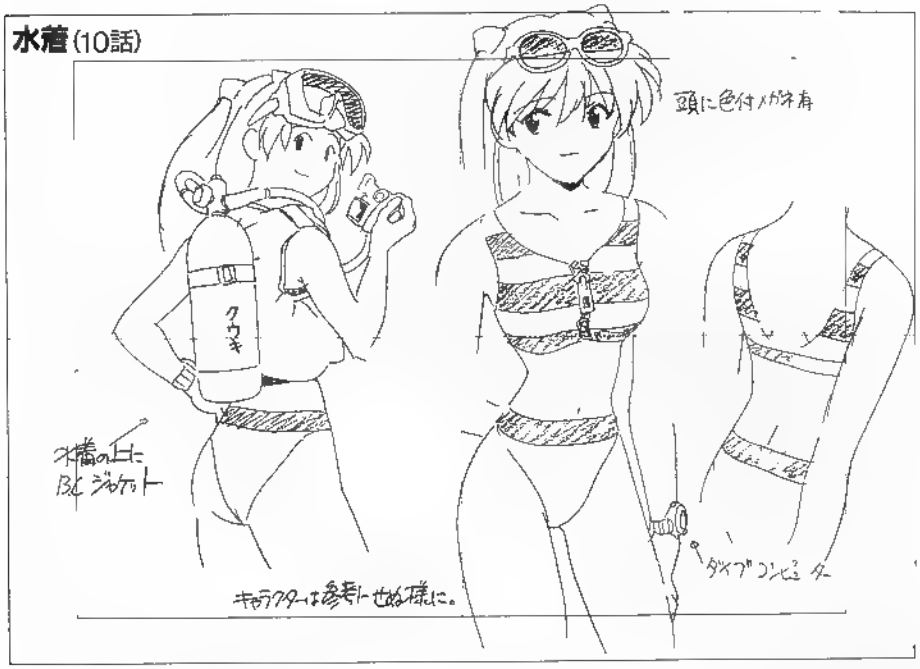
表情集

from Scenes

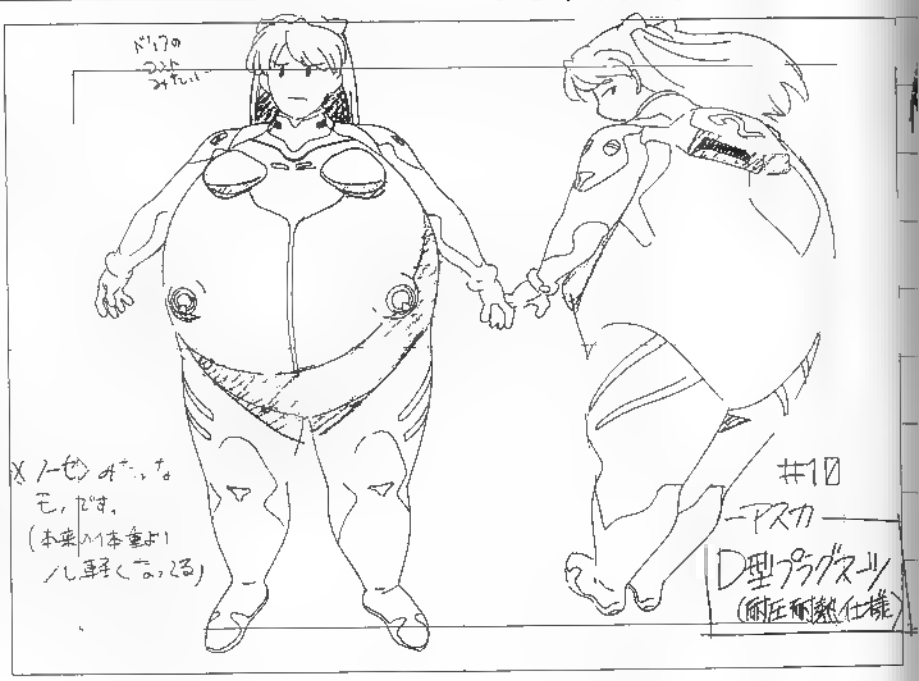
## ヒカリの告白にボーゼン(18話)



## 水着(10話)

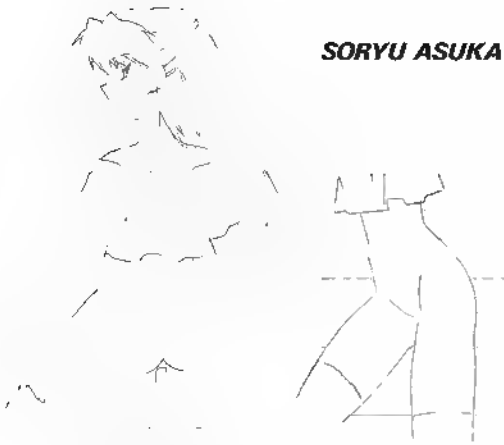



## プラグスーツ



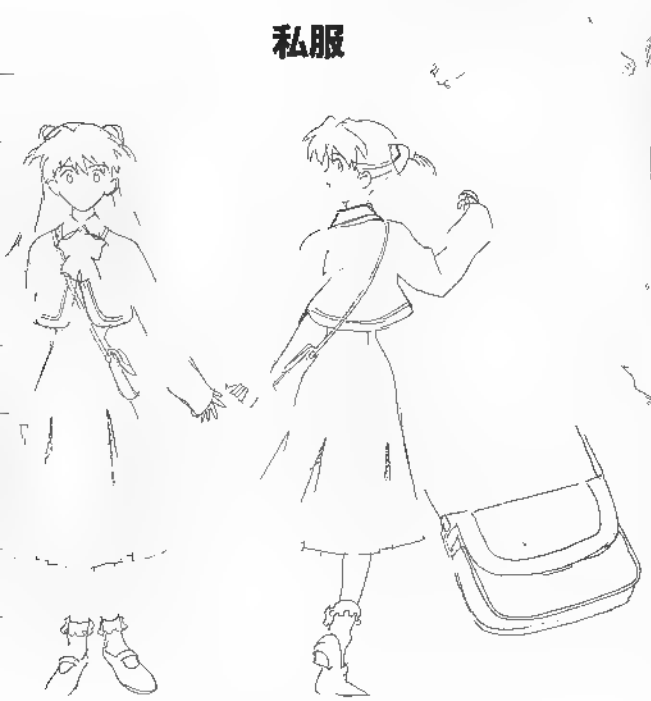
from Scenes

## バスタオル姿(16話)

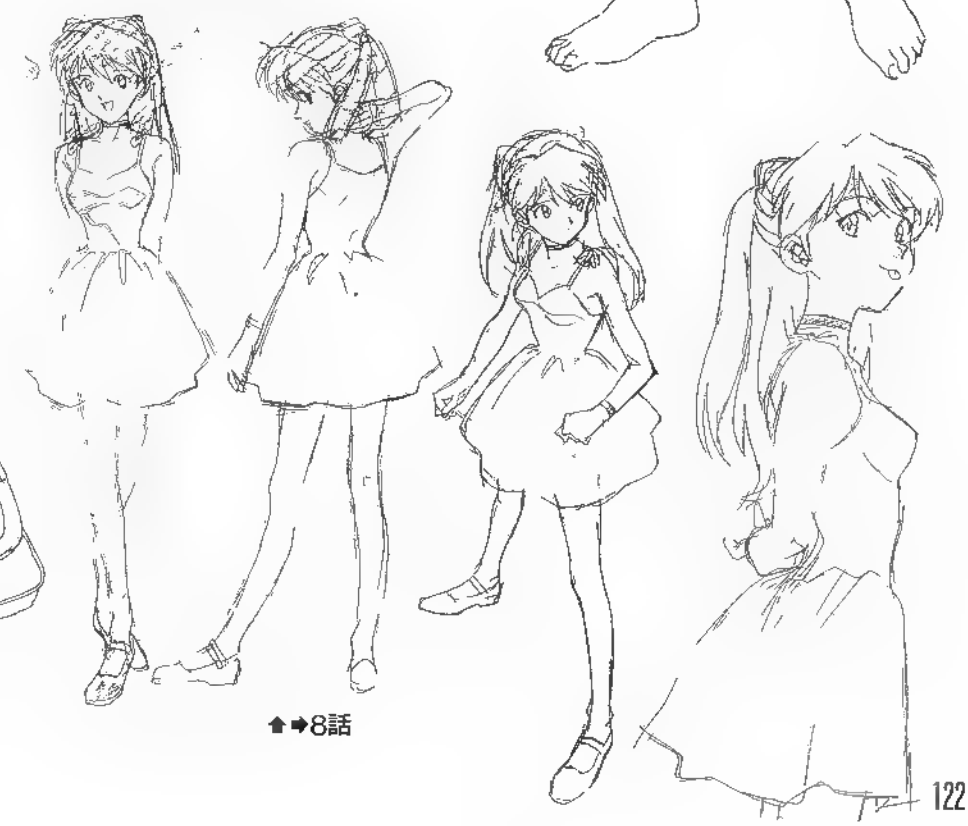


## ペアルック(9話)

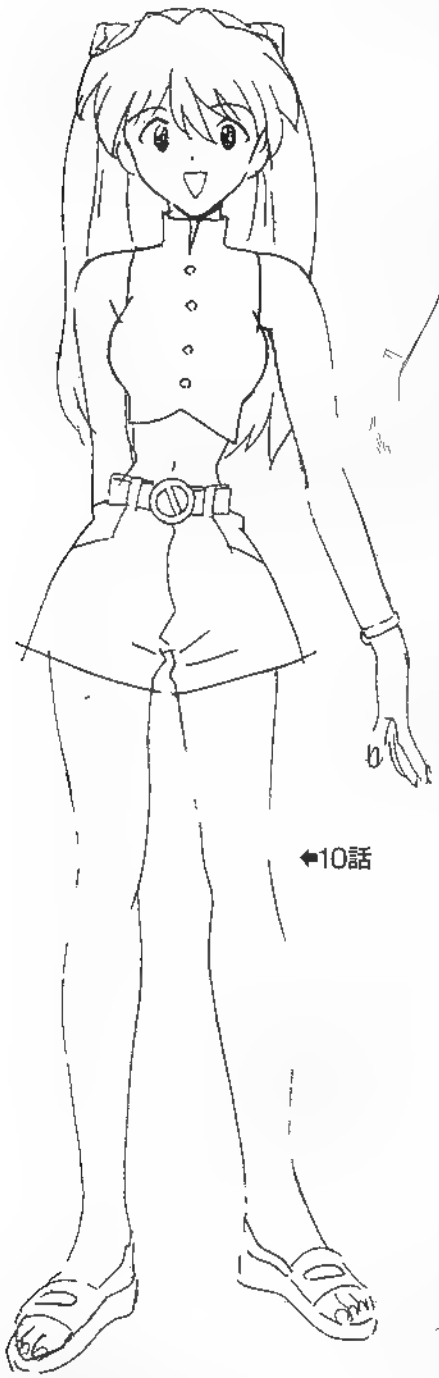
## 私服



⬆15話



⬆➡8話



←10話

from Scenes

**自己崩壊後**(24話)

Properties

**サルのぬいぐるみ**

from Scenes

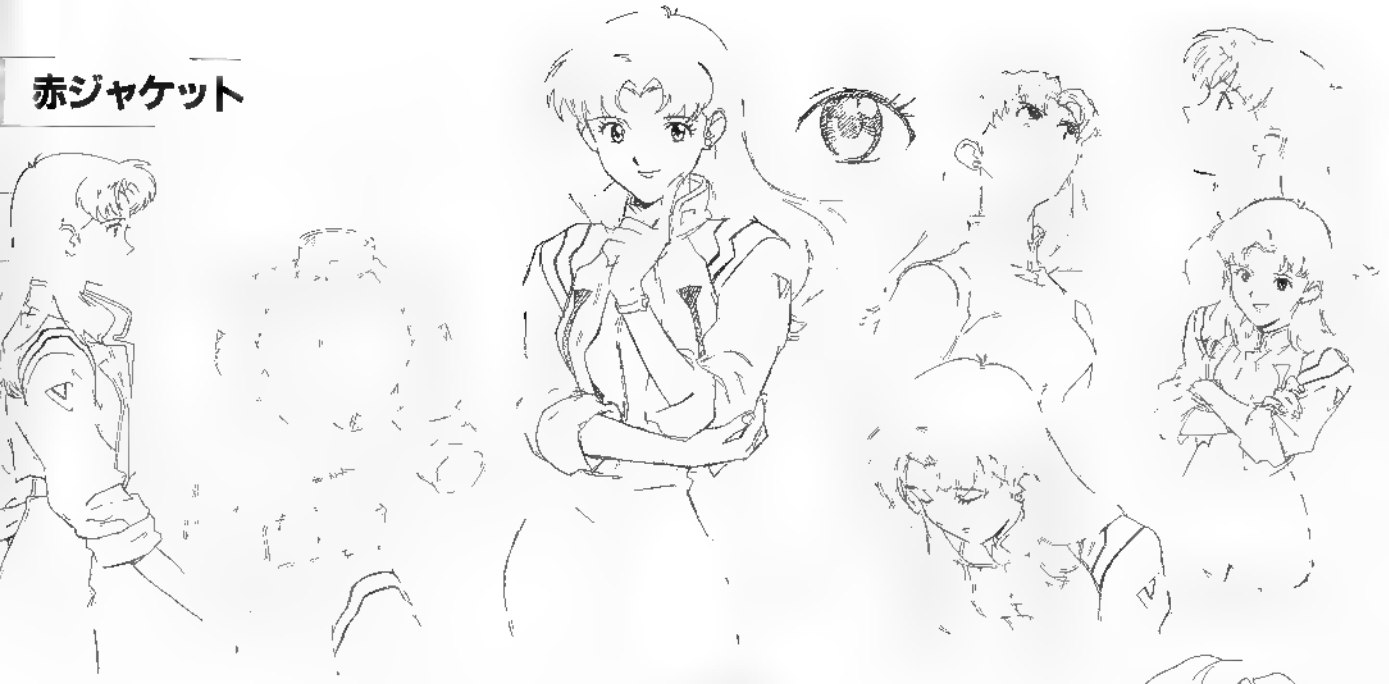
**幼少時代**(22話)

# 葛城ミサト

## MISATO KATSURAGI

ネルフ本部戦術作戦部作戦局第一課所属。作戦部長として対使徒戦略を立案・実行する。階級は、12話で一尉から一佐に昇進。シンジとアスカの保護者。ふだんは明るくてバイタリティあふれる女性だが、セカンドインパクトで大勢の人に降るほどの深い傷を心に負っている。リツコとは学生時代からの友人で、加持の元恋人。

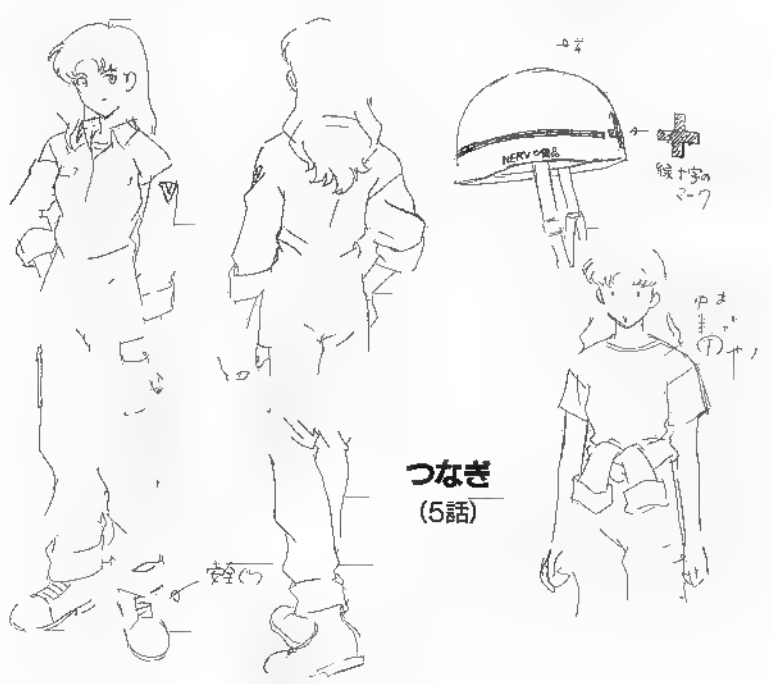
### 赤ジャケット



### 表情集

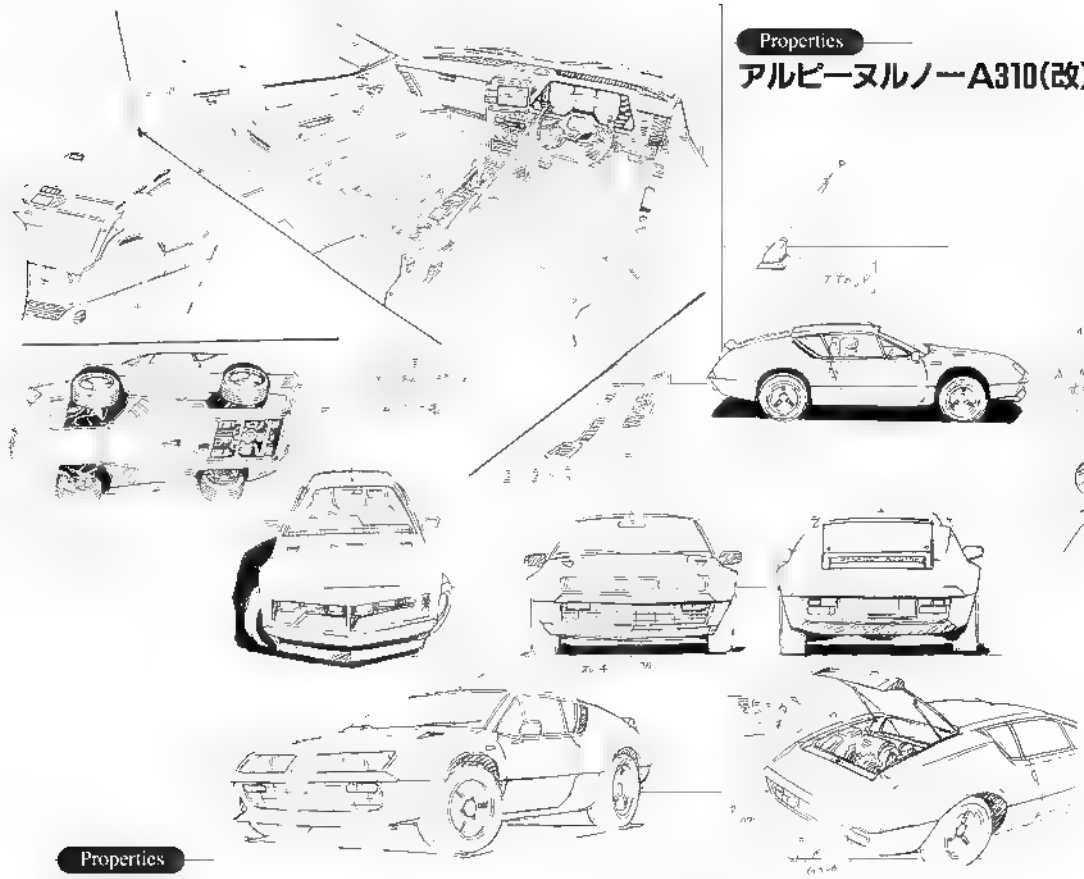
### ネルフ礼服（7話）

### つなぎ（5話）

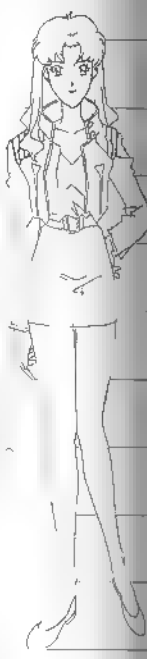


Properties

## アルピーヌルノーA310(改)

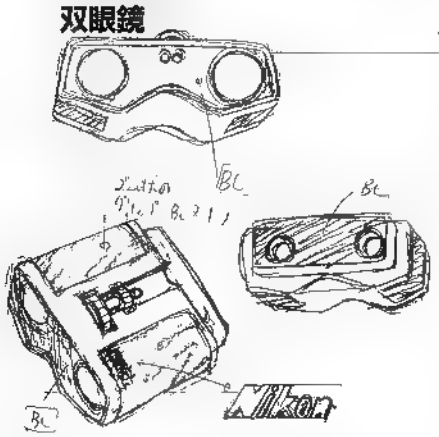


◆9話◆

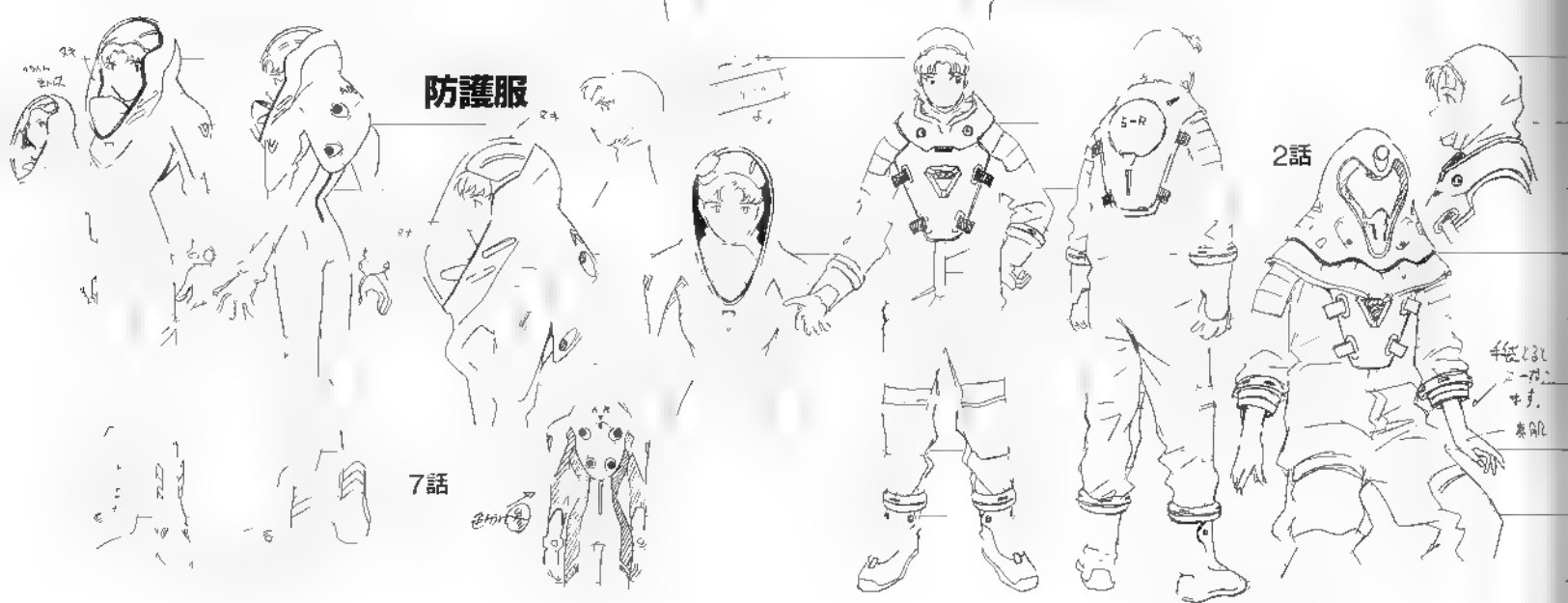


Properties

## 双眼鏡

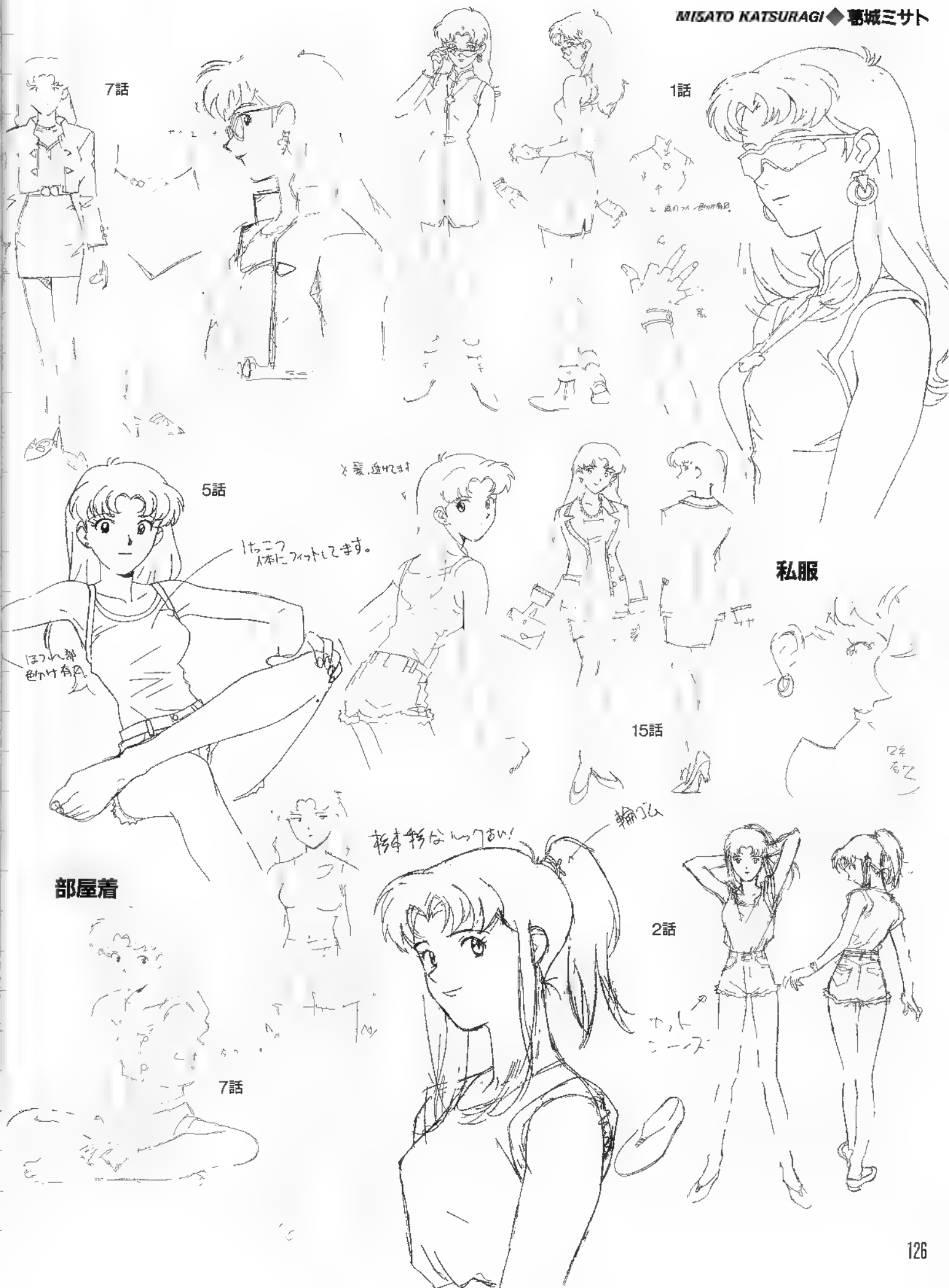


## 防護服



7話

2話


7話
1話
5話
15話
私服
部屋着
2話
7話

**包帯姿**(19話)

**胸のキズ**

**大学時代**

➡12話

from Scenes

**学食にて**(21話)

Properties

**襟章**

**14歳・失語症時**

➡4話・パジャマ

# 赤木リツコ

**RITSUKO AKAGI**

ネルフ本部技術開発部技術　課長補　スーパーコンピューター・MAGIの開発者・赤木ナオコ博士の娘で、エヴァの開発プロジェクト・E計画の責任者。合理的で　冷静な女性。サトミにも本音を言おうとしないが、この作では女心情などが描かれている。母と、どのようにケンドウにこを持たれ、彼に対する思いから身の破滅を招いてしまう

表情集

白衣

ウェットスーツ

包帯姿

## 私服

## 大学時代

←5話

←15話

←7話

from Scenes
**高校時代**(21話)

Properties
**ノート型パソコン**

# 碇ゲンドウ
GENDO IKARI

人工進化研究所の所長を経て、国連直属の特務機関・ゲヒルン、そしてネルフの司令官となる。使徒の研究・調査・せん滅を指揮するとともに、人類補完計画と呼ばれる極秘プロジェクトの責任者でもある。目的のためには、手段を選ばない冷徹な性格の持ち主。

Properties
**メガネ**

## 表情集

# 冬月コウゾウ
KOZO FUYUTSUKI

ネルフ副司令。本部・不在がちなゲンドウの代わりに業務を遂行することが多い。人アの助教授を務めていたときに、ユイ、そしてゲンドウに出会う。ゲンドウの理解者ではあるが、その鋭い洞察力で彼の行動を冷静な目で観察し、ち定的意見を口にすることもある。

表情集

助教授時代

セカンドインパクト調査時

研究生時代
(六分儀ゲンドウ)

ゲヒルン時代

# 加持リョウジ RYOJI KAJI

ネルフ特殊監査部に所属し、政府内務省の調査部員でもあるダブルスパイ。ドイツ支部よりアスカ、弐号機、そしてアダムと称される物体とともに帰国する。ミサトの子供時代の恋人で、アスカの憧れの男性。女性には軽しが、人一倍、を達観しているような部分をもつ。

## 表情集

From Scenes
**大学時代**(21話)

**私服**
←15話・スーツ

Properties
**IDカード**




UN NERV
RYOJI KAJI

10100100110110101

# 伊吹マヤ MAYA IBUKI

ネルフ本部技術局一課に所属する赤木リツコの部下で、階級は一尉。通常は、中央作戦司令部において、エヴァの稼働状況をモニターするオペレーター。楽観主義的なところがあり、ダミープラグの使用に難色を示す。

# 日向マコト MAKOTO HYUGA

ネルフ本部中央作戦司令部作戦局第一課に所属し、主としてオペレーターを務める。階級は一尉。直属の上司であるミサトに対して憧れにも似た恋愛感情を抱いていて、ミサトのために危険な任務にあたることもしばしば。



from Scenes
**私服(11話)**



# 青葉シゲル SHIGERU AOBA

ネルフ本部中央作戦司令を付オペレーターで、日向とともに通信・情報分析を担当している。階級は一尉。直属の上司は不明だが、司令官である冬一の可能性が高い。趣味はギター。

# 相田ケンスケ KENSUKE AIDA

第壱中学校のシンジのクラスメートで、トウジとは親友。ミリタリー＆メカマニアで、エヴァへの興味からエヴァの搭乗者になることを切望するようになる。シンジ、トウジとともに、アスカから「3バカトリオ」と呼ばれる。

制服

私服

# 鈴原トウジ TOJI SUZUHARA

シンジのクラスメートで、剣道部の熱血漢。シンジの初めての戦闘で妹が負傷したことから、シンジに怒りをぶつける。後にフォースチルドレンに選ばれ、エヴァ3号機に乗るが、使徒の侵入で機体を乗っ取られてしまう。

Properties
ビデオカメラ

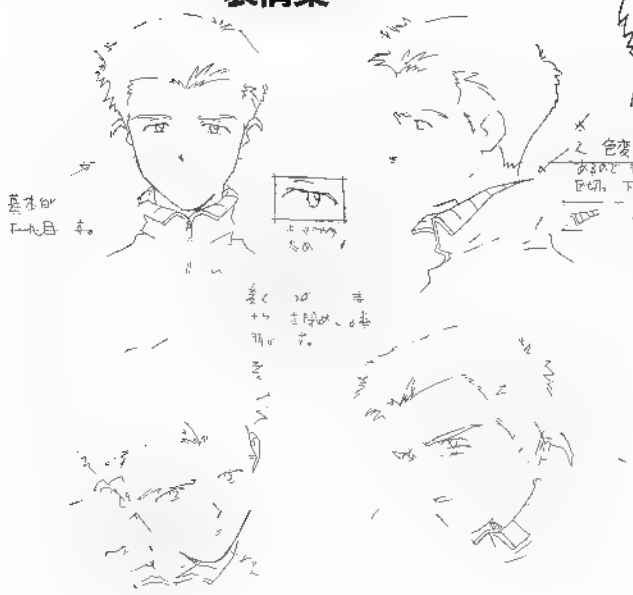
Properties
カバン

表情集

# 洞木ヒカリ HIKARI HORAKI

ケンジたちのクラスメートで学級委員長。正義感が強く、トウジたちに煙たがられるが、本当は、ひそかに"トウジの優しいところ"にひかれている。ユダマという姉とノゾミという妹がいるが、物語では2人は登場しなかった。

## 表情集



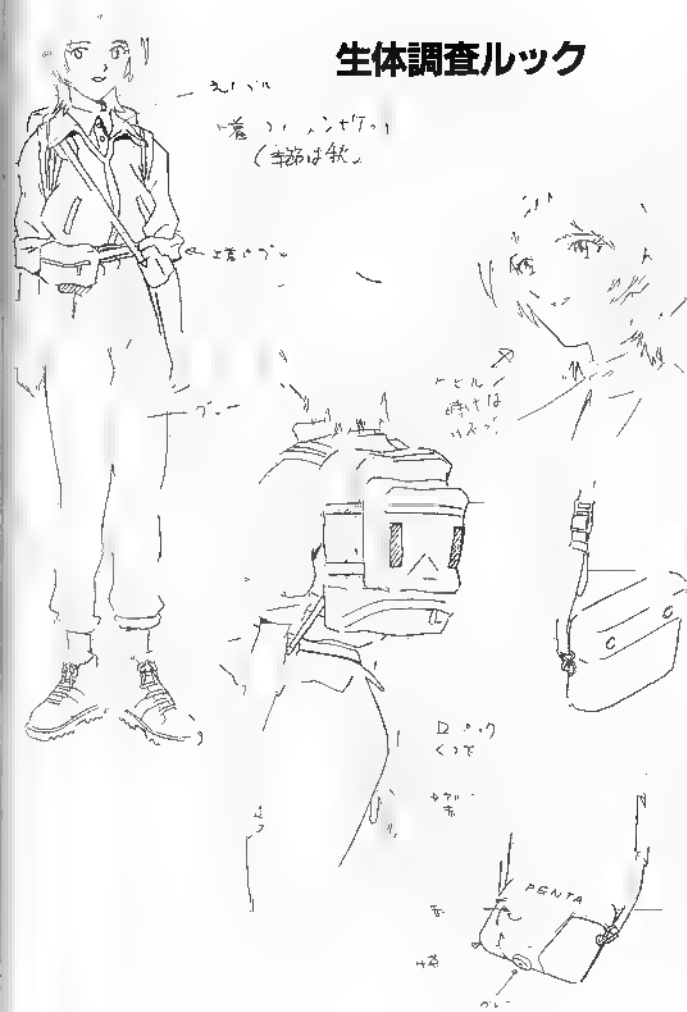
## ジャージ姿

from Scenes

## エプロン姿
(17話)

## パジャマ姿

## 生体調査ルック




## 白衣

# 碇ユイ YUI IKARI

ゲンドウの妻で、シンジの母親。京都の大学で冬月が助教授をしていたときの優秀な教え子だった。その後、大学院生ゲンドウと結婚してシンジを出産。2004年、人類補完計画での実験中に命を落とす。

## オペレーターたち

# 赤木ナオコ NAOKO AKAGI

リツコの母でネルフのスーパーコンピュータシステム・MAGIの開発者。ゲンドウのためにMAGIを完成させたが、彼が目的のために自分を利用したことに気づき、MAGIの中でみずから命を絶つ。

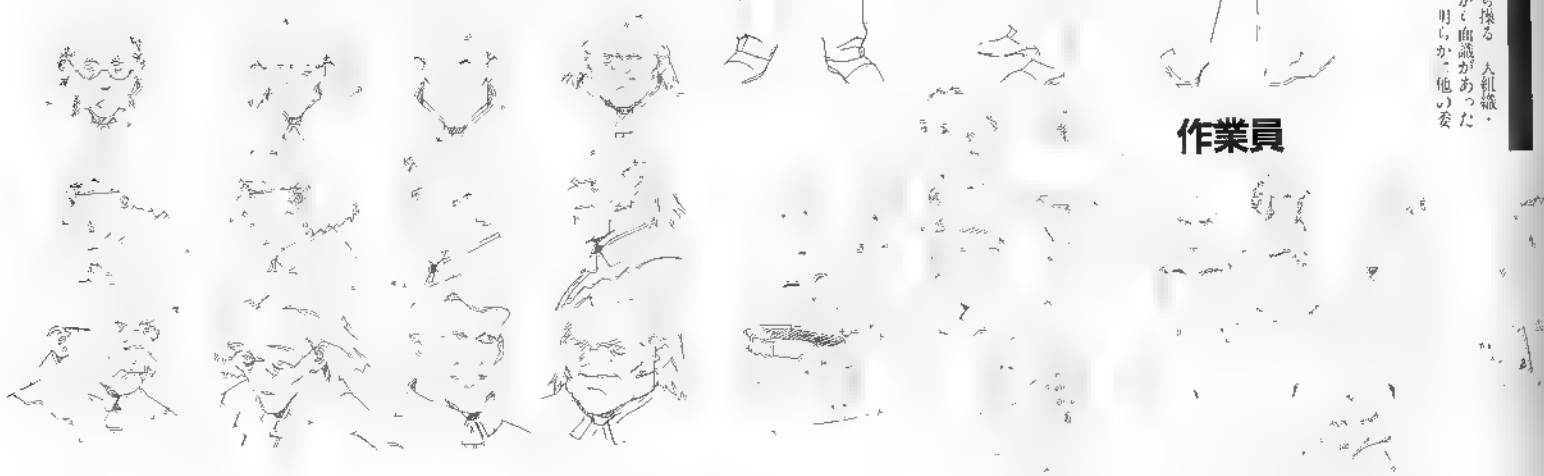
# キール・ローレンツ KEEL LORENZ

人類補完委員会、そして、世界を陰から操る、人組織・ゼーレの重要人物。ゲンドウとは、いくかに面識があったようで、2人だけで会話を交わすなど、明らかに他の委員たちとは違った態度を取る。

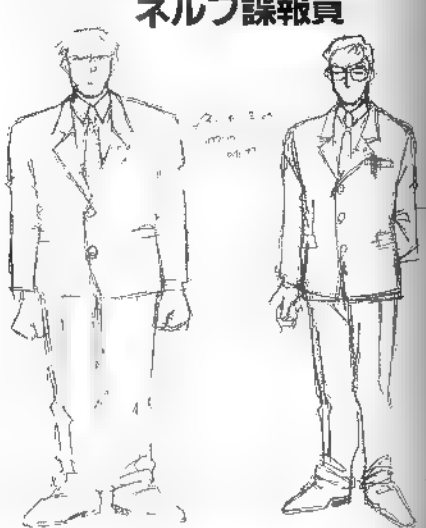
15年前

人類補完委員会

作業員



ネルフ諜報員



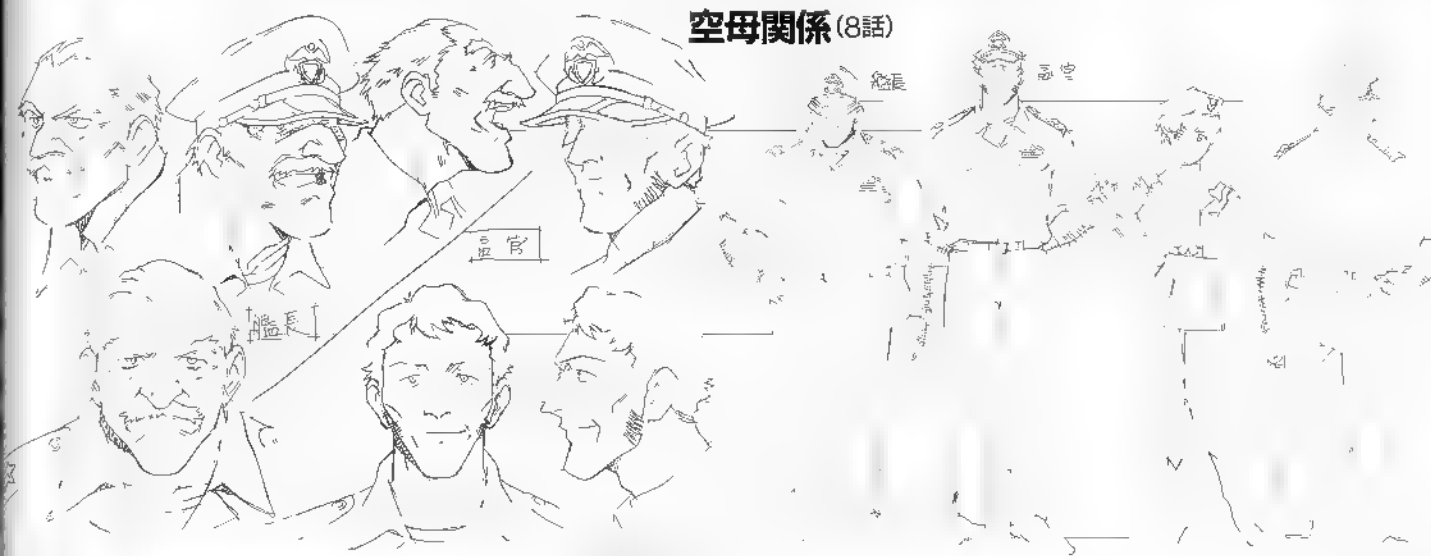
# ペンペン PEN2

新種の温水ペンギン。ミサトとふたりぐらし。彼いわく、ペンギンにあるまじき嗅覚の持ち主。人の風呂を覗くのが趣味。

# サブ・キャラクター SUB CHARACTERS

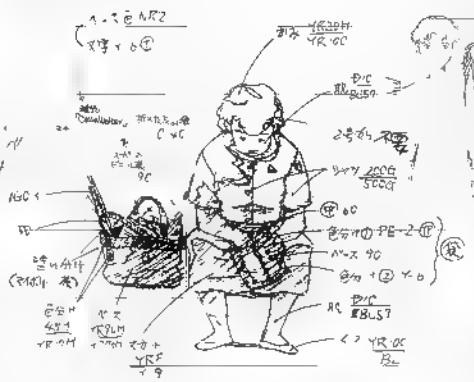
## 軍司令

## 空母関係(8話)



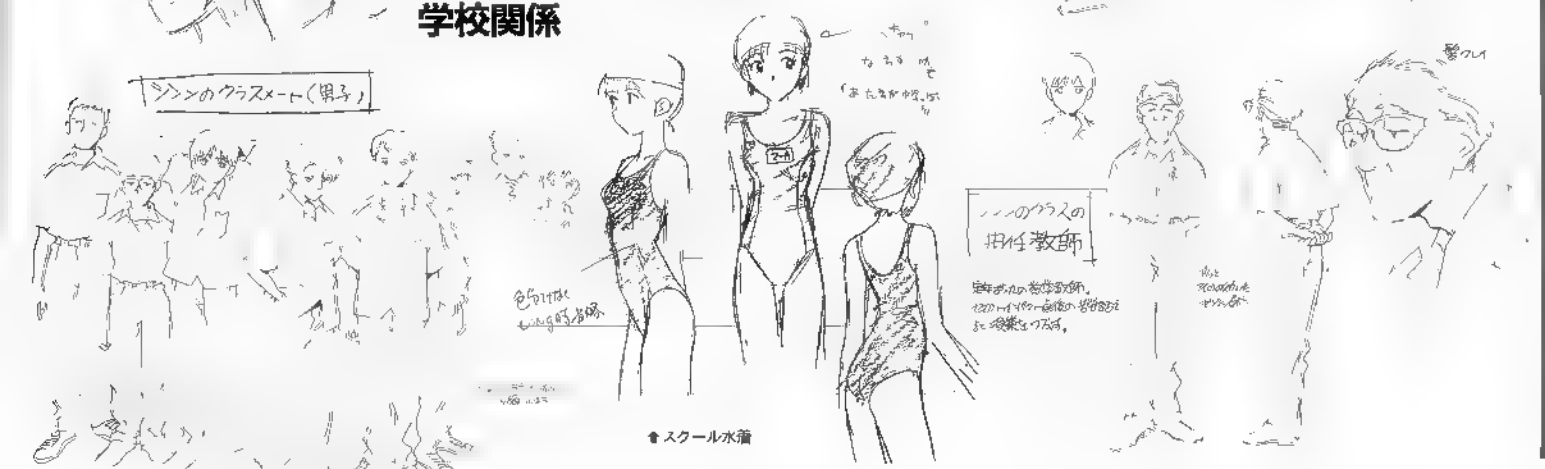
from Scenes

## 謎のおばさん(15話)



## 時田(7話)

## 学校関係




↑スクール水着

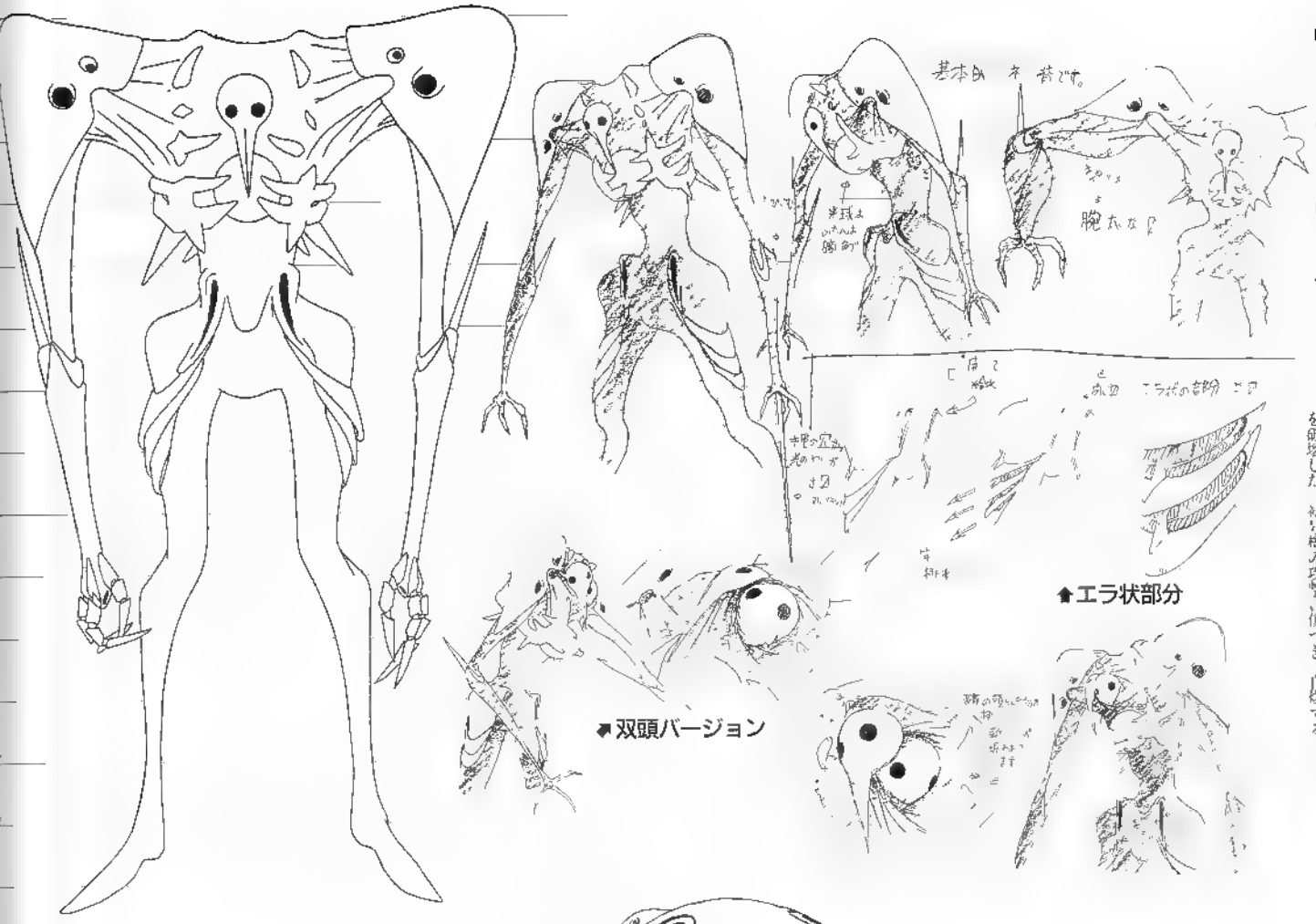
# 庵野秀明

The Official Art of EVANGELION

# CRUEL ANGEL

# サキエル
SACHIEL

15年ぶりに、その異形を人類の前に呈し、初めて日本に降り立った第3使徒。腕から光の槍を放つ、N2地雷の攻撃で、第1の頭部が出現。両眼からの光線で第3新東京市を破壊した。初号機の攻撃に傷つき、自爆する。

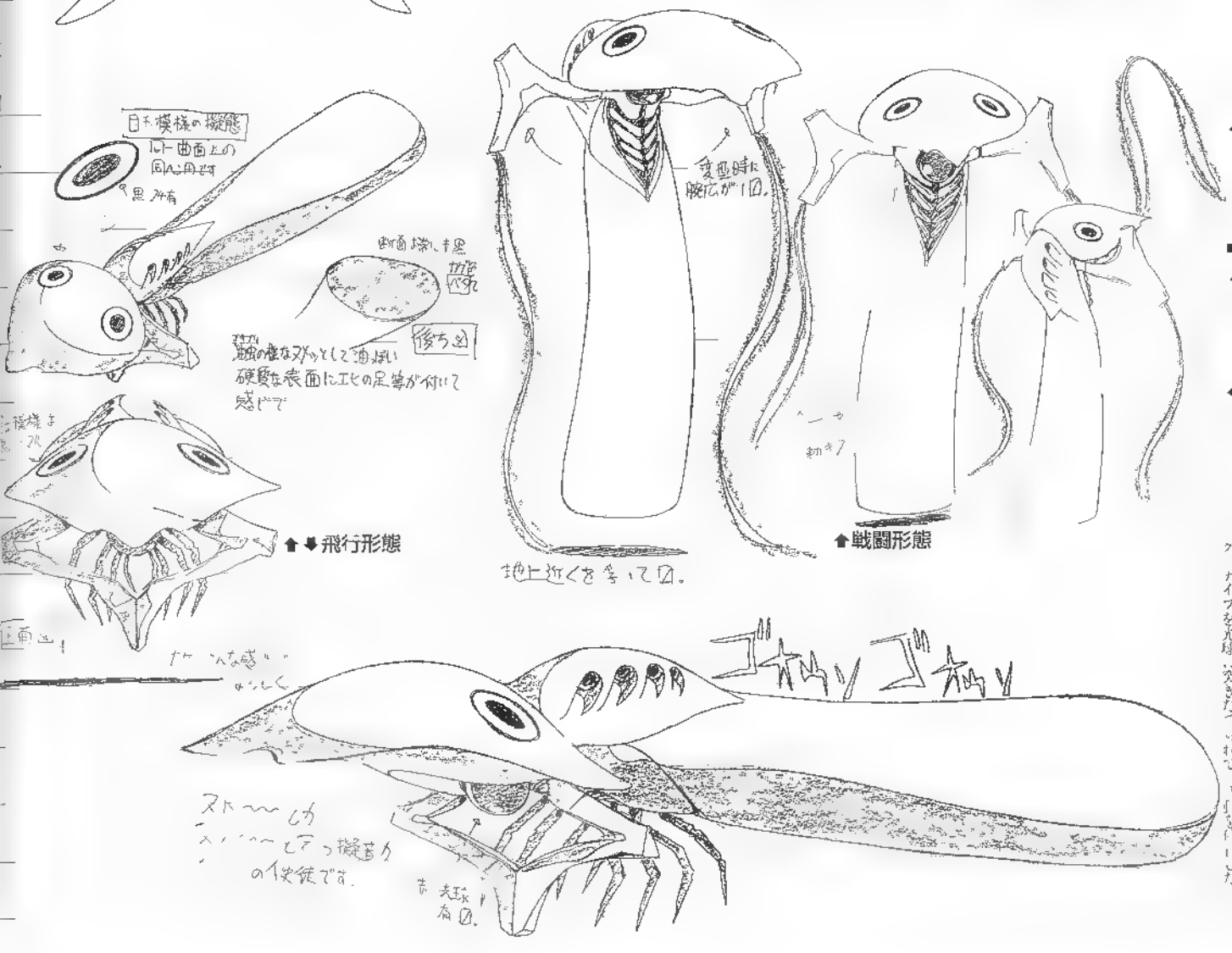



⬆エラ状部分

⬇双頭バージョン

# シャムシェル
SHAMSHEL

飛行形態から、戦闘形態へと変態を遂げ、両腕状の部分から生えた2本の光のムチで攻撃する第九使徒。その力はエヴァの体を容易くバラバラにするほどで、初号機のプログナイフを光球に突きたてられても、ビクともしなかった。

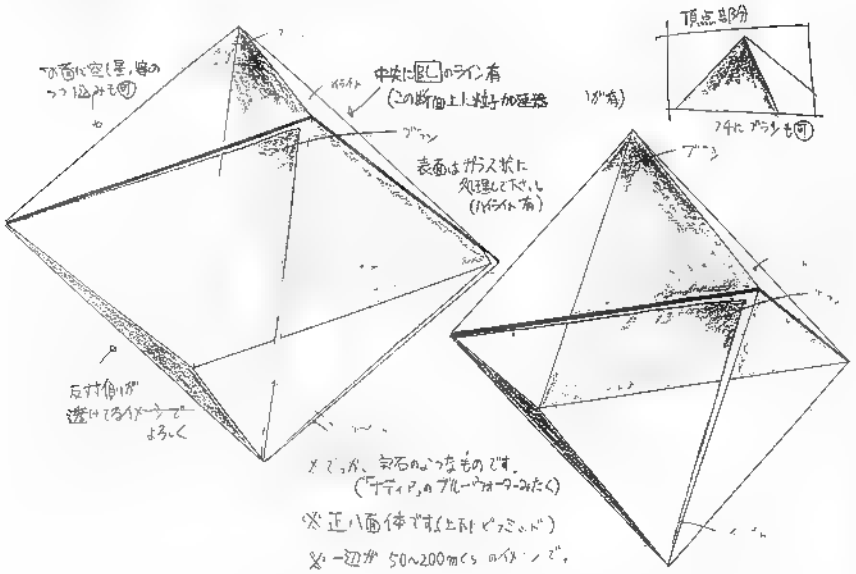


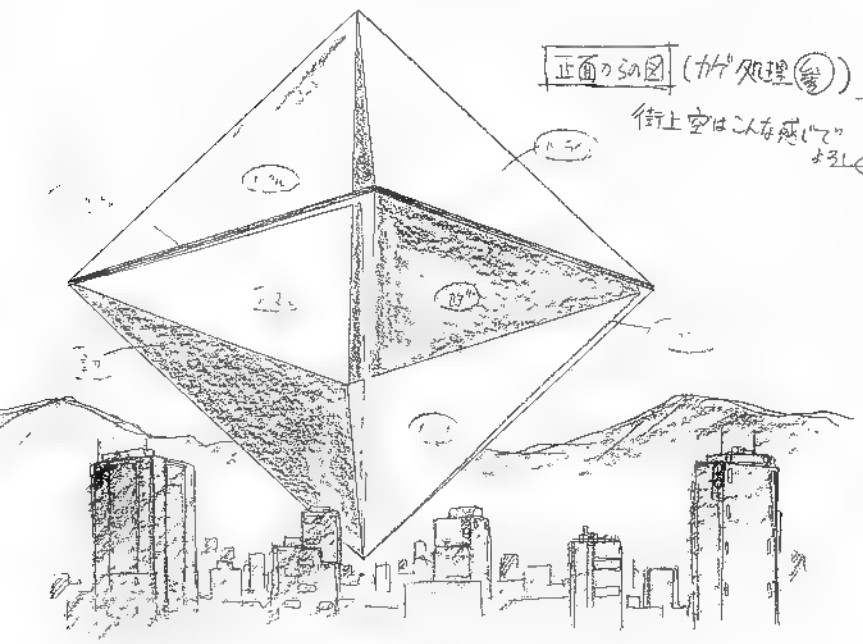

⬆戦闘形態

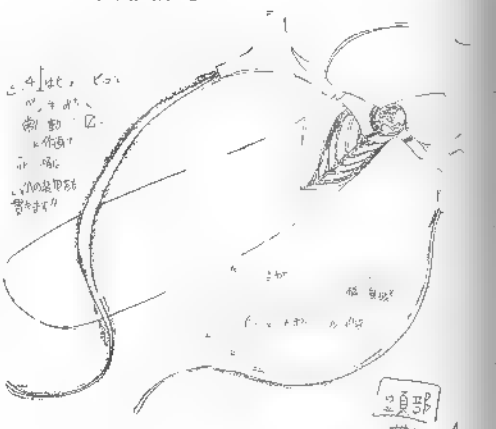
⬆⬇飛行形態

# ラミエル RAMIEL

ピラミッドを上下に付着した形態をもち、空中をゆったりと飛行する第九使徒。加粒子ビームで、一定距離内の外敵を自動的に排除する性質を有する。初号機の放った※高陽電子砲の攻撃を受け、炎をあげて機能を停止した。

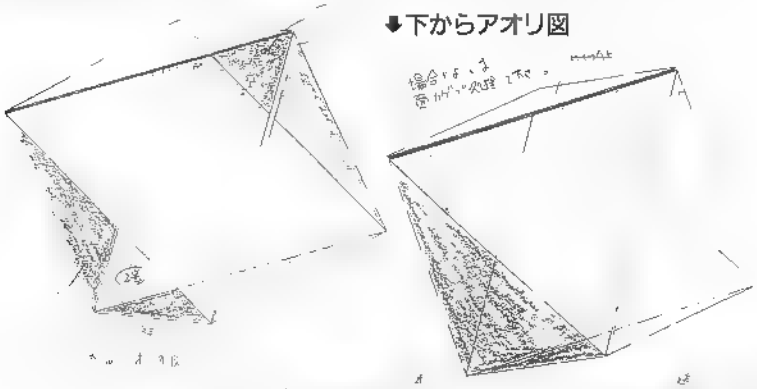


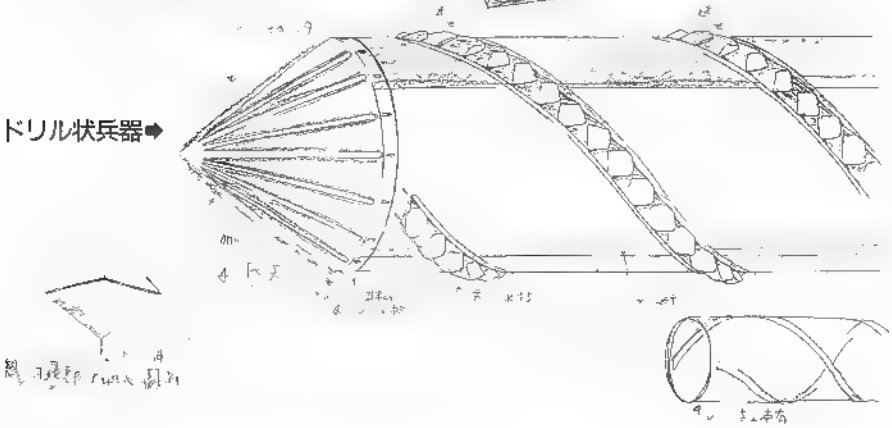


◆半戦闘形態

◆下からアオリ図

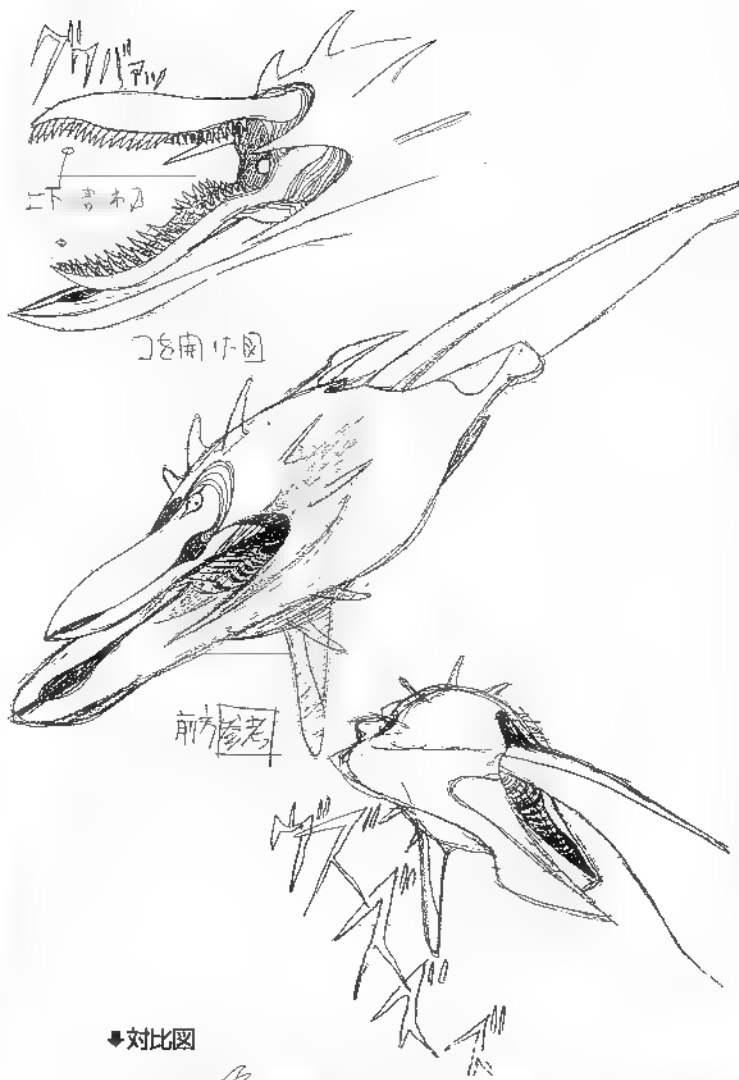


ドリル状兵器◆

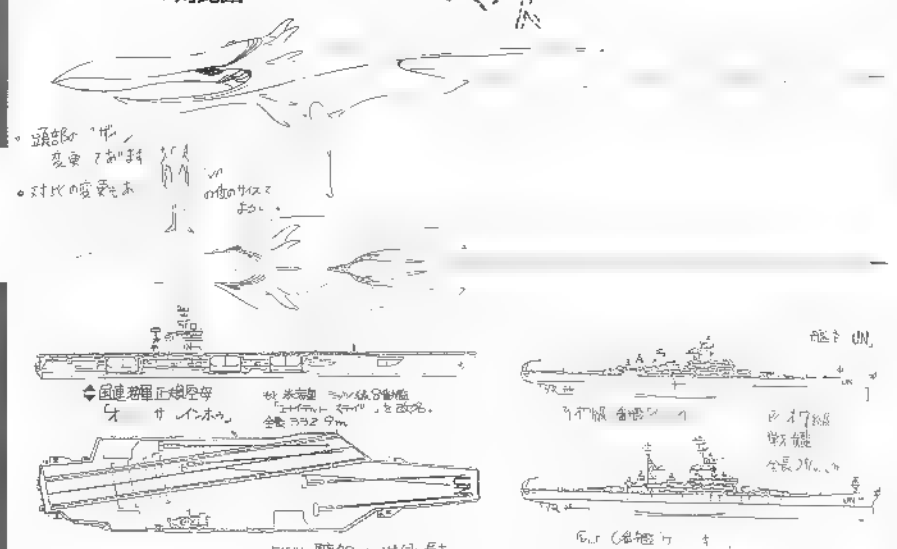


# ガギエル
## GAGHIEL

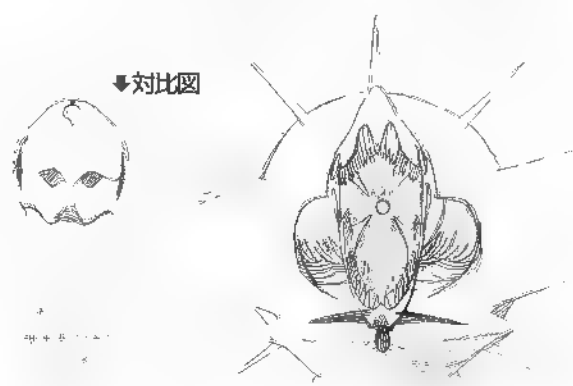
加持の輸送する"アダム"を追って太平洋（伊豆近海と推定）に出現した。アスカが初めて闘った第六の使徒。日内に侵入した弐号機にN2をこじあけられたところへ防衛線2度が潜入。その攻撃と自爆によって海中に散る。




◆対比図

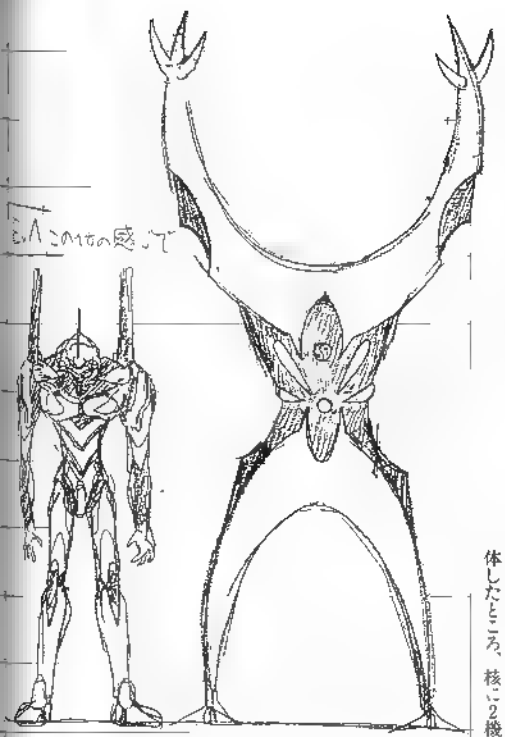



◆対比図



# イスラフェル
## ISRAFEL

紀伊半島沖に潜伏していた第五使徒。弐号機の長刀を受けて2体に分離。一度は初号機と弐号機を敗退させた。特訓によりシンクロに成功した初号機と弐号機を前に合体したところ、核に2機のキックが命中、爆死した。

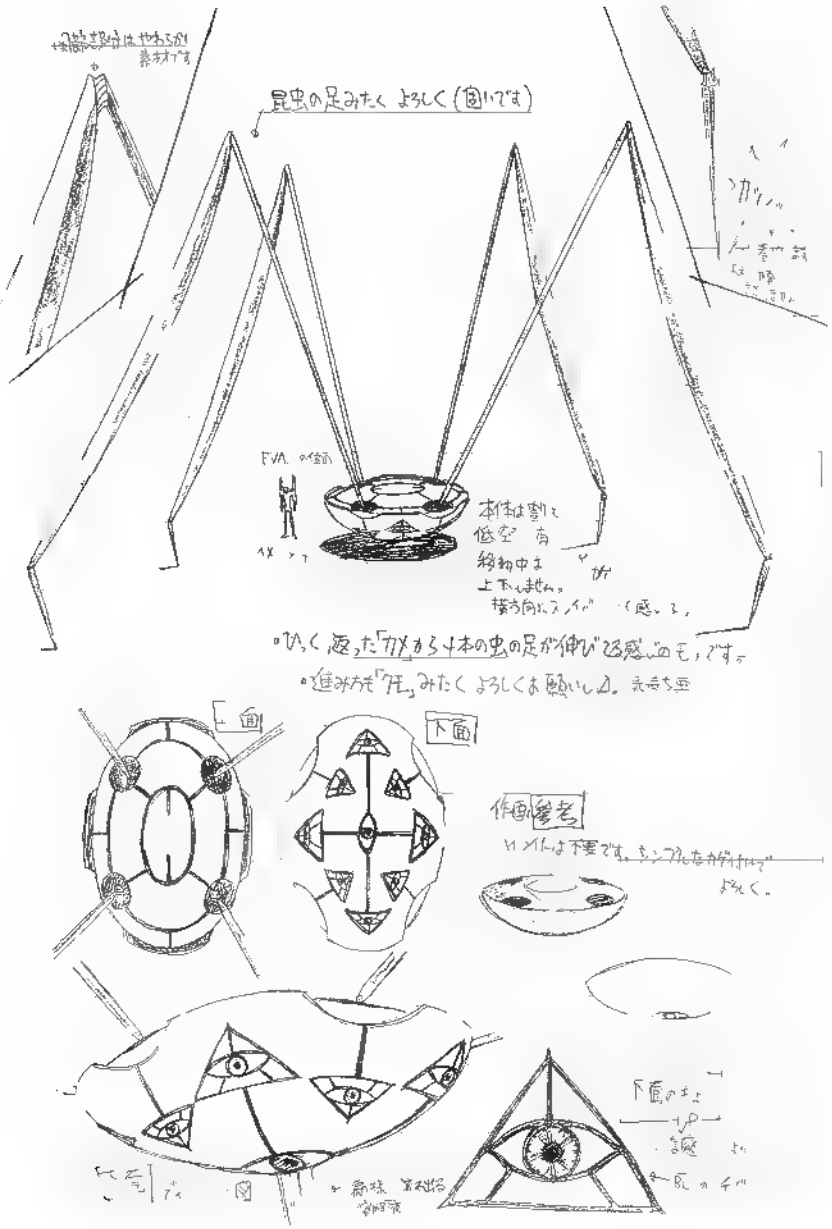


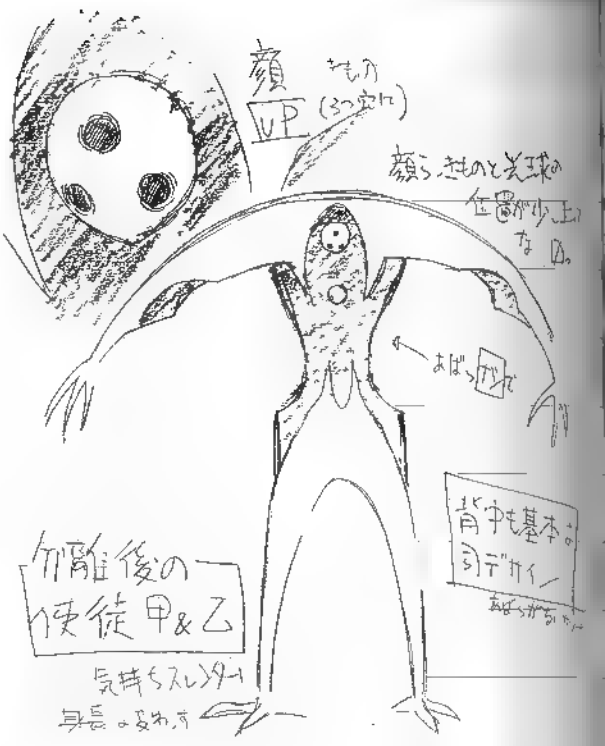

# サンダルフォン
## SANDALPHON

浅間山の火口に眠っていた第六使徒。オルフの捕獲作戦の最中に覚醒し、胎児のような姿から羽化した。マグマの中でも自在に活動が可能。熱膨張の原理を応用した弐号機の　命知夜　による攻撃を受けて絶命。分解した。

# マトリエル MATARAEL

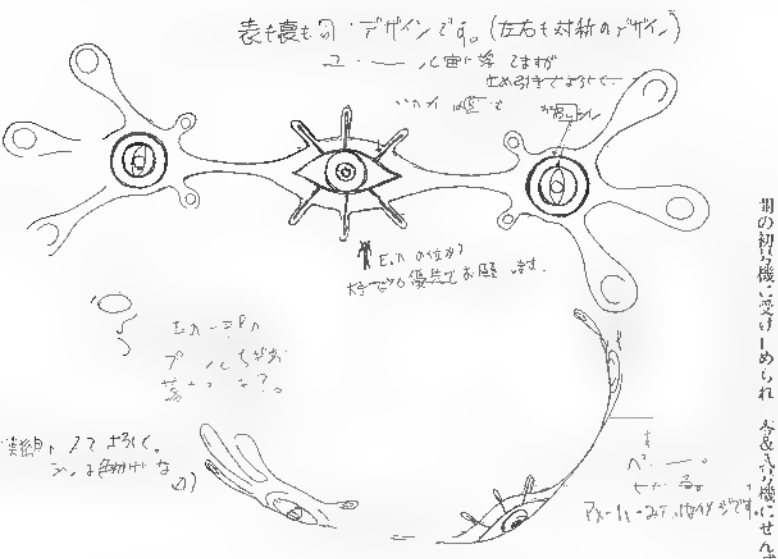
電力供給の断たれた第3新東京へ、日没と同時に侵入をはかった。4つの長い足で移動し、日のような部分から熱線をしたたらせる。初号機のウラン弾の連射を受けて絶命。

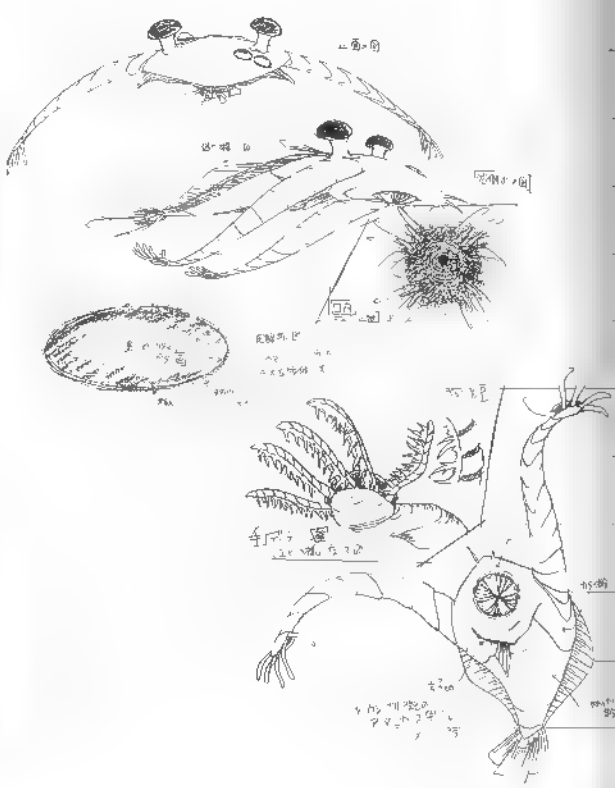


# サハクィエル SAHAQUIEL

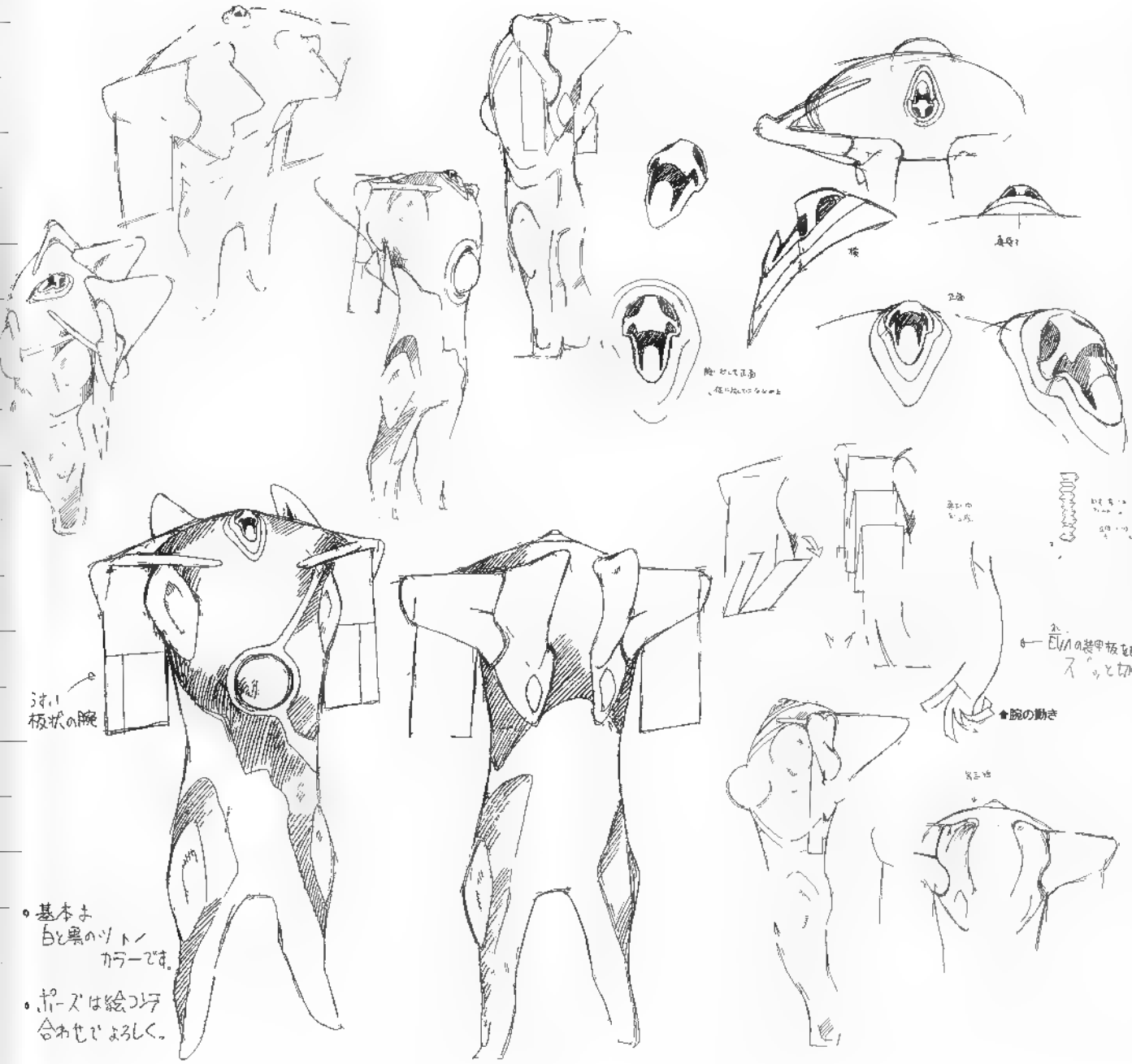
イスラフェルの衛星軌道に出現した第十使徒。3つの体を分離させ 人工衛星より落下。その爆発力でネルフ本部の破壊を試みた。地上へ落下したところを、フィールド全開の初号機に受けとめられ 為すすべもなく機にせん滅される。



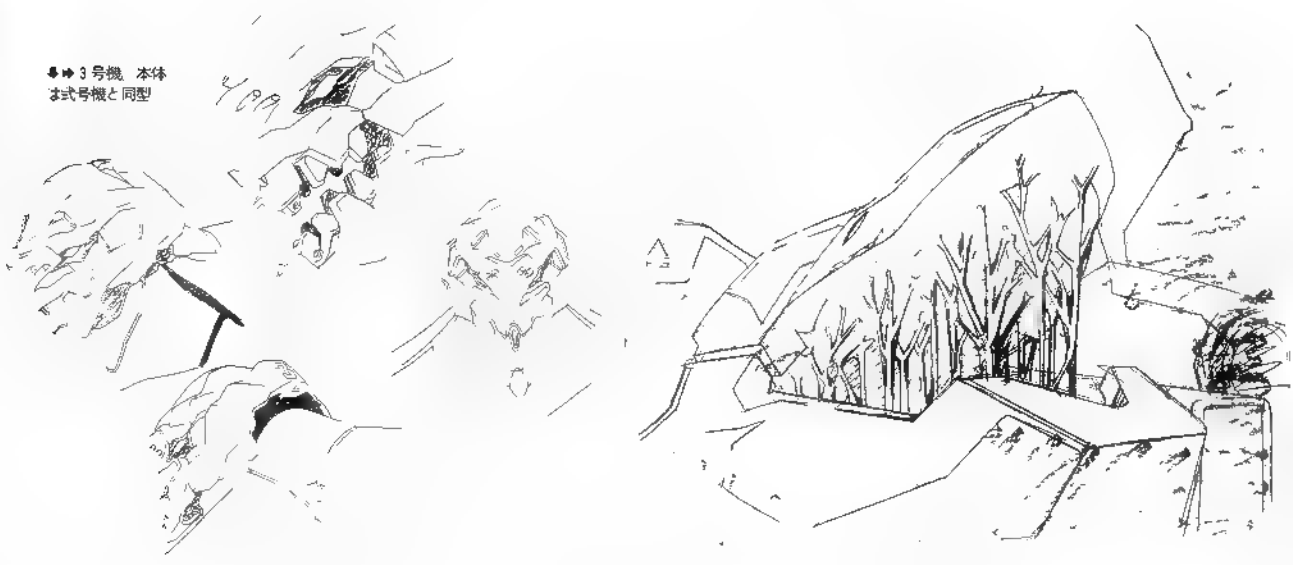
# ゼルエル ZERUEL

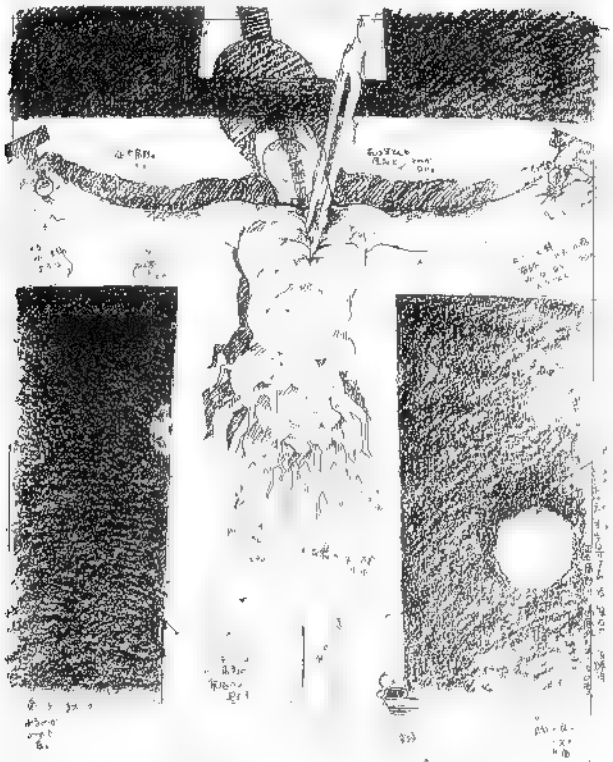
最強と呼ばれる第一四使徒。空中を自在に移動し、両眼から発する光線で第3新東京市を焦土に変えた。ふだんは折り畳んである両手を伸ばしてカッターのようにあらゆるものを切断。覚醒した初号機にもさんざん喰われた。




# バルディエル BARDIEL

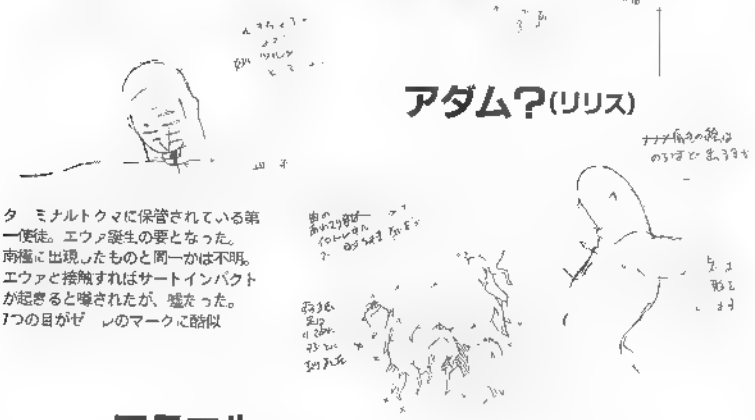
3号機に寄生した結肉状の第十一使徒。起動実験に活用を開始し、3号機を操った。エントリープラグ部分にそれとわかるものがぶらさがっている。両腕を伸ばして攻撃するが、ATフィールドを起動した初号機に破壊される。



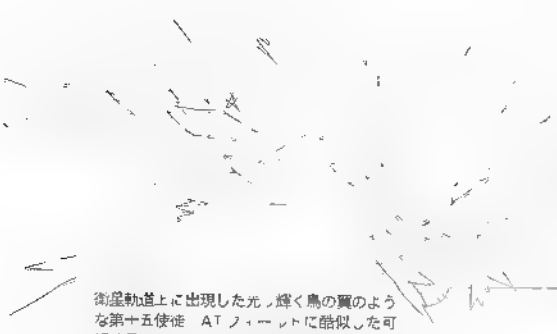


## アダム?(リリス)

タ ミナルトクマに保管されている第一使徒。エウァ誕生の要となった。南極に出現したものと同一かは不明。エウァと接触すればサートインパクトが起きると噂されたが、嘘だった。7つの目がゼ レのマークに酷似



## アラエル



衛星軌道上に出現した光り輝く鳥の翼のような第十五使徒 ATフィールドに酷似した可視波長によるエネルギー光線で、上空から弐号機内のアスカに精神攻撃を仕掛けた。弊号機が放った ンキヌスの槍に貫かれて、消滅

ある朝突然、第3新東京市に現れた第十 使徒。空中に浮かぶ白黒ストライプ模様の球体が影で、その下の黒い影こそか本体。内部に広がる虚数空間"ディラックの海"こ初号機を取りこむか、エウァの脱出により破壊された

## アルミサエル

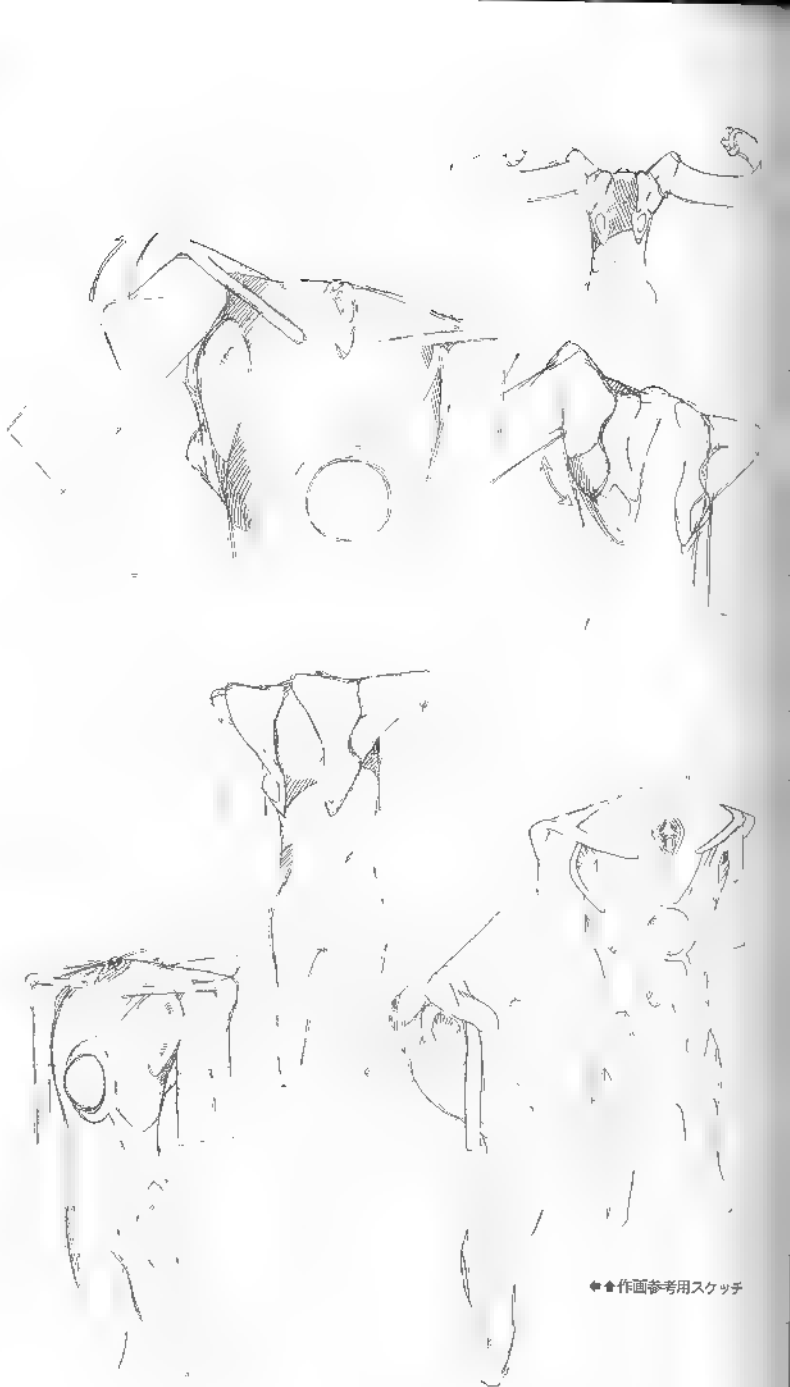
光り輝く巨大な輪のような姿をした第十六使徒。空中を移動し、接触によって相手の体だけでなく精神をも融合させる能力をもつ。弊号機およびレイとの融合をはかった。シンクロをかけったレイの自爆によって破壊される

## レリエル
## イロウル

ウイルスサイズの第十 使徒。実験中の第弐タンパク壁のシミとして出現し、エウァの模擬体を侵食した後、マギへハッキング ネル 本部の自爆を提訴する。ハッカカスター を通して仕掛けた自滅促進プログラムにより滅んだ

## 光の巨人

西暦2000年に南極に出現した使徒。セカンドインパクトの元凶と考えられているか、詳細は不明。そのシルエットは著しくエウァに酷似しており、なんらかの関連性か予想されるか、その謎はケンドウの胸中に秘められている



←↑作画参考用スケッチ

# 渚カヲル
## KAWORU NAGISA

歌の好きな少年だが、その正体は、人間の姿をした第十三使徒・タブリスである。ゼーレより派遣されたフィフスチルドレンとしてネルフ本部に現れた。シンジと交流をはかり、シンジも心を開きかけるが、その真の目的はターミナルドグマに侵入してアダムと接触することにある。最期はみずから望んで、シンジの乗る初号機の手に握り潰される。

↑↓初期ラフイメージ

from Scenes
**初号機の手の中で**
(24話)

from Scenes
**風呂場にて**
(24話)

# 福音戦艦進化論

The Official Art of EVANGELION

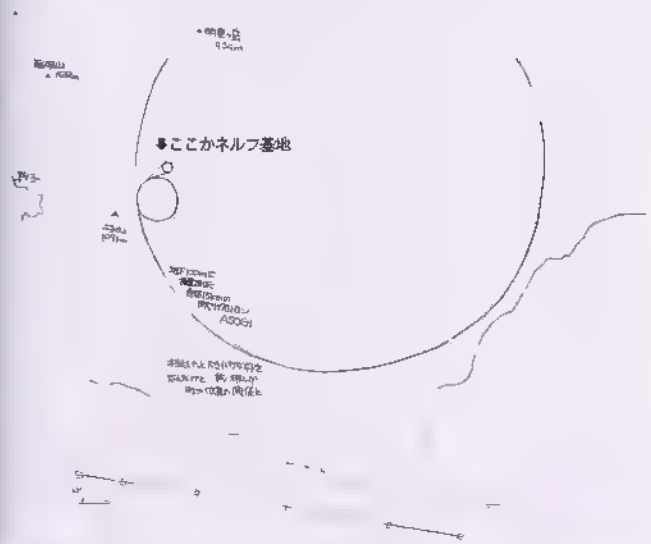
# STAGE OF THE MYTH

# 第3新東京市 TOKYO-III

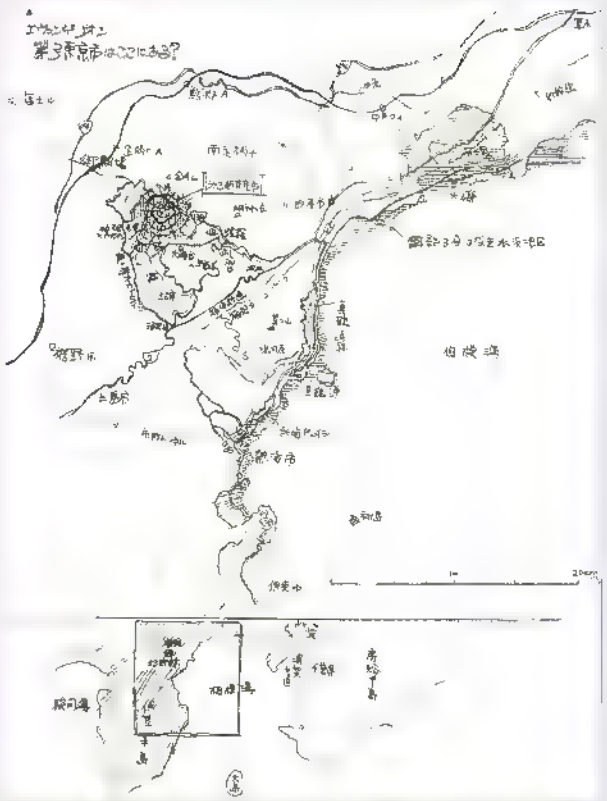
第3新東京市は現在の箱根付近、建設中の一時首都。だが、ネルフの本部は使徒迎撃のための要塞都市である。なお、初期稿やラフ設定のうち、SF情報誌などには「トいくと、きお誠ん、庵野秀明ほかガイナックススタッフか 美術的なものはスタジオ美峰がすがった

➡➡右は第3新東京市の位置を示した初期稿。現在の平塚、大磯にあたる地域が水没している。下の地図ではその辺りに国際空港が作られている。第3新東京市は芦ノ湖の真北に位置しているが、第23話で零号機が自爆したことで芦ノ湖の水が流れ出し、都市は壊滅状態に陥る

➡下は第3新東京市と周辺地図のラフイメージ。

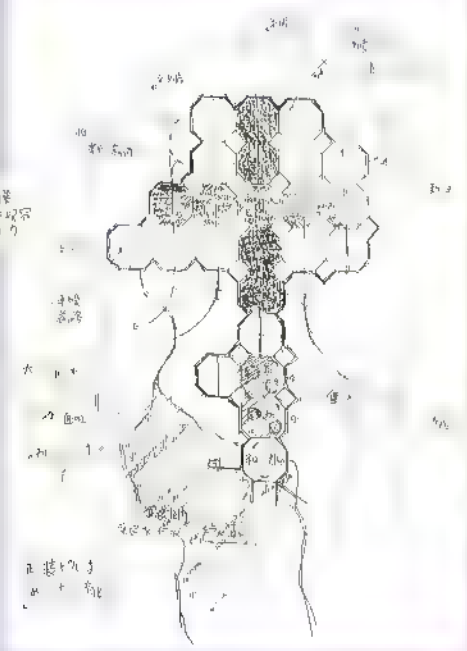


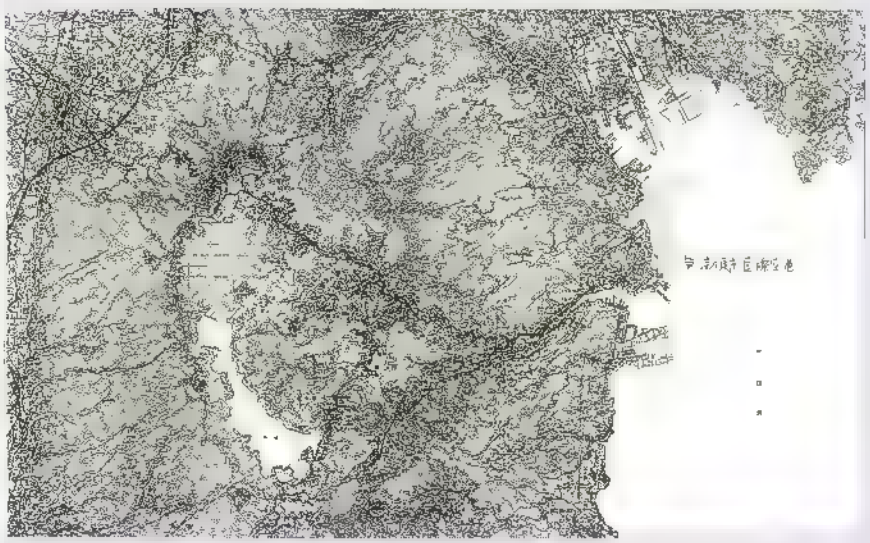
➡ここかネルフ基地



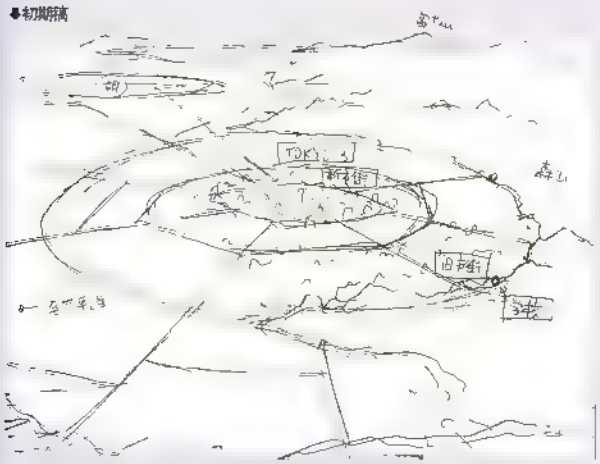
## 周辺地図

➡ラフ設定

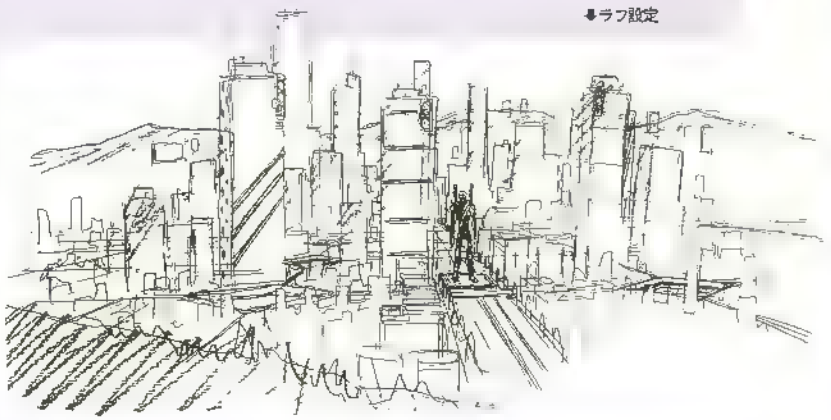


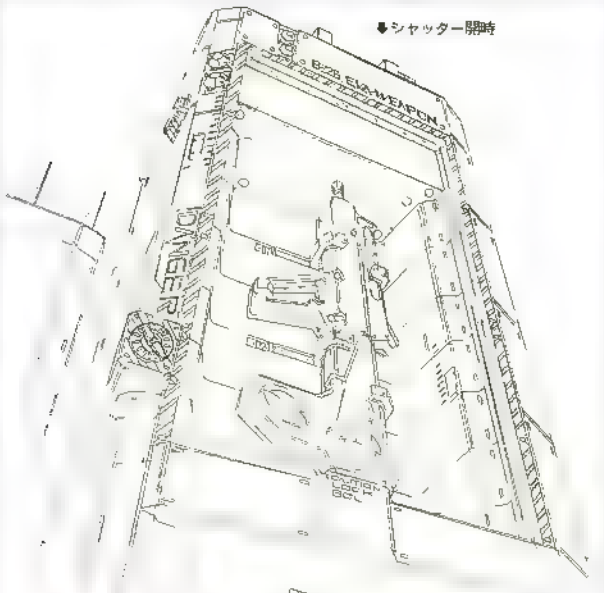


➡初期稿

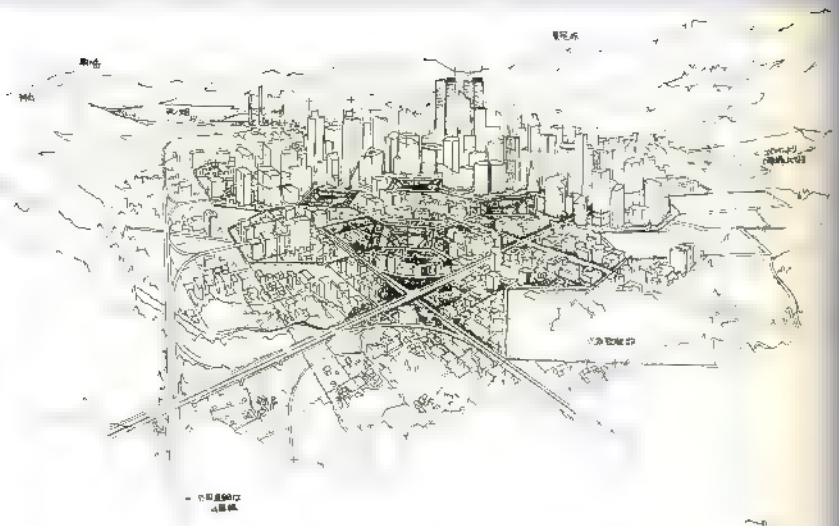


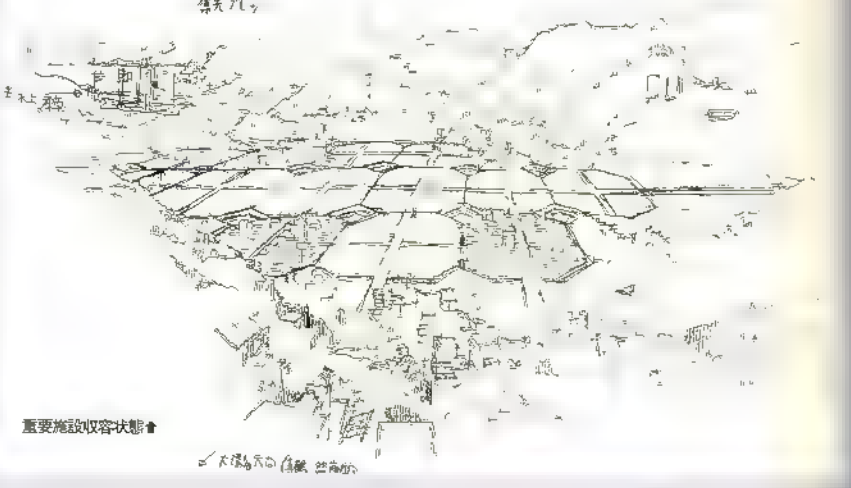
➡ラフ設定





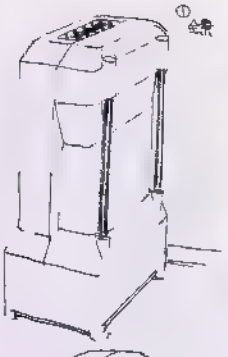

⬇シャッター開時

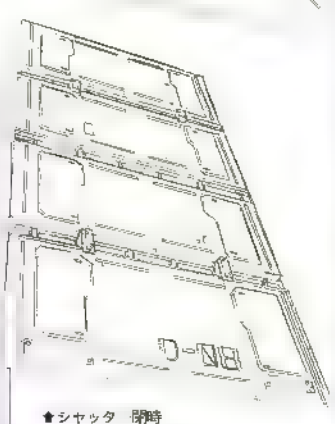




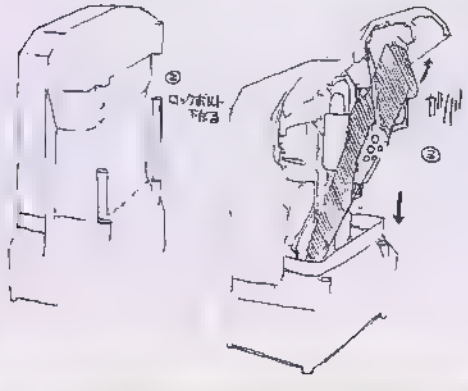
重要施設収容状態⬆

## 武器庫ビル





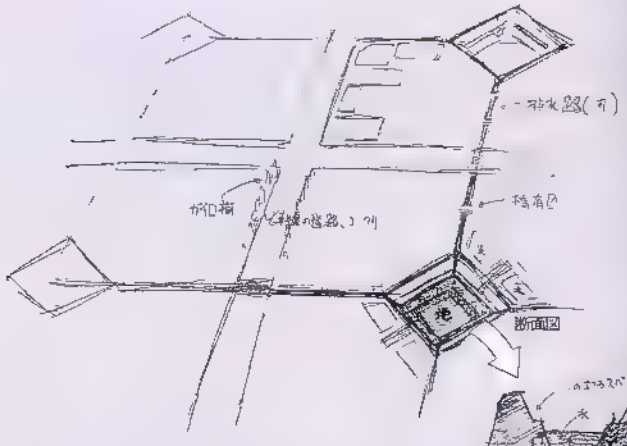
⬆シャッター開時



⬅左3カットは、武器庫ビルのギミックイメージ。上図の決定案と比べると、全体の形状の違い、ロックボルトの露出、シャッターではなく蓋になっているなどの相違が認められる

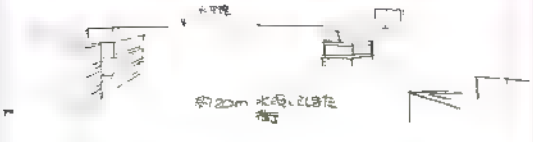
## 全体図

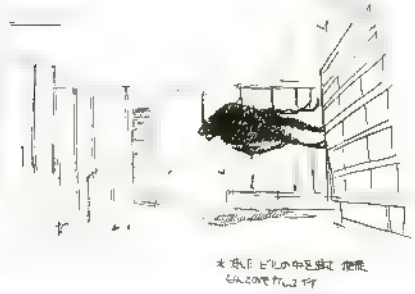
⬆ブロックイメージ

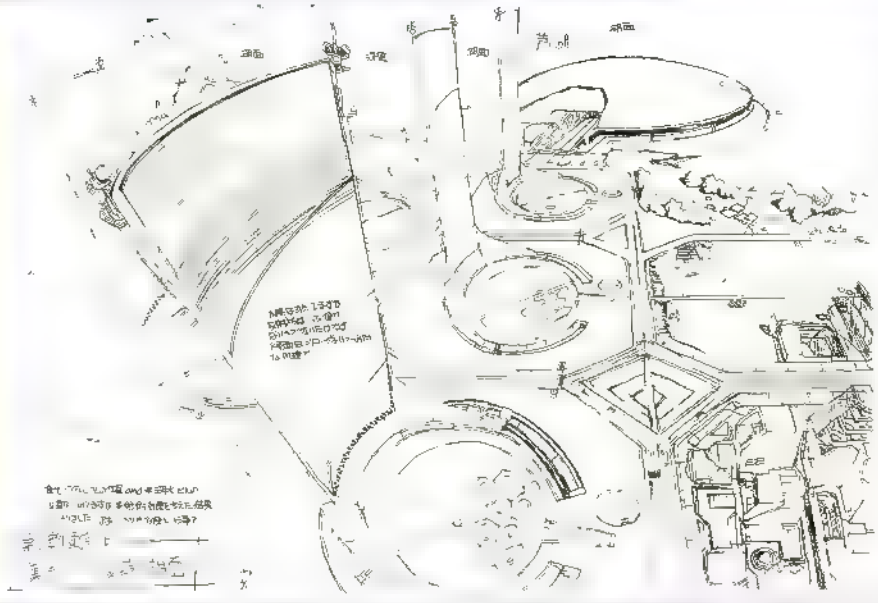


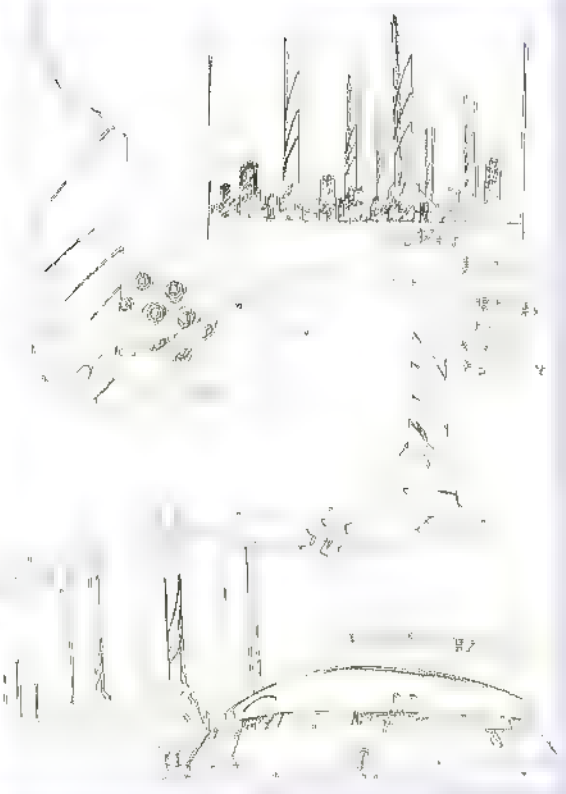
## 水没ビル

⬅⬇第1話で、第三使徒サキエルが登場したシーンで使われた印象的な水没ビル群のラフスケッチ。天変地異で街が崩壊した様子が効果的に表現されている



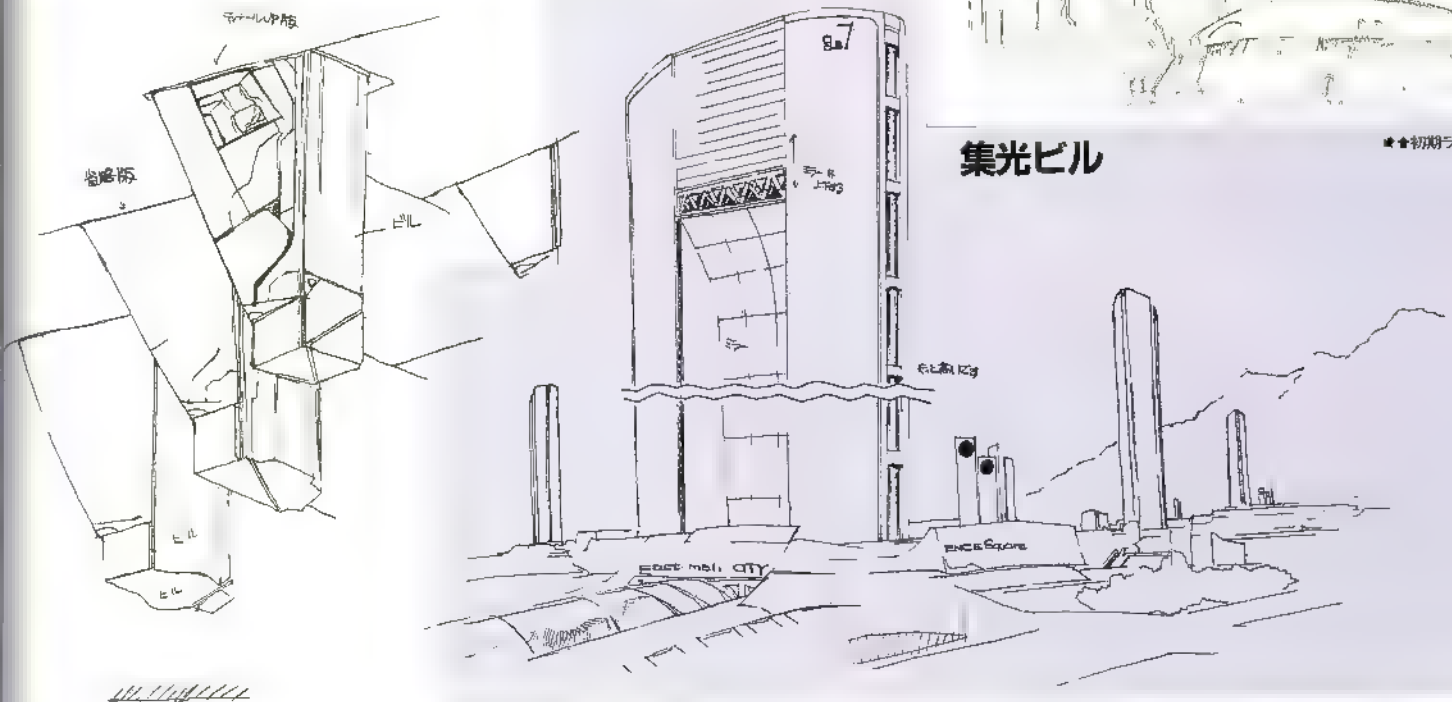




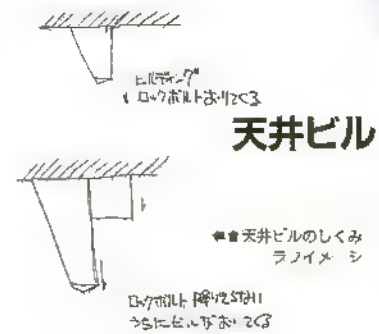


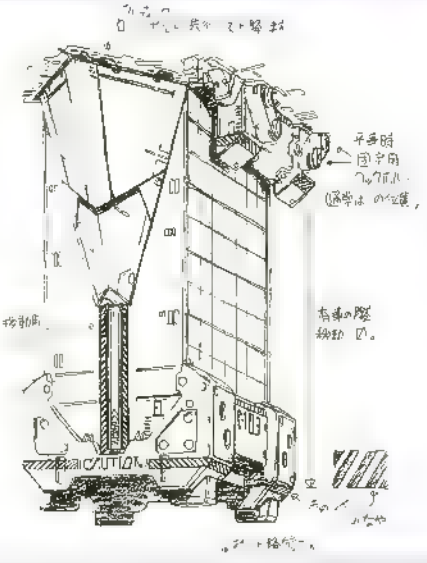
## 集光ビル

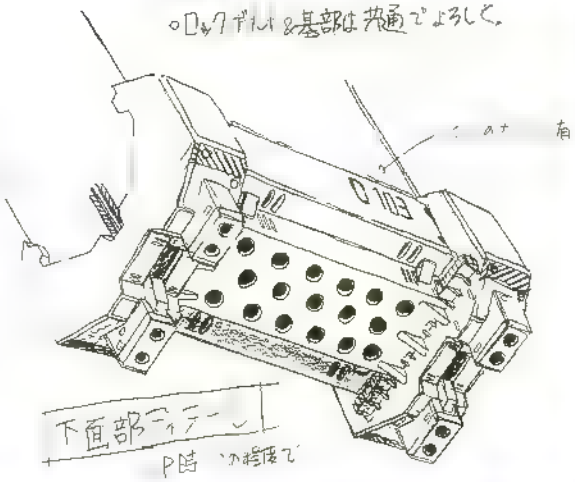
■▲初期ラフイメージ

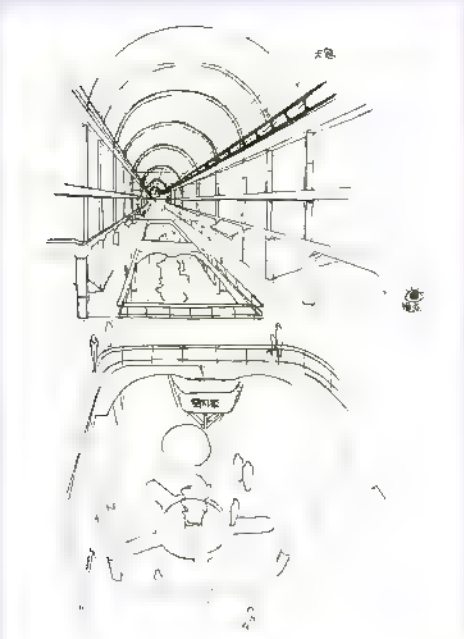


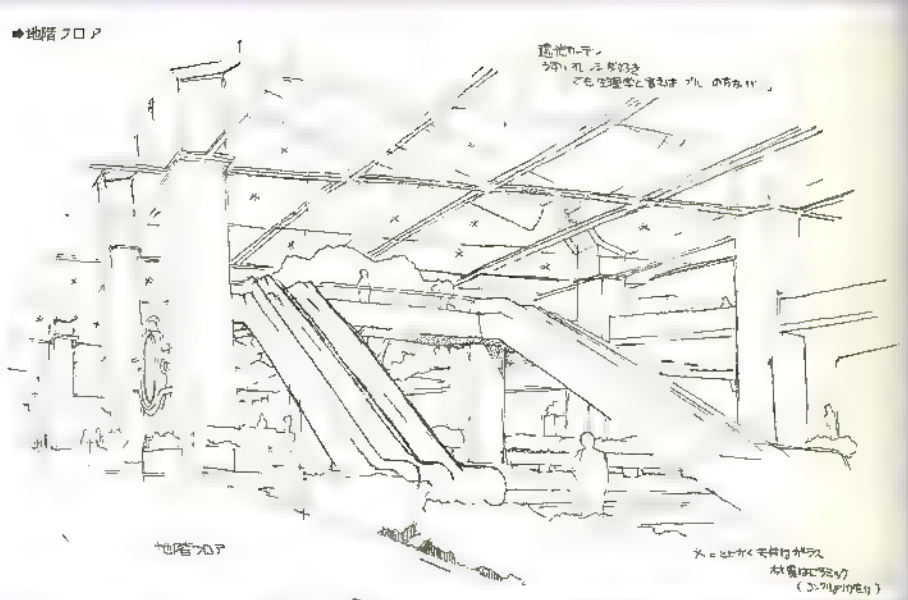

## 天井ビル

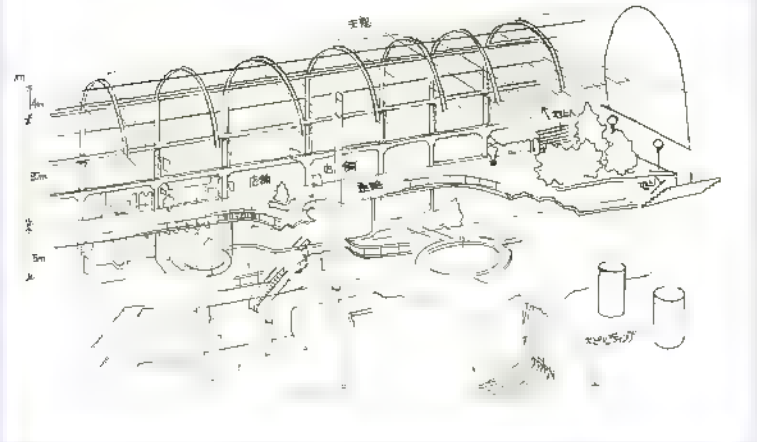


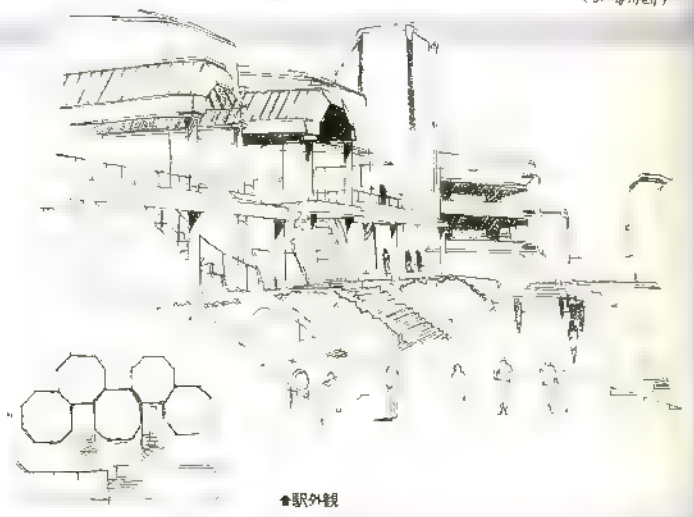







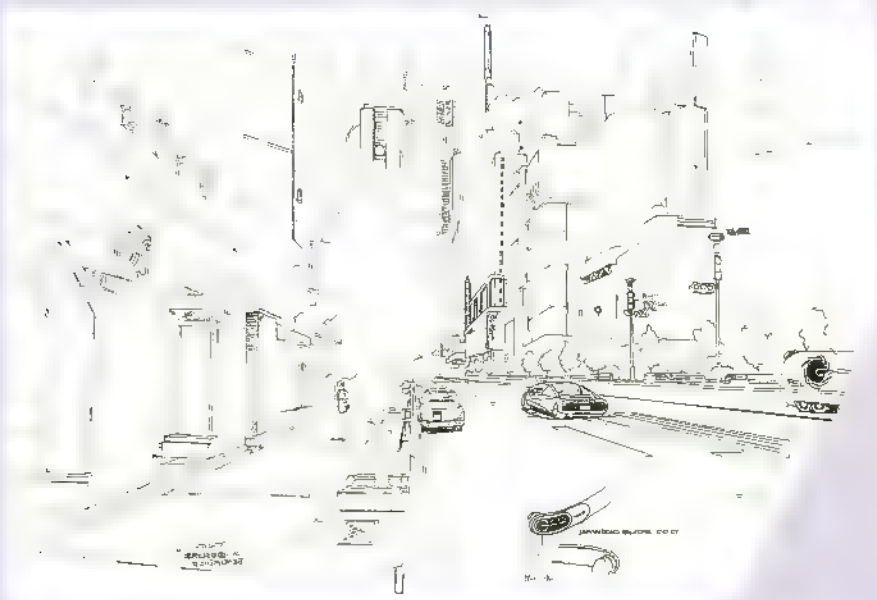


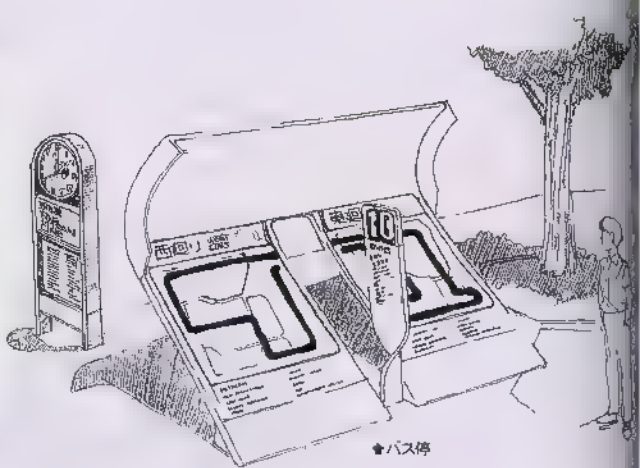
♠駅外観

# 市街地初期ラフイメージ

♠♠これらは第3新東京市の市街地ラフスケッチ。実際に描かれた街よりも、かなり近未来的なイメージになっている。右図のバス停などは、特に目を引くデザインだ。上2カットは、アーケードモールのような天蓋付きストリート。「市民に開放感を与えつつ地下での暮らしが苦にならないような町」をコンセプトに描かれている

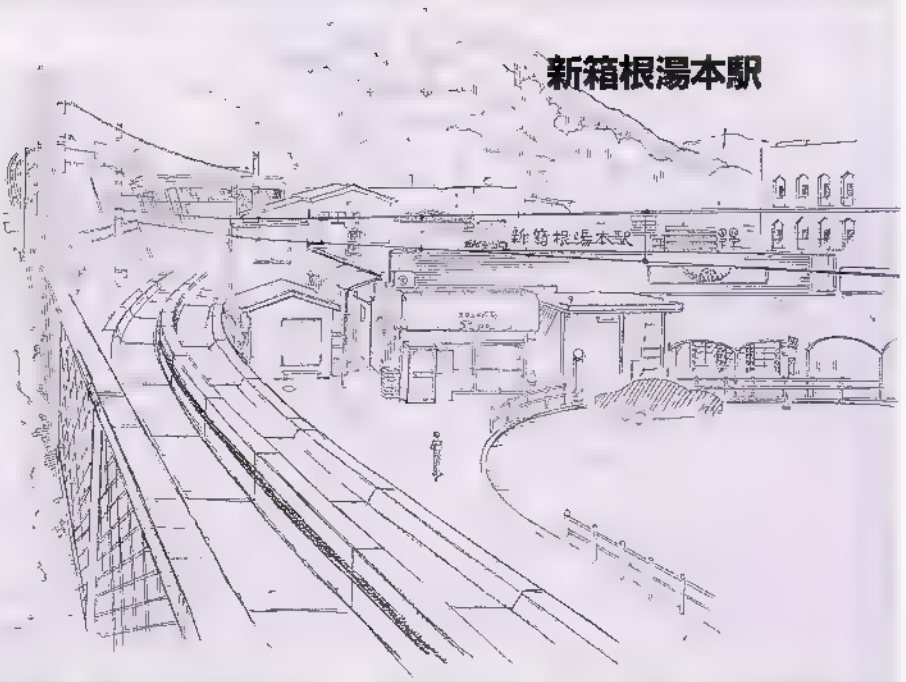
♠メインストリート（決定稿）



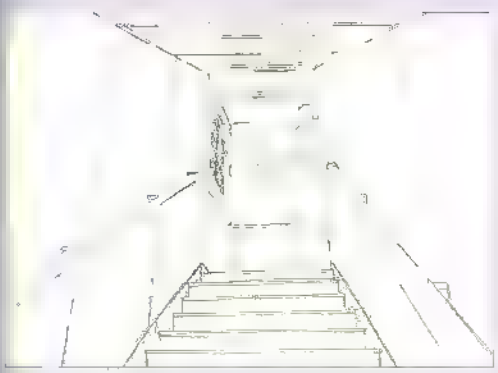


♠バス停

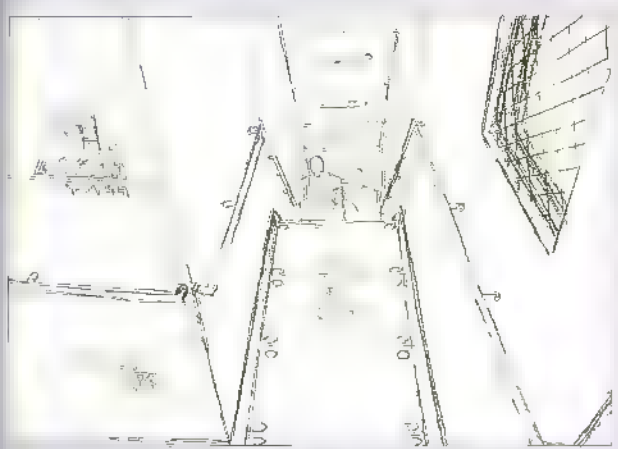
## 新箱根湯本駅

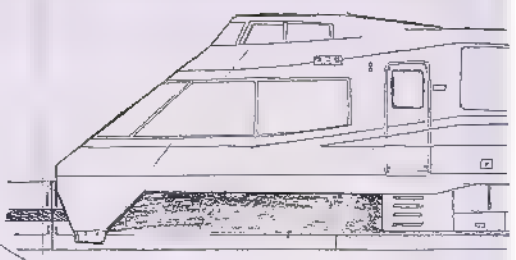



◆◆◆第4話に登場した新箱根湯本駅。駅入口の左にはスタント喫茶「エム」、右側にはコインロッカーがある。右下の設定には、ミサトの車の進路まで細かく指定されている



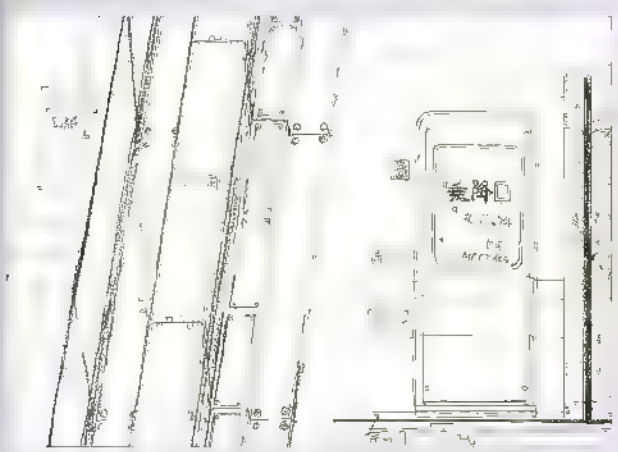
◆◆第4話でシンジが諜報部の黒服に連行される際に通る駅の階段。ネルフ専用の通路で、窓には金網が張られている。ホームへ向かう階段というよりは、刑務所や収容所などの通路のような暗さだった

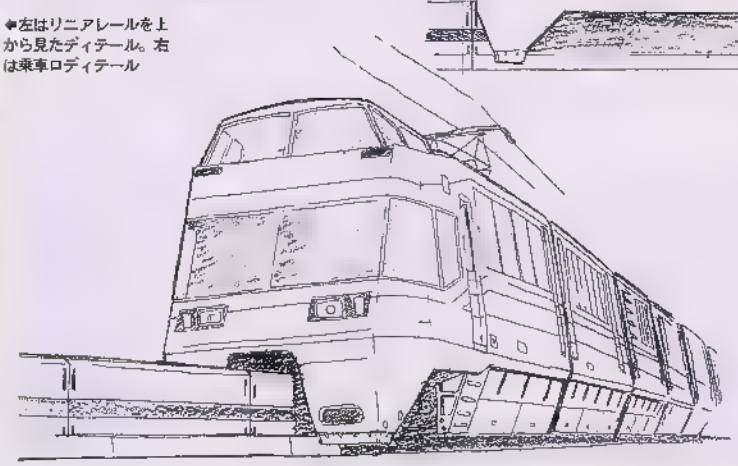




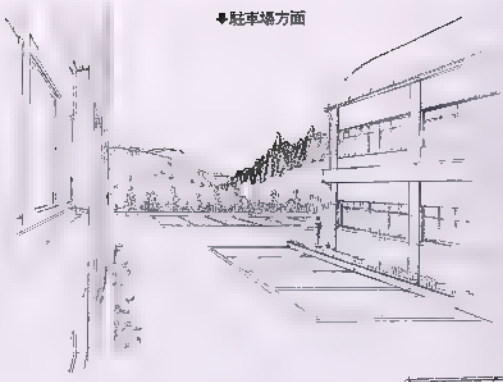
## リニア式小田急ロマンスカー

◆左はリニアレールを上から見たディテール。右は乗車口ディテール

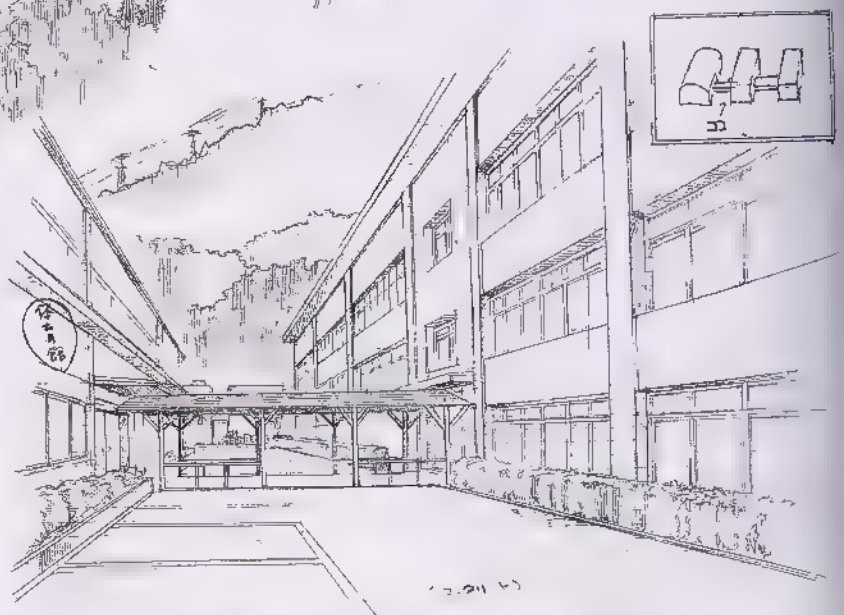




⬇⬆全景

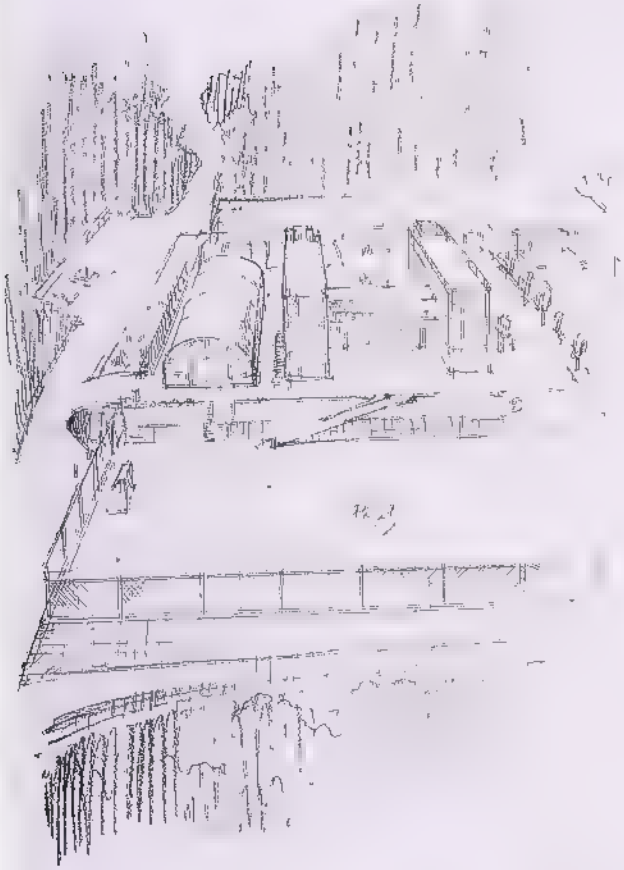


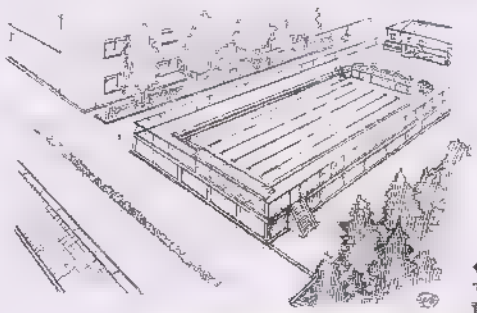
⬇駐車場方面



## 第3新東京市立第壱中学校

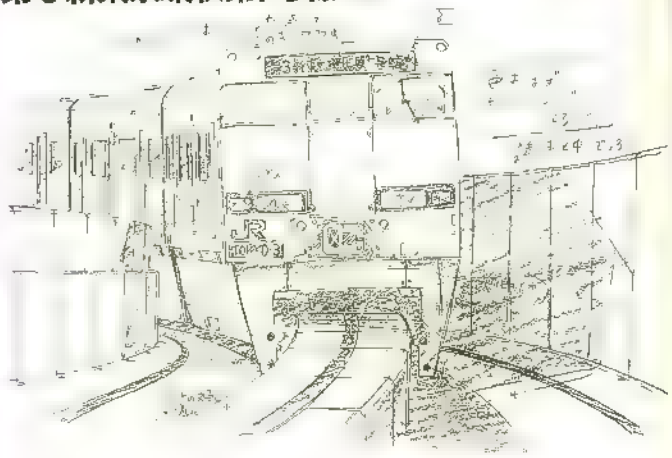
⬆上の2つの図は、第3話でトウジがシンジを殴りつけた、体育館と校舎の間の渡り廊下付近と、その切り返し。駐車場方面は教員の出入口でもある





⬅第5話でシンジがレイを見つめていたプール。校舎をはさんで体育館のちょうど反対側に位置する

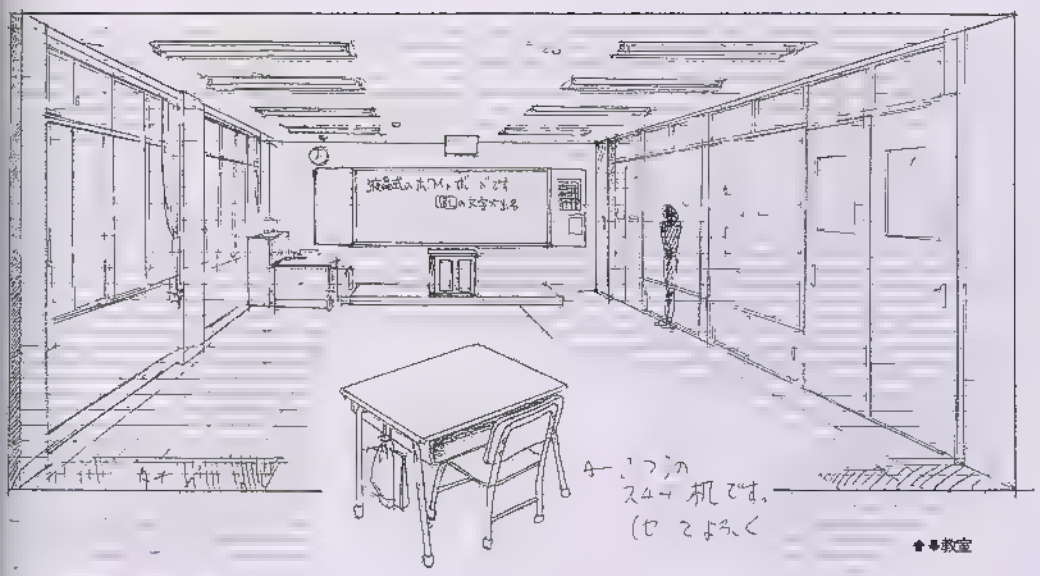
## 第3新東京環状第7号線



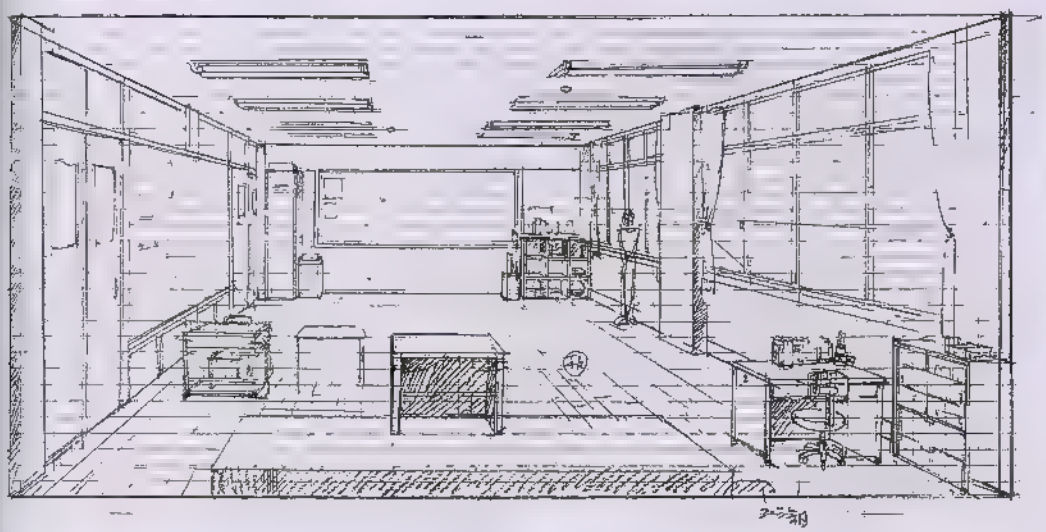
⬆第4話で、シンジが家出をするときに使った路線。第12話では、ミサトたちがラーメンを食べに行くとき利用

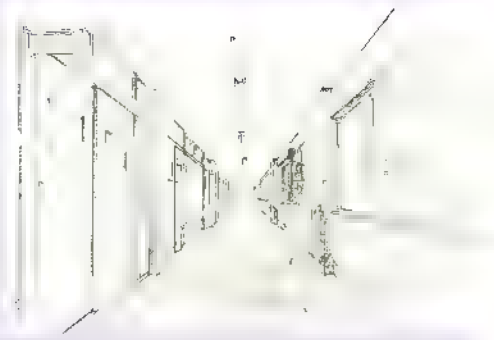
⬅第6話でエヴァ2機の登場をケンスケらが見ていた屋上。18話でレイとトウジの会話が交わされた場所もここ

# 第壱中学校内部



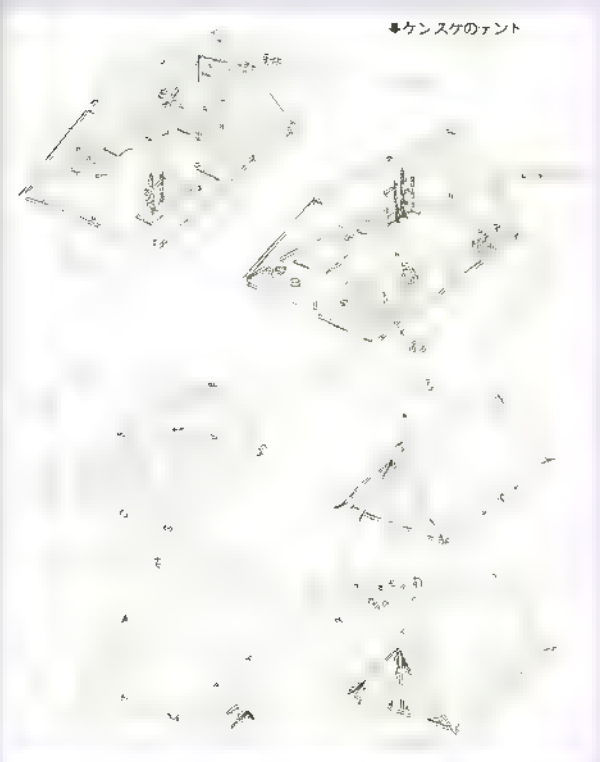
◆◆教室



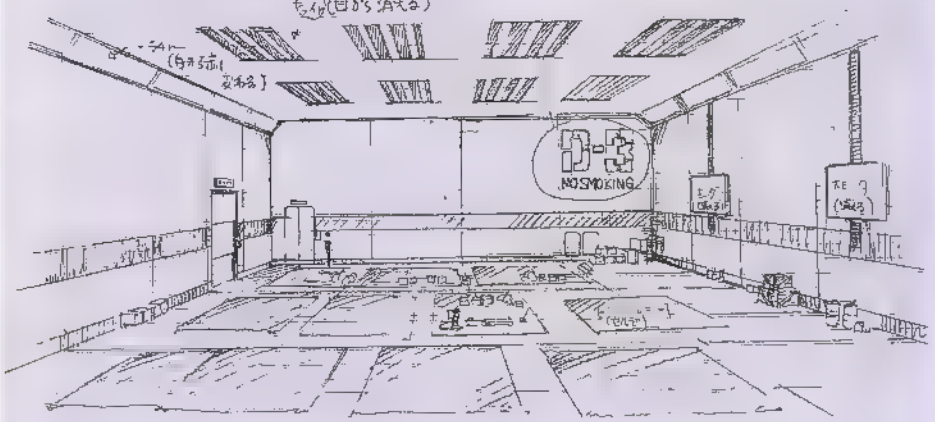


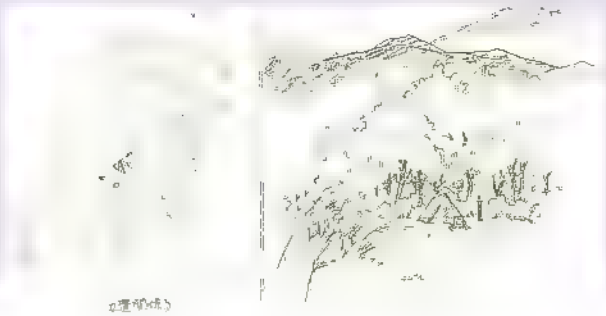
◆廊下

◆避難用シェルター



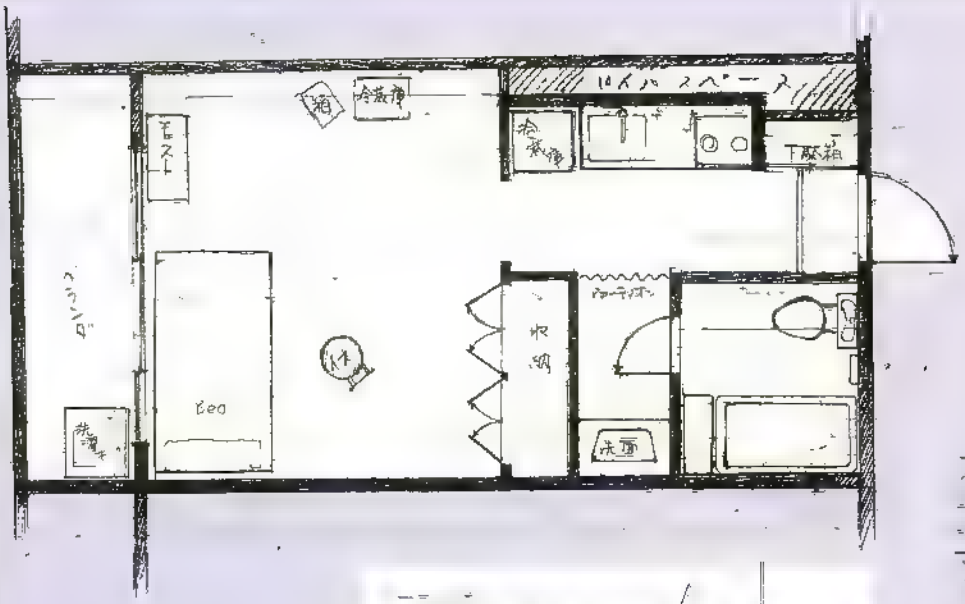
◆ケンスケのテント



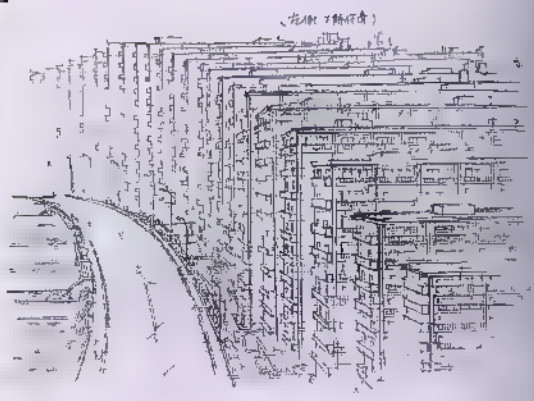



◆テントの周囲

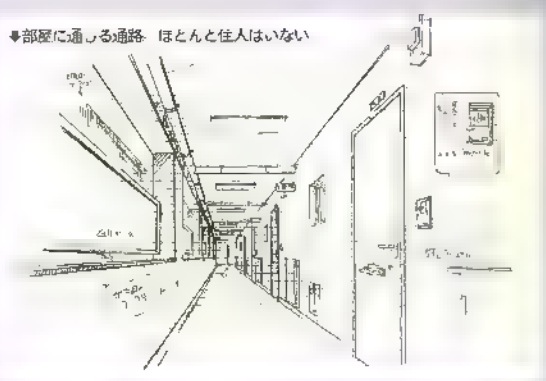
## レイの部屋



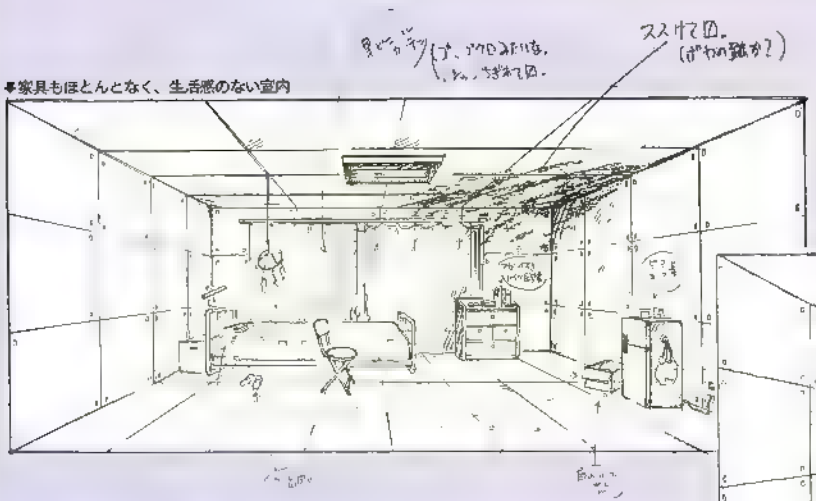

◆部屋の間取り図



◆レイの住むマンモス団地の外観

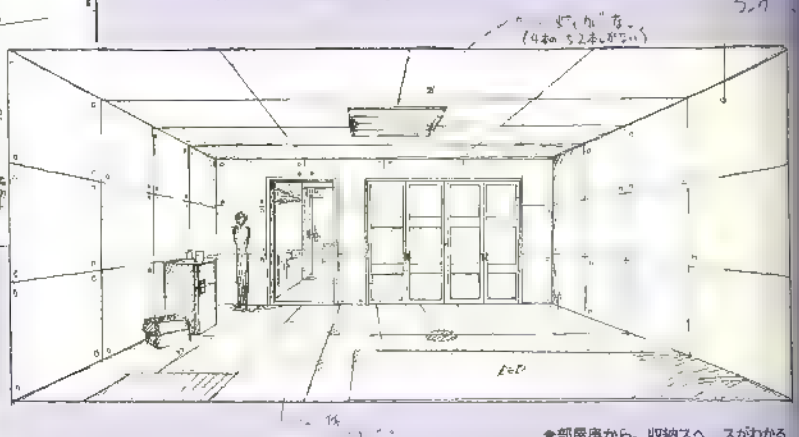


◆部屋に通じる通路。ほとんど住人はいない

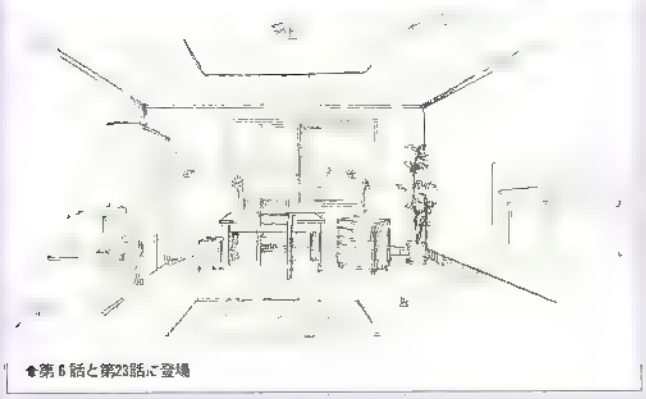


◆家具もほとんどなく、生活感のない室内

## ヒカリの部屋

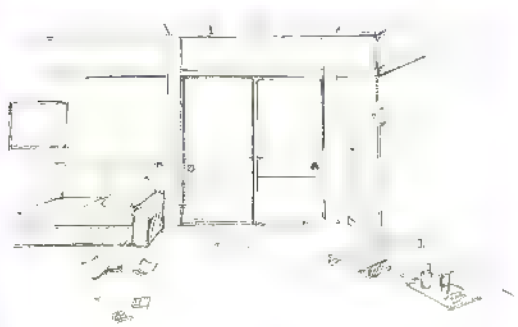


◆部屋奥から。収納スペースがわかる



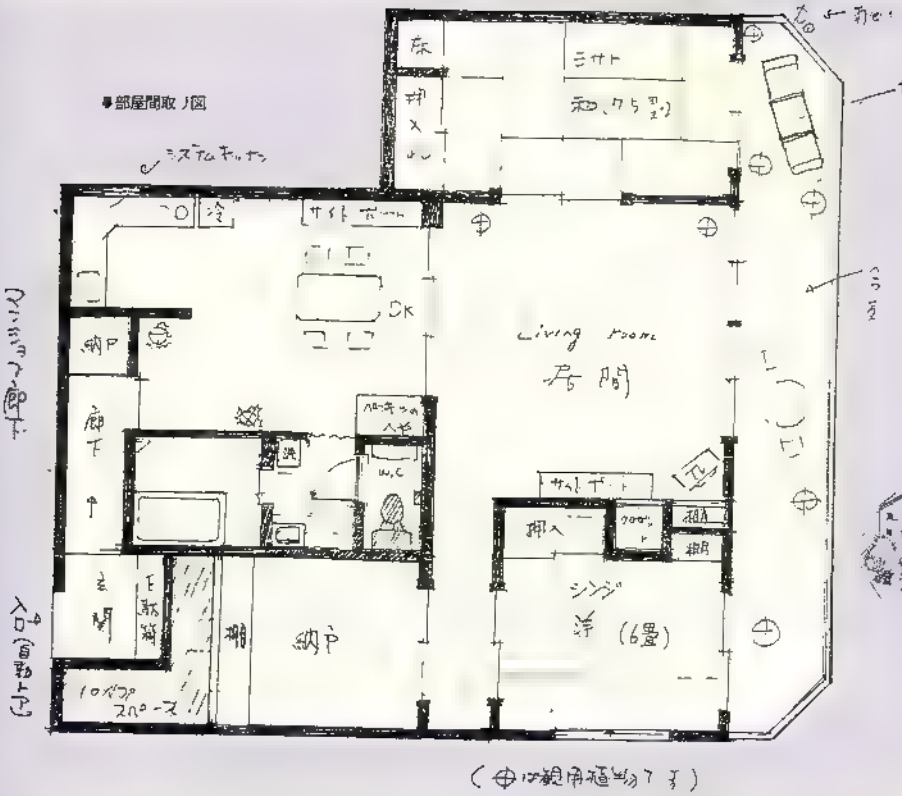
◆第6話と第23話に登場

## トウジの部屋



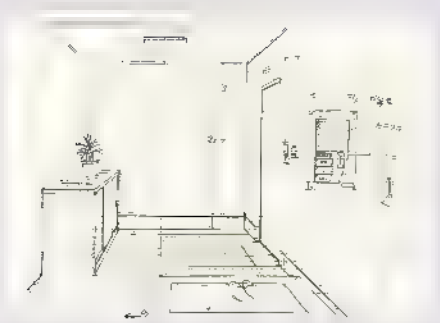
◆第6話に登場した

# ミサトのマンション

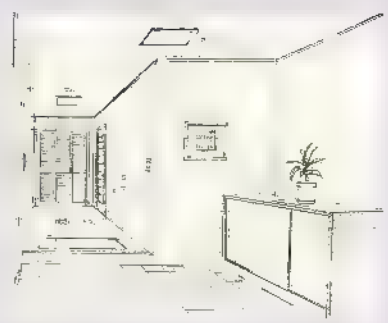



●部屋間取り図

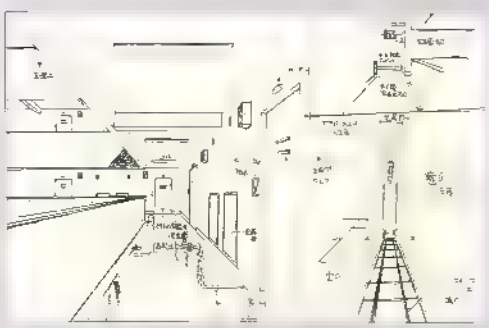
●市郊外に位置する高級マンション



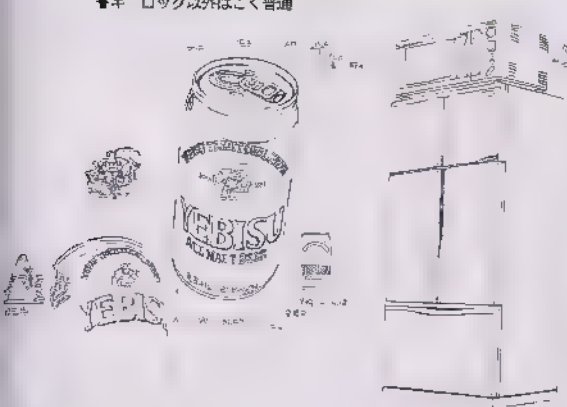
●キ　ロック以外はごく普通



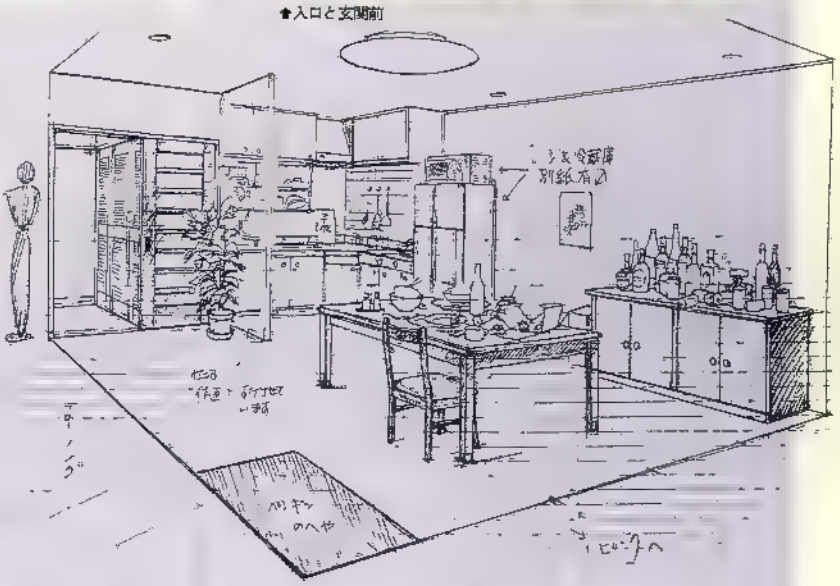
●玄関から奥をのぞむ



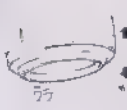
●入口と玄関前



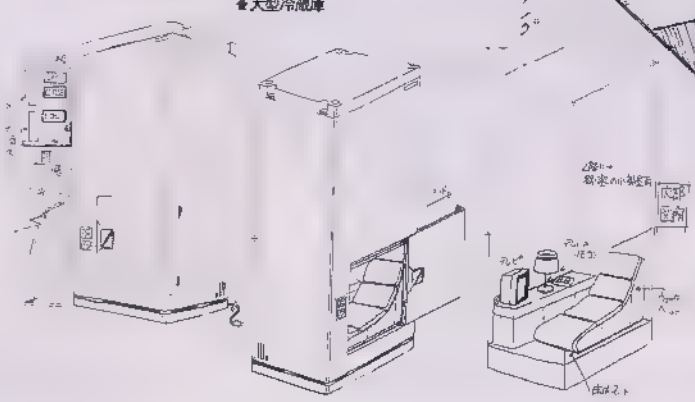

●大型冷蔵庫



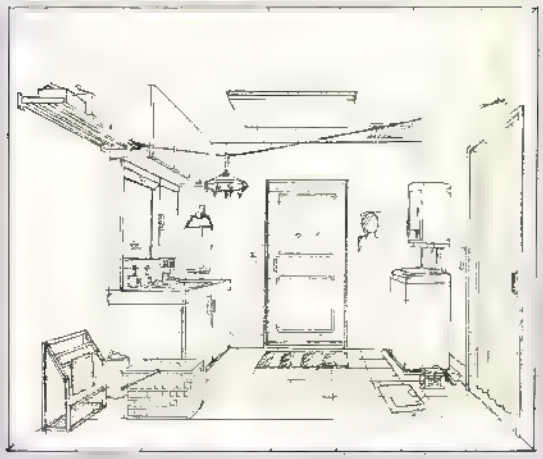
●●ダイニングキッチン

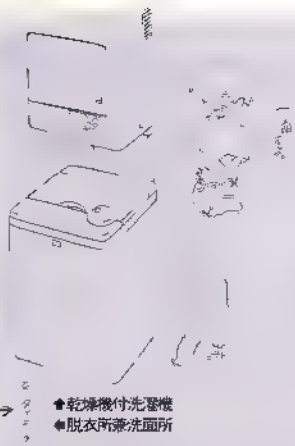


●エビスビール。
●アレンジした
エビチュビール。

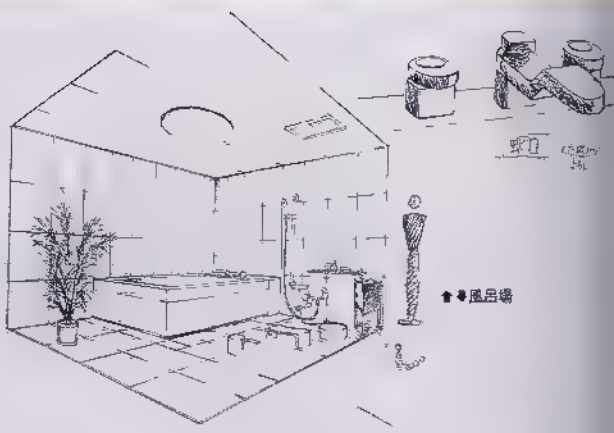


●ペンペンが住む部屋

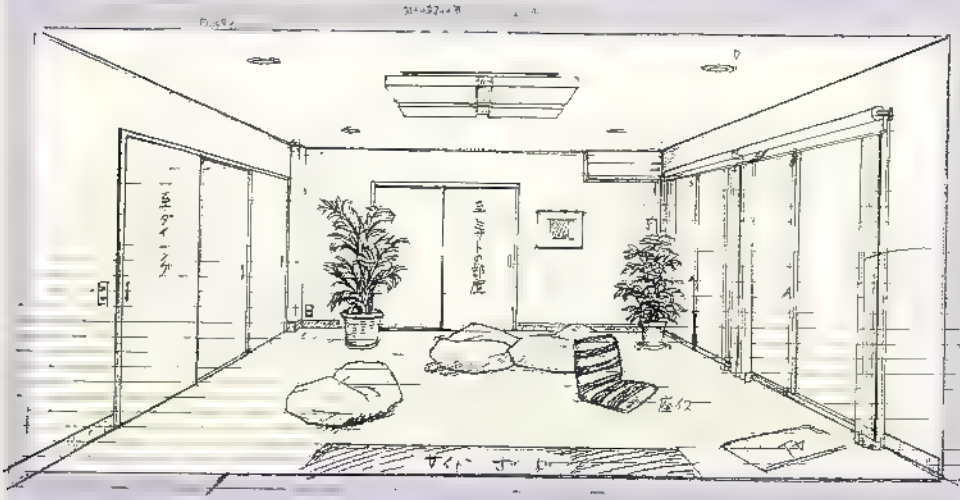




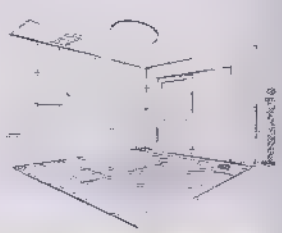
→ ⬆乾燥機付洗濯機
⬇脱衣所兼洗面所

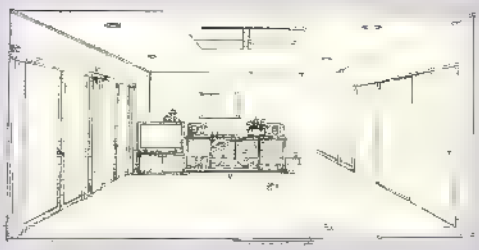


⬆⬇風呂場



⬆⬅リビングルーム



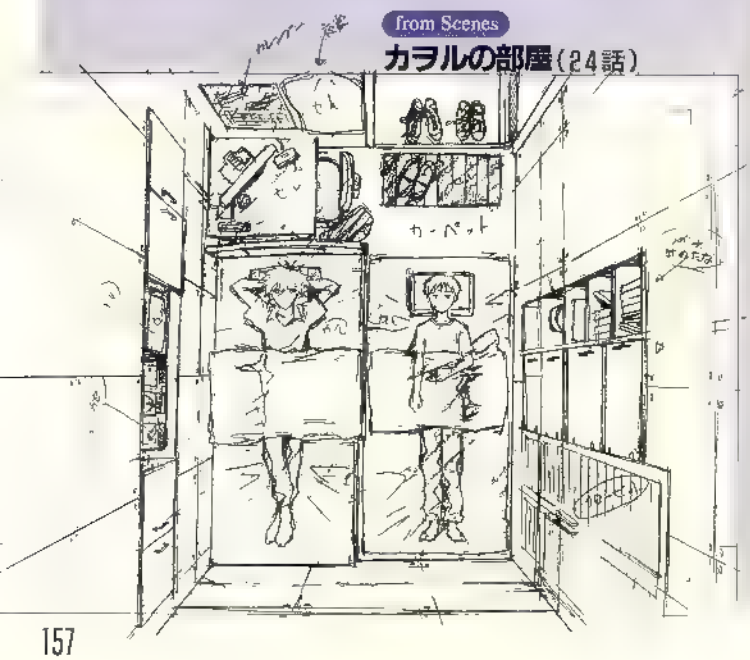


⬆⬅ミサトの部屋

➡⬇シンジの部屋

from Scenes

## カヲルの部屋(24話)



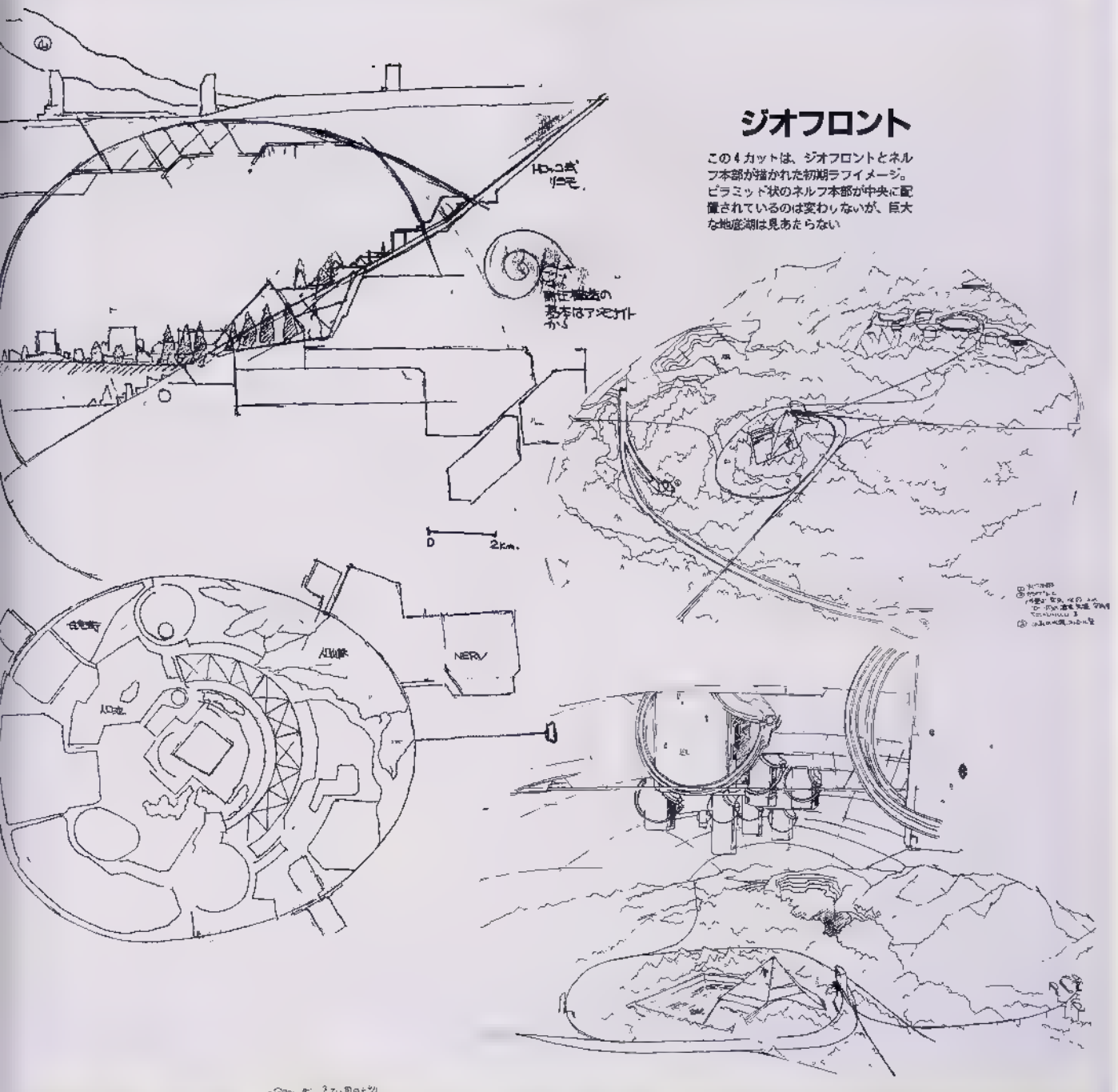
# ジオフロント・ネルフ本部

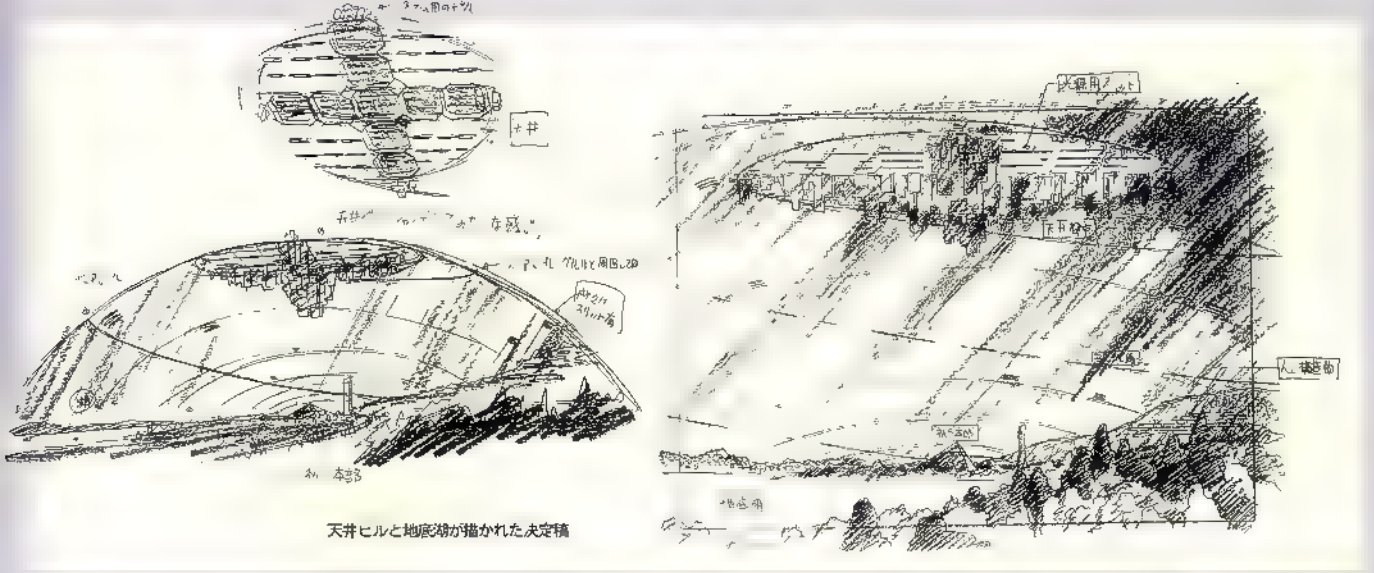
## GEO FRONT & NERV'S HEAD OFFICE

ジオフロントは、第3新東京市の地下に広がる巨大な地下都市。もともとは直径13・75kmの巨大な球形の空間だったが、80%がすでに埋まっていて、現在は直径6kmの空間中央にネルフ本部が建造されている。地上とはモノレールやケーブルカーで連絡される。

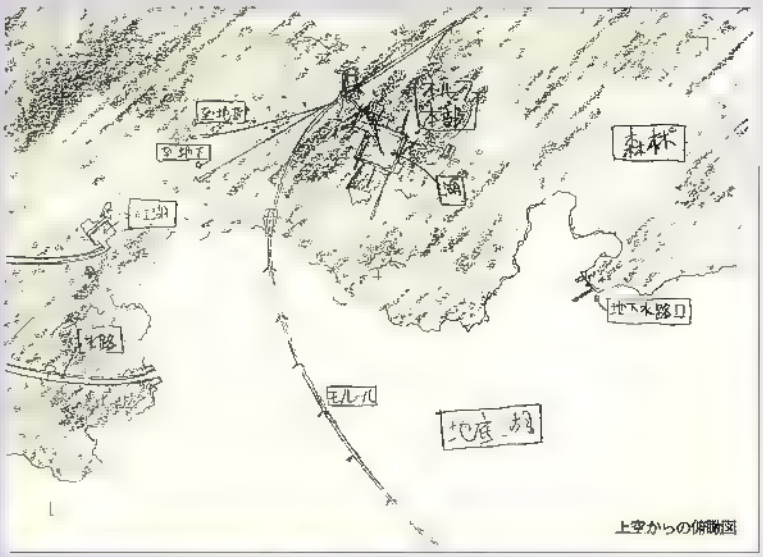
### ジオフロント

この4カットは、ジオフロントとネルフ本部が描かれた初期ラフイメージ。ピラミッド状のネルフ本部が中央に配置されているのは変わらないが、巨大な地底湖は見あたらない

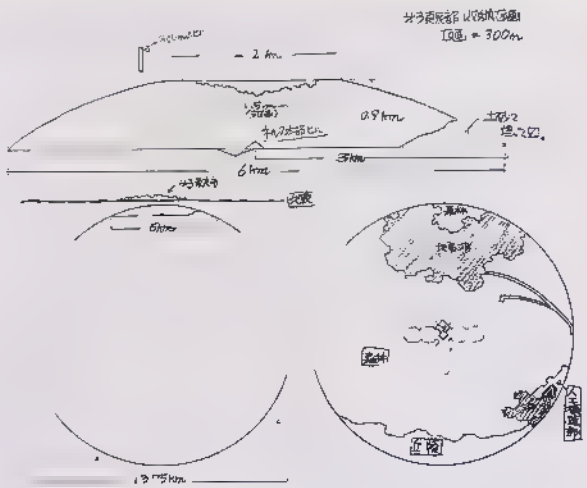


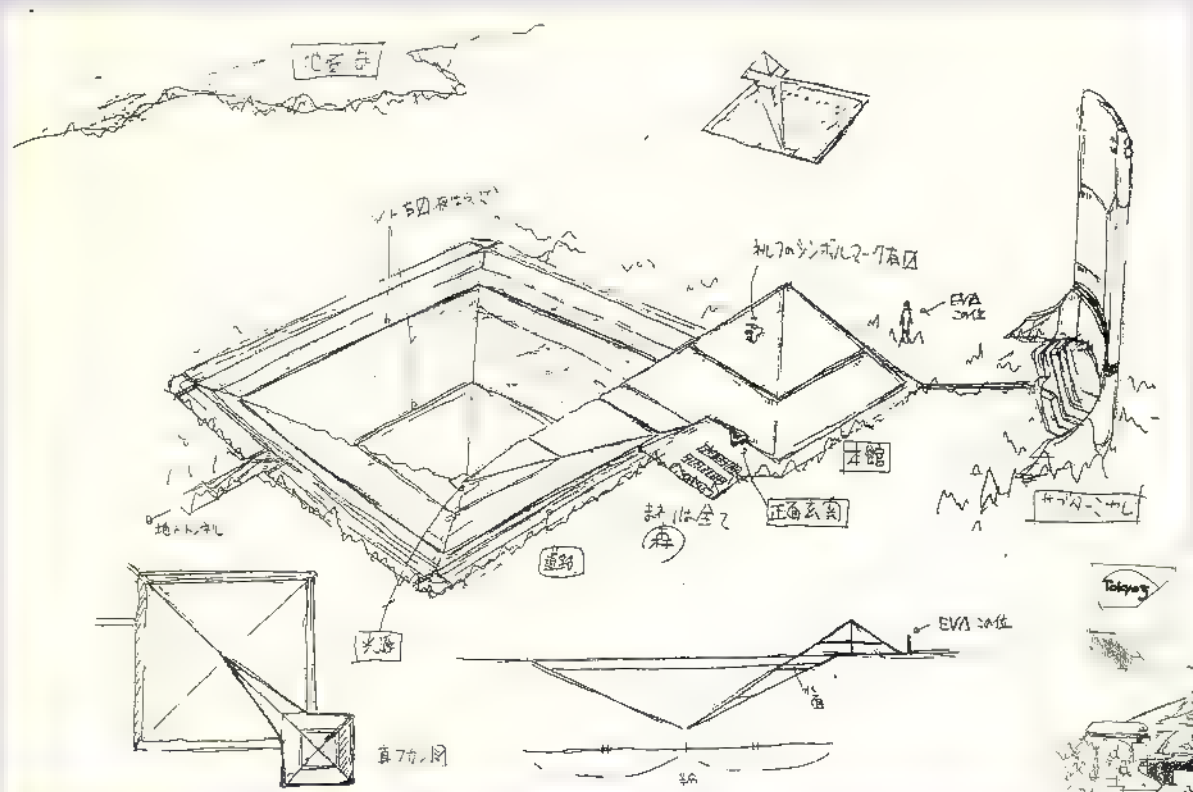
天井ヒルと地底湖が描かれた決定稿




上空からの俯瞰図

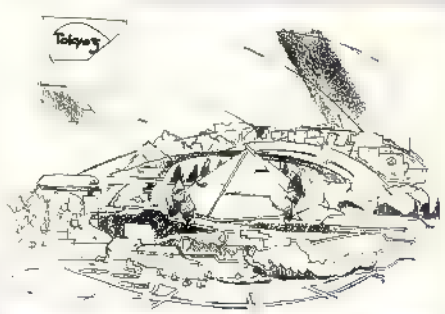


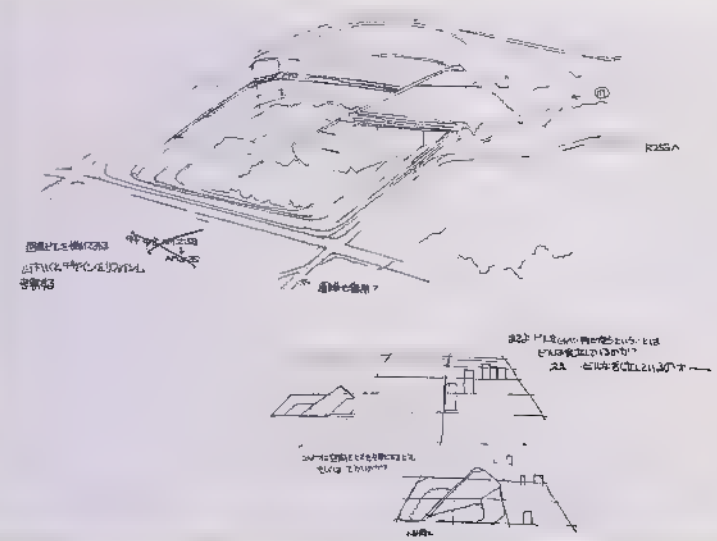
ジオフロントの寸法図

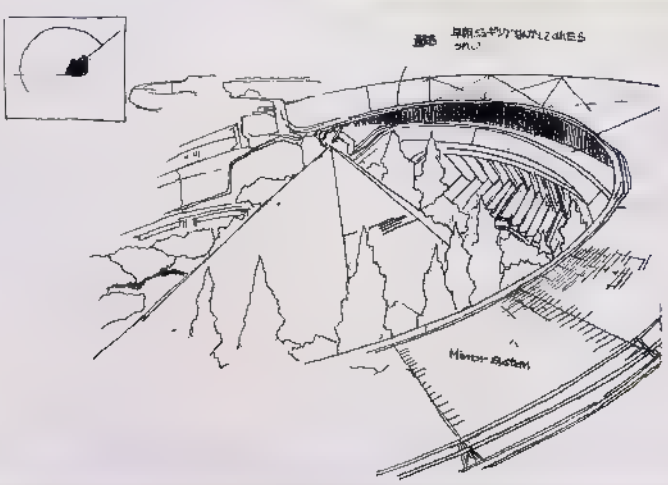



## ネルフ本部

下の3カットはネルフ本部の初期ラフ。円形の集光システムが本部ビルを取り囲んでいるのが特徴。左は決定稿



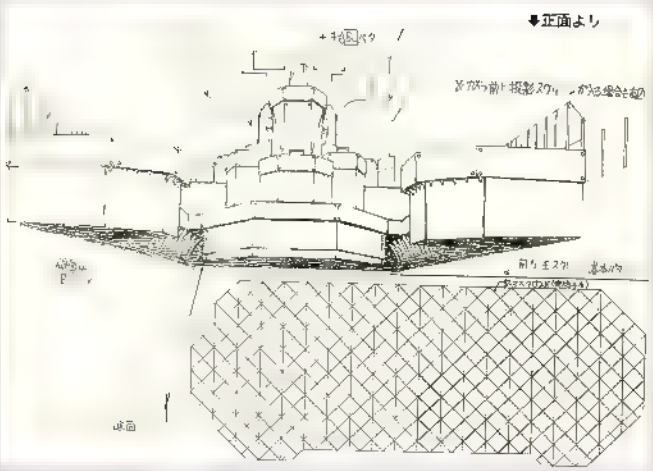



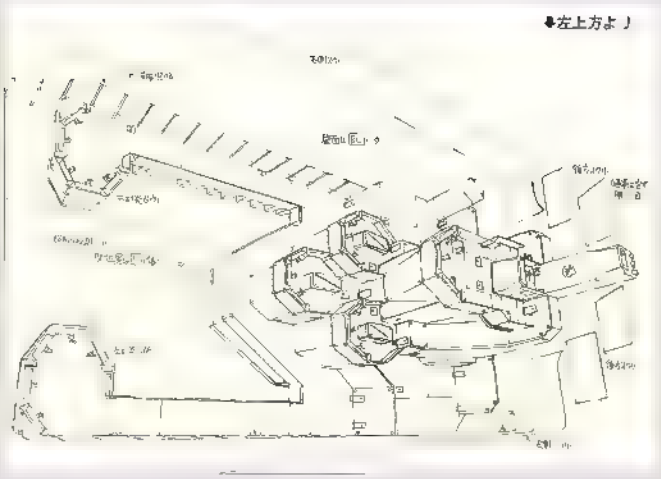


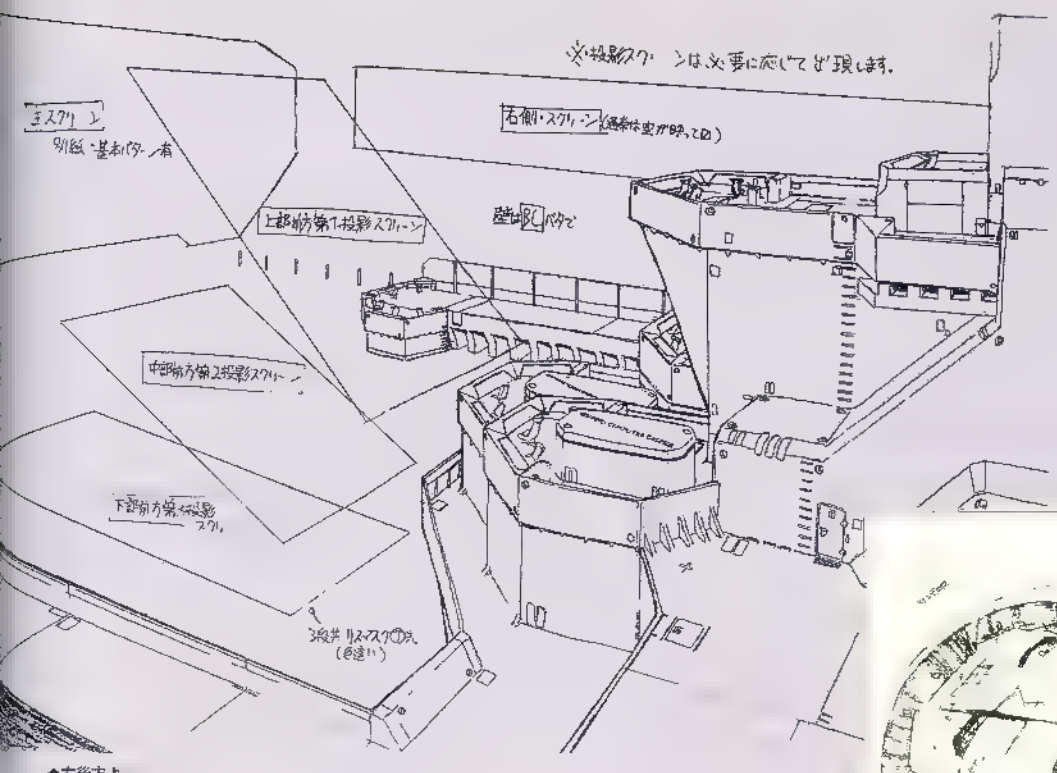
# 中央作戦司令室

TACTICS COMMAND ROOM

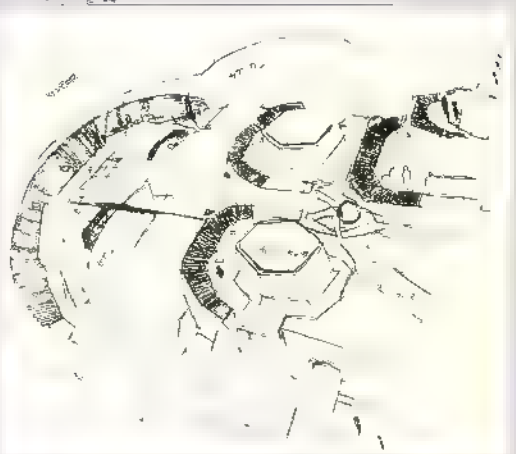
使徒との戦いを中心とする、あらゆる作戦行動の指揮を発令するネルフの中枢。司令席後方に位置するジオフロントゲンドウが統括し、副司令の冬月がサポート。そして、各セクションのオペレーターへと指令が伝わる



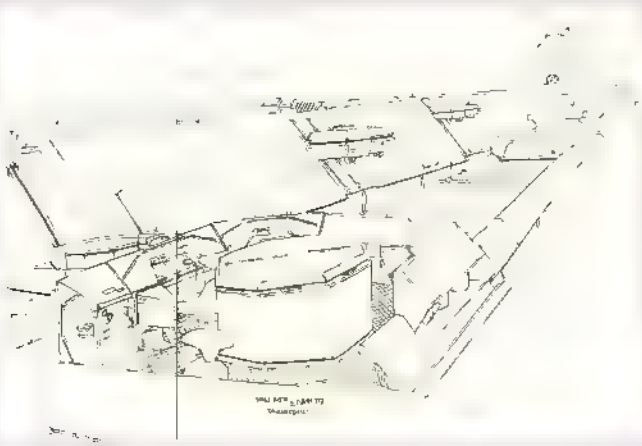



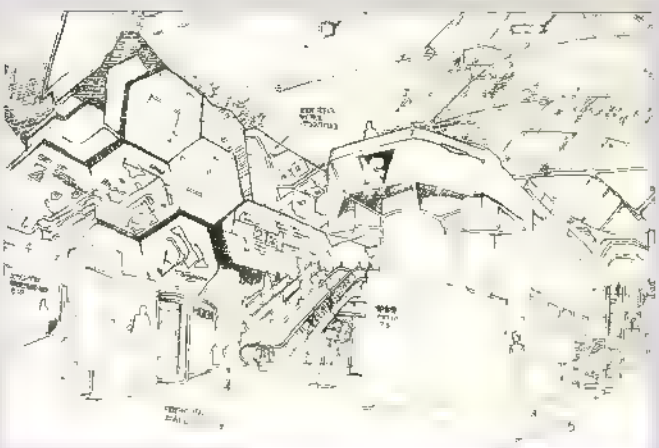

## 全体図

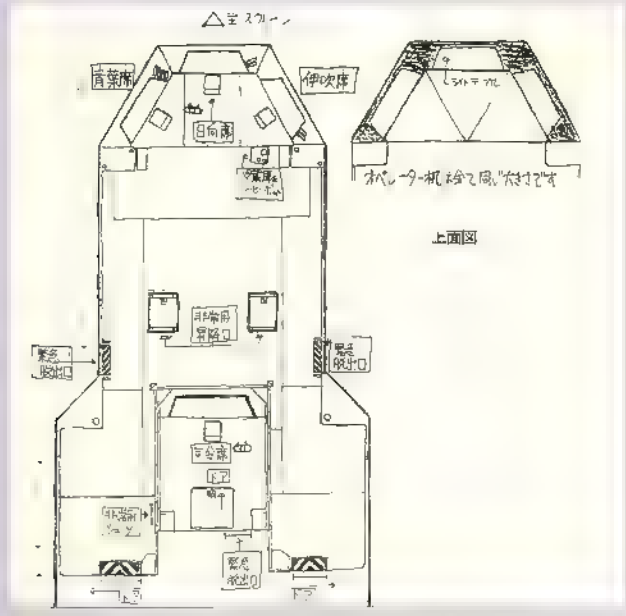


## ラフ・イメージ

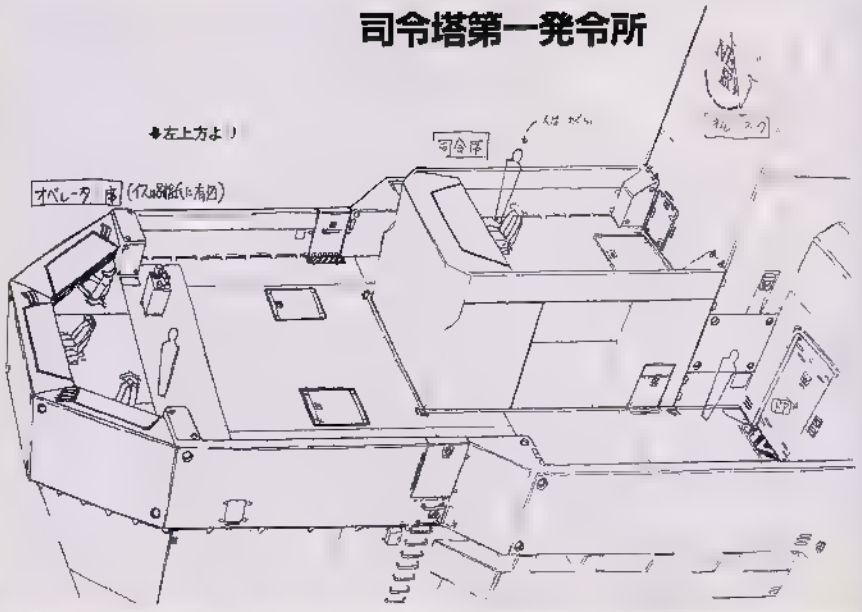
この3カットは、司令室の構想ラフ。右上は、MAGIが2台で前面スクリーンが曲面になっている。右下は、エスカレーターなどがあり、ロビーのようなイメージ。下は、MAGIが5台あり、分散して配置されている

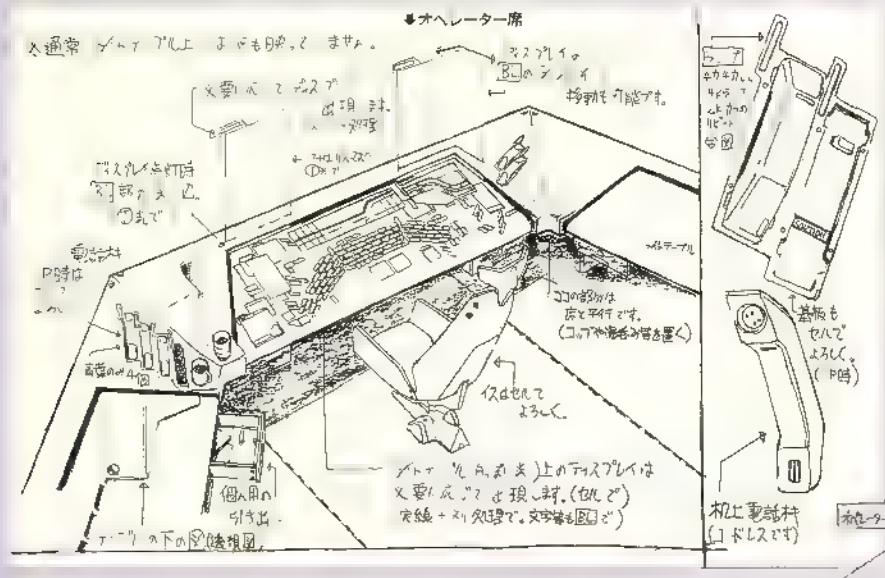


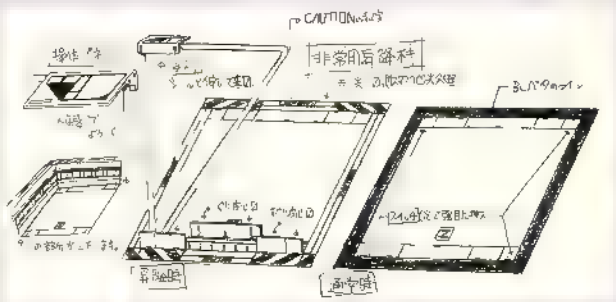


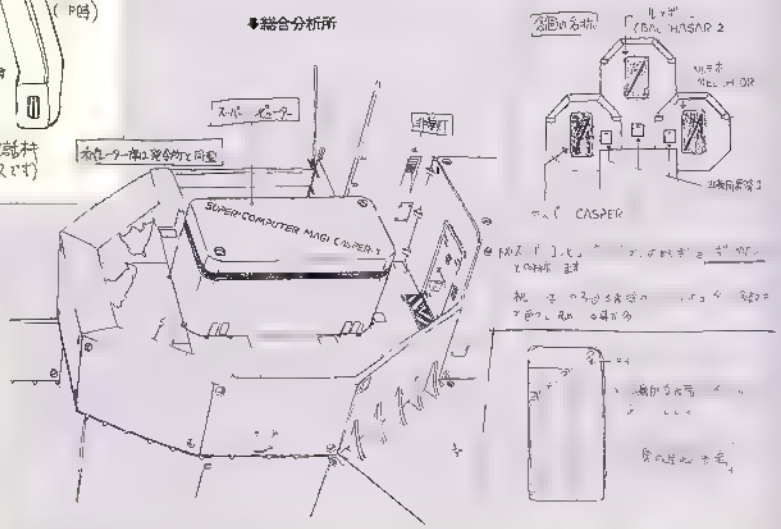


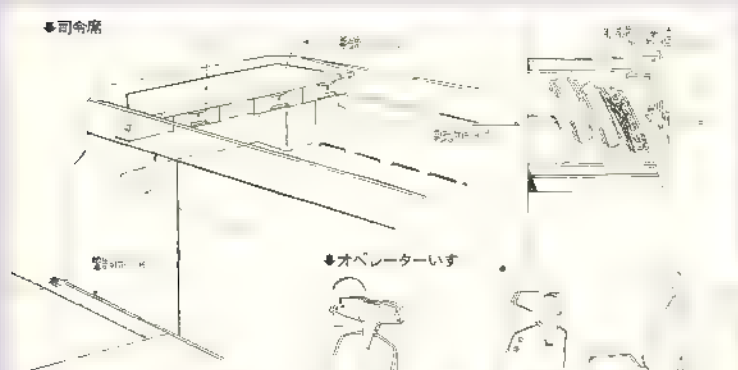

## 司令塔第一発令所

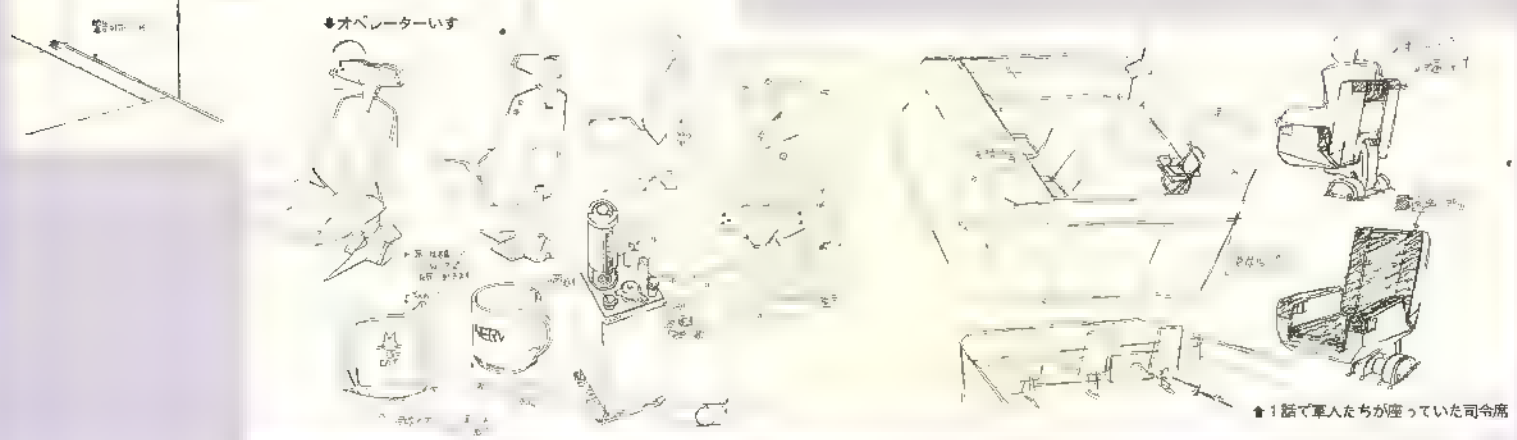


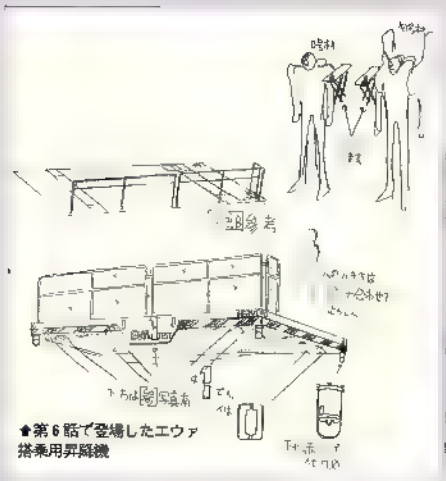




▲1話で軍人たちが座っていた司令席

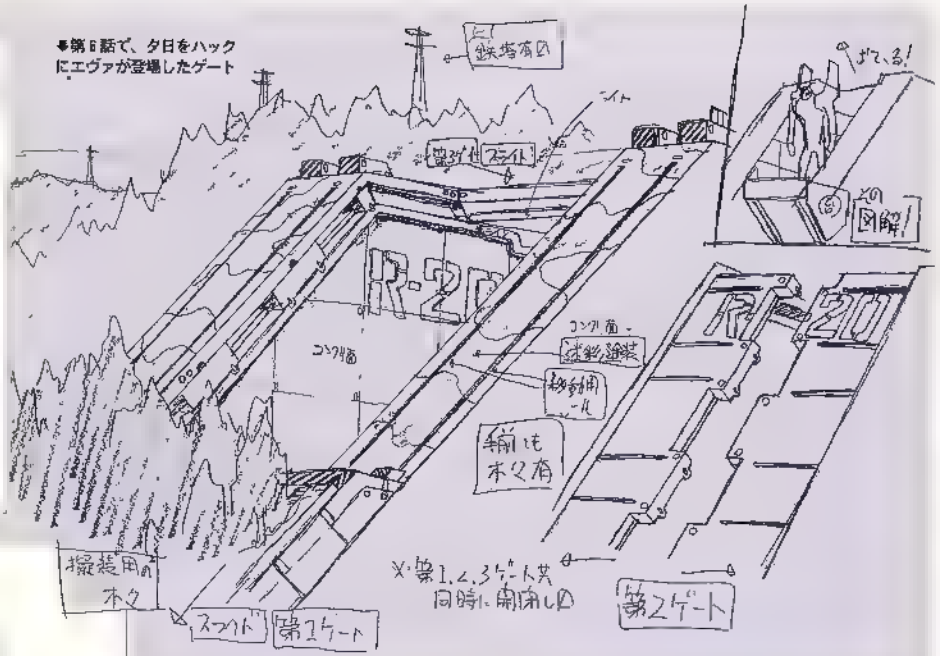
# ネルフ&国連設備・機器

## NERV & UN'S FACILITIES & MACHINE

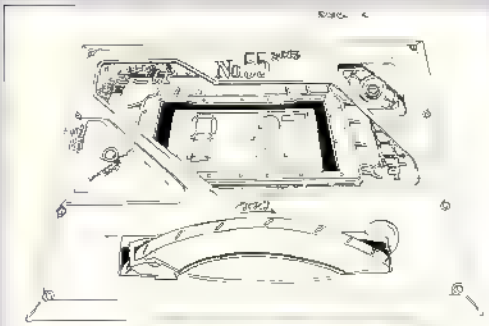
特撮映画の魅力をふんだんに取り入れた物語では、背景となるネルフ内の設備や、本部や航空機、艦船などの乗用メカも重要な存在となっている。特に乗用メカは、見た目に昔の車のようだが細かい部分に独自の世界観があり、作り手のこだわりがうかがえる。

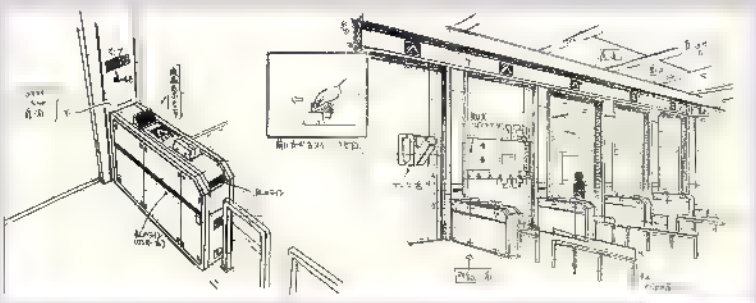


◆第6話で登場したエヴァ搭乗用昇降機

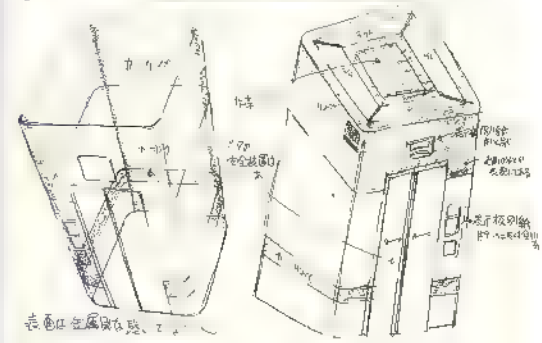


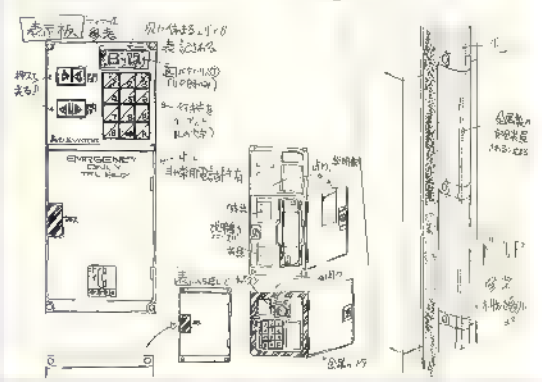

◆第6話で、夕日をバックにエヴァが登場したゲート



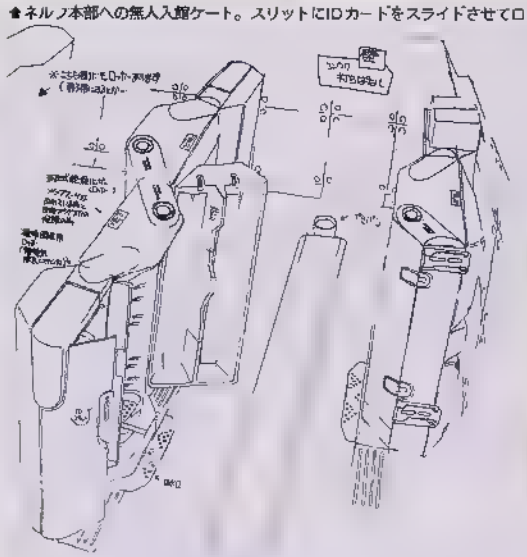


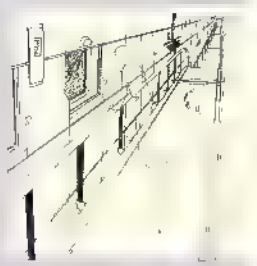
◆ネルフ本部への無人入館ゲート。スリットにIDカードをスライドさせてロックを解除する





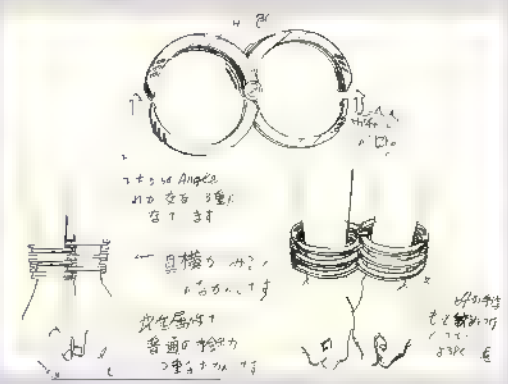
◆ネルフ本部内エレベーター。ディスクが回転する表示板が特徴的



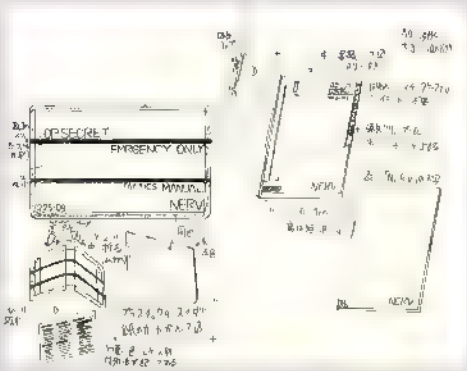


◆第3実験場の通路

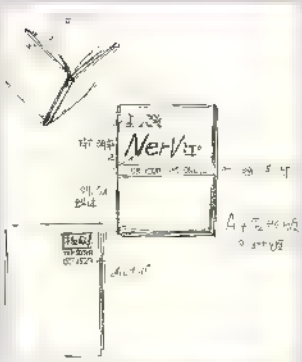
◆シンシたちがプラグスーツに着替えるロッカールーム



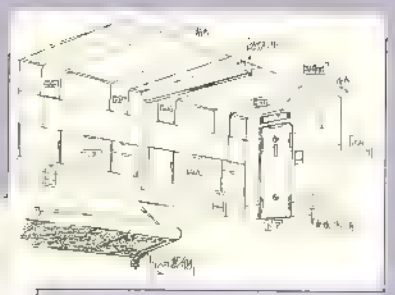
◆第19話でシンジがはめられた手錠。二重構造で、鎖が全くない




◆第11話でレイたちが使用した緊急用マニュアルとホルダーケース

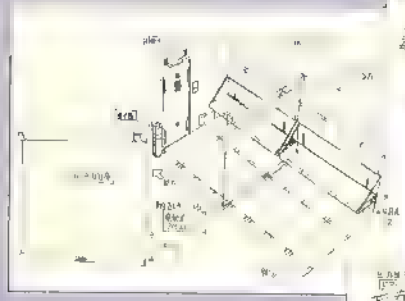



◆シンジが手にするネルフのマニュアル

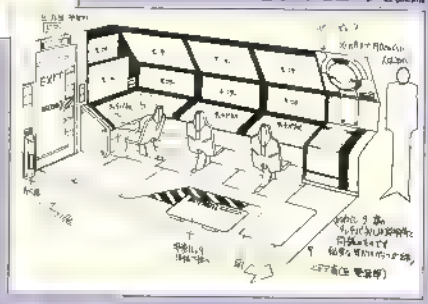


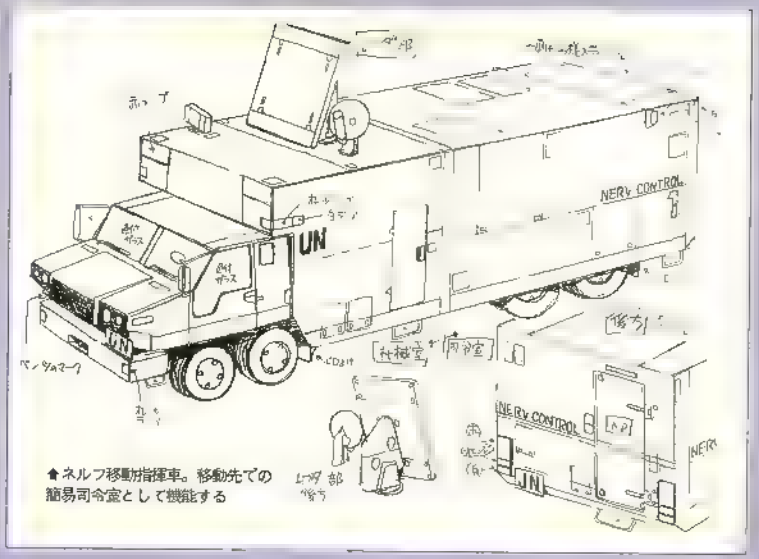
▲移動指揮車内部の控え室

▼6話で出撃するシンジとレイは、ここでプラグスーツに着替えた



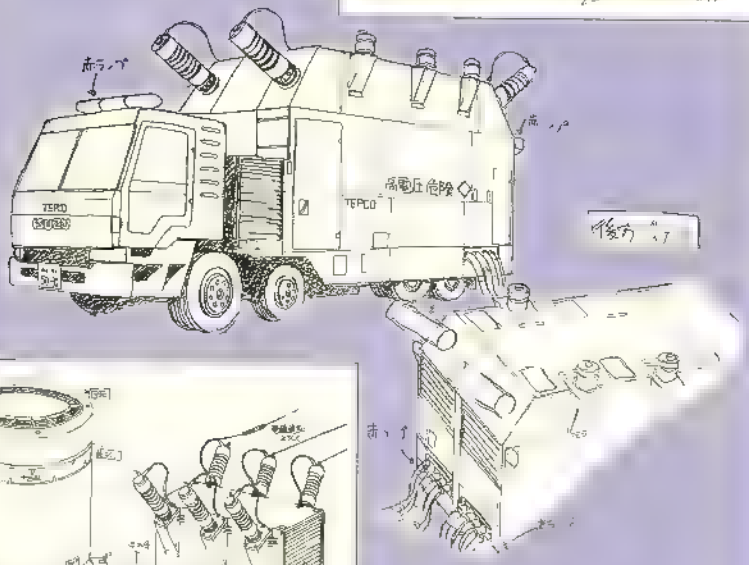
▼指揮車内部の司令室。3つのパネルと1台のコンピュータを装備

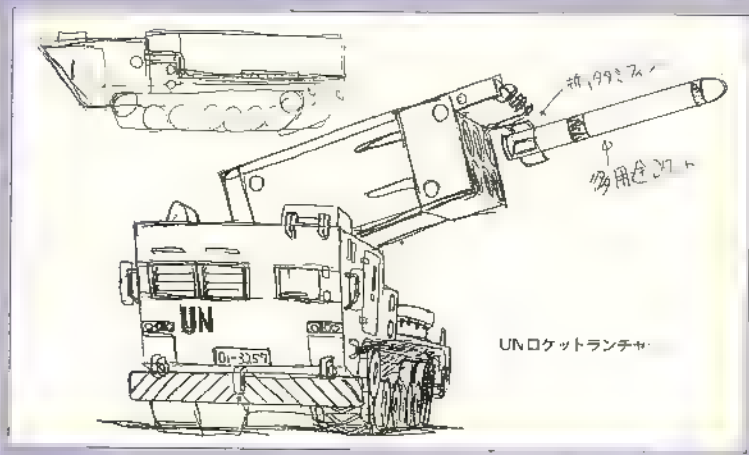


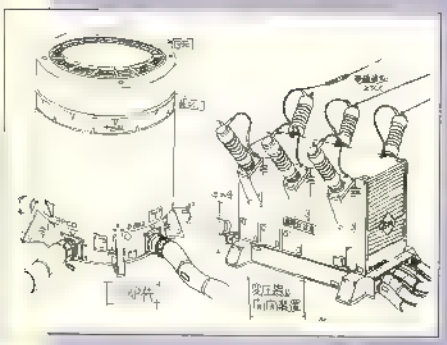



▲ネルフ移動指揮車。移動先での簡易司令室として機能する

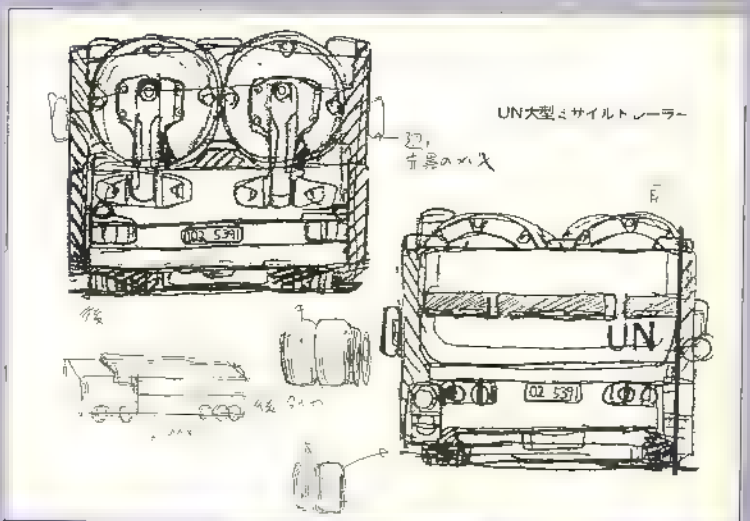
▼第6話で日本中の電力を一子山に集結させる際に使用した電源車

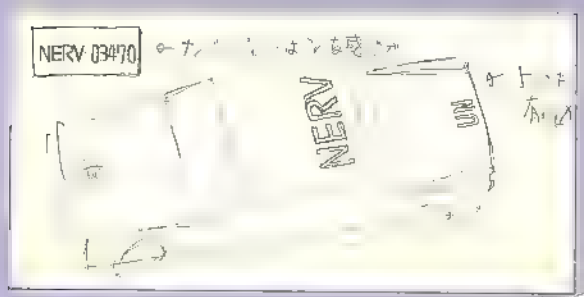


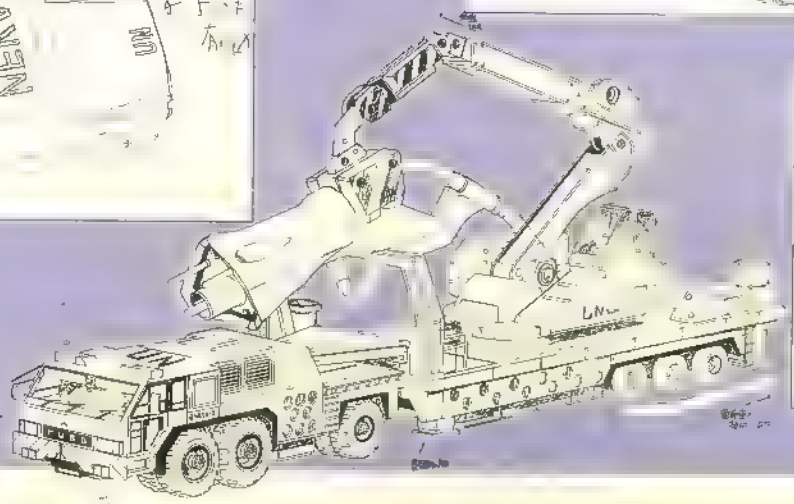



▲冷却機と、変圧器&開閉装置

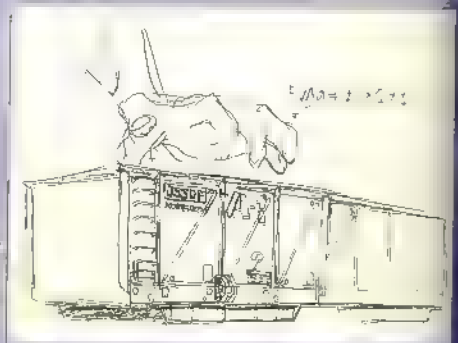



▲ネルフ&UN専用公用車。キャディラックがベースになっている

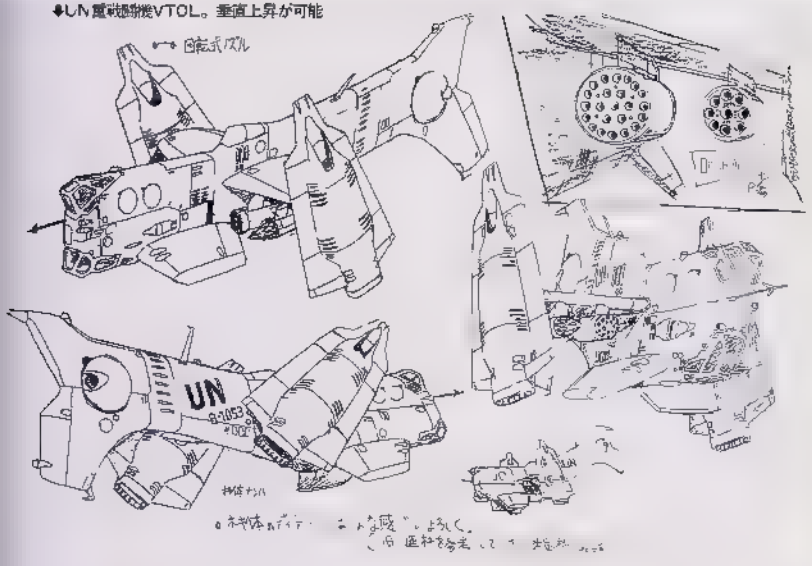


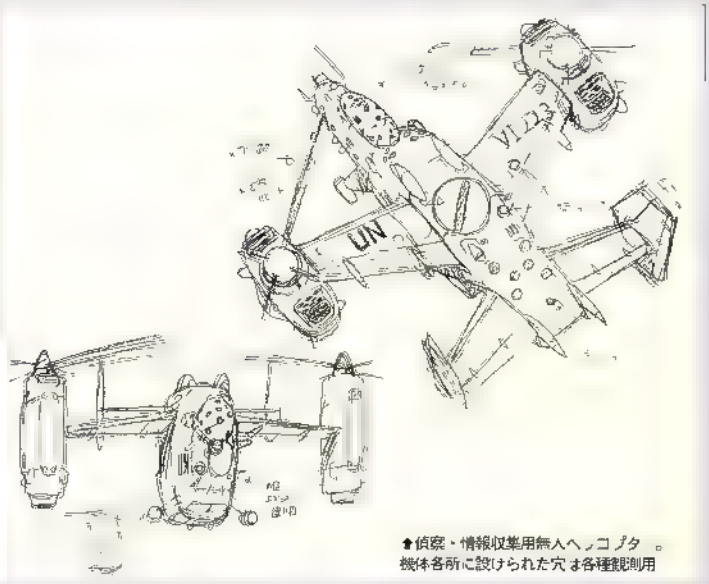
▼エヴァ電源装着トレーラー



▲戦自研の自走陽電子砲パーツコンテナ

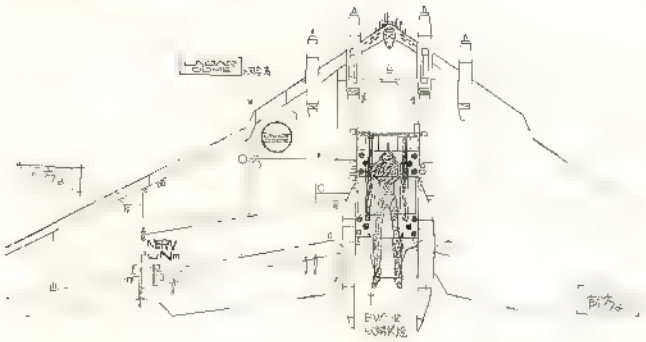
⬇UN重戦闘機VTOL。垂直上昇が可能



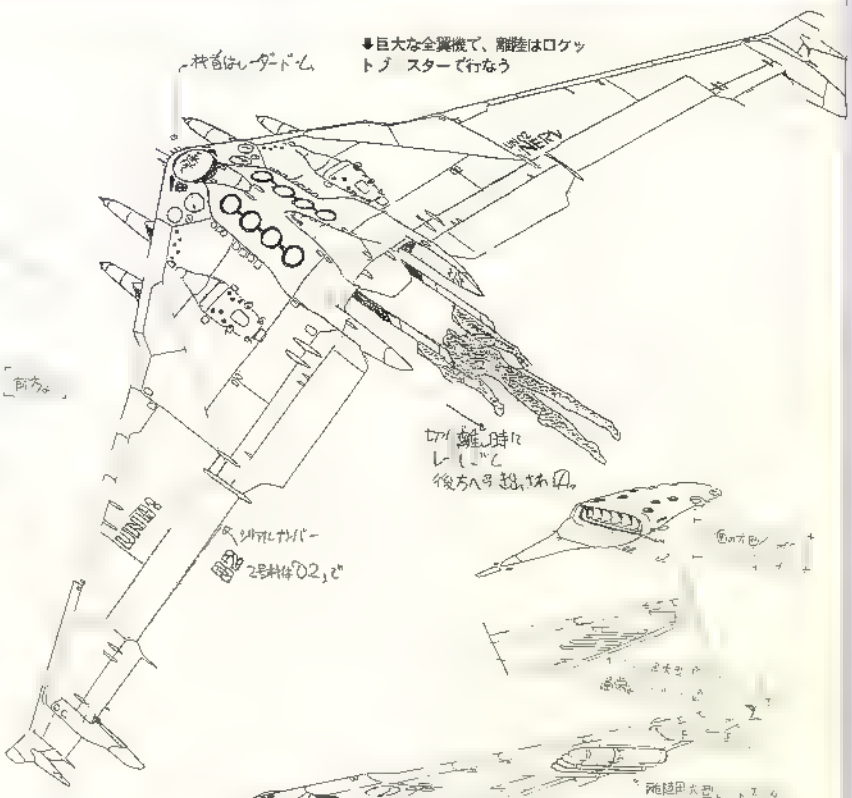

⬆偵察・情報収集用無人ヘリコプタ。
機体各所に設けられた穴は各種観測用

## EVA長距離輸送機



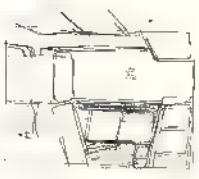
⬆機体中央下部にエヴァを固定し、目的地上空で投下する

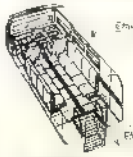
⬇巨大な全翼機で、離陸はロケットブースターで行なう

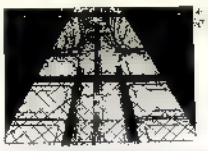


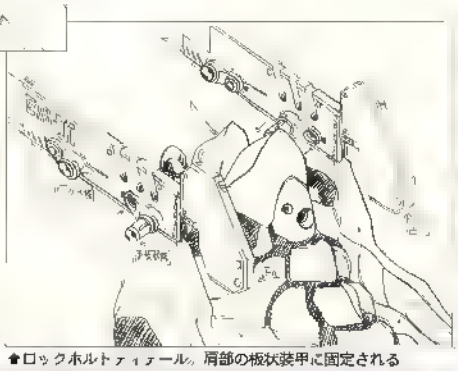

⬅エヴァ固定用カ　内アップ

⬅コクピットと乗務員席

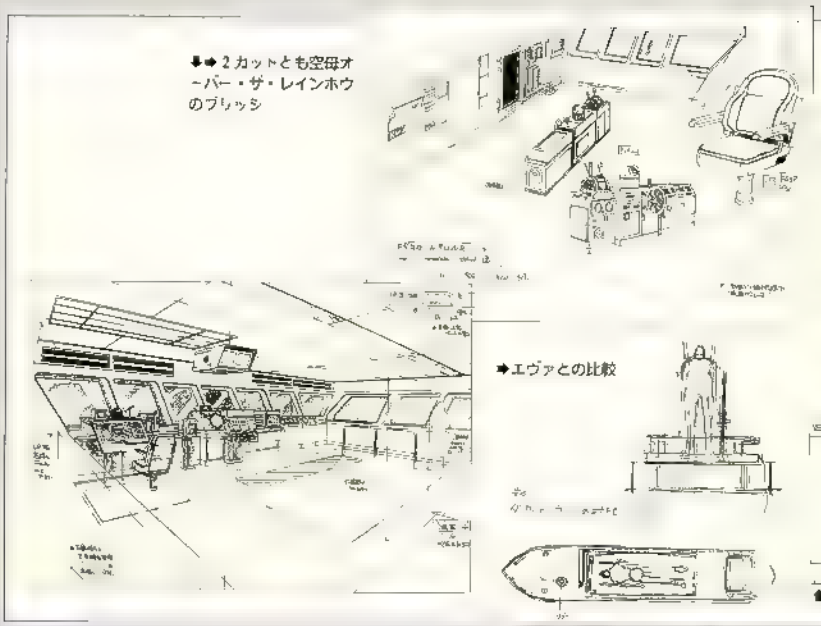








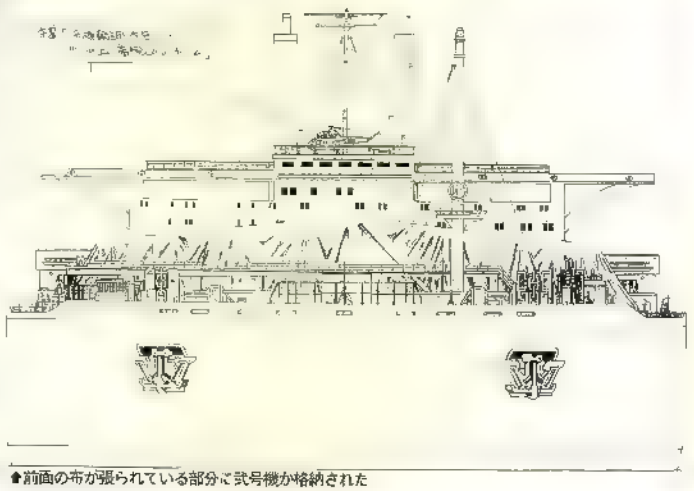
⬆ロックボルトファイアール。肩部の板状装甲に固定される



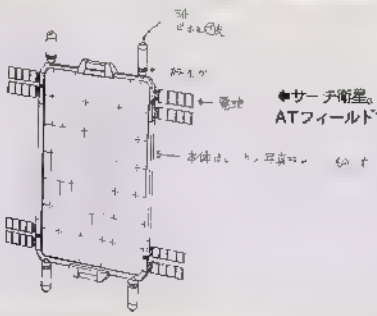
⬅➡2カットとも空母オーバー・ザ・レインボウのブリッジ

➡エヴァとの比較

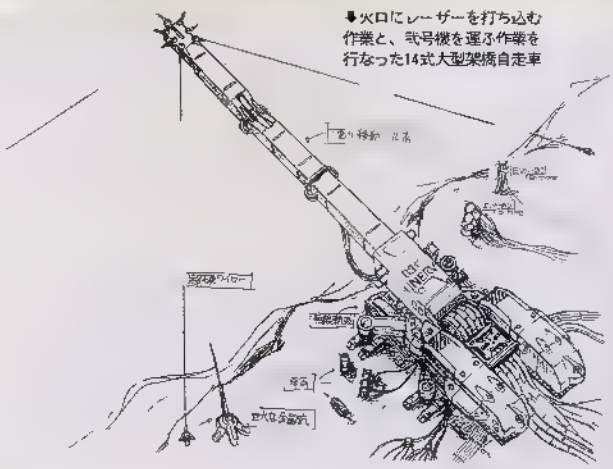
## 弐号機輸送用大型タンカー



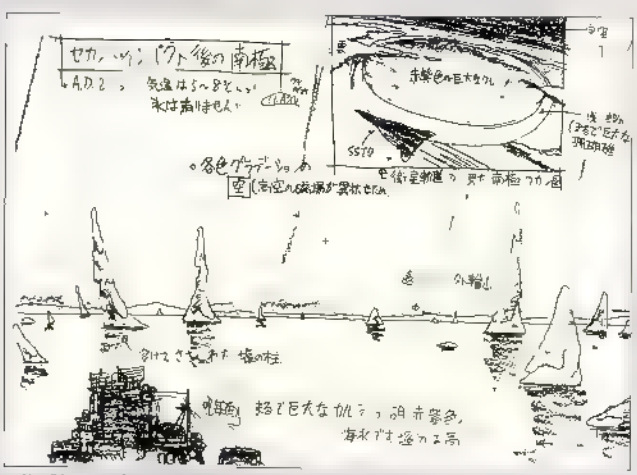
⬆前面の布が張られている部分に弐号機が格納された



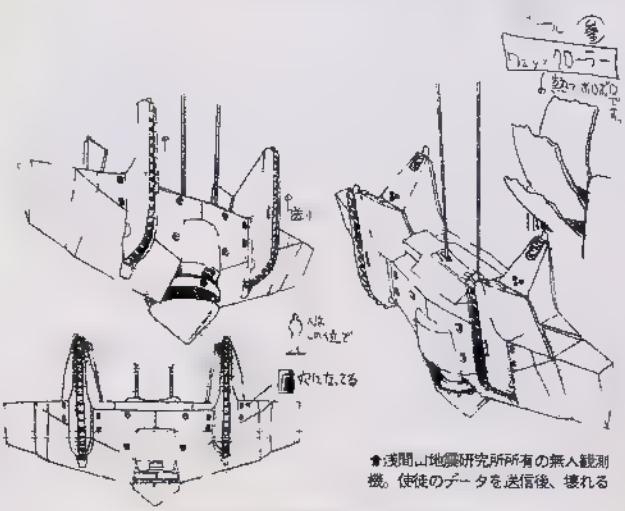
⬅サーチ衛星。サハクィエルのATフィールドで破壊された



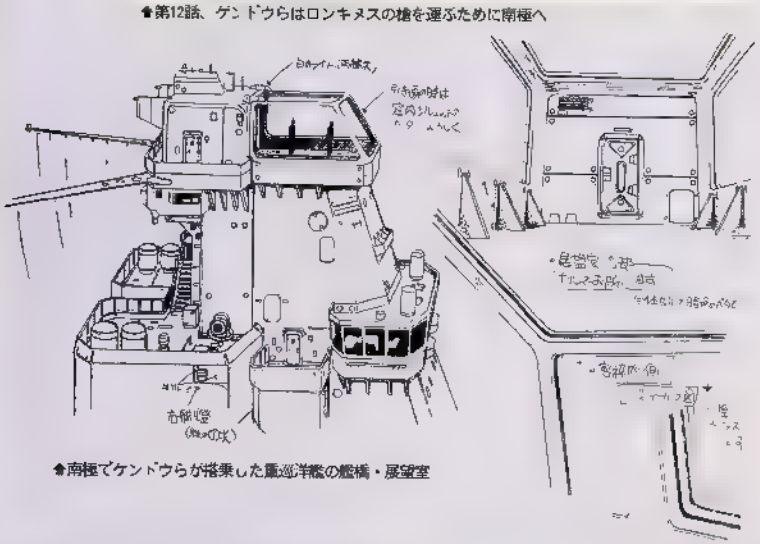
⬆火口にレーザーを打ち込む作業と、弐号機を運ぶ作業を行なった14式大型架橋自走車



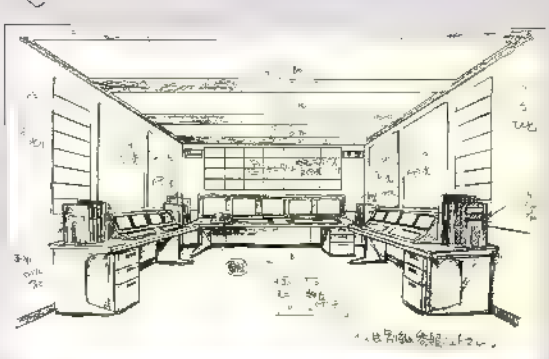
⬆第12話、ゲンドウらはロンギヌスの槍を運ぶために南極へ



⬆浅間山地震研究所所有の無人観測機。使徒のデータを送信後、壊れる



⬆南極でケンドウらが搭乗した重巡洋艦の艦橋・展望室



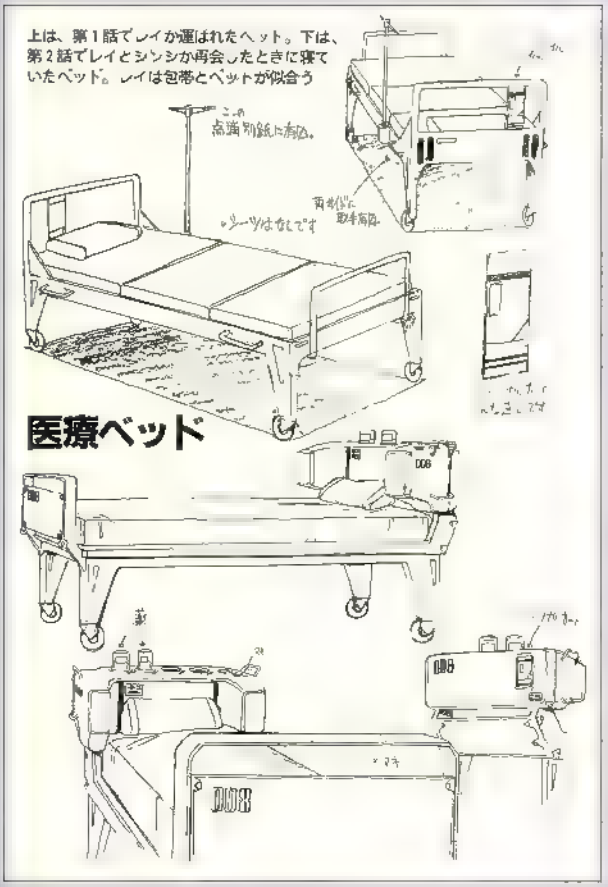
⬆浅間山地震研究所内観測室

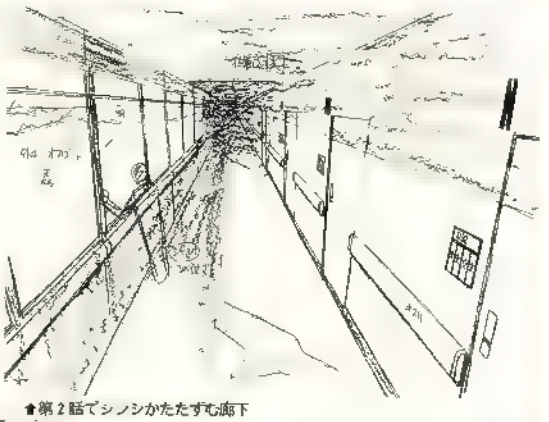
# ネルフ内部施設・旧東京市関連

## THE INSIDE OF NERV & FACILITIES IN RELATION TO TOKYO-1

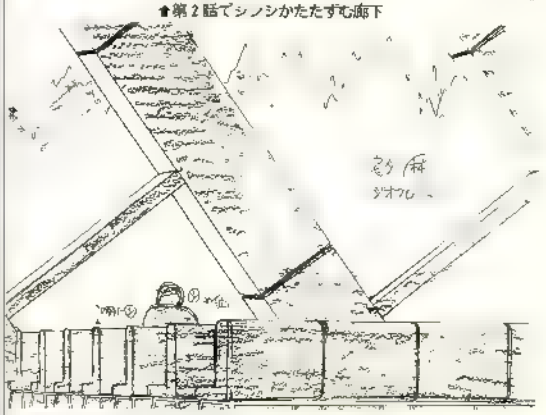
基本的には、どこか現実感が漂うネルフの施設や機器。これらは、物語を引きたてるセットや小道具たちである。また、第7話で登場した旧東京市と、無骨さが魅力のはぐれキャラ・JAを紹介する

上は、第1話でレイが運ばれたベット。下は、第2話でレイとシンジが再会したときに寝ていたベット。レイは包帯とベットが似合う

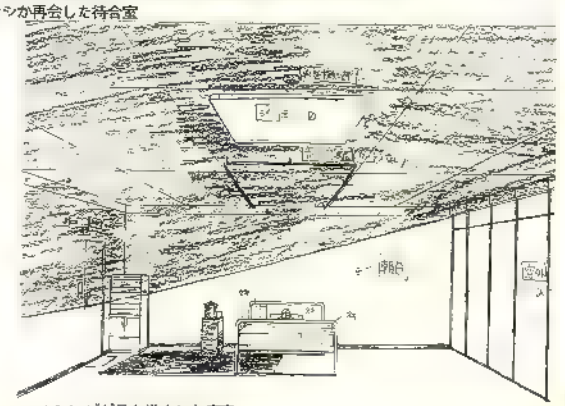


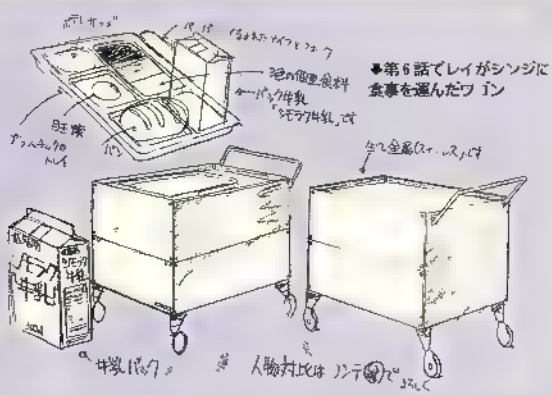
⬆第2話でシンシかたたずむ廊下



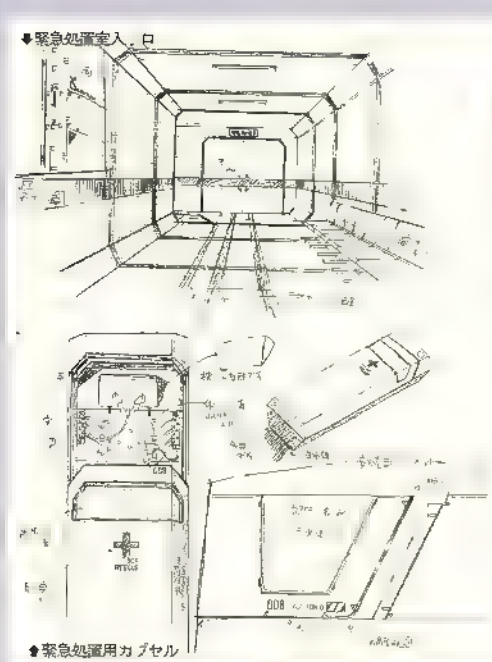

⬆ミサトとシンシか再会した待合室



⬆シンジが目を覚ました病室

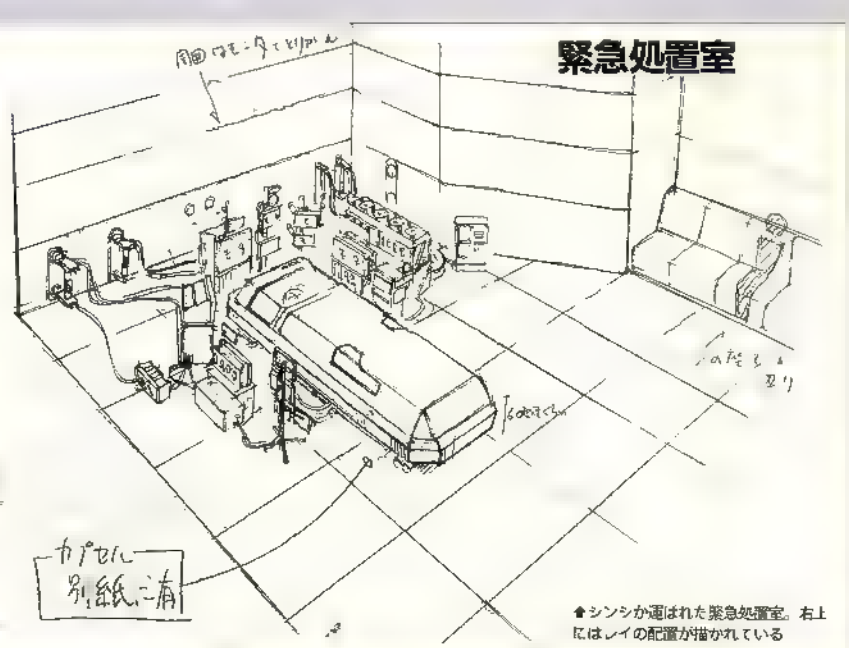


⬆第6話でレイがシンジに食事を運んだワゴン

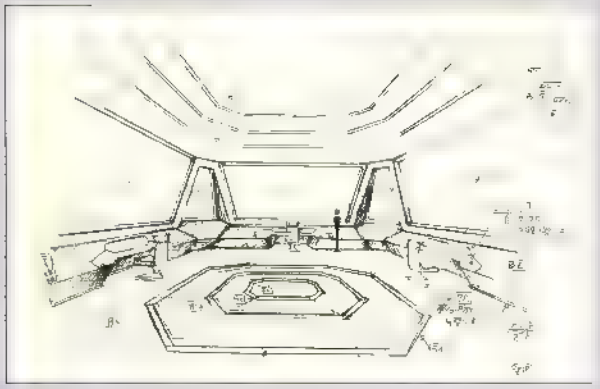


⬆緊急処置室入口

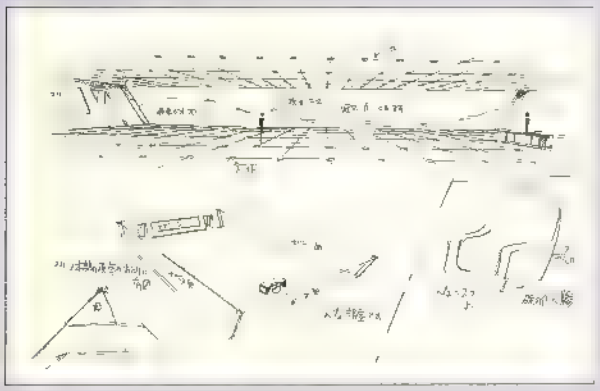
⬆緊急処置用カプセル



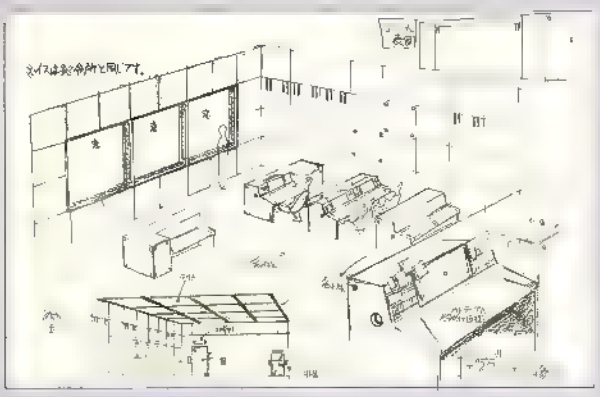

⬆シンシか運ばれた緊急処置室。右上にはレイの配置が描かれている



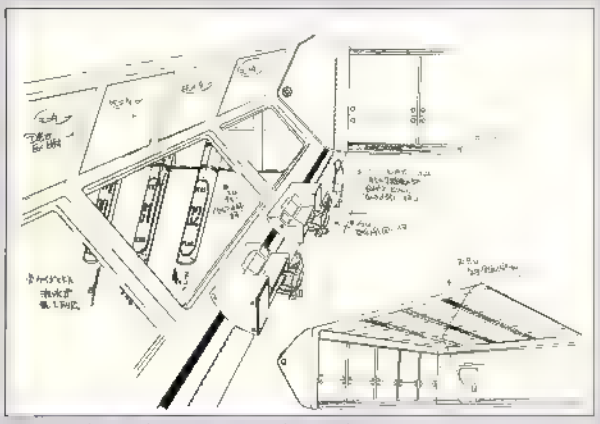
◆宇宙船内部のような幻想的な雰囲気の作戦室



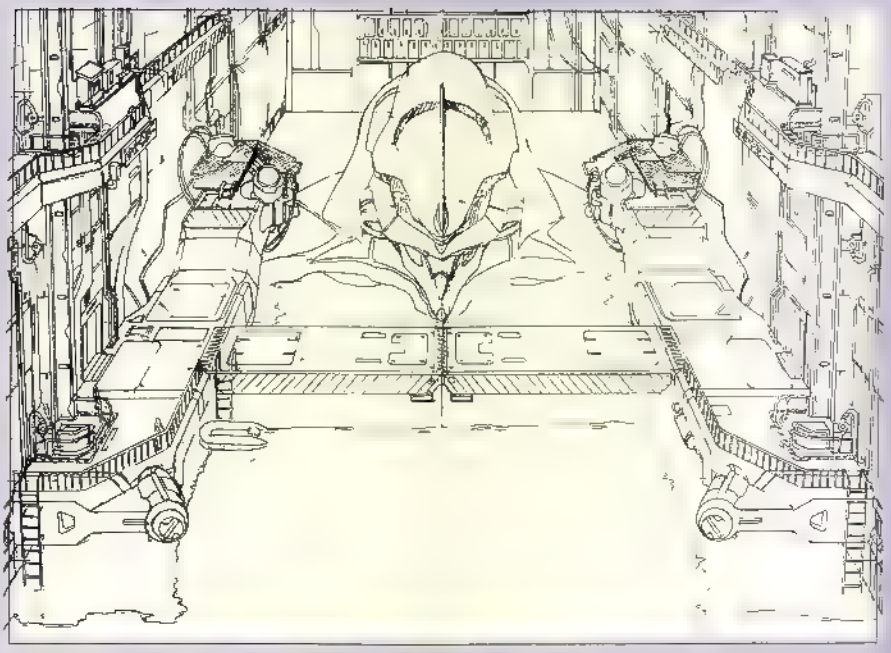
◆ゲンドウ、冬月が待機する総司令官公務室



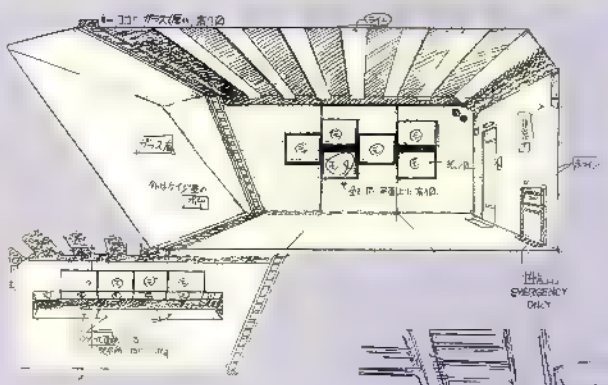
◆エヴァの起動実験などを監視するモニター室



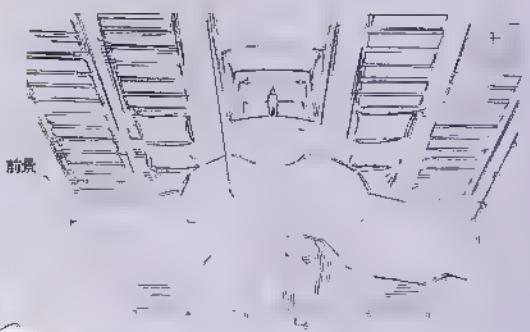
◆シンクロ率テストをモニターする第7実験場・管制室



## ケイジ

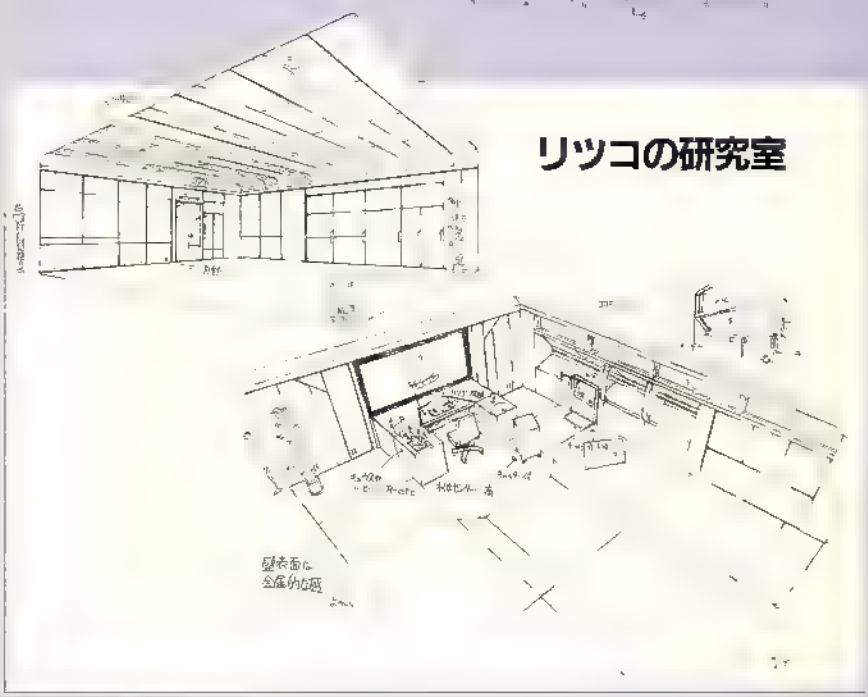


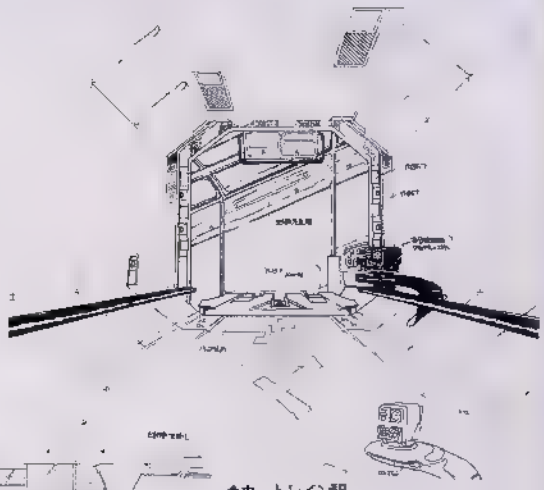
◆ケイジ管制室・内部

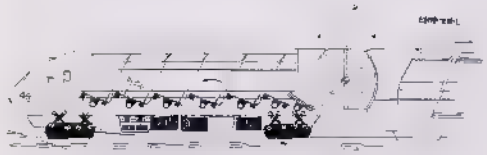


◆ケイジ管制室・前景

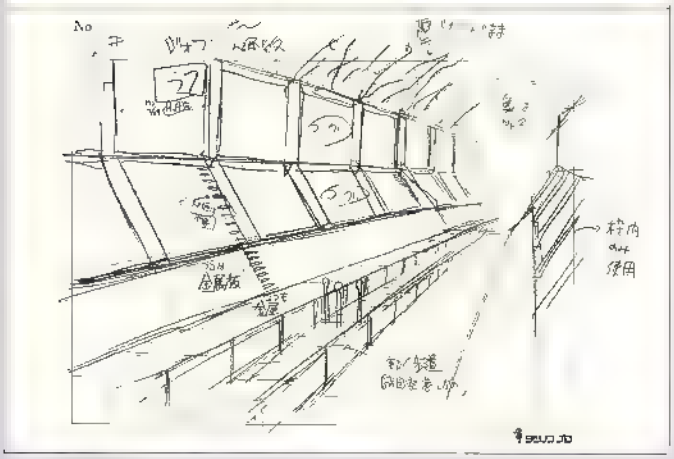
## リツコの研究室





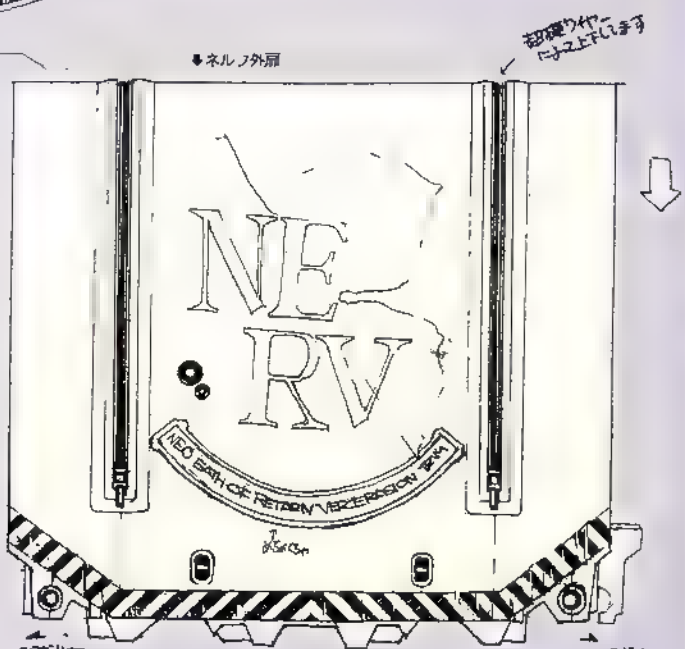


⬆カートレイン駅
⬅内部図

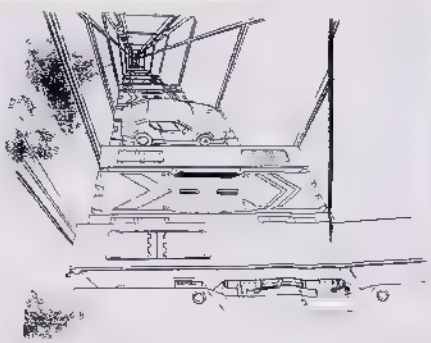


⬆上はネルフ本部内の動く歩道、下はジオフロント内通路

## カートレイン

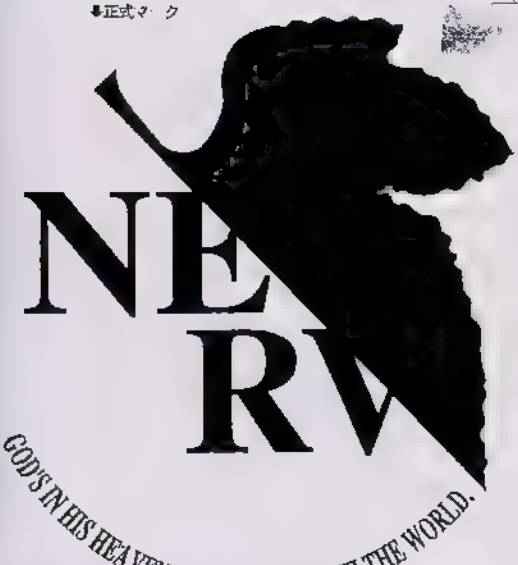



⬆ネルフ外扉

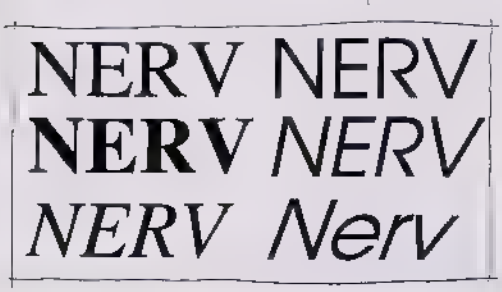


➡カートレイン内部

⬇正式マーク

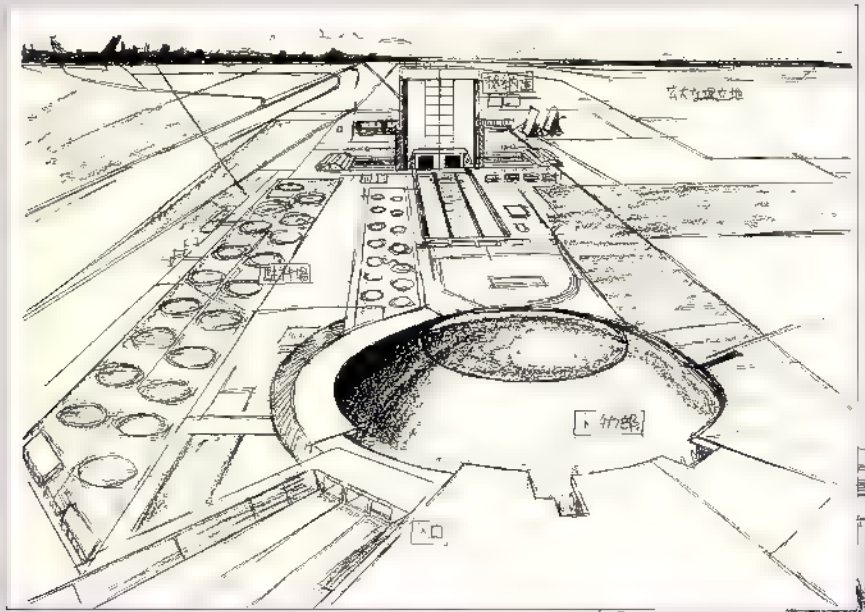


⬅⬇各種ロゴマークパターン

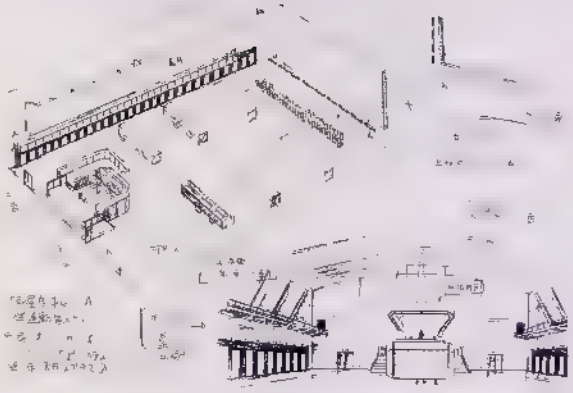



## ネルフ・ロゴ

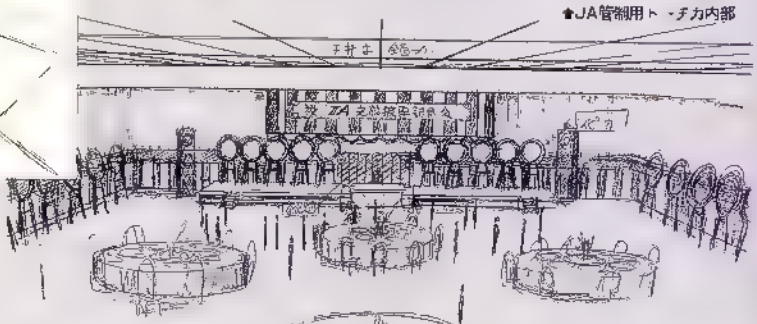
⬆ラフイメージ

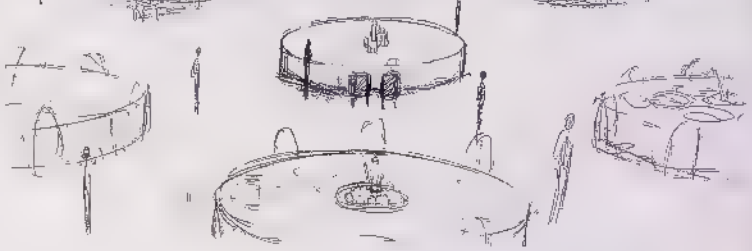


◆日東京再開発臨海部内国立第３試験場



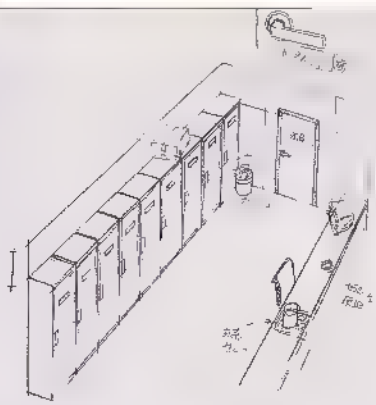
◆JA管制用トーチカ内部



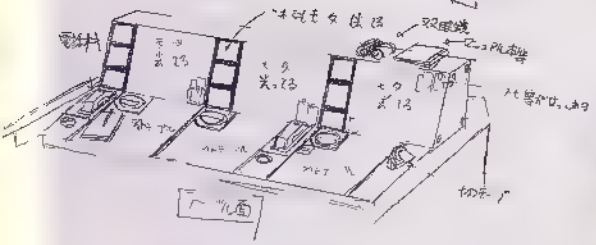


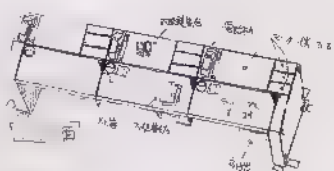
◆JA完成披露記念会場

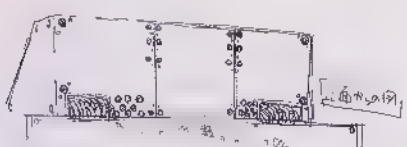
## 旧東京市



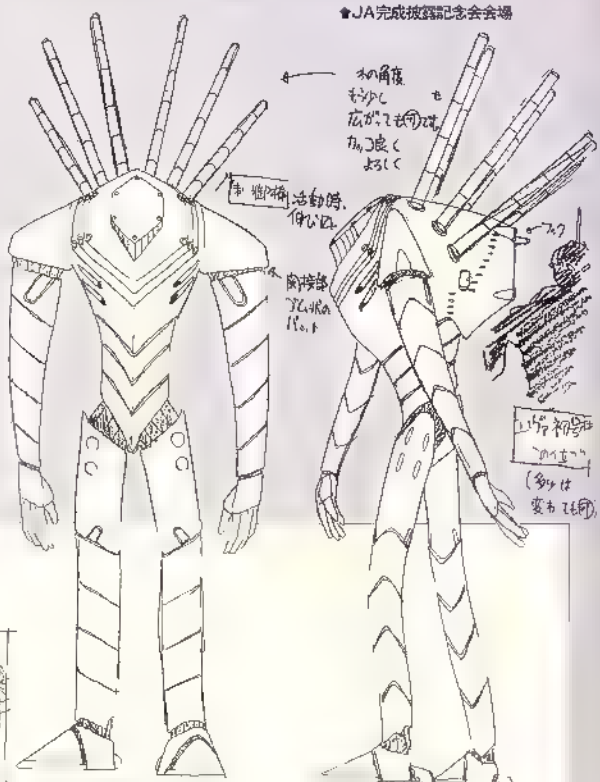
◆ネルフ御一行の控室

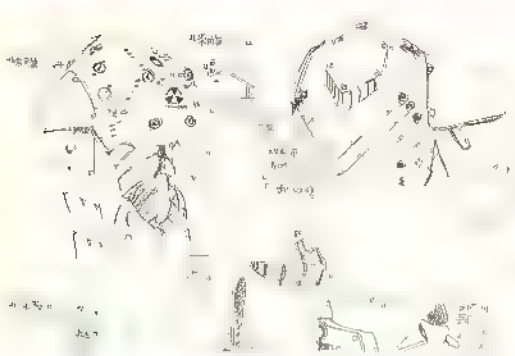




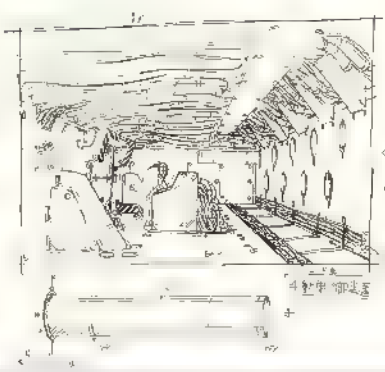


◆JA管制用オペレータ席





◆◆ディテールと内部制御室



## JA

日本重科学工業共同体が製作した迎撃用無人ロボット。内部に小型アクター（原子炉）を搭載し、遠隔操作する

# The Voice for EVANGELION

ここでは、放送中のパソコン通信と、放映後に庵野監督へ寄せられた視聴者の手紙から意見を抜粋し、構成している。

## 95.10.

### シンジくんにはつまらない大人になってほしくない

第1話放映後から第4話まで・パソ通から

【包帯少女】

また何一つ説明されていないも同然なので何とも言えませんが、白いスク・ツの少女（レイ?）の姿には心臓がズキッと来ました。

何もわからずとも、男の子が戦うことを決意するには充分な理由だと感じました。自分が行かなければ、あんな状態の女の子が行かなきゃならなくなるんなら、私たって死にに行ったかも。

彼女自身も周囲の人達（看護婦さんまでも！）も無表情で、誰も制止しようともしなければ声ひとつかけてあげもしない、というのがまたその場の尋常でない空気を感じさせます。

このシーンのインパクトが強すぎて、胸が踊るはずの発進シーンも緻密な作画も印象が薄らいでしまったほど。

今はただ茫然としているだけで、頭のうえに?がいっぱい浮かんでいる状態です。?が！に変わることを期待しています。

わたしゃ「ナディア」では最終的に落胆を感じた手合いの人間なので、今回は少々慎重になってます（苦笑）。おまけに生来巨大ロボットものが大好きと来てるし。見当違いの期待ならしない方が我が身のためなのかもしれませんけども。

【きいろ　なぜ逃げるの、なぜ逃げてはいけないの】

父親が苦手なのは、あの年頃の少年にはありがちな感情ではないのかな。

あたしはコミュニケーションがへたな父が、でも娘を大事に思っているのは間違いないと感じさせる父が好きでした。うっとうしく思うことはあったけど、嫌いでも苦手でもなかった。

だから、シンジくんの気持ちも現実の男の子達のほんとのところの気持ちもわからないけれど、放送された第1話のシンジくんは、自分がなにかやっかいなことをさせられるであろうことを承知の上で、ミサトとの待ち合わせに応じていたようでしたね。

それは今度こそ父親に必要とされるかもしれない、という淡い期待がさせたことのようでしたが。

そして、確かに父親は彼を必要としていたのだけれど。

悲しいことだけど、（親にとって）いらない子供は存在する。

つらいことだけど、この世で自分を必要とするのは、最後の最後には自分しかいない。

などとつまらん大人になってしまったあたしは思っています。

シンジくんには、エヴァを見ている同世代の少年少女には、まだそこまで行きついてほしくはないけれど。

シンジくんはなにから逃げようとしているんでしょう。なぜ逃げてはいけないと踏みとどまってしまうのでしょう。

大人達の都合と自分のエゴやプライドと。

あのころの自分はもう取り戻せないけれど、エヴァを見ながら少し思い出してみようと思っています。

むろん、いつまでもまちめてはいられないきいろってもんだ。

【まるすひろし　「逃げ」てるってこと。】

TO　きいろ様

はじめまして。まるすひろしです。

これからごひいきのほど。

さて、シンジは何に「逃げ」を感じていたのか、シンジの側面のみで考えてみました。確実に私論です。お気に障ったら忘れてください。

男の子には、まず接する異性が母親と言うこともあり、母親を溺愛しあまつさえ父親に対して敵意を持つことがあります（エディプス・コンプレックス）。

普通、成長するにつれてさらに多くの外界に接するようになり、この敵意は小さくなっていくと言われています。しかし、シンジは3歳のときに母親と死別したという設定から見て、母親へ愛情を注ぐことができず、その分父親、ゲンドウに向ける敵意が増大し、そのまま14歳になってしまったのだと思います。その時ゲンドウはシンジから去っていきようですから、「僕は必要とされていない人間である」と言うものが敵意の感情の中に含まれていても不思議ではないのでしょうが。

しかし、そんな感情があったとしても、自分を実際に養っていた（10年会っていないとしても）のはゲンドウであると言う事実は存在するわけで。その事をシンジは「逃げている」と考えていたのかもしれません。いわば敵に養ってもらっていたわけだから。そのまま暮らしているならば何でもないことなのかもしれない。でも、敵意を抱くシンジにはそれがガマンできなかった。父と対等になりたい。一人の人間として認めてもらいたい。必要とされ、愚れたい。

レイのあの姿を見て直接乗り込むことを決心したとしても、根底に流れるものはそのようなコンプレックスがあったからではないか、と思う。

## 95.11.

### すごいぞアスカ!! 表情豊かで元気なアスカに期待

第8話放映後・パソ通から

【SS】

皆様、今晩は。SSです。第8話の感想です。

今回は初めてリアルタイムで見ることができました。さて今回はやっぱりアスカちゃんが主役でしたね。私め予想よりはるかにぶっとんだ（悪い意味じゃないですよ）キャラクターでした。

まず驚いたのは、トウジ&ケンスケがあの場所まで招待？されたことですね。もうあの二人はエヴァの存在を知っているとはいってもあれ程の護衛（結局はエヴァの護衛ではなかったみたいですけど）がつく程のどちらにわざわざ誘うとは、もうあの二人は逃げられませんね。きっとNERVに監視されているに違いない。

そいでもって、アスカちゃんFC&アスカちゃんスマンの期待を一心に集めて登場したアスカちゃん。いきなりのファンサ　ビスィトウジへの平手打ち×2。もうつかみはOKですね。そして、加持を見て頬を赤らめ、ミサトさんと加持の会話を聞いてのあのリアクション。なんと表情豊かなんでしょう。あんな表情、レイちゃんにはまたまた無理でしょうね。

続いて、いきなり登場の第5の使徒、それを見たアスカちゃんの一言…おいおい、何がチャンスなんたよ～。しかもあの表情。うむむ、シンジ君にもレイちゃんにもあの表情はできないでしょう。何たかすごいぞアスカちゃん!!　命令無しに弐号機を起動させるわ、巡洋艦??で島渡りをするわ、空母を傾けるわ、シンジ君を無理矢理同行させるわ（あの時のシンジ君は恥ずかしそうでしたね。裸の時は前隠すのをよく忘れるのに、今回は…）で、もう今までのエヴァのキャラクターとは明らかに違った感じですね。

今回もミサトさん、大胆な作戦を…。聞いてなかったらどうするつもりなったんだ。しかし、あの時ミサトさん「大丈夫です、あの二人でしたら。」これは気になる台詞ですね。ミサトさんは、ただあの二人の力を信じて言ったわけではないと思います。あの二人ならシンクロして、さらに大きな力を引き出せることを知っていたのではないでしょうか。そう考えると、エヴァのパイロットは偶然発生したものではなくて、何らかのつながりがあるのではないかと考えられますね。

そして、今回のキーであろう、ラストのゲンドウと加持の意味ありげなシーン。ただ恐るべきトンスラしたわけじゃないのね、加持。加持の参したものを怪しげに見つめるゲンドウ。よーも、分かった。あの表情といい、やっぱり貴様は悪なんだな。

まあ、この話題は「豊泰」で花咲くでしょうが、「アダム」とは、一体どういう展開が待ってるのでしょうか。

しかし、第8話見て思ったのですが、シンジ君とアスカちゃんって意外に距離がつまるの早そうだなあ。

# 05.12.

第10話、第11話放映後。ハンコ通から

## 死を受け入れるアスカの姿は悲しいですね

あのハタリンも流れると、そう遠くないうちに関係が深まっていってしまいそうですね。一度シンジ君に傾けば、アスカちゃんは積極的そうだし、シンジ君はなんとなく、状況に流されそうだし（今回、早くもヘアルックですし）。二箱ができる前にあっさりこの二人がくっついちゃうと、私はとっても困るんですけど。

今回は完璧に出番Ⅱの（名前すら出てこなかったレイちゃん。学校のシーンもあったのに。まずい、まずすぎる。早くレイちゃんにもシンジ君争奪戦に参加してもらわないと、手遅れになる前に。

次回予告。何ですかねあれは。エヴァで曲芸やってるのですかね。ミサトさんの計画ですか。また、とんでもないこと考えるんたろうなあ。もしかして、シンジ君とアスカちゃんを同居させるとか。いや、ミサトさんならやりかねない。彼女ならやりそうだ。ってことは次回もシンジ君&アスカちゃんがメインでしょうね。ううう、レイちゃ　ん。

まとめ1

とにかく、アスカちゃんは期待を裏切らないような娘でした。これで学園ラブコメも、秒読み段階でしょう。容姿端麗で行動力かあり、明るくてなおかつサービス精神旺盛（ちよっと違うって）とくれば、もうフ

アンも増えそうですね～。これは「豊泰」で皇木昏偉さんはしくなりそうですね。

まとめ2

今回の一つのエントリーズラグ内で二人が操縦するのは、シンジ君とレイちゃんにやって欲しかった（まとめになってねえぞ）

【MK】

いやはや…強烈ですね、アスカ。今回はタイトルの表裏が一致した…と思いきや、話の上ではやはり裏が別にあったようですが。

とにかくインパクト抜群でした。（ADAMも凄かったけど）

全体として、かなり完成度の高い回になったと思います。硬軟のバランスは気持ちいいし、テンポ良し。作画も文句の付けよう無し。

しかも謎&伏線までしっかり見せる。その情報量として七話にひけを取らないわりに、詰め込み過ぎな印象もなかったです。

おそらくは九話と組みになるのかしょうが、予告を見る限りでは八話単独としてもいいような気がします。なんか次回作画が落ちているようですぅ（贅沢かな）。その分見せ方に期待。

個人的には、壱話&弐話が今のところベストです。重さと作画のバランスが（それになんつっても暴走とシンジ絶叫でしょ）

次回予告　なあにぃぃぃ

あのマグマの中に潜っていくシーンはなかなか強烈でした。

アスカはあのきしむ音が平気みたいですね。中に入っている人間にとってあんな嫌な音はないように思いますが…。

ミサトさんは限界強度を越えても潜らせてしまいましたね。

ミサトさんは鉄の心臓の持ち主ですね。ミサトさんはこうすることでアスカへの敬意だと思ったのでしょうか。アスカもそれを望んでいるようですし悲しいです。

て、結局使徒の捕獲には失敗しましたね。

アスカは見せ場とかいって喜んでますが内心はやっぱり怖いのではないかと思いました。て、プログナイフがなんとか間に合って使徒を倒しましたね。

熱膨張のネタは見事でしたが、でも接続のパイプが切断しましたね。

あのエヴァがたんたんと下がっていく感覚と喰いちぎられたパイプを見てアスカはほうけたような表情をしましたね。あの絶望的な状態において何故アスカはあんなに平然としていられるのでしょうか。

アスカは自分の死を受け入れることになんらためらいはないようでしたね。アスカはエヴァと共に生きエヴァと共に死ぬことが自分の誇りだと思っているのでしょうか。悲しいですね。

アスカにとって自分とはエヴァを操縦する〝機能〟でしかないのでしょうか。

そのアスカの自我はその〝機能〟の付属物でしかないのでしょうか。

私はあのまま沈んでいたらアスカは発狂していたのではと思いました。

シンジ君がアスカを助けたのは本当にほっとしました。

もしこれが遅れてもしていたらアスカは本当に間違い無く死んでいたでしょうからね。

今回、シンジ君は本当によくやったと拍手を送りたいです。

でもシンジ君はよく機転が効いたものですね。

それによく初号機がもちこたえたものです。

ただ私としては死に直面して発狂しそうになるアスカも見たかったような気もします。

あの助けられた時のアスカはちょっと幸せそうでしたね。

ただ私はちょっと怖いことを思いついてしまいまして、ひょっとしてアスカはクローン技術によっていくらでもかわりが造り出せるのかも、と思ってしまいました。

そうすれば死んだらまた新しいクローンを起こすだけですし。

あのアスカが容易に死を受け入れたのももある程度納得いくように思いました。

でもそれって酷すぎますね。

最後の温泉のシーンはなかなか…ですね。

ペンペンがクール宅急便で送られて来たのは謎ですが…。

でもミサトさんとアスカはシンジに聞こえていると分かっているはずなのにあんな事をするなんて凄いですね。シンジ君の「膨張してしまった…」は見事でした。

シンジ君、おっとこの子たねー。

ミサトさんの胸の傷については意味ありげですね。

でもどういうけがのしかたをしたらあんな所に傷ができるのでしょうか。なにかが突き刺さったのでしょうか。それとも5話の初号機みたいに胸に熱線を浴びたのでしょうか。ただこういったふうだとけがを通り越して死んでしまうようにも思いますが…。

この分だとリツ1さんや加持にも傷があるかもしれませんね。

私としてはあの傷はミサトさんの弱く、暗い部分の象徴だと思いました。つまりそれをアスカに見せたことによってミサトさんはアスカに自分の弱い部分をさらけだしたのではないでしょうか。

いずれこの傷をシンジ君にも見せる時がくるんでしょうね。

その時シンジ君はどう反応するのでしょうか。

またレイはミサトさんの傷の事を知っているのでしょうか。

レイ、アスカの出生の秘密もありますし、そして最後にシンジ君の秘密もあるのでしょうがなんだか私はこれがあかされる時が怖いです。

次回は第3新東京市の全電力が停止するんですね。

やっぱり6話でポジトロンライフルの電気代を払っていないもんだから電力会社に電気を止められたんでしょうか。

まもなく折り返し点に到達しますが私はどんどんと終焉の時が近づいてくるのが怖いです。こんなに怖く感じたのは初めてです。

せめてシンジ君達に幸あらんことを祈ります。

【てるてる坊主】

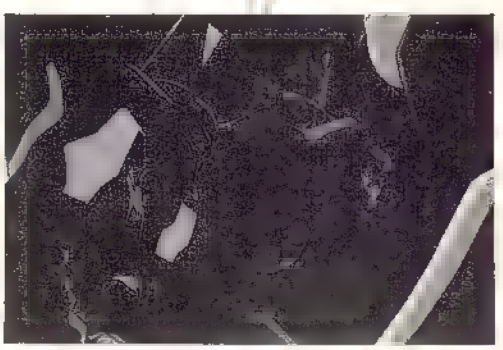
NERVを快く思わない人々が実際に画面に登場しないのでどうとでも推理できるので考えるに

1、外部犯行説

大規模な停電があると地上の町にはお知らせしていたのに地下の人達は全然聞いていなかったとか、今回の使徒の能力は計り知れないので未知の力で電力を止めたとか。

2、内部犯行説

NERVの人、加持が怪しい。でも他の人も充分怪しい　そしてMAGI。冬月氏の言葉からMAGIは、民主政治を代行できるほどの能力を持つ事が推測される事。作戦実施に関して、助言出来る事。エヴァンの試験データを分析できる事などから第3新東京市のHALみたいなものたろう、と捉える事ができると思います。



そうだとするとセカンドインパクトから人類補完計画に至る極秘事項をも知らされている（入力されている）可能性は無きにしもあらずということで極度の神経衰弱に陥ったMAGIの判断ミスから今回の故障が起ったとすれば…。

最後がスターチルドレンだったら笑うよ、タブンソウナラナイデショウケド。

# 96.2.

第18話、第19話放映後・パソ通から

## できればエヴァは親子そろって見てほしい作品

【東雲】

どうも、皆さまこんばんは。

私はあまりアニメを見なかったのですが、この作品には驚きました。どうしても感想を書きたくなってしまいました。

話を見ていて思うのですが、この作品の作者、監督は一度は死にたくなるほど、ひどく悩んだ人、一度や二度は自殺を考えていたのではないかと感じることがあるんです。この話のテーマとして「生きることとは何か?」ということがあるような気がしているのですが、生き物が生きることの意義を考える時は死に直面したときだと思うんです。死が間近に思えるほど強く悩んだり、死を考えたとき、その反面にある「生」を強く意識し感じることができるものなのではないでしょうか? 自分が何のために生まれ、生きているのか、感じることができるものではないでしょうか? 死ぬほど迷ったときに、母の愛や生きることの喜び、楽しさを体で実感できるんではないか、と思ったんですよ。

うーん、なんか言葉がうまく見つからないのですが、そういう片鱗をちらっ、ちらっと感じるのです。どうもバイオがらみの設定があると思うんですけど、そもそも「生き物」と「そうでないもの」の違い自体未だはっきりしてないわけですから、そういうテーマを浮き彫りにしつつある（?）この番組がとても楽しみに思えて来ちゃいました。

【EunTom 子供に見て欲しいエヴァ】

まず結論を先に言います。「新世紀エヴァンゲリオン」は子供に見て欲しい、出来れば親と一緒に見て欲しいアニメだと思いました。18話をもって確信しました。

もちろん、子供と言っても幼児には辛いでしょうが、少なくとも自己と他人の存在をきっちりと見分けられるくらいの精神年齢なら（10歳以上かな）見て欲しい。

そして、成人の親となぜこうなるのかを話して欲しい気がします。

なぜか、それは最近のTVアニメ

&特撮、特に格闘ものやロボットものに忘れられているというか、あえて描かない死の悲惨さ、戦闘の残忍性、極限の人間の非情を明確にしてくれたからです。

確かに、18話の戦闘シーンは成人男性をも固まらせる凄絶さでした。

これだけを見るならやはり子供には見せたくないです。しかし、エヴァという作品を通してのこのシーンを、チェーンソー持って人を切る映画やナイフを持った殺人鬼が徘徊する映画と、大人の嗜好品と一緒にして欲しくない。そして、他の格闘&戦闘シーンや流血シーンがあるアニメと同じに扱えないものがあると思うのですが。

エヴァには随所に過去のアニメや特撮へのオマージュがあります。

それと同時にそれへのアンチ・テーゼが大量に盛り込まれてる気がします。例えば、覇気がなく勇気を持てない主人公、第3新東京にしか来ない使徒、現実でも62秒で終わる戦闘、必殺技のない主役ロボット等々。そして、血を流す敵。兵士を物として扱う指揮をする司令官。時には仲間を犠牲にしなければならない戦場。近未来SFではなく、ここは完全にリアル、現実の、真実の描写です。

私も世代から言えば、ウルトラマン&セブン&帰ってきた等を小学生の時代必死になって見ました。中学生時代はケンスケばりに戦車や戦艦、モデルガンに興じ、第2次大戦の資料（もちろん軍事面からだけの日独偏向）を読み漁ってました。

そんな自分に大きな発想の転換をさせたのが、恥ずかしながら「アンネの日記」でした。全く偶然に内容もロクに知らずに、図書館で手に取った本でした。その後、高校に進み写真に凝ったこともあり、ベトナム戦争の戦場写真集、戦記物をずいぶん読み、見ました。そして、そのころですね。『機動戦士ガンダム』に

出会ったのが。そういう意味でも、あれは感動でした。ただ、漠然とした物足りなさも感じていました。

その物足りなさとは、年を更に食ってから、子供向けの格闘&戦記アニメ&特撮を見て知りました。悲劇はあっても、壮絶な死はあっても悲惨はないんです。怪獣や怪人を倒しても、爆散するだけ。しまいにゃ、手足もぎ取っても血も出ないし、苦しむヤツに追い打ちを掛ける。パイロットが乗っているロボットごと吹き飛んで燃え尽きちゃう。残るのは金属的な残骸だけ。

正義は勝つって、それだけでいいの。

よく考えるとこの方がよっぽど子供にとって残酷じゃありませんか。

私が嫌悪するのは、一度倒した（殺した）敵や仲間がアイテムや呪文で復活したり、天国から生き返ってきたり、自己犠牲で明らかに死んだ仲間が運良く助けられて感動の再会ってやつ。

18話のトウジ生還の件はまだ明確な決着ついてないし、主人公にとって感動の再会じゃないし。あれが、戦闘終了後にふたりでヒシと抱き合って…なんてやったら私も庵野監督を糾弾したでしょうね。

少なくとも死をバカにしない18話のこの姿勢は、評価したい。そして子供に教えたい気がします。そして大人と話して欲しいんだけどなぁ。人を殴ればどうなるか、鉄砲撃てば相手がどうなるか、戦争って何なのか？　人間が生きるのに他の生物を犠牲にしていいのか？　正義って何なのか？etc…。

もちろん、すべてのアニメがエヴァになったら、それはそれで大変です。ただ、大人と子供が一緒に見れる、同じ視点で語れる数少ないアニメだと思うのですよ。あいにく自分には子供はおらず、もっとも身近にいる子供もまだ2歳なのでエヴァの話が出来る子供が居ませんので、自分の子供の頃と重ね合わせて、考えました。

子供の思考力や理解力を考えれば倫理に反してるとは思いません。強いて言えば、小さいお子さんは大人と見てね、かな。あと中学生には黙って全編見ろと言いたい、と思います。

自分にとっての「アンネの日記」が、TVの前の子供にとっては「エヴァンゲリオン」でありえると結論しました。

まあ、自分の倫理は世間の倫理と合わせてるわけではないんで、これもひとつの考えということです。実際、演出とはいえ少々きつめなことも確かですけどね。かえって潔さと執念を感じちゃいました。親の身からすれば、それとこれとは別と言われるとこの点は言い返せませんけど。

「命の選択を」。このサブタイトル、みなさんが解釈されてる通り、トウジとシンジ、そしてその背後にある都市の人々、さらには人類の命を選択するという意味でしょうね。そして、私がもうひとつ邪推したのは、エヴァという作品の命の選択です。これだけ衝撃的なシーンです。これまでエヴァを見てきた人でも賛否在るわけだからね。

と言ってみたものの、監督本人から真相が明かされたら、タダの言いかぶりだったなんて事もありそうだなぁ。

とにかく、18話見て1、2日嫌悪と不快を感じてもいいです。でも、落ちついたら、一度考えてみてください。この作品が何を言いたいのかを。もちろん、私の感想と違う結論でもいいから。絶対何か受け取れると思います。

【TSZK　ショックだなぁ】

19話感想ですが、先週に引き続きダークな気分です。

19話はたくさんの謎の断片的解答かたくさん出てきたようですが、そんなことより話の内容が、あまりにも悪すぎるような気がしてなりません。前半は暗いながらも、エヴァ本来の真実味のある人間どうしのトラマかとてもよかったと思います。

けど、後半でアスカがやられたあたりからドンドン落ちていってますよ。見てて可哀想になります。アスカが「コンチクショー!!」と言って突っ込んでいくのも彼女らしさと言えるのでしょうが、ボクには無理矢理にでも痛い目に遭ってもらわなければといった感じがして、どうにかならないものかと思いました。

さらに、再び初号機に乗ったシンジがとてもマッドな顔をした時は、なんだこれ?と思ってしまいました。ゲンドウに叫んで頼んだときはすごく感動を覚えたんです。でも、それを見たら一気に冷めてしまって、逆に悪寒さえ感じました。初号機が「覚醒」したのは、また別の意味での悪寒を感じましたが、未知のものである限りこういうことが起こるのもしょうがない事と思えるのです。が、自分と同じ人間が何かを守るためとはいえ、180度人格が変わって、まるで、その行為を楽しんでいるかのようにしてたのが、あまりにショックでした。

このままだと、エヴァはしばらくこの雰囲気のまま進行してしまいそうで、イヤです。どうにかしてほしいものです。

## 96.3.

第24話放映後・パソ通から

## 見た後の重さをひきずりながら、それでも見る意味

NTの中で庵野監督は、オタクの幸福に疑問を持ってしまったので、彼らの幸せについて考えてみたいと言っていたそうです（NERVファイルより）。

これからすると、何か視聴者（特に濃い方々）を地獄に落とすようなラストが用意されているのかもしれません。

ナディアに関して散々いわれて、この作品はそれに対するものでもあるようですし。

みんなが望むようなラストにはならないんじゃないのかな。

てなことで、確かに、オタク殺すに刃物はいらぬ」を狙っているのでしょう。そういう意味でもラストが気になる。

【しんしん】

うーん、信じられん。シンジ君がとどめを刺すとは、あそこで握ノこむとは。私は、シンジには「カヲル」は殺せないと踏んでいたので、ショックはでかかったです。あの長い間で、いやな予感はしていたので、「オイオイ、よせよシンジ君」とつぶやいてしまった。

しかも、あの後のシンジ君が彼には、冷静なのでまたショック。

今回のシーンで思い起こされるのが、第拾八話のラストシーン。おそ

らく対比を狙ったものだと思いますが、あの時、戦うことを拒絶し、死をも選択したのに、今回は自らの意思で戦い、そして、自分の判断で殺した。たしかに、目の前で使徒としての力を見せ付けられながら、「使徒」と思い込むことができたという見方もできますが、シンジにとっては最後まで「カヲル」だったのですから、シンジがカヲルを殺せるとは到底思えません。

だが、シンジは殺した。シンジは変わったのでしょう。以前とは違うことをやらなければ、自分も死ぬし回りの多くの人達も死んでしまうと考えて、「カヲル」を殺すことを選択したということですよね。これを成長というべきなのか私には、まだ答えはでません。

ただ少なくとも、彼の変化が彼自身によるものであって欲しいです。

シンジ君も2人目だからというのは、なしにして欲しいです。

レイ、一体何者なんだ。ネルトレンにして、使徒であり、アダムよりうまれし者であるカヲルをして「同じ」と言わしめ、ATフィールドを発生させながらも、使徒とは認識されないレイ。もはや、人とは言えないのだろうか。それともレイとカヲル、彼らが補完人類なのか。うーむ、わからん。

そして、レイの様子ですが、どうもシンジとのつながりが希薄になったように描かれているとしか見えません。やはり、今のレイは以前までのシンジと心を通わせはじめたレイではないようです。かなしい～。

カヲルが最後に、レイをみてからシンジに「きみたち」といったこの言葉にすがるしかないです。

次回予告

こっこれはひどい。いやもう慣れたか。

しかし、情報としては予告にはなっているので信用して見ましょう。

といって、コマ送りで見ると不吉な絵がチラホラ。

背中の壁に血痕をつけて倒れているミサトらしき人物。白衣の背中に血痕をつけて倒れているリツコらしき人。不吉だ。

一方、希望を持てそうなのか、アスカが復活しているみたいなことと加持らしき人物が出ていることと。これらってシンジのための中のシンという線があるんだよな。

【峰岸】

まさかあのような姿になってしまっているとは予想も付きませんでした。使徒にむの中を土足で踏み荒らされるという深手を負い、これ以上酷いことにはなるまいと油断していましたね。現に前回までは家出したといっても品行方正な委員長の家でケムしていたわけですから、まだ救いの道は有ったと思います。

あのままドイツへ帰って平凡な生活（それは負け犬として生きていくことにもなりますが）へ戻るという道もあったでしょう。弐号機による使徒への勝利という可能性は低いながらも自信を取り返す道もあったことはあったのです。

でも頼りの弐号機は破壊され、本人も落ち込むというレベルを超えてしまった今どのような「救済」が残っているのでしょう。

「弐号機を動かすことすら出来なくなった」という事実は使徒の攻撃よりももっとダメージの大きな出来事だったのですね。自分がエヴァのパイロットとしてみんなに必要とされている。でも自分はエヴァのパイロットとして失格だ。すなわち自分が必要とされないという思考の迷路に陥ってしまったのです。

華やかな外見で今まで気が付きませんでしたが、あんな小さな頃からパイロットとして訓練を受けていたとは、アスカって才能より努力の人だったのではないでしょうか。それでも、それと相前後するように家族を失って、アスカにとってはエヴァのパイロットの座というのは家族との普通のきずなを失ってまでつかんだモノだったのでしょう。だから誰にも負けるわけにはいかなかったのです。自分ほどの犠牲を払っていない（と思っていた）レイやシンジには。

「エヴァのパイロットとしか生きられない自分は用無しだ」とアスカが思いこんでいることが諸悪の根源だということは明らかです。確かにネルフではそうでしょうけど、外の世界では違います。学校に行った時にあんなに人気があったではないですか。あれはエヴァのパイロットということは関係無かった筈です。もっともっと広い視野で物事考えてくれれば、光は見えてくると思うのですが。

でも我々にはそれが分かっていても本人に伝えることは出来ないのですよね…。出来ることならテレビの中に入っていってキャラクターに言ってやりたいとこれ程思ったのも久しぶりです。

エヴァは見始めてから一話につき数回は見直して楽しめたものですがアスカが苦しむ姿を見るのが辛くて最近では一回見るのもやっとです。テープを巻き戻してから再生ボタンを押すまでの時間のかかること。相当の覚悟が必要です。

でもこれだけ葛藤しながらも毎週見続けていられる所が、この作品の凄い所なのでしょうね。

【バザアル】

やっと終わりが見えてきました。ハッピーエンドになるかどうかはともかくとして、あと弐回あればなんとか結末にたどり着くでしょう。一安心です。

スーパーカー的には今回はいつものようなひねりが無いのが逆に新鮮でもあり判りやすくストレートなエピソードでした。

嫌悪感をもよおすような直接的な描写も少なくてよかったです。もっとも観てる方が慣れてしまったのかすでにネタが尽きたのか、はたまた局の圧力によるものなのかという疑問は残りますが。

とはいうものの、なんだか誰かの夢でも見せられているような気分でもあります。

物語はついに行き着くとこまでイってしまったかのようであり（この先もっともっと遠くへイっちゃうんでしょうね）、制作サイドに手の届かない視聴者はもはや黙って観てるしかないのでしょうか？

例えば今回の内容と第弐使徒が誰なのかとか、もうどうでもいいような気さえします。予想されていた出来事とはいえ寂しくなります。

最近の「エヴァ」は胸に応え過ぎます。

観た後の重さを一週間ひきずりっぱなしで、しかも次の回でさらに深くキズをえぐられちゃいます。

毎週手を替え品を替え暴かれる各キャラクターの内実は、いずれも身に覚えのあるものばかりで、まるで鏡の前で自分が丸裸にされるのを見せられているかのような気分です。

歳をとって感覚のマヒした自分でさえこのありさまですから、若年の視聴者の方にはさぞや刺激が強いことでしょう。それとも身に覚えの数の多い年寄りの方が感じる辛さも大きいんですかね？

レイの問いかけはそのまま自分に対する問いかけです。

私、何故またエヴァを観てるの？何のために？

予告にはまたしても見たくないモノのが写っていたような気がします。

観るのが苦痛だったら観なけりゃいいにきまってます。観つづけるのを誰かに強制されている訳では無いのですから。

でも、私はあと弐回、「エヴァ」を観ます。もちろん自分の意思で。

連呼される「逃げちゃダメだ」のメッセージの意味がやっと判ってきたから。

そしてそれを確認するために。

【伽羅子　アスカの復活について】

酔っ払って泣いてる時黙って一晩付き合ってもらったら、それだけでその人は嬉しいと思います。自分の悲しみをそのまま知ってもらうことは不可能でも、悲しんでいる自分と黙って一緒にいてくれる人がいるなら、それは、たった一人で酔って泣いてるよりずっとあたたかいことです。

私は一時期、周りの人から腫物扱いされて逃げ腰になられた経験があります。その時の自分の経験を言えば人にやさしく同情されても励まされても全然嬉しくなかったです。鬱陶しくて迷惑でした。そうやって私の内側に入って来ようとする人よりは扱いあぐねて逃げ腰であっても外側から黙って見ていてくれる人の存在の方がありがたかったです。それは酔っ払って泣いてる人に黙って一晩付き合うのとそんなに変わらないことであるような気がします。

ほっておくのが一番、ということもあるのでしょう。ただ、今のアスカはほっておくと完全にだめになってしまいそうなので心配です。

監督からのアスカを通したメッセージ、アスカの復活の仕方を見てから、また考えてみたいと思います。

こんなこと書いて、アスカがミサトで復活したりしたら、私、物笑いの種ですね。でもアスカが復活してくれるならそんなことはどうでもいいです。

## 96.4.
放映終了後の手紙から

## それでもエヴァを見て良かったなと思う

【東京都・レイラ】

私はエヴァンゲリオンを見て、アニメへの固定観念を変えることができたと思います。(中略)本気でこのアニメを見始めたのは5話くらいから。それまでは途中から少し見たり見なかったりして、どんなアニメなのか気にはなっていました。そしてこのすべてが謎につつまれているような物語を毎週欠かさず見るようにしました。その中で私が学んだこと。それはシンジのように人に嫌われぬように心がけてきた自分、ミサトのように表面的に他人とつき合うことで自分を傷つけまいとしていた自分に自分で気づいていながら無視しつづけていたこと。アニメという世界に浸って夢を見過ぎていたこと。そして、それに気づいたことでその夢の外へ小さな一歩を踏み出せたこと。これが私のアニメに対する固定観念を変えた理由です。アニメを見ることに年齢は関係ないのです。そこから何を見つけだせるのか、何が自分にとってプラスになったのか、それに気づくことが大切だと思いました。

【愛知県・ラジヲマン】

二十五・二十六話とは、「物語世界」の解決ではなく、「エヴァ」の登場人物という記号による「現実に向かう新しい視点の呈示」と解釈できます。

しかし、そうであったとしても、視聴者が自分と同一視するシンジに「自分の意志」が見られなかった事実は、自信に裏打ちされた判断を生み出せなかったことになるのではないでしょうか?

【埼玉県・KOHJI】

「エヴァ」の登場人物の鈴原トウジ、相田ケンスケ、洞木、時田などの名前が、村上龍著の「愛と幻想のファシズム」の登場人物から付けられたことは有名ですが、さらに「エヴァ」と「愛と幻想のファシズム」を対比してみると、「愛と幻想のファシズム」とは弱者を嫌い、弱者の作り出したシステムを破壊しようとする小説であり、(結果としてシステムを壊すために「狩猟社」という新たなシステムを生み出し、システム対システムと言う構図を作り出してしまいますが)作中で「黄金のエルク」と象徴される現代社会の全貌を見たいという意志を感じる小説です。対して「エヴァ」では、もちろん使徒対EVAを描いていますが、ここに隠された意図を見ることはできないでしょうか。「ニュータイプ」6月号にて庵野監督がインタビューで「第二新東京市はアニメ界の置き換え」ということを言っていましたが。第二新東京市=アニメ界であるならば、そこにあるNERVはGAINAXのことでしょう。そしてNERVで作られた人造人間のEVAはまさに、アニメ「エヴァ」の象徴と言えます。さらにインタビューでは依存型のアニメファンへの怒りを語ってましたが、ここから使徒の背景を見ることはできないでしょうか。

【神奈川県・渡辺亜美】

正直、エヴァに出会わなければ良かったかもって思う時あります。

もし、出会わなければきっと人といっしょにいるのがこんなはずわくていいことだと思わなかったからです(カンタンに言えば少し人がよわくなったんです)。

【神奈川県・雅雪】

キャラクターなどが先行してちょっとしたブームになっていますが、ただのアニメブームで終わらせてしまうには、あまりにもったいない気がします。

かと言って続編は絶対に観たくありません! あれはあれで止めないと寝覚めが悪くてしょうがありません(1ジャンルを形成してしまうとそれに固執してしまい発展が止まる気がして)。

【福島県・桜桃太郎】

私は「エヴァ」を生で観る事が出来なかった地方人です。

つねに話題の蚊帳の外に置かれ、月イチに出るビデオ・LDシリーズを買い揃えていっても「TV版と内容が異なる最終回」とはいかがなものでしょう。

放棄したとはいえ、TV版もまた立派な一つの完結です。

地方人にも観られるように、何らかのケア(映像特典として収録するなどの)が、ひつようではないでしょうか?

【神奈川県・鈴木由華】

新世紀エヴァンゲリオンを見せて頂いて、一番多く感じた事はドキッという様なものでした。

この気持ち、私も良く感じる、とか、ああ、こういう風につきつめていったら私もこう思うかも、という事が数多くありました。

そして見ていくに従って、誰にでもある気持ちなのかな? と思う様になりました。

NTの6月号で庵野監督は「自分の部屋からアニメファンは出ようとしない」と言っていましたね?

実はそれを読んで私は少しドキッとしてしまいました。人と人の関わりから逃げている所が私にはあるだろう、と思ったからです。

でも、エヴァンゲリオンという作品を見てからは、どうして恐いと思うのか? 何故、それが嫌なのか? などという事を自問していこう、と思うようにはなった気がします。

まえよりは……というものなのですが、それでも、自問さえしない、答えを出そうともしないよりは、全然良いと思っています。

そして、少し考えを新しくして、自分がもし嫌だと思っている現実があったら自分自身でそれを変える事が可能だと思い始めました。

その自分の挑戦が少しずつでも今の変えたい現実の変化、良い方向への変化をもたらしてくれるかもしれない、と思うようになってきました。ゆっくりでも自分で変わりたい方向へと変わってゆく事が出来るのならば凄い事だと私は思います。

エヴァンゲリオンはたくさんのメッセージを含んでいると思いますが、観た人、ひとりひとりが自分に必要な何かを受け取る事がとても大切なのではないでしょうか? 私はそう思います。どんな本や番組でもそうだと思いますが、それを言いたい人と受け取る人がいます。庵野監督のメッセージには、特にその受け取る人達の共鳴を生じる要素がたくさんあるのではないでしょうか?

最終話に言われていましたが「真実は人の数だけあって、絶対の真実はない」と。

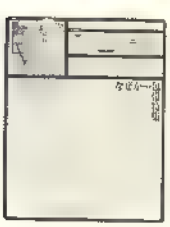
ですが私はエヴァンゲリオンを見て良かったなぁと今は思っています。これは、私の一つの真実です。

# NT's Articles of EVANGELION

## 96.2

セノフに見る謎を追究した特集。幻想的な扉絵は、数ある描き下ろしの中でも、担当が特に気に入っている一品だ。ちなみに、この号から「他誌も関連商品もみんなやっているから」というアマノジャク編集長の意向により、"直角折れキャッチ"を廃止。

## 96.3



複雑な人間関係を検証した特集。タイトルは「Stray sheep=迷える小羊たち」をもじった。担当としては「加持をめぐる一角関係」をもっと大きくしたかったのだが、あとで「リツコとゲンドウの関係を知り、ホッと胸をなでおろした。

## 95.12

表紙の2人の衣装は、何冊かのファッション誌を参考に、クリスマスらしく華やかな雰囲気に」レイが着ているオーカンシーのトレスは長谷川眞也氏と虚しの高星晴美氏の苦労の結晶だ。特集では、女性キャラ4人にスポットを当てた。

## 96.1

毎年メカが飾る新年号表紙には、山下いくと氏の初号機が登場。当初のラフ案には、実は本書カバーの絵柄と、天を見上げた初号機に雪が積もっているという、2種類があった。塗りは山下氏のマーカー画を参考に、甲塑氏がハーモニー処理を施した。

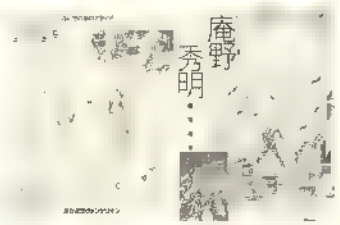
## 95.10

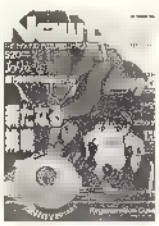
「エヴァ」放映開始直前特集。表紙は、NT発注のラフ案では腰をかかめて両手を後ろ手に組んだものだったが、作監の鈴木俊二氏の手で、躍動感あふれるようミサトらしいポーズに変わった。また、いちはやくマヤをチェックしているのも要注目。

## 95.11

ファッション特集、付録とバラエティに富んだ号私服のミサトとレイのモデルはNTの自称美人編集部員が演じた。もの写真を公開したら、ファンが大暴動を起こすかも(笑)。「ネルフファイル」は設定、スタッフ&CVインタビューと充実の内容

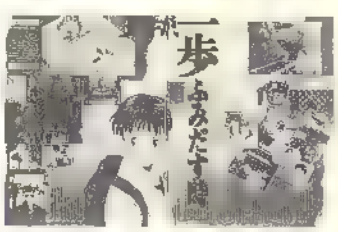
## 95.4



ユータイプ誌上での「エヴァ」初登場はアニメ放映開始の実に半年前。95年注目のクリエーター4人にインタビューをした巻頭特集「SKILL JP～新たなる挑戦」のトップを飾った。扉絵のレイの扱われ方は、今では信じられない大きさだ。

## 95.7




エヴァ第1話のフィルム完成を記念した、どこよりも早い誌上予告編。この号から、「エヴァ」独特の直角に折れたサブタイトルを模倣したキャッチを使用。たか、庵野監督いわく「挑発はしていない」ということなので、あくまでNTの私見である。

## 97.1

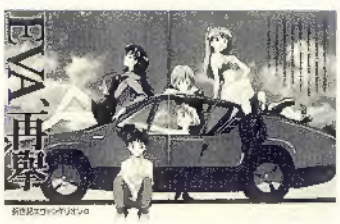
開田裕治氏によるCG初号機。NTにあるツクダホビーのガレージキットを参考資料に使った。ちなみに、同じメカが2年連続で新年号を飾ったのは初号機が初めて。シンジといっしょに登場した'95年4月号を含めると、実に3度目の登板となる。

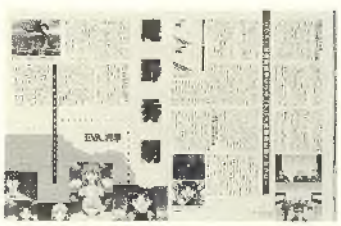
## 96.11

付録

NT本紙のモデルページ担当が編集した「エヴァンゲリオン3Dファイル」。実に300体以上のモデルを収録した。アマチュアディーラーの作品は、ワンフェス当日にすべて撮影。海洋堂製作1／1スケールの綾波レイが表紙を飾った。

## 96.6





発売後、一大議論を巻き起こした庵野監督の単独インタビュー記事。インタビューは、最終回放映数日後に林原めぐみのラジオ番組にゲスト出演した監督をつかまえ、敢行した。この後、NT編集部には監督宛てて山のような手紙が届いた。

## 96.4

最終回直前特集は、シンジのヒーロー性にスポット。19話で加持が発した名ゼリフをキャッチコピーに使った。付録のキャラ写真集では、「そういうところにばっかり注目しないで」というガイナックス側の意向で、セクシーショットは極力避けた。

付録

## E-COMMISSION 96.7-97.3

放映後もエヴァを盛り上げようと発足したのが、エヴァンゲリオン通信「Eコミッション」。読者投稿コーナーや、エヴァ関連グッズの紹介などで構成した。描き下ろしも「レイ&カヲル」「オペレーターズ」など、過去にない組み合わせにこだわった。

## 96.7

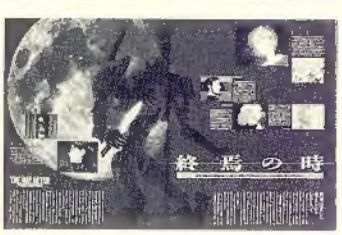
付録

エピソードガイド、24話をフィーチャーした「レクイエム」などを収録した付録「ネルフレポート」。これで、英字サブタイトルのもつ意味を知った人も多いはず。心理学用語やヨハネ黙示録などからの引用もあり、興味深い内容になっている。

## 96.8

19ページにわたる水着特集「夏色乙女」の大トリを飾った、ビキニ姿のレイ。平松禎史氏の当初のラフはペンペンも水面に浮かんでおり、レイの表情も明るかったが、このアンニュイバージョンにリテイクされた。ちなみにレイの影はCGで作成。

## 96.5



21話より放映前の情報がすべてシャットアウトされていたためクライマックス2話をNTなりに分析した特集。絵柄は初号機のガレージキットを実写背景とCG合成したもの。読者アンケートの結果、2見開きめの月バックがいちばん好評だった。

# Staff & Cast of **EVANGELION**

企画・原作…GAINAX
企画…Project Eva.
掲載…角川書店　月刊少年エース
キャラクターデザイン…貞本義行
メカニックデザイン…山下いくと　庵野秀明
副監督…摩砂雪　鶴巻和哉
美術監督…加藤浩
色彩設定…高星晴美
撮影監督…黒田洋一
音響監督…田中英行
音響製作…オーディオタナカ
音楽…鷺巣詩郎
音楽協力…テレビ東京ミュージック
オープニングテーマ…「残酷な天使のテーゼ」
作詞／及川眠子　作曲／佐藤英敏
編曲／大森俊之　歌／高橋洋子
エンディングテーマ…「FLY ME TO THE MOON」
作詞・作曲／Bart Howard
編曲／Toshiyuki Ohmori　歌／CLAIRE
オープニングアニメーション…作画／本田雄　長谷川眞也
演出／鶴巻和哉
エンディングアニメーション…摩砂雪
広報…宍見礼（テレビ東京）　佐藤裕紀（GAINAX）
アニメーション制作…タツノコプロ　GAINAX
プロデューサー…小林教子（テレビ東京）　杉山豊
アニメーションプロデューサー…植田もとき　内山秀二　山賀博之
総監督…庵野秀明
製作…テレビ東京　NAS

碇シンジ…緒方恵美
葛城ミサト…三石琴乃
赤木リツコ…山口由里子
綾波レイ…林原めぐみ
惣流・アスカ・ラングレー…宮村優子
碇ゲンドウ…立木文彦
冬月コウゾウ…清川元夢
加持リョウジ…山寺宏一
鈴原トウジ…関智一
相原ケンスケ…岩永哲哉
洞木ヒカリ…岩男潤子
日向マコト…緒城比呂
伊吹マヤ…長沢美樹
青葉シゲル…子安武人
キール・ローレンツ…麦人
碇ユイ…林原めぐみ
赤木ナオコ…土井美加
渚カヲル…石田彰
老教師…丸山詠二
時田シロウ…大塚芳忠
空母艦長…西村知道
空母副艦長…山野井仁
アスカの父…関俊彦
アスカの母…川村万梨阿
アスカの継母…勝生真沙子
人類補完委員会…清川元夢　長螳高士
鈴木勝美　永野広一ほか

| | 放送日 | 脚本 | 絵コンテ | 演出 | 作画監督 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1話 | 95・10・4 | 庵野秀明 | 摩砂雪・庵野秀明 | 鶴巻和哉 | 鈴木俊二 |
| 2話 | 95・10・11 | 榎戸洋司・庵野秀明 | 摩砂雪・庵野秀明 | 鶴巻和哉 | 本田雄 |
| 3話 | 95・10・18 | 薩川昭夫・庵野秀明 | 鶴巻和哉・石堂宏之 | 石堂宏之 | 細井信宏 |
| 4話 | 95・10・25 | 薩川昭夫 | 甚目喜一 | 加賀ツヨシ | 重田智 |
| 5話 | 95・11・1 | 薩川昭夫・庵野秀明 | 甚目喜一 | 杉山慶一 | 鈴木俊二 |
| 6話 | 95・11・8 | 薩川昭夫・庵野秀明 | 摩砂雪 | 石堂宏之 | 細井信宏 |
| 7話 | 95・11・15 | 榎戸洋司・庵野秀明 | 杉山慶一・庵野秀明 | 杉山慶一 | 鈴木俊二 |
| 8話 | 95・11・22 | 薩川昭夫・庵野秀明 | 樋口真嗣 | 鶴巻和哉 | 本田雄 |
| 9話 | 95・11・29 | 薩川昭夫・庵野秀明 | 樋口真嗣 | 水島精二 | 長谷川眞也 |
| 10話 | 95・12・6 | 薩川昭夫・庵野秀明 | 加賀ツヨシ・庵野秀明 | 加賀ツヨシ・石堂宏之 | 重田智 |
| 11話 | 95・12・13 | 榎戸洋司・庵野秀明 | 摩砂雪 | 渡邊哲哉 | 河口俊夫 |
| 12話 | 95・12・20 | 薩川昭夫・庵野秀明 | 摩砂雪 | 石堂宏之 | 重田智 |
| 13話 | 95・12・27 | 磯光雄・薩川昭夫・庵野秀明 | 岡村天斎 | 岡村天斎 | 黄瀬和哉 |
| 14話 | 96・1・3 | 庵野秀明 | 庵野秀明 | 大塚雅彦・安藤健 | 鶴巻和哉 |
| 15話 | 96・1・10 | 薩川昭夫・庵野秀明 | 甚目喜一 | 羽生尚靖 | 鈴木俊二 |
| 16話 | 96・1・17 | 山口宏・庵野秀明 | 鶴巻和哉 | 鶴巻和哉 | 長谷川眞也 |
| 17話 | 96・1・24 | 樋口真嗣・庵野秀明 | オグロアキラ | 大原実 | 花畑まう |
| 18話 | 96・1・31 | 樋口真嗣・庵野秀明 | 岡村天斎 | 岡村天斎 | 黄瀬和哉 |
| 19話 | 96・2・7 | 薩川昭夫・庵野秀明 | 摩砂雪 | 摩砂雪 | 本田雄 |
| 20話 | 96・2・14 | 庵野秀明 | 鶴巻和哉・庵野秀明 | 大塚雅彦 | 鶴巻和哉 |
| 21話 | 96・2・21 | 薩川昭夫・庵野秀明 | 甚目喜一 | 石堂宏之 | 重田智 |
| 22話 | 96・2・28 | 山口宏・庵野秀明 | 鶴巻和哉 | 高村彰 | 森木植 |
| 23話 | 96・3・6 | 山口宏・庵野秀明 | 鶴巻和哉・庵野秀明 | 増尾昭一 | 鈴木俊二 |
| 24話 | 96・3・13 | 薩川昭夫・庵野秀明 | 摩砂雪・庵野秀明 | 摩砂雪 | 摩砂雪 |
| 25話 | 96・3・20 | 庵野秀明 | 鶴巻和哉・庵野秀明 | 鶴巻和哉 | 本田雄 |
| 26話 | 96・3・27 | 庵野秀明 | 摩砂雪・鶴巻和哉・庵野秀明 | 摩砂雪・鶴巻和哉 | 庵野秀明 |

NEWTYPE 100% COLLECTION 29

# NEON GENESIS EVANGELION

新世紀エヴァンゲリオン

©GAINAX／Project Eva.・テレビ東京・NAS

[原画]
カバー・P61/山下いくと
P4〜7・14〜15・29・32・52〜53・57/本田雄
P8・18〜19・38・39・42・49・60/鈴木俊二
P9・11・28・40〜41・72〜73/中山勝一
P13・26・27・30〜31・44〜45・50・51・54〜56・58〜59・64〜65/平松慎史
P18〜22・24〜25・36・37・46〜47/長谷川眞也
P23・34〜35/守岡英行
P33・43・48/鶴巻和哉
P66〜67・70〜71/吉成曜
P62〜63・69/古川尚哉
P68/今石洋之
[仕上げ]
all/高星晴美
except…カバー・P61/甲斐政俊
P10・50・51・52〜63・68/小峯久美子
P20〜21・22/タツノコカラーセンター
P24〜25/濱谷美穂子
P27・54〜55/アートミック
[背景]
P18〜19・20〜21・22・38・54〜55・60・64〜65・70〜71/スタジオ美峰
P28・29・33/木村真二
P6〜7/グリーン
[アートワーク]
P18〜19・30〜31・39・42/亀井一郎
[イラスト]
P12/貞本義行
P74・75/開田裕治
協力＝月刊少年エース、コンプRPG、RPGドラゴン、三鷹市役所
月刊ドラゴンマガジン、テレビ東京

ニュータイプ100%コレクション 29
NEON GENESIS EVANGELION 新世紀エヴァンゲリオン
1997年2月28日初版発行　1997年4月30日第3刷発行
発行人：角川歴彦
発行所：〒102東京都千代田区富士見2-13-3 ㈱角川書店 ニュータイプ
営業☎03-3238-8530 編集☎03-5229-3550 振替：00130-9-195208
装幀・デザイン：朝倉哲也＋design CREST
印刷・製本：大日本印刷株式会社

©Kadokawashoten 1997 禁無断転載・複製
ISBN4-04-852700-2 C0076 Printed in JAPAN
乱丁、落丁はご面倒でも角川ブックサービス（〒354 埼玉県入間郡三芳町藤久保557-2 ☎0492・59・1100）あてにお送りください。送料小社負担でお取り替えいたします

ISBN4-04-852700-2

C0076 ¥1456E

定価:本体1456円(税別)　角川書店

9784048527002

1920076014567

NEON GENESIS
EVANGELION